

厚生労働行政推進調査事業費補助金

政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究

令和6年度～7年度 総合研究報告書

研究代表者 野口 晴子

令和 8（2026）年 5 月

別添 2

目 次

I. 総合研究報告

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究.....	1
-------------------------------------	---

研究代表者 野口 晴子 早稲田大学 政治経済学術院

(参考資料 1-1) 病院票 A 票

(参考資料 1-2) 病院票 B 票

(参考資料 1-3) 診療所票 A 票

(参考資料 1-4) 診療所票 B 票

(参考資料 1-5) 助産所票

(参考資料 2) 第 8 回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会（資料 3）」、令和 7 年 3 月 19 日

(参考資料 3) 第 9 回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会（資料 1）」、令和 7 年 4 月 16 日

(参考資料 4) 第 204 回社会保障審議会医療保険部会「医療保険制度における出産に対する支援の強化について（資料 2）」、スライド#17、令和 7 年 11 月 20 日

(参考資料 5) 第 7 回子ども家庭審議会成育医療等分科会「妊産婦目線での切れ目のない支援体制の構築～妊婦健診に係る経済的負担の軽減と見える化に向けた取組について～（資料 1）」、スライド#9-#10、令和 7 年 12 月 25 日

II. 研究成果の刊行に関する一覧表	14
--------------------------	----

別添 3

令和6～7年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
総合研究報告書

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究

研究代表者 野口晴子 早稲田大学 政治経済学術院

研究要旨

本研究は、分娩取扱施設における出産費用の見える化および将来的な制度設計の検討に資する基礎資料の整備を目的として、出産に係る費用構造およびその形成要因を多面的に把握することを目的に実施したものである。令和5年度に実施したパイロット調査およびヒアリング調査の結果を踏まえ、令和6年度には、全国の分娩取扱施設を対象に、施設構造および医療提供体制を把握する悉皆調査（A票）と、患者単位の診療内容、人的資源投入、ならびに収益・費用・財務構造を把握するサンプル調査（B票）を実施した。さらに令和7年度には、フォローアップ調査によりデータの精査および補完を行うとともに、妊婦健康診査（以下、妊婦健診）費用に関する追加調査を実施した。また、分娩過程における人的資源投入の実態把握に向け、修正デルファイ法を用いた観察項目の検討および他計式タイムスタディ調査を実施した。

分析の結果、分娩取扱施設は病院、診療所、助産所の3類型において明確な機能分化が存在し、それぞれが異なる医療提供体制および対象症例を有していることが確認された。病院では高リスク分娩に対応する高度医療機能を担い、診療所では標準的分娩管理とサービス提供を組み合わせた体制、助産所では低リスク分娩を対象とした助産師主導の継続的ケアが提供されていた。

出産費用の構造については、医療行為に係る費用に加え、室料差額や付帯サービスといった非医療的要素が重要な役割を果たしており、施設類型ごとに異なる費用構造が形成されていることが明らかとなった。加えて、収益・費用および財務構造の分析から、病院では固定費負担の大きさに起因する赤字傾向、診療所では収支均衡、助産所では低コスト構造に基づく黒字傾向が確認され、費用構造と経営構造が密接に関連していることが示された。さらに、病院では高度医療を支える設備投資および借入に依存した資本集約型構造、助産所では低資本・低負債の軽量な財務構造が確認され、施設類型ごとに異なる資本構造が存在していた。

一方、タイムスタディ調査の結果から、分娩は助産師等を中心とした長時間かつ継続的なケアを基盤としつつ、産婦人科医師や新生児科医師等が必要に応じて専門的介入を行う多職種協働構造によって成立していることが明らかとなった。特に、助産師の関与は時間的にも業務範囲においても最も大きく、分娩前後を通じたケアの中核を担っていることが確認された。

加えて、妊婦健診費用に関する分析から、医療機関間および地域間で自己負担額にばらつきが存在し、公費負担水準および医療機関の価格設定がその差異に影響しているこ

とが示唆された。特に、関東甲信越地域では自己負担額が相対的に高い傾向が確認された。また、「望ましい基準」に含まれる費用とそれ以外の費用の区分が必ずしも明確ではなく、費用の比較可能性に課題があることも明らかとなった。これらの結果は、出産に係る経済的負担を分娩時の費用に限定せず、妊娠期から産後に至る一連の費用として捉える必要性を示すものである。

以上の結果から、出産費用は医療内容、対象症例のリスク水準、人的資源投入、資本構造およびサービス要素等が複合的に作用して形成されており、単一の指標による比較では十分に評価できないことが明らかとなった。なお、本研究では、フォローアップ調査を通じて収益・費用・資産・負債等に関するデータの精査および補完を行うことで、費用構造分析に用いるデータ基盤の信頼性向上を図った。加えて、修正デルファイ法を用いて分娩過程における観察項目を標準化し、人的資源投入を体系的に把握するための分析枠組みを構築した。以上より、本研究は、出産費用構造の包括的理解を深化させるとともに、人的資源投入を含めた包括的な費用評価の必要性を提示し、出産費用の見える化や、費用の比較可能性の向上に資する基礎的エビデンスを提供するものである。

研究分担者

片岡 弥恵子

聖路加国際大学 大学院看護学研究科
教授

増澤 祐子

新潟県立看護大学 看護学部
准教授

川村 顕

早稲田大学 人間科学学術院
教授

関沢 明彦

昭和医科大学 医学部産婦人科学講座
教授

日本において正常分娩は原則として保険適用外であり、出産費用は医療機関と妊産婦の間で個別に設定されている。そのため、費用水準および内訳は地域や施設類型（病院、診療所、助産所）、施設機能および提供サービス等により大きく異なることが知られている（田倉，2021）。しかしながら、医療行為、人的資源投入、施設構造、付帯サービスおよび経営実態を統合的に把握した全国規模の実証研究は十分に行われていない。

このため本研究では、第1に、令和5年度に実施したパイロット調査およびヒアリング結果を踏まえ、令和6年度に全国の分娩取扱施設を対象とした悉皆調査

（A票）およびサンプル調査（B票）を実施し、施設構造、医療提供体制、分娩実態、患者単位の診療内容、人的資源投入ならびに収益・費用・財務構造に関するデータを収集した。第2に、令和7年度にフォローアップ調査を実施し、データの精査および補完を行うことで分析の信頼性を向上させた。第3に、妊婦健診費

A. 研究目的

本研究は、「こども未来戦略方針」（令和5年閣議決定）において示された出産費用の見える化および将来的な正常分娩の保険適用の検討に資する基礎資料の整備を目的として、分娩取扱施設における出産に係る費用構造およびその形成要因を多面的に把握するものである（厚生労働省，2025）。

用に関する追加調査を実施し、妊娠期を含めた費用負担の実態を把握した。

加えて、本研究では、分娩過程における人的資源投入の実態をより精緻に把握するため、令和7年度に実施した他計式タイムスタディ調査およびその準備として、令和6年度に修正デルファイ法を用いた観察項目の検討を行った（Fitch et al., 2000 ; Diamond et al., 2014 ; Sinha et al., 2011）。修正デルファイ法により、分娩期および産褥期における医療行為、観察、ケアおよび業務を対象とする観察項目を体系的に整理し、その結果に基づいてタイムスタディ調査表を作成した。その上で、令和7年度には、総合・地域周産期母子医療センター、診療所および助産所を対象として他計式のタイムスタディ調査を実施し、分娩開始から分娩後2時間までの過程における医療者の行動を参加観察により記録した。これにより、分娩に関わる医療者の業務内容および関与時間を定量的に把握し、人的資源投入の観点から出産費用構造を補完的に分析することを可能とした。

さらに、分娩取扱施設は高度医療を担う病院、標準的分娩管理を行う診療所、低リスク分娩を対象とした助産所という異なる役割を有しており、これらの機能分化が費用構造に与える影響を明らかにすることが重要である。加えて、出産に係る経済的負担は分娩時の費用にとどまらず、妊婦健診を含む妊娠期から産後に至る一連の費用として捉える必要がある。特に妊婦健診については、公費負担の水準や医療機関ごとの価格設定の違いにより自己負担額にばらつきが存在しており、分娩費用と一体的に捉えるべき重

要な構成要素である（厚生労働省，2015）。

以上を踏まえ、本研究は、分娩取扱施設における出産費用の構造およびその形成要因を統合的に明らかにするとともに、施設類型間の機能分化と費用構造との関係を実証的に明らかにすること、さらに妊娠期から出産・産後に至る費用構造の全体像を把握することを目的とする。

B. 研究方法

B-1. 調査設計およびデータ収集

本研究では、分娩取扱施設における出産費用構造およびその形成要因を把握するため、全国の分娩取扱施設を対象とした悉皆調査（以下、A票）およびサンプル調査（以下、B票）を組み合わせた調査設計を採用した。

令和6年度には、施設構造および医療提供体制を悉皆で把握するA票と、患者単位の診療内容、人的資源投入、ならびに収益・費用・財務構造を抽出されたサンプルにより把握するB票を実施した。B票の対象施設は、分娩施設の機能、分娩件数、経営主体等に基づく層化抽出により選定し、Stata 18.0を用いた乱数生成により無作為抽出を行った。

令和7年度には、収集データの信頼性向上を目的としてフォローアップ調査を実施した。A票については、回答に疑義が認められた施設を対象に電話による個別確認を行い、施設情報、医療提供体制および分娩実態に関するデータの精査および補完を行った。B票については、経営実態（収益・費用・資産・負債等）に係る項目に一部でも回答のあった施設を対象

に、メールまたは電話による個別確認を実施し、患者票、タイムスタディおよび財務データの整合性確認および補完を行った。また、妊婦健診費用については追加の聞き取り調査を実施し、自己負担額、公費負担額および「望ましい基準」に含まれない費用等に関するデータの精度向上を図った。

分析にあたっては、施設類型（病院、診療所、助産所）別に記述統計を行うとともに、連続変数についてはt検定または分散分析（ANOVA）、カテゴリー変数については χ^2 検定を用いて施設間の差異を検証した。また、自由記述データについてはテキストマイニングの手法を用いて内容の類型化を行った。

加えて、分娩過程における人的資源投入の実態をより精緻に把握するため、令和6年度には修正デルファイ法を用いた観察項目の検討を実施し、令和7年度には他計式タイムスタディ調査を実施した。

B-2. タイムスタディ調査の方法および調査設計

本研究では、分娩過程における人的資源投入の実態を把握するため、令和7年度に他計式によるタイムスタディ調査を実施するとともに、その準備として令和6年度に修正デルファイ法を用いた観察項目の検討を行った。

まず、観察項目の検討にあたっては、分娩期における医療行為、観察、ケアおよび業務を把握するため、文献レビューおよび専門家の知見を基に観察項目案を作成した。その上で、病院（周産期母子医療センターを含む）および診療所に勤

務する産科医師、小児科医師（新生児科）、助産師等から構成されるパネルメンバーを対象として修正デルファイ法を実施し、分娩期における観察項目の必要性について評価を行った。個別評価とフィードバックを伴う合意形成の結果、分娩期および産褥期における医療行為、観察、ケアおよび業務を対象とする合計102項目の観察項目を決定した。さらに、分析段階では、フリーコメント項目等を整理し、115項目、20の中カテゴリ、9の大大カテゴリに再構成した。

次に、これらの観察項目に基づき、タイムスタディ調査を実施した。研究協力施設は、総合・地域周産期母子医療センター、診療所および助産所を対象とし、便宜的抽出法により選定した。研究対象は、分娩目的で入院し経膈分娩を予定する産婦および分娩に直接関与する医療者（産婦人科医師、小児科医師、助産師、看護師、必要に応じて麻酔科医師）とした。

調査は、観察者が研究協力施設に赴き、分娩時の医療者の行動について参加観察を行う方法により実施した。観察期間は、分娩開始（規則的陣痛の発来）から分娩後2時間までとした。観察者は、事前に測定方法に関するオリエンテーションおよびトレーニングを受け、測定手法の標準化を図った上で調査に臨んだ。

データ収集にあたっては、専用のウェブアプリケーションを用い、各医療者が実施した治療、検査、ケアについて、その内容、実施場所および所要時間をリアルタイムで記録した。これにより、分娩過程における多職種の関与内容および時

間配分を統一的に把握することを可能とした。

以上の方法により、本研究は、分娩過程における人的資源投入を標準化された枠組みのもとで定量的に把握するための調査設計を構築するとともに、出産費用構造の分析に資する基礎データを整備した。

（倫理面への配慮）

本研究では、『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査』、および、フォローアップ調査を実施するに当たり、早稲田大学「人を対象とする研究に関する倫理審査委員会」にて、実施承諾を受けている（承認番号：2024-044；承認日：令和6年5月4日）。さらに、『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査：妊婦健診費用の実態調査』を実施するに当たっては、昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて、実施承諾を受けている（承認番号：2025-0451；承認日：令和7年12月26日）。また、『分娩にかかわる医療者のタイムスタディ調査』を実施するに当たり、聖路加国際大学研究倫理委員会の承認を受け、研究機関の長より実施許可を受けている（承認番号：24-A082；承認日：令和7年2月13日）。

C. 研究結果

C-1. フォローアップ調査によるデータ精査の状況

本研究では、令和6年度に実施したA票およびB票で収集したデータの信頼性

向上を目的として、令和7年度にフォローアップ調査を実施した。

A票については、回答内容に疑義が認められた分娩取扱施設427件（病院171、診療所75、助産所181）を対象に個別確認を行い、その結果、411件について必要な情報の補完および修正を行った。一方、確認が困難であった16件については分析対象から除外した。

B票については、経営実態に係る項目に一部でも回答のあった426施設を対象に精査を行い、そのうち収益項目については305施設、資産・負債項目については204施設が分析対象として確定した。また、事前確認において回答が得られなかった施設については分析対象から除外するなど、データの整合性確保のための整理を行った。

これらのフォローアップ調査により、欠測値や不整合の修正、追加情報の取得および年度間比較可能なデータの整理が行われ、分析に用いるデータの信頼性および整合性が向上した。本研究では、分娩取扱施設に関する悉皆調査および標本調査、ならびにフォローアップ調査および妊婦健診に関する追加調査を統合的に分析した結果、以下の点が明らかとなった。

C-2. 分娩取扱施設の基本構造と医療提供体制

分娩取扱施設の医療提供体制について、病院、診療所、助産所の三類型において明確な機能分化が確認された。病院は高リスク分娩に対応する高度医療機能を担い、診療所は標準的分娩管理を中心とした医療提供を行い、助産所は低リス

ク分娩を対象とした助産師主導のケアを提供していた。

設備および人的資源の観点からみると、病院、とりわけ総合・地域周産期母子医療センターにおいて、分娩関連設備、医療機器および医師・助産師等の人的資源が集約されていた。一方、診療所ではこれらの資源は相対的に限定的であるが、標準的分娩管理に必要な体制が整備されていた。助産所では小規模な施設構造のもと、助産師を中心としたケア提供体制が構築されていた。

病棟構成については、病院では混合病棟が多数を占め、産科機能が他診療科と統合された形で提供されているのに対し、診療所では個室中心の病床構成が特徴的であった。

また、夜間・休日における医療提供体制については、病院では小児科医師および麻酔科医師を含む多職種配置がみられた一方、診療所および助産所ではオンコール体制を中心とした運営が行われていた。

助産所については、小規模かつ少人数で運営される一方、複数助産師による対応体制および嘱託医療機関との連携体制が構築されていた。

以上より、分娩取扱施設の医療提供体制は、施設機能に応じた階層的構造を有していることが明らかとなった。

C-3. 分娩実態と患者構成

分娩実態について分析した結果、施設類型ごとに分娩形態および対象患者の構成に差異がみられた。

病院では帝王切開や高リスク分娩の割合が高く、総合・地域周産期母子医療セ

ンターにおいて特にその傾向が顕著であった。診療所では正常分娩が中心でありつつ無痛分娩も一定程度実施されていた。助産所では低リスクかつ経産婦中心の分娩が行われていた。

入院経路や分娩時間についても、施設類型および症例構成の違いを反映した差異が確認され、病院では計画的・管理的分娩、助産所では自然発来を基盤とした分娩が中心であった。

さらに、助産所では分娩進行異常や胎児機能不全等を契機とした搬送が一定程度確認され、低リスク分娩を前提としつつ、異常時には医療機関へ移行する連携体制が機能していることが示された。

C-4. 出産費用の構造

出産費用の構造については、医療行為に係る費用に加え、室料差額や付帯サービスといった非医療的要素が費用水準に大きく影響しており、施設類型ごとに異なる費用構造が形成されていることが確認された。

病院では、分娩介助料、検査・処置、薬剤費、新生児管理等の医療行為に対応する費用の比重が高く、資本集約的な費用構造となっていた。診療所では分娩料を中心とした価格設定が特徴であり、付帯サービスを含めた費用構造が形成されていた。一方、助産所では医療行為に係る費用は限定的であり、比較的簡素な費用構造となっていた。

さらに、無痛分娩については、診療所において病院より高額な価格設定がみられた。

C-5. 収益・費用および財務構造

収益・費用および財務構造の分析から、病院では固定費負担の大きさに起因する赤字傾向、診療所では概ね収支均衡、助産所では低コスト構造に基づく黒字傾向が確認され、費用構造と経営構造が密接に関連していることが示された。また、病院では産婦人科部門における損益の二極化が確認された。

資本構造については、病院では高度医療を支える資本集約型構造、診療所では中間的かつ多様な資本構造、助産所では低資本・低負債の軽量構造が確認された。

さらに、給与構造については、診療所では高水準かつ分散の大きい構造、病院では比較的均質な構造、助産所では低水準の構造が確認された。

C-6. 妊娠健診費用の実態

妊婦健診費用については、医療機関間および地域間で自己負担額にばらつきが存在し、公費負担水準および医療機関の価格設定の違いがその要因であることが示唆された。特に、関東甲信越地域では自己負担額が相対的に高い傾向が確認された。一方で、「望ましい基準」に基づく費用区分が必ずしも明確でないケースも確認された。

以上より、妊婦健診費用は出産費用と密接に関連しており、妊娠期を含めた費用構造として統合的に把握する必要があることが示された。

C-7. タイムスタディ調査の結果

本研究では、分娩過程における人的資源投入の実態を把握するため、修正デル

ファイ法による観察項目の検討および他計式タイムスタディ調査を実施した。

まず、修正デルファイ法により、分娩期および産褥期における医療行為、観察、ケアおよび業務に関する観察項目の必要性について評価を行った結果、合計102項目の必須観察項目が決定された。さらに、分析段階では、フリーコメント項目等を整理し、115項目、20の中カテゴリ、9の大カテゴリに再構成した。これにより、分娩過程における多職種の活動を体系的かつ標準化して把握するための基盤が整備された。

次に、これらの観察項目に基づき、総合・地域周産期母子医療センター、診療所および助産所の計9施設を対象として、分娩33例について他計式タイムスタディ調査を実施した。その結果、分娩1事例において、助産師の関与が人数・時間の両面で最も大きく、分娩前後を通じた継続的ケアの中核を担っていることが確認された。

職種別の関与時間をみると、助産師は1事例あたり平均40時間以上と最も長く、「入院中の治療・検査・ケア」および「分娩に関する処置・ケア」において長時間の関与が認められた。一方、産婦人科医師の関与時間は平均2時間程度であり、分娩時の処置や医療的判断といった専門的業務に集中していた。さらに、麻酔科医師および新生児科医師は、麻酔分娩や新生児対応など必要な症例に限定して関与しており、看護師の関与は全体として限定的であった。

業務内容別にみると、助産師は分娩進行管理、産婦へのケア、分娩介助、分娩後ケアに至るまで広範な業務を担ってお

り、分娩過程における継続的支援の中心的役割を果たしていることが明らかとなった。一方、医師は分娩時の処置や異常対応など、専門的判断を要する場面において集中的に関与する傾向が確認された。

以上より、分娩は助産師による継続的かつ包括的なケアを基盤としつつ、医師が必要に応じて専門的介入を行う多職種協働構造によって成立していることが明らかとなった。また、本調査により、分娩過程における人的資源投入を標準化された枠組みのもとで定量的に把握することが可能となり、出産費用構造の理解を深化させるための重要な基礎データが得られた。

D. 考察

D-1. 出産費用構造に関する考察

本研究では、分娩取扱施設における出産費用の構造について、施設構造、医療提供体制、分娩実態、医療行為・ケア、費用および財務構造、さらに妊婦健診費用を含めた分析を統合的に行った。その結果、出産費用の構造は単一の要因によって決定されるものではなく、医療提供体制の機能分化を基盤として、多様な要素が複合的に作用して形成されていることが明らかとなった。

第1に、分娩取扱施設における医療提供体制は、病院、診療所、助産所の3類型において明確に機能分化していることが確認された。病院は高リスク妊娠・分娩に対応する高度医療機能を担い、多職種による集約的な医療提供体制を有している。一方、診療所は標準的分娩管理を中心とした医療提供を行い、助産所は低

リスク分娩を対象とした助産師主導の継続的ケアを提供している。このような機能分化は、単なる役割分担にとどまらず、患者構成、医療行為の内容、人的資源投入の水準に反映されており、施設類型ごとに異なる提供モデルが形成されていることを示している。

さらに、助産所では、分娩進行異常や胎児機能不全等を契機とした搬送が一定程度確認されており、低リスク分娩を前提としつつ、異常発生時には医療機関へ移行する連携体制のもとで機能していることが示された。これは、助産所が単独で完結するのではなく、地域の周産期医療体制の一部として位置づけられていることを示唆している。

第2に、出産費用の構造は、医療行為に係る費用のみならず、非医療的要素を含む複合的な構造として形成されていることが明らかとなった。病院では、検査・処置・薬剤・新生児管理等の医療行為に対応する費用の比重が高く、高度医療を前提とした費用構造となっているのに対し、診療所では分娩料を中心とした価格設定に加え、付帯サービスが費用構造に組み込まれている。一方、助産所では必然的に医療介入が限定的であることから費用構造は比較的簡素であり、ケアを中心とした構造が形成されている。

特に、室料差額や付帯サービスといった非医療的要素が費用水準に与える影響は大きく、これらは施設類型ごとに異なる形で価格構造に組み込まれている。診療所においては個室中心の病床構成および多様なサービス提供が費用に反映される一方、病院では室料差額の水準が費用差の一因となっている。このように、出

産費用は医療の質や内容のみならず、サービスや環境の違いを含めた総合的な提供価値に基づいて形成されていると考えられる。加えて、無痛分娩については、診療所において病院より高額な価格設定がみられた。これは、硬膜外麻酔管理の提供体制やサービス内容の違いが価格に反映されている可能性を示唆している。

第3に、費用構造は施設の収益・費用構造および財務構造と密接に関連していることが確認された。病院では、高度医療機能の維持に必要な人的資源および設備投資に伴う固定費負担が大きく、損益構造は赤字傾向を示している。一方、診療所では収支は概ね均衡しているものの、近年は収益性の低下傾向がみられる。助産所では低コスト構造を背景として黒字傾向が確認されているが、その背景には人件費水準および資本規模の違いが存在する可能性がある。

給与構造についても施設類型ごとに差異がみられ、診療所では高水準かつ分散の大きい給与構造、病院では比較的均質な構造、助産所では低水準の構造が確認された。さらに、病院では高度医療を支える設備投資および借入に依存した資本集約型構造がみられた一方、助産所では低資本・低負債の軽量の財務構造が確認された。これらの違いは、各施設類型における収益構造および提供する医療・ケアの内容と整合的であり、費用構造の背後にある重要な要因であると考えられる。

第4に、妊婦健診費用を含めた分析から、出産に係る経済的負担は妊娠期から産後に至る一連の費用として理解する必要があることが示された。妊婦健診費用

については、公費負担の水準および医療機関ごとの価格設定の違いにより自己負担額にばらつきが存在しており、地域間および施設間で差異が確認された（こども家庭庁、2026）。特に、関東甲信越地域では自己負担額が相対的に高い傾向が確認された。一方で、「望ましい基準」に基づく費用区分が必ずしも明確でないことも確認されており、費用構造の把握および比較可能性の確保に課題があることが明らかとなった（厚生労働省、2015）。

以上を総合すると、出産費用の差異は単なる価格設定の違いではなく、施設類型ごとの機能分化、対象症例のリスク水準、医療行為およびケアの内容、人的資源投入、さらには資本構造および非医療的サービス要素といった複数の要因が相互に関連して形成されていると理解する必要がある。

したがって、出産費用の見える化および制度設計の検討においては、単一の平均値による比較ではなく、これらの構造的差異を踏まえた評価枠組みを構築することが不可欠である。また、費用の比較可能性を高めるためには、医療行為と非医療的要素の区分の明確化や、妊娠期を含めた費用情報の整理が重要な課題となる。

なお、研究ではフォローアップ調査を通じて、収益・費用・資産・負債等に関するデータの不整合や欠測の補完を行ったことにより、費用構造分析の信頼性向上が図られた。この点は、今後の制度設計において、出産費用構造をより精緻に把握する上で重要な意義を有すると考えられる。

D-2. タイムスタディ調査に関する考察

本研究におけるタイムスタディ調査の結果は、分娩過程における人的資源投入の実態を明示的に示すものであり、出産費用構造の理解を深化させる上で重要な知見を提供するものである。

本研究は、分娩が助産師を中心とした継続的ケアによって支えられていることを明確に示している。助産師は、分娩前後を通じて最も長時間関与しており、入院中のケア、分娩進行管理、分娩介助および分娩後ケアに至るまで、多様な業務を担っている。この結果は、分娩が単なる医療行為ではなく、長時間にわたる継続的なケアの積み重ねによって成立していることを示している。

医師の関与は、助産師とは対照的に、医療的判断および処置が必要な場面に集中していることが確認された。産婦人科医師、麻酔科医師および新生児科医師は、それぞれ専門的な役割に応じて限定的に関与しており、分娩過程は「継続的ケア」と「選択的・専門的介入」が組み合わせられた構造を有していると解釈される。

本研究は、分娩過程における人的資源投入が多職種協働によって構成される複雑なプロセスであることを示している。各職種は異なる役割と関与時間を有しており、これらが相互に補完しながら分娩ケアを提供している。このような多職種協働構造は、出産費用の形成においても重要な要素であると考えられる。

本研究の結果は、従来の出産費用の議論において十分に考慮されてこなかった「ケアの時間価値」の重要性を示唆している。助産師による長時間の関与は、費

用として必ずしも明示的に計上されていない場合があるが、実際には出産サービスの質および安全性を支える基盤である。このことは、出産費用を医療行為のみで評価することの限界を示しており、人的資源投入を含めた包括的な評価の必要性を示唆している。

さらに、本研究では、修正デルファイ法を用いて分娩期に必要な観察項目を体系的に整理し、102項目の必須観察項目を決定した。さらに、分析段階では115項目、20の中カテゴリ、9の大カテゴリへ整理を行った。これにより、本研究で構築された観察項目および測定手法は、分娩過程における人的資源投入を定量的に把握するための標準化された枠組みとして位置づけられる。この枠組みを用いることで、今後は施設間比較や費用構造との対応関係の分析が可能となり、出産費用の算定および制度設計においてより精緻な検討が可能になると考えられる。

以上を踏まえると、出産費用の見える化および制度設計の検討においては、医療行為のみならず、助産師を中心とした継続的ケアおよび多職種協働による人的資源投入を適切に評価する枠組みを構築することが不可欠である。本研究は、出産費用構造の背後にある人的資源投入の実態を明らかにすることで、より実態に即した費用評価および政策設計に資する基礎的知見を提供するものである。

E. 結論

本研究では、分娩取扱施設を対象として、出産に係る費用構造について、施設構造、医療提供体制、分娩実態、医療行為・ケア、収益・費用・財務構造、なら

びに妊婦健診費用を含めた分析を統合的に実施した。加えて、修正デルファイ法による観察項目の検討および他形式計式タイムスタディ調査により、分娩過程における人的資源投入の実態を定量的に把握した。

その結果、出産費用は医療行為の内容のみによって決定されるものではなく、施設類型ごとの機能分化、対象症例のリスク水準、人的資源投入、資本構造、さらには付帯サービスや室料差額といった非医療的要素を含む複合的な構造として形成されていることが明らかとなった。

さらに、タイムスタディ調査の結果から、分娩は助産師を中心とした継続的かつ長時間のケアを基盤としつつ、産婦人科医師や新生児科医師等が必要に応じて専門的介入を行う多職種協働構造によって成立していることが明らかとなった。すなわち、人的資源投入、とりわけ助産師によるケアの時間的投入は、出産サービスの質と安全性を支える中核的要素であり、費用構造を理解する上で不可欠な要因である。

また、分娩取扱施設は、病院、診療所、助産所の3類型において、それぞれ異なる役割と提供体制を有しており、病院では高リスク分娩に対応する高度医療機能、診療所では標準的分娩管理、助産所では低リスク分娩を対象とした継続的ケアを担っていた。また、加えて、**助産所では異常時に医療機関へ移行する連携体制が構築されており、施設類型ごとの機能分化が費用構造および収益構造に直接的に反映されていることが確認された。すなわち、費用水準の差異は単なる価格差ではなく、提供される医療および

ケアの内容と密接に対応した結果として理解されるべきものである。

加えて、妊婦健診費用に関する分析から、妊娠期における費用負担についても医療機関間および地域間でばらつきが存在し、公費負担の水準や価格設定の違いが自己負担額に影響を与えていることが示唆された。～特に、～関東甲信越地域では自己負担額が相対的に高い傾向が確認された。一方で、「望ましい基準」に含まれる費用とそれ以外の費用の区分が必ずしも明確ではなく、費用の比較可能性に課題があることも示された。これらの結果は、出産に係る経済的負担を分娩時の費用に限定せず、妊娠期から産後に至る一連の費用として捉える必要性を示すものである。

以上の結果から、今後の出産費用の見える化および制度設計においては、施設類型ごとの機能分化や医療内容の違いを前提とした評価枠組みの構築に加え、人的資源投入を含めた包括的な費用評価の導入が不可欠である。また、費用の比較可能性を高めるためには、医療行為と非医療的要素の区分の明確化、ならびに妊婦健診を含めた費用情報の体系的整理が重要な課題となる。

なお、本研究では、フォローアップ調査を通じて収益・費用・資産・負債等に関するデータの精査および補完を行うことで、費用構造分析に用いるデータ基盤の信頼性向上を図った。加えて、修正デルファイ法を用いて分娩過程における観察項目を標準化し、人的資源投入を体系的に把握するための枠組みを構築した。

以上より、本研究は、出産費用の構造的な理解を深化させるとともに、人的資源

投入の実態に基づく新たな分析枠組みを提示することで、今後の出産に係る経済的負担軽減策、出産費用の見える化等の検討に資する基礎的エビデンスを提供するものである。

F. 健康危険情報
特に無し。

G. 研究発表

1. 論文発表
特に無し。

2. 学会発表
特に無し。

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
特に無し。

2. 実用新案登録
特に無し。

3. その他
特に無し。

参考文献

厚生労働省. (2025) 第9回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会（資料1）」, 令和7年4月16日.
<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001476650.pdf>（閲覧日：令和8年4月18日）
田倉智之. (2021) 「出産育児一時金（出産費用）に関する研究」. 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克

服等次世代育成基盤研究事業）「医学的適応による生殖機能維持の支援と普及に向けた総合的研究」分担研究報告書. https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202107004A-buntan5.pdf（閲覧日：令和8年4月18日）

厚生労働省. (2015) 「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」（平成27年3月31日厚生労働省告示第226号）.

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=82ab4662&dataType=0&pageNo=1（閲覧日：令和8年4月18日）

こども家庭庁. (2026) 「妊婦健康診査の公費負担の状況に係る調査結果について」. 令和8年4月8日公表.

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/ceb3d0fd-a99a-4637-8006-fa236413774b/2505a784/20260408_press_ceb3d0fd-a99a-4637-8006-fa236413774b_01.pdf（閲覧日：令和8年4月18日）

Fitch, K., Bernstein, S. J., Aguilar, M. D., Burnand, B., LaCalle, J. R., Lazaro, P., ... & Kahan, J. P. (2000). RAND/UCLA appropriateness method user's manual. Santa Monica, CA: RAND corporation.

Diamond, I. R., Grant, R. C., Feldman, B. M., Pencharz, P. B., Ling, S. C., Moore, A. M., & Wales, P. W. (2014). Defining consensus: a systematic review recommends methodologic criteria for reporting of Delphi studies. *Journal of clinical epidemiology*, 67(4), 401-409.
<https://doi.org/10.1016/j.jclinepi.2013.12.00>

Sinha, I. P., Smyth, R. L., & Williamson, P. R. (2011). Using the Delphi technique to determine which outcomes to measure in clinical trials: recommendations for the

future based on a systematic review of existing studies. PLoS medicine, 8(1), e1000393.

<https://doi.org/10.1371/journal.pmed.1000393>.

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（A票）

ID
パスワード

1. 分娩取扱施設の基本情報

令和6年9月1日時点

回答欄			留意点等	
1	施設名	ふりがな		名称を記載してください。
2		漢字		
3	施設所在地	郵便番号		貴施設の所在地を記載してください。
4		都道府県		
5		市区町村		
6		上記以下		
7	回答担当者氏名	ふりがな		ご回答いただいている担当の方のお名前、所属部署、電話番号、メールアドレスをお書きください。調査票に関してご連絡を差し上げることがあります。
8		漢字		
9	回答担当者所属部署			
10	回答担当者電話番号			
11	回答担当者メールアドレス			
12	施設種別（複数選択可）	1.特定機能病院 2.総合周産期母子医療センター 3.地域周産期母子医療センター 4.産科単科病院 5.こども病院 6.上記以外 ()	1.特定機能病院とは、厚生労働大臣より特定機能病院として名称の承認を得ている病院をいいます。 2.総合周産期母子医療センターとは「周産期医療体制整備指針」（平成22年1月26日付医政発0126第1号の別添2）により、常時の母体及び新生児搬送受入体制を有し、合併症妊娠（重症妊娠高血圧症候群、切迫早産等）、胎児・新生児異常（超低出生体重児、先天異常児等）等母体又は児におけるリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療等の周産期医療を行うことができるとともに、必要に応じて当該施設の関係診療科又は他の施設と連携し、産科合併症以外の合併症（脳血管障害、心疾患、敗血症、外傷等）を有する母体に対応することができる医療施設として、都道府県に指定されている病院をいいます。 3.地域周産期母子医療センターとは、「周産期医療体制整備指針」（平成22年1月26日付医政発0126第1号の別添2）により、産科及び小児科（新生児医療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として、都道府県に認定されている病院をいいます。 4.産科を主とする病院の場合はこちらを選択してください。 5.小児科を主とする病院の場合はこちらを選択してください。	
13	設置主体（いずれか1つ選択）	1.国立（国、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、行政法人地域医療機能推進機構） 2.公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人） 3.公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会） 4.社会保険関係（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びの連合会、国民健康保険組合） 5.医療法人（社会医療法人は含まない） 6.その他の法人（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人） 7.個人	貴院の設置主体を選択してください。	
14	周産期救急情報システムへの参加の有無 (いずれか1つ選択)	1.直接活用 2.直接活用していないがコーディネーターを通して活用 3.システムがない	貴施設の所在する都道府県の「周産期救急情報システム（周産期医療情報センターが運営する病床の空床状況や重症例や産科合併症以外の合併症による母体救急患者の受入れ可能状況等の情報収集、情報提供を行うシステム）」について、活用状況を選択してください。 空床状況等の情報に直接アクセスして活用している場合は1を選択してください。 情報システムに直接アクセスしていないが搬送コーディネーター等の調整者を通して活用している場合は2を選択してください。 周産期救急情報システムは活用していない場合は3を選択してください。	

2－1．病院票

令和6年9月1日時点

(1) 構造設備

		回答欄		留意点等
1	分娩室数		室	貴施設で分娩室として使用している部屋数を記載してください。(LDR室・陣痛室は除きます。)
2	分娩台数		台	
3	L D R室数		室	陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室であるLDR (Labor Delivery Recovery) の室数を記載してください。(分娩室・陣痛室は除きます)
4	陣痛室数		室	
5	分娩室用超音波画像診断装置台数		台	分娩室・LDR室・陣痛室のいずれかに、分娩時専用の超音波診断装置を有している場合に台数を記載してください。 ※外来や入院病棟においてある超音波診断装置を併用している場合は0台とご回答ください。
6	集中監視システム機器	1.有 2.無		分娩進行等の把握を目的とした集中監視システム機器を使用している場合は有を選択してください。
7	分娩監視装置閲覧モニターの設置場所をすべて記載してください。 (例：医局・当直室・ナースステーション・外来)			
8	分娩監視装置台数		台	分娩の際や分娩以外の目的で入院している妊婦に対して使用可能な分娩監視装置の台数を記載してください。 ※故障などで作動しない装置は数に計上しないでください。 ※外来や救急外来などで使用している装置は数に含めないでください。 新生児ウーマーの台数を記載してください。 ※壊れているなどの場合には数に計上しないでください。
9	保育器 (開放式) (インファントウーマー)		台	

(2) 分娩取扱施設の医療体制

10	常勤勤務の週あたりの勤務時間数		時間	貴施設で取り決められている、常勤職員の最低勤務時間数を記載ください。
----	-----------------	--	----	------------------------------------

11	産婦人科医師数	常勤医師数		人	主に産婦人科診療に従事する常勤医師数 (産科及び婦人科診療に従事する医師を含みます。) を記載してください。
12		非常勤医師の常勤換算		人	
13	産婦人科医師数のうち分娩を取り扱う医師数	常勤医師数		人	産婦人科常勤医師数のうち、分娩を取り扱う常勤医師数を記載してください。
14		非常勤医師の常勤換算		人	
15	小児科医師数 (新生児科医含)	常勤医師数		人	主として小児 (新生児含) の診療に従事している常勤医師数を記載してください。
16		非常勤医師の常勤換算		人	
17	麻酔科医師数	常勤医師数		人	麻酔科診療に従事する常勤医師数を記載してください。主に産婦人科診療に従事する医師 (産婦人科医師) は除いてください。
18		非常勤医師の常勤換算		人	

夜間・休日の体制

		夜勤医師		宿直医師		
19	平日夜間	産婦人科		人		人
20		小児科 (新生児科医含)		人		人
21		麻酔科		人		人
		日勤医師		日直医師		
22	祝日休日などの休診日の日中	産婦人科		人		人
23		小児科 (新生児科医含)		人		人
24		麻酔科		人		人
		夜勤医師		宿直医師		
25	祝日休日などの休診日の夜間	産婦人科		人		人
26		小児科 (新生児科医含)		人		人
27		麻酔科		人		人

オンコールの人数

28	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	産婦人科医師		人	※整数値で回答してください。
29		小児科医師 (新生児科医含)		人	
30		麻酔科医師		人	
31		その他		人	
32	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	産婦人科医師		人	
33		小児科医師 (新生児科医含)		人	
34		麻酔科医師		人	
35		その他		人	

回答欄

留意点等

病院に配置されている職員数（常勤数、非常勤の常勤換算）			
36	薬剤師	常勤	
37		非常勤（常勤換算）	
38	保健師	常勤	
39		非常勤（常勤換算）	
40	助産師	常勤	
41		非常勤（常勤換算）	
42	看護師	常勤	
43		非常勤（常勤換算）	
44	准看護師	常勤	
45		非常勤（常勤換算）	
46	看護補助者	常勤	
47		非常勤（常勤換算）	
48	保育士	常勤	
49		非常勤（常勤換算）	
50	管理栄養士	常勤	
51		非常勤（常勤換算）	
52	栄養士	常勤	
53		非常勤（常勤換算）	
54	公認心理師	常勤	
55		非常勤（常勤換算）	
56	臨床心理士（公認心理師を除く）	常勤	
57		非常勤（常勤換算）	
58	精神保健福祉士	常勤	
59		非常勤（常勤換算）	
60	（社会福祉士）医療ソーシャルワーカー	常勤	
61		非常勤（常勤換算）	
62	その他の職員	常勤	
63		非常勤（常勤換算）	

薬剤師であり、主として薬剤師の業務を行っている常勤職員
薬剤師であり、主として薬剤師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
保健師であり、主として保健師の業務を行っている常勤職員
保健師であり、主として保健師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
看護補助者であり、主として看護補助者の業務を行っている常勤職員
看護補助者であり、主として看護補助者の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する常勤職員
管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する常勤職員
栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
公認心理師であり、主として公認心理師の業務を担当する常勤職員
公認心理師であり、主として公認心理師の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
臨床心理士であり、主として臨床心理士の業務を担当する常勤職員
臨床心理士であり、主として臨床心理士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
精神保健福祉士であり、主として精神保健福祉士の業務を担当する常勤職員
精神保健福祉士であり、主として精神保健福祉士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
社会福祉士であり、主として社会福祉士の業務を担当する常勤職員
社会福祉士であり、主として社会福祉士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算

(3) 分娩取扱施設の実績（令和6年9月1日～30日の1ヶ月）			
64	全分娩件数（人工妊娠中絶は除く）（12週以降）		
65	全分娩件数のうち、早産の経膣分娩件数 <u>(37週未満)</u>	a. 鉗子分娩	
66		b. 吸引分娩	
67		c. 上記以外	
68	全分娩件数のうち、経膣分娩件数 <u>(37週以降)</u>	a. 鉗子分娩	
69		b. 吸引分娩	
70		c. 上記以外	
71	全分娩件数のうち、早産の帝王切開術数 <u>(37週未満)</u>	a. 予定帝王切開術数	
72		b. 緊急帝王切開術数	
73	全分娩件数のうち、帝王切開術数 <u>(37週以降)</u>	a. 予定帝王切開術数	
74		b. 緊急帝王切開術数	
75	全分娩件数のうち、無痛分娩件数（65～74の項目の内数）	a. 硬膜外麻酔	
76		b. 脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔	
77		c. その他の麻酔	
78	65～77に当てはまらない分娩		
79	院内助産の実施の有無		1.有 2.無
80	全分娩件数のうち、院内助産の分娩件数		
81	出産目的で入院する妊産婦の入院日数として、最も多い入院日数（分娩日を0日として、退院までの日数を記載）	a. 経膣分娩（初産婦）	
82		b. 経膣分娩（経産婦）	
83		c. 帝王切開分娩	

令和6年9月1日～9月30日の期間の人工妊娠中絶を除く分娩件数を記載してください。※死産は含みます。※多胎は1件としてください。

※分娩前の入院日数は含みません。

		回答欄	留意点等
84	出産に係る入院時に妊産婦に一律に提供している物品等（自由記載）		分娩を伴う入院の際に追加料金なく提供している（入院料等に含まれている）物品等を記載してください。 例：新生児用おむつ、産褥ナプキン等
85	上記の妊産婦に一律に提供している物品等の合計金額		円
86	無痛分娩	a.実施	1.有 2.無
87		b.設定価格	円
88	付帯サービスの種類や有無、価格	お祝い膳	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
89		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
90		（前問で2を選択した場合）設定価格	円
91		写真撮影	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
92		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
93		（前問で2を選択した場合）設定価格	円
94		足形	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
95		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
96		（前問で2を選択した場合）設定価格	円
97		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有 2.無 3.妊産婦が選択
98		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ
99		（前問で2を選択した場合）設定価格	円
100	その他（自由記載）		
101	胎盤の処理		円
102	先天性代謝異常等検査	a.実施	1.有 2.無
103		b.設定価格	円
104	新生児聴覚検査	a.実施	1.有 2.無
105		b.設定価格	円
106		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無
107		d.（cで有の場合）自治体の補助額	円
108	ビタミンK2内服	a.実施	1.有 2.無
109		b.設定価格	円
110	新生児1か月健診	a.実施	1.有 2.無
111		b.設定価格	円
112		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無
113		d.（cで有の場合）自治体の補助額	円

1病棟・ユニット目

2－2．病棟票・ユニット票（3つ以上の病棟・ユニットを有する場合は、各病棟・ユニットごとに記載※5.6ページをコピーして記載ください。）

病棟及びユニットについてご回答ください。ユニットに関して、ユニットが病棟に属する場合、ユニット票 1 枚、病棟票（病棟内でユニットを除く部分） 1 枚の計 2 枚にご回答ください。また分娩棟など、分娩室やLDRのみを有し、当該棟のみで看護配置が行われている場合は、分娩棟として 1 枚ご回答ください。

（1）病棟・ユニット構成等 令和6年9月1日時点

		回答欄			
1	病棟・ユニットの病床数				床
2	病棟構成（いずれか 1 つ選択）	1.産科単独病棟 2.産科区域の特定がある混合病棟 3.混合病棟 4.産科のみで複数の病棟・ユニットに分かれている。			
3	（上記の間で 2、3 を選んだ場合のみ回答）産科以外の診療科で当てはまるものを選択してください。	1.婦人科 2.産科・婦人科以外の他科診療科 3.婦人科および他科診療科			
4	（2 の間で 4 を選んだ場合に回答）本回答用紙に当てはまる病棟・ユニット区分を選択してください。	1.妊婦用 2.褥婦用 3.分娩用 4.妊産婦用 5.MFICU用			
5	妊産婦が入院する部屋が全室個室の場合は「はい」を選択してください。		1.はい 2.いいえ		
6	病棟・ユニットの部屋の構成とその室料差額について病床数とその入院料＋室料差額の金額を記載してください。病床数が多い順に記載してください。	個室（パターン1）			床
7		一日あたりの料金			
8		個室（パターン2）			床
9		一日あたりの料金			
10		個室（パターン3）			床
11		一日あたりの料金			
12		個室（パターン4）			床
13		一日あたりの料金			
14		個室（パターン5）			床
15		一日あたりの料金			
16		2床室（パターン1）			床
17		一日あたりの料金			
18		2床室（パターン2）			床
19		一日あたりの料金			
20		3床室（パターン1）			床
21		一日あたりの料金			
22		3床室（パターン2）			床
23		一日あたりの料金			
24		4床室（パターン1）			床
25		一日あたりの料金			

留意点等

病床数を記載ください。分娩室・LDR室・陣痛室・新生児用ベッドを除き、産後ケア用ベッドは含めてください。ただし、産後ケア用ベッドと他のベッドで看護配置が分かれている場合には、別票に記載ください。

平時の状況を記載ください。（例えば、災害時や感染症拡大時等の運用は除きます）

1.妊産婦のみ入院する病棟の場合はこちらを選択してください。

2.妊娠を伴わない婦人科疾患の患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

3.妊娠を伴わず、婦人科疾患も伴わない（消化器疾患や循環器疾患等）患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

4. 例）妊婦用病棟、褥婦用病棟、分娩のみ行う病棟、MFICUなどに分かれている。

個室（特別室など含）、2床室、3～4床室、その他（5床室以上）に自費入院する際の、入院料＋室料差額を記載してください。

注1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。

注2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。

※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。

※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。

		回答欄		留意点等	
26		4 床室 (パターン 2)		床 円 床 円 床 円 床 円 床 円 床 円	個室（特別室など含）、2 床室、3 ～ 4 床室、その他（5 床室以上）に自費入院する際の、入院料 + 室料差額を記載してください。 注 1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。 注 2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。 ※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。 ※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。
27		一日あたりの料金			
28		5 床室 (パターン 1)			
29		一日あたりの料金			
30		5 床室 (パターン 2)			
31		一日あたりの料金			
32		6 床室 (パターン 1)			
33		一日あたりの料金			
34		6 床室 (パターン 2)			
35		一日あたりの料金			
36		() 床室※			
37		一日あたりの料金			

(2) 患者のべ数等 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 30 日)				
38	入院患者のべ数 (※)		人	※産後、母親が入院している期間に病院内にいる新生児は含まない。退院後、なんらかの理由で入院となった新生児は含む

(3) 病棟に配置されている職員数 (常勤数、非常勤の常勤換算) (令和 6 年 9 月 1 日時点)					
39	助産師	常勤		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
40		非常勤 (常勤換算)			助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
41	看護師	常勤		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
42		非常勤 (常勤換算)			看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
43	准看護師	常勤		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
44		非常勤 (常勤換算)			准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
45	看護補助者	常勤		人	看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている常勤職員
46		非常勤 (常勤換算)			看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
47	保育士	常勤		人	保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
48		非常勤 (常勤換算)			保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
49	医師事務作業補助者	常勤		人	医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている常勤職員
50		非常勤 (常勤換算)			医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている非常勤職員の常勤換算
51	その他の職員			人	

(4) オンコールの人数					
52	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	助産師		人	※整数値で回答してください。
53		看護師			
54	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	助産師		人	
55		看護師			

2病棟・ユニット目

2－2．病棟票・ユニット票（3つ以上の病棟・ユニットを有する場合は、各病棟・ユニットごとに記載※5.6ページをコピーして記載ください。）

病棟及びユニットについてご回答ください。ユニットに関して、ユニットが病棟に属する場合、ユニット票 1 枚、病棟票（病棟内でユニットを除く部分） 1 枚の計 2 枚にご回答ください。また分娩棟など、分娩室やLDRのみを有し、当該棟のみで看護配置が行われている場合は、分娩棟として 1 枚ご回答ください。

（1）病棟・ユニット構成等 令和6年9月1日時点

		回答欄			
1	病棟・ユニットの病床数				床
2	病棟構成（いずれか 1 つ選択）	1.産科単独病棟 2.産科区域の特定がある混合病棟 3.混合病棟 4.産科のみで複数の病棟・ユニットに分かれている。			
3	（上記の間で 2、3 を選んだ場合のみ回答）産科以外の診療科で当てはまるものを選択してください。	1.婦人科 2.産科・婦人科以外の他科診療科 3.婦人科および他科診療科			
4	（2 の間で 4 を選んだ場合に回答）本回答用紙に当てはまる病棟・ユニット区分を選択してください。	1.妊婦用 2.褥婦用 3.分娩用 4.妊産婦用 5.MFICU用			
5	妊産婦が入院する部屋が全室個室の場合は「はい」を選択してください。		1.はい 2.いいえ		
6	病棟・ユニットの部屋の構成とその室料差額について病床数とその入院料＋室料差額の金額を記載してください。病床数が多い順に記載してください。	個室（パターン1）			床
7		一日あたりの料金			
8		個室（パターン2）			床
9		一日あたりの料金			
10		個室（パターン3）			床
11		一日あたりの料金			
12		個室（パターン4）			床
13		一日あたりの料金			
14		個室（パターン5）			床
15		一日あたりの料金			
16		2床室（パターン1）			床
17		一日あたりの料金			
18		2床室（パターン2）			床
19		一日あたりの料金			
20		3床室（パターン1）			床
21		一日あたりの料金			
22		3床室（パターン2）			床
23		一日あたりの料金			
24		4床室（パターン1）			床
25		一日あたりの料金			

留意点等

病床数を記載ください。分娩室・LDR室・陣痛室・新生児用ベッドを除き、産後ケア用ベッドは含めてください。ただし、産後ケア用ベッドと他のベッドで看護配置が分かれている場合には、別票に記載ください。

平時の状況を記載ください。（例えば、災害時や感染症拡大時等の運用は除きます）

1.妊産婦のみ入院する病棟の場合はこちらを選択してください。

2.妊娠を伴わない婦人科疾患の患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

3.妊娠を伴わず、婦人科疾患も伴わない（消化器疾患や循環器疾患等）患者と妊産婦が入院する病棟が同じ場合はこちらを選択してください。

4. 例）妊婦用病棟、褥婦用病棟、分娩のみ行う病棟、MFICUなどに分かれている。

個室（特別室など含）、2床室、3～4床室、その他（5床室以上）に自費入院する際の、入院料＋室料差額を記載してください。

注1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。

注2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。

※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。

※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。

		回答欄		留意点等	
26		4 床室 (パターン 2)		床 円 床 円 床 円 床 円 床 円 床 円	個室（特別室など含）、2 床室、3 ～ 4 床室、その他（5 床室以上）に自費入院する際の、入院料 + 室料差額を記載してください。 注 1：室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。 注 2：妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦 1 名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。 ※上記に当てはまらない場合は36に記載してください。例 （8）床室。 ※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。
27		一日あたりの料金			
28		5 床室 (パターン 1)			
29		一日あたりの料金			
30		5 床室 (パターン 2)			
31		一日あたりの料金			
32		6 床室 (パターン 1)			
33		一日あたりの料金			
34		6 床室 (パターン 2)			
35		一日あたりの料金			
36		() 床室※			
37		一日あたりの料金			

(2) 患者のべ数等（令和 6 年 9 月 1 日～9 月 30 日）				
38	入院患者のべ数（※）		人	※産後、母親が入院している期間に病院内にいる新生児は含まない。退院後、なんらかの理由で入院となった新生児は含む

(3) 病棟に配置されている職員数（常勤数、非常勤の常勤換算） （令和 6 年 9 月 1 日時点）					
39	助産師	常勤		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
40		非常勤 (常勤換算)			助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
41	看護師	常勤		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
42		非常勤 (常勤換算)			看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
43	准看護師	常勤		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
44		非常勤 (常勤換算)			准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
45	看護補助者	常勤		人	看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている常勤職員
46		非常勤 (常勤換算)			看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
47	保育士	常勤		人	保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
48		非常勤 (常勤換算)			保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
49	医師事務作業補助者	常勤		人	医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている常勤職員
50		非常勤 (常勤換算)			医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を行っている非常勤職員の常勤換算
51	その他の職員			人	

(4) オンコールの人数					
52	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	助産師		人	※整数値で回答してください。
53		看護師			
54	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	助産師		人	
55		看護師			

3－1．外来概要

令和6年9月1日時点

(1) 外来体制

a.人員配置（常勤職員数＋常勤換算された非常勤職員数）

※病棟と独立して外来に人員配置している場合についてのみご回答ください。病棟に配置されている職員が外来業務を兼務している場合は、病棟票で回答いただいているため、ここでは対象外とします。

	回答欄	留意点等
1 助産師		人 人 人 人 人 人
2 看護師		
3 准看護師		
4 看護補助者		
5 医師事務作業補助者		
6 その他の職員		

※ 1 常勤とは、貴施設で定められた勤務時間をすべて勤務する者をいいます。ただし、貴施設で定めた 1 週間の勤務時間が 32 時間未満の場合は、32 時間以上勤務している者を常勤として計上し、その他は非常勤としてください。
※ 2 非常勤とは、貴施設と雇用関係にあつて※ 1 の常勤でない職員としてください。貴院の 1 週間の所定労働時間を基本として、下記のように常勤換算して小数点第一位まで（小数点第二位を四捨五入）をご記入ください。
例 1：1 週間の通常の勤務時間が 40 時間の病院で、週 2 日（各日 3 時間）勤務の看護師が 1 人と、週 3 日（各日 5 時間）勤務の看護師が 2 人いる場合（所定の勤務時間数を超えて行われた時間外勤務は含みません）
非常勤看護師数＝{（2 日×3 時間×1 人）＋（3 日×5 時間×2 人）}／40 時間＝0.9 人
なお、非常勤職員が月単位で管理をされている場合には、1 か月の所定労働時間を用いて、1 か月の勤務時間について常勤換算して計上してください。
例 2：1 週間の勤務を 28 時間としている場合、常勤勤務の看護師が 1 名、週 2 日（各日 4 時間）勤務の看護師が 2 名いる場合、看護師数＝{（2 8 時間×1 人）＋（2 日×4 時間×2）}／32 時間＝1.4 人

(2) 外来の状況

1	一日当たりの平均妊婦健診数 （令和 6 年 9 月 1 日～30 日の 1 ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診を除きます。妊婦健診数のため、疾病等により保険診療として行ったものは除いてください。
2	1のうちの平均助産師外来受診数 （令和 6 年 9 月 1 日～30 日の 1 ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診を除きます。
3	一日当たりの平均産婦健診数 （令和 6 年 9 月 1 日～30 日の 1 ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診数を記載ください。産婦健診数のため、疾病等により保険診療として行ったものは除いてください。
4	3のうちの平均助産師外来受診数 （令和 6 年 9 月 1 日～30 日の 1 ヶ月平均）		人	産婦（産褥婦）に対する健診数を記載ください。

※ 1 から 4 の平均数は、9 月 1 日～30 日の総数を、外来実施日数で割った数を、小数点第一位（小数点第二位を四捨五入）で求めてください。
なお、半日の外来の日は 0.5 として数えてください。
水曜が休診、土曜が午後休診、日曜・祝日が休診の場合、分母は、1×15 日＋0.5×4 日＝17 日（9 月 16 日、23 日を祝日としております。）

3－2．補助

(1) 妊婦健診

	回答欄	留意点等
1	妊婦の初回受診(妊婦健診の対象とならない妊娠確認のための受診)に係る費用の平均額	円 令和 6 年 9 月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦の初回受診(妊婦健診の対象とならない妊娠確認のための受診)の費用（診察料を含む）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された 4 人について、それぞれ初回受診の費用が 8000 円、10000 円、10000 円、14000 円だった場合、 （8000＋10000＋10000＋14000）/4＝10500 円
2	妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数	回 令和 6 年 9 月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診として受診した平均的な回数を小数点 1 桁までお答えください。 例：分娩された 4 人について、それぞれ妊婦健診の回数が 12 回、13 回、14 回、15 回だった場合、 （12＋13＋14＋15）/4＝13.5 回
3	妊婦の平均的な妊婦健診の費用の合計額	円 令和 6 年 9 月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診の費用（自治体で補助される費用も含みます）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された 4 人について、それぞれ妊婦健診の費用が 10 万円、11 万円、12 万円、13 万円だった場合、 （10＋11＋12＋13）/4＝11.5 万円
4	3のうち、自治体の補助を除いた、平均的な妊婦の窓口負担の合計額	円 3のうち、自治体の補助を除いた、窓口での妊婦への請求額の平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。
5	3のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれない健診項目の費用の合計額	円 3のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれる項目を除いた健診項目の費用の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。

※妊婦健診の望ましい基準

【厚生労働省「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」に示されている項目】

- 1 .超音波検査（4 回） 2 .血液型等の検査（ABO 血液型、Rh 血液型及び不規則抗体に係るもの） 3 .B 型肝炎抗原検査
4 .C 型肝炎抗体検査 5 .HIV 抗体検査 6 .梅毒血清反応検査 7 .風疹ウイルス抗体検査 8 .血糖検査 9 .血算検査
10 .HTLV-1 抗体検査 11 .子宮頸がん検診 12 .性器クラミジア検査 13 .B 群溶血性レンサ球菌検査

3－3．各健診等における内容・費用

(1) 各健診等

a. 妊婦健診において所在地自治体の補助に含まれない検査で、基礎疾患のない一般的な妊婦に対して実施している項目（保険診療を除く）

	項目	費用	回数
1		円	回
2		円	回
3		円	回
4		円	回
5		円	回

例) 超音波検査・血糖検査・血算検査（助成回数を超える分）、トキソプラズマ検査、サイトメガロウイルス検査、麻疹ウイルス抗体検査、NSTなど

b. 妊婦健診以外の妊婦を対象とした診察・ケア（保険診療を除く）

	項目	費用	1か月間の 外来人数
6		円	人
7		円	人
8		円	人

留意点

※ 1 令和 6 年 9 月の1か月間の人数

※ 2 胎児超音波外来、ハイリスク外来（多胎、合併症等）、出生前検査に関する外来、周産期麻酔外来など、通常の妊婦健診を行う外来以外の、妊産婦に係る専門的な外来の標準的な費用を記載してください。

※ 3 妊婦健診と同時に行っている場合には、妊婦健診分の費用を除く。

※ 4 妊婦の選択等により、費用が大きく差がある（概ね5,000円以上）場合は、選択数が多い2つを①、②として記載ください。 例:出生前検査に関する外来①、出生前検査に関する外来②

例) NIPTなどの出生前検査、4D超音波など

c. 産婦健診 ※行っていない場合は、空欄としてください。

		産婦健診費用①	自治体の 補助・助成の有 無	(1.有の場合) 自治体の補助額② ※所在自治体との委託契約の 内容を基に回答ください	産婦への請求 (①-②)	検査項目 ※該当する番号を全てお書き ください。 1.血圧 2.体重 3.尿検査 4.内診 5.超音波検査 6.採血 7.メンタルヘルスの評価	左記の選択肢にない検査項目
9	分娩後2週間頃	円	1.有 2.無	円	円		
10	分娩後4週間頃	円	1.有 2.無	円	円		
11	その他 (分娩後()週間頃)	円	1.有 2.無	円	円		

d. 産婦健診以外の産婦を対象とした診察・ケア（保険診療・産後ケアを除く）

	項目	費用	1ヶ月間の 外来人数
12		円	人
13		円	人
14		円	人

(2)産後ケア

15	産後ケアの実施の有無		1.有 2.無
16	産後ケアの実施が有の場合	短期入所型（ショートステイ型）	1.有 2.無
17		通所型（デイサービス型）	1.有 2.無
18		居宅訪問型（アウトリーチ型）	1.有 2.無

	項目※行っていない場合は、空欄としてください。		費用	1ヶ月間の延べ利用者数*	
19	短期入所型（ショートステイ型）	1泊2日	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）、1泊2日利用した場合の費用（利用者の自己負担と自治体からの補助の合計）を記載してください。 ・延べ利用人数については、例えば3泊4日利用した場合は4人として計上してください。
20	通所型（デイサービス型）	1日	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。 ・利用者数については、市町村からの委託を受けて実施している分と市町村からの委託を受けて実施している分と、それ以外で実施している分を合わせて計上してください。
21		半日	円	人	・1日利用とは別に、半日利用の費用を設定している場合に記載ください。
22	居宅訪問型（アウトリーチ型）	1回	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。 ・利用者数については、市町村からの委託を受けて実施している分と市町村からの委託を受けて実施している分と、それ以外で実施している分を合わせて計上してください。

* 令和 6 年 9 月1日から令和 6 年 9 月30日の数値をご記入ください。

調査へのご協力ありがとうございました。現在、「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」において、妊娠・出産・産後に関する様々な支援等の更なる強化の方向性について議論が行われています。この議論に関して、ご意見があれば以下に記載をお願いします。

(自由記述欄)

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（B票）
病棟票・ユニット票（3つ以上の病棟・ユニットを有する場合は、各病棟・ユニットごとに記載※各ページをコピーして記載ください。）

ID

1. 看護職（助産師、看護師、准看護師）の従事時間等

- ※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。
- ※「ケア」には、合併症のある産婦への投薬や異常分娩の対応等の診療の補助業務も含まれます。
- ※各事項に関する直接のケア以外の対応（記録や電話相談等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。
- ※病棟師長等、専ら管理業務に従事する看護職員は回答には含めないようにしてください。

1病棟・ユニット目

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いしたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。その場合、右の欄にチェックを御願います。

☐月曜日から日曜日の1週間で回答

回答欄				留意点等	
1	病棟（ユニット）における、産科の患者の入院割合（概算）	9月1日～30日の1か月の割合		割合	9月1日～30日の1か月における、病棟（ユニット）の全入院患者数のうちの産科以外の患者（他科患者）の割合（0～10割）を概算で記載してください。
2	全看護職の総労働時間数	9月1日～30日の1か月の総労働時間数	aからIを足しあげた数値に一致		
3	分娩期のケア	全看護職の分娩期のケアに従事した時間数	a	時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全看護職の総労働時間のトータルのべ時間を記載してください。例えば、看護職20名で1日8時間で20日間ずっと従事した場合は、20×8×20＝3200時間 また、この欄の数字は、aからIを足した数値となります。記載の際は必ず一致することを計算してご確認お願いいたします。
4		（うち）助産師が分娩期のケアに従事した時間数	(aのうち)	時間	
5	産褥入院中（新生児含む）のケア（授乳、育児等の保健指導を含む）	全看護職の産褥入院中（新生児含む）のケアに従事した時間数	b	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の分娩期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
6		（うち）助産師が産褥入院中（新生児含む）に従事した時間数	(bのうち)	時間	
7	入院中の妊婦のケア（妊婦健康診査や保健指導を含む）	全看護職の入院中の妊婦のケアに従事した時間数	c	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の入院中の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
8		（うち）助産師が入院中の妊婦のケアに従事した時間数	(cのうち)	時間	
9	外来の妊婦のケア（妊婦健康診査や保健指導を含む）	全看護職の外来の妊婦のケアに従事した時間数	d	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の入院中の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
10		（うち）助産師が外来の妊婦のケアに従事した時間数	(dのうち)	時間	
11	産婦健康診査（産後1か月までの褥婦と新生児）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
12		9月1日～30日の1か月の実施件数			
13		全看護職の産婦健康診査に従事した時間数	e		
14		（うち）助産師が産婦健康診査に従事した時間数	(eのうち)		
15	妊婦やパートナーを対象とした妊娠期の集団指導（母親学級・両親学級、エクササイズ等）（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
16		9月1日～30日の1か月の実施件数			
17		全看護職の妊娠期の集団指導に従事した時間数	f		
18		（うち）助産師が妊娠期の集団指導に従事した時間数	(fのうち)	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の妊娠期の集団指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
19	妊婦への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
20		9月1日～30日の1か月の実施件数			
21		全看護職の妊婦への訪問指導に従事した時間数	g		
22		（うち）助産師が妊婦への訪問指導に従事した時間数	(gのうち)		
23	乳児家庭全戸訪問事業（※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
24		9月1日～30日の1か月の実施件数			
25		全看護職の乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	h		
26		（うち）助産師が乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	(hのうち)		
27	褥婦、新生児への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
28		9月1日～30日の1か月の実施件数			
29		全看護職の褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	i		
30		（うち）助産師が褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	(iのうち)		

回答欄			留意点等		
31	産前・産後サポート事業 (※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの)	実施有無	1.有 2.無	件 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。
32		9月1日～30日の1か月の実施件数			
33		全看護職の産前・産後サポート事業に従事した時間数	j		
34		(うち) 助産師が産前・産後サポート事業に従事した時間数	(jのうち)		
35	産後ケア (※市町村からの委託や補助を受けて実施する産後ケア事業と、自費での産後ケアの双方を含む)	実施有無	1.有 2.無	件 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
36		9月1日～30日の1か月の実施件数			
37		全看護職の産後ケアに従事した時間数	k		
38		(うち) 助産師が産後ケアに従事した時間数	(kのうち)		
39	その他	実施有無	1.有 2.無	時間	その他の業務内容について自由に記載してください。 例) 他科患者の看護業務等 9月1日～30日の1か月の全看護職のその他の業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
40		その他の業務の内容 (自由記載)			
41		全看護職のその他の業務に従事した時間数	l		

2. 医師の従事時間等

※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。
※各事項に関する直接の診療以外（記録や電話連絡等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。その場合、右の欄にチェックを御願います。			☐ 月曜日から日曜日の1週間で回答		
回答欄			留意点等		
1	分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数	aからdを足しあげた数値に一致	名 名 名 名 名	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数（実数）を記載してください。
2		(うち) 産婦人科医師数	a		
3		(うち) 小児科・新生児科医師数	b		
4		(うち) 麻酔科医師数	c		
5		(うち) 上記以外の診療科医師数	d		
6	分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	eからhを足しあげた数値に一致	時間 時間 時間 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全医師の分娩期の産婦の診療業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
7		(うち) 産婦人科医師	e		
8		(うち) 小児科・新生児科医師	f		
9		(うち) 麻酔科医師	g		
10		(うち) 上記以外の診療科医師	h		
11	産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師数	9月1日～30日の1か月に産褥期の褥婦の診療業務に従事した全医師数	iからlを足しあげた数値に一致	名 名 名 名 名	9月1日～30日の1か月に産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師数（実数）を記載してください。
12		(うち) 産婦人科医師数	i		
13		(うち) 小児科・新生児科医師数	j		
14		(うち) 麻酔科医師数	k		
15		(うち) 上記以外の診療科医師数	l		
16	産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	9月1日～30日の1か月に産褥期の褥婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	mからpを足しあげた数値に一致	時間 時間 時間 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全医師の産褥期の褥婦の診療業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
17		(うち) 産婦人科医師	m		
18		(うち) 小児科・新生児科医師	n		
19		(うち) 麻酔科医師	o		
20		(うち) 上記以外の診療科医師	p		

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（B票）
病棟票・ユニット票（3つ以上の病棟・ユニットを有する場合は、各病棟・ユニットごとに記載※各ページをコピーして記載ください。）

1. 看護職（助産師、看護師、准看護師）の従事時間等

※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。
※「ケア」には、合併症のある産婦への投薬や異常分娩の対応等の診療の補助業務も含まれます。
※各事項に関する直接のケア以外の対応（記録や電話相談等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。
※病棟師長等、専ら管理業務に従事する看護職員は回答には含めないようにしてください。

2病棟・ユニット目

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いしたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。 その場合、右の欄にチェックを御願います。	☐ 月曜日から日曜日の1週間で回答
---	--

回答欄				留意点等			
1	病棟（ユニット）における、産科の患者の入院割合（概算）	9月1日～30日の1か月の割合（概算）		割	9月1日～30日の1か月における、病棟（ユニット）の全入院患者数のうちの産科以外の患者（他科患者）の割合（0～10割）を概算で記載してください。		
2	全看護職の総労働時間数	9月1日～30日の1か月の総労働時間数	aからを足しあげた数値に一致		時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全看護職の総労働時間のトータルのべ時間を記載してください。例えば、看護職20名で1日8時間で20日間ずつ従事した場合は、20×8×20＝3200時間 また、この欄の数字は、aからを足した数値となります。記載の際は必ず一致することを計算してご確認お願いいたします。	
3	分娩期のケア	全看護職の分娩期のケアに従事した時間数	a		時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の分娩期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。	
4		（うち）助産師が分娩期のケアに従事した時間数	（aのうち）		時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の分娩期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。	
5	産褥入院中（新生児含む）のケア（授乳、育児等の保健指導を含む）	全看護職の産褥入院中（新生児含む）のケアに従事した時間数	b	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産褥入院中（新生児期含む）のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。		
6		（うち）助産師が産褥入院中（新生児含む）に従事した時間数	（bのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産褥入院中（新生児期含む）のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。		
7	入院中の妊婦のケア（妊婦健康診査や保健指導を含む）	全看護職の入院中の妊婦のケアに従事した時間数	c	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の入院中の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。		
8		（うち）助産師が入院中の妊婦のケアに従事した時間数	（cのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の入院中の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。		
9	外来の妊婦のケア（妊婦健康診査や保健指導を含む）	全看護職の外来の妊婦のケアに従事した時間数	d	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の外来の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。		
10		（うち）助産師が外来の妊婦のケアに従事した時間数	（dのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の外来の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。		
11	産婦健康診査（産後1か月までの褥婦と新生児）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。		
12		9月1日～30日の1か月の実施件数					
13		全看護職の産婦健康診査に従事した時間数	e			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産婦健康診査に従事したのべ時間を積算して記載してください。
14		（うち）助産師が産婦健康診査に従事した時間数	（eのうち）			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産婦健康診査に従事したのべ時間を積算して記載してください。
15	妊婦やパートナーを対象とした妊娠期の集団指導（母親学級・両親学級、エクササイズ等）（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。		
16		9月1日～30日の1か月の実施件数					
17		全看護職の妊娠期の集団指導に従事した時間数	f			時間	9月1日～30日の1か月あたりの看護職の妊娠期の集団指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
18		（うち）助産師が妊娠期の集団指導に従事した時間数	（fのうち）			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の妊娠期の集団指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
19	妊婦への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。		
20		9月1日～30日の1か月の実施件数					
21		全看護職の妊婦への訪問指導に従事した時間数	g			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
22		（うち）助産師が妊婦への訪問指導に従事した時間数	（gのうち）			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
23	乳児家庭全戸訪問事業（※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。		
24		9月1日～30日の1か月の実施件数					
25		全看護職の乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	h			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の乳児家庭全戸訪問事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。
26		（うち）助産師が乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	（hのうち）			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の乳児家庭全戸訪問事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。
27	褥婦、新生児への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。		
28		9月1日～30日の1か月の実施件数					
29		全看護職の褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	i			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の褥婦、新生児への訪問指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
30		（うち）助産師が褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	（iのうち）			時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の褥婦、新生児への訪問指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。

回答欄			留意点等		
31	産前・産後サポート事業 (※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの)	実施有無	1.有 2.無	件 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。
32		9月1日～30日の1か月の実施件数			
33		全看護職の産前・産後サポート事業に従事した時間数	j		
34		(うち) 助産師が産前・産後サポート事業に従事した時間数	(jのうち)		
35	産後ケア (※市町村からの委託や補助を受けて実施する産後ケア事業と、自費での産後ケアの双方を含む)	実施有無	1.有 2.無	件 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
36		9月1日～30日の1か月の実施件数			
37		全看護職の産後ケアに従事した時間数	k		
38		(うち) 助産師が産後ケアに従事した時間数	(kのうち)		
39	その他	実施有無	1.有 2.無	時間	その他の業務内容について自由に記載してください。 例) 他科患者の看護業務等 9月1日～30日の1か月の全看護職のその他の業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
40		その他の業務の内容 (自由記載)			
41		全看護職のその他の業務に従事した時間数	l		

2. 医師の従事時間等

※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。
※各事項に関する直接の診療以外（記録や電話連絡等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いしたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。その場合、右の欄にチェックを御願います。			☐ 月曜日から日曜日の1週間で回答		
回答欄			留意点等		
1	分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数	aからdを足しあげた数値に一致	名 名 名 名 名	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数（実数）を記載してください。
2		(うち) 産婦人科医師数	a		
3		(うち) 小児科・新生児科医師数	b		
4		(うち) 麻酔科医師数	c		
5		(うち) 上記以外の診療科医師数	d		
6	分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	eからhを足しあげた数値に一致	時間 時間 時間 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全医師の分娩期の産婦の診療業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
7		(うち) 産婦人科医師	e		
8		(うち) 小児科・新生児科医師	f		
9		(うち) 麻酔科医師	g		
10		(うち) 上記以外の診療科医師	h		
11	産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師数	9月1日～30日の1か月に産褥期の褥婦の診療業務に従事した全医師数	iからlを足しあげた数値に一致	名 名 名 名 名	9月1日～30日の1か月に産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師数（実数）を記載してください。
12		(うち) 産婦人科医師数	i		
13		(うち) 小児科・新生児科医師数	j		
14		(うち) 麻酔科医師数	k		
15		(うち) 上記以外の診療科医師数	l		
16	産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	9月1日～30日の1か月に産褥期の褥婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	mからpを足しあげた数値に一致	時間 時間 時間 時間 時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全医師の産褥期の褥婦の診療業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
17		(うち) 産婦人科医師	m		
18		(うち) 小児科・新生児科医師	n		
19		(うち) 麻酔科医師	o		
20		(うち) 上記以外の診療科医師	p		

3. 患者票

1事例目

産婦の選択の方法：

①本調査票到着日を0日として、7日目（7日目が休日にあたる場合はその次の平日）以降に初めて入院された産婦を**1例目**として記載をお願いします。

②1例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**2例目**として記載をお願いいたします。

③2例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**3例目**として記載をお願いいたします。

患者票は前向き調査をお願いしています。

指定の年月日にあった入院については分娩が伴わない場合（前駆陣痛等の自費診療による入院であって、胎動減少等の保険診療を目的とした入院は除く）でもそのまま記載をお願いします。

(1) 産婦の概要

回答欄			留意点等
1	年齢		歳 対象となる産婦の入院日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県	
3		市区町村	
4	身長		cm 産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重		kg 産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量		kg 入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	出産時の妊娠週数		週 日 出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	出産経験(いずれか1つ選択)		1.初産 2.経産
9	在院日数 (入院日及び退院日を含める)		日 入院してから退院までの日数を記載してください。 ※入院日及び退院日も含めてください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの日数を記載してください。 ※保険診療、自費診療は関係なく、入院した日数を記載してください。
10	既往歴 (自由記載)		
11	産科合併症 (HDPやGDMなど) (自由記載)		
12	出生前の胎児異常の診断の有無		1.有 2.無 出生前に心奇形等の診断を受けている場合にはありを選択してください。
13	社会的ハイリスクへの該当		1.有 2.無 社会的ハイリスクについては、貴施設の判断で記載ください。

(2) 分娩の概要

14	入院の経緯(いずれか1つ選択)		1.陣痛発来 2.前期破水 3.計画分娩 4.無痛分娩目的 5.その他（ ）		入院となった経緯を記載してください。
15	分娩時間	第 1 期		時間 分	分娩第 1 期の時間を記載してください。
16		第 2 期		時間 分	分娩第 2 期の時間を記載してください。
17		第 3 期		時間 分	分娩第 3 期の時間を記載してください。
18	入院から分娩第 3 期終了までの時間			時間 分	入院から分娩第 3 期終了までの時間を記載してください。
19	第 3 期終了から帰室までの時間			時間 分	第 3 期終了から、入院する病室へ移動するまでの時間を記載してください。

(3) 医療行為

a.分娩時

20	子宮頸管拡張	1.有 2.無	日	子宮頸管拡張を行った場合は有を選択してください。
21	上記の子宮頸管拡張を行う場合の使用薬剤等 (ラミナリア、ミニメトロ、プロウペス等)			複数使用している場合はその名称と使用した個数を記載してください。
22	上記の子宮頸管拡張に係った日数			子宮頸管拡張のみを行った日数を記載してください。
23	感染予防の抗菌薬内服	1.有 2.無	日	分娩の際に子宮内感染の予防目的で抗菌薬の点滴を行った場合は有を選択してください。（母体のGBS感染に対する抗菌薬投与は含めません。）
24	感染予防の抗菌薬点滴	1.有 2.無		
25	血管確保	1.有 2.無		
26	陣痛促進	1.有 2.無		
27	陣痛誘発	1.有 2.無		
28	陣痛促進・誘発時の使用薬剤名			
29	会陰切開	1.有 2.無		
30	会陰縫合	1.有 2.無	会陰縫合を行った際には有を選択してください。	

			回答欄	留意点等
b.入院中				
31	退院診察	日程	産後()日目	
32		内診	1.有 2.無	
33		経膣超音波	1.有 2.無	
34		採血検査の項目		
35		尿検査	1.有 2.無	
(4) 入院中の助産ケア				
36	母子同室の有無		1.有 2.無	
37	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な 1 日あたりの回数		
38		1 入院あたりの合計回数		
39		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
40		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
41	個別の乳房・乳頭のケア（乳房マッサージ等）	平均的な 1 日あたりの回数		
42		1 入院あたりの合計回数		
43		1 回あたりの時間		
44	沐浴指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数		
45		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
46		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
47	調乳指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数		
48		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
49		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
50	育児技術に係る指導にかかる時間（延べ時間）			
51	退院指導にかかる時間			
52	上記以外に行っている指導の内容（自由記載）			
(5) 付帯サービス				
53	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無	
54		写真撮影	1.有 2.無	
55		足形	1.有 2.無	
56		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有 2.無	
57		その他（自由記載）		

複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。

入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。

個別指導及び集団指導を含みます。

産後授乳指導の時間の 1 回あたりの平均時間を記載ください。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

(6) 新生児関連

a.新生児の概要

58	出生時の体重		g	出生時の体重を記載してください。
59	在院日数（出生及び退院日を含める）		日	出生日から退院日までの日数を記載してください。

b.新生児へ提供した医療等

60	新生児の診察	小児科医による診察日数（入院中に限る）		日	小児科医師により診察が行われた日数を記載してください。
61		産科医による診察日数（入院中に限る）		日	
62	検査等	採血検査の項目	1.有 2.無		
63		黄疸検査	1.有 2.無		
64		出生直後血糖測定対象かどうか	1.対象 2.対象外		
65		SpO2モニター装着（出生直後等）	1.有 2.無		
66		アプニアセンサー装着	1.有 2.無		
67		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無		
68		新生児聴覚検査	1.有 2.無		
69		その他新生児へ提供した検査等	(自由記載)		
70	治療等	保育器収容（酸素投与のため）	1.有 2.無		
71		保育器収容（保温のため）	1.有 2.無		
72		光線療法	1.有 2.無		
73		ワクチン接種	1.有 2.無		
74		その他新生児へ提供した治療等	(自由記載)		
75	新生児への処置・ケア（臍処置、沐浴）	臍処置	1.有 2.無		
76		皮膚ケア	1.有 2.無		
77		ビタミンK2内服	1.有 2.無		
78		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）		回	
79		その他新生児へ提供した処置・ケア	(自由記載)		

(7) 費用

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書への記載内容を記載してください。

80	入院料		円
81	室料差額		円
82	分娩介助料		円
83	分娩料		円
84	新生児管理保育料		円
85	検査・薬剤料		円
86	処置・手当料		円
87	産科医療保障制度の掛金		円
88	その他		円
89	一部負担金等		円
90	産婦合計負担額		円
91	代理受取額		円

3. 患者票

2事例目

産婦の選択の方法：

①本調査票到着日を0日として、7日目（7日目が休日にあたる場合はその次の平日）以降に初めて入院された産婦を**1例目**として記載をお願いします。

②1例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**2例目**として記載をお願いいたします。

③2例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**3例目**として記載をお願いいたします。

患者票は前向き調査をお願いしています。

指定の年月日にあった入院については分娩が伴わない場合（前駆陣痛等の自費診療による入院であって、胎動減少等の保険診療を目的とした入院は除く）でもそのまま記載をお願いします。

(1) 産婦の概要

回答欄			留意点等
1	年齢		対象となる産婦の入院日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県	里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。 注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。
3		市区町村	
4	身長		産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重		産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量		入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	出産時の妊娠週数	週 日	出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	出産経験(いずれか1つ選択)	1.初産 2.経産	入院してから退院までの日数を記載してください。 ※入院日及び退院日も含めてください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの日数を記載してください。 ※保険診療、自費診療は関係なく、入院した日数を記載してください。
9	在院日数 (入院日及び退院日を含める)		
10	既往歴 (自由記載)		
11	産科合併症 (HDPやGDMなど) (自由記載)		
12	出生前の胎児異常の診断の有無	1.有 2.無	
13	社会的ハイリスクへの該当	1.有 2.無	出生前に心奇形等の診断を受けている場合にはありを選択してください。
			社会的ハイリスクについては、貴施設の判断で記載ください。

(2) 分娩の概要

14	入院の経緯(いずれか1つ選択)		1.陣痛発来 2.前期破水 3.計画分娩 4.無痛分娩目的 5.その他（ ）		入院となった経緯を記載してください。
15	分娩時間	第 1 期		時間 分	分娩第 1 期の時間を記載してください。
16		第 2 期		時間 分	分娩第 2 期の時間を記載してください。
17		第 3 期		時間 分	分娩第 3 期の時間を記載してください。
18	入院から分娩第 3 期終了までの時間			時間 分	入院から分娩第 3 期終了までの時間を記載してください。
19	第 3 期終了から帰室までの時間			時間 分	第 3 期終了から、入院する病室へ移動するまでの時間を記載してください。

(3) 医療行為

a.分娩時

20	子宮頸管拡張	1.有 2.無	日	子宮頸管拡張を行った場合は有を選択してください。
21	上記の子宮頸管拡張を行う場合の使用薬剤等 (ラミナリア、ミニメトロ、プロウベス等)			複数使用している場合はその名称と使用した個数を記載してください。
22	上記の子宮頸管拡張に係った日数			子宮頸管拡張のみを行った日数を記載してください。
23	感染予防の抗菌薬内服	1.有 2.無	日	分娩の際に子宮内感染の予防目的で抗菌薬の点滴を行った場合は有を選択してください。（母体のGBS感染に対する抗菌薬投与は含めません。）
24	感染予防の抗菌薬点滴	1.有 2.無		
25	血管確保	1.有 2.無		
26	陣痛促進	1.有 2.無		
27	陣痛誘発	1.有 2.無		
28	陣痛促進・誘発時の使用薬剤名			
29	会陰切開	1.有 2.無		
30	会陰縫合	1.有 2.無	会陰縫合を行った際には有を選択してください。	

			回答欄	留意点等
b.入院中				
31	退院診察	日程	産後()日目	
32		内診	1.有 2.無	
33		経膣超音波	1.有 2.無	
34		採血検査の項目		
35		尿検査	1.有 2.無	
(4) 入院中の助産ケア				
36	母子同室の有無		1.有 2.無	
37	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な 1 日あたりの回数		
38		1 入院あたりの合計回数		
39		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
40		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
41	個別の乳房・乳頭のケア（乳房マッサージ等）	平均的な 1 日あたりの回数		
42		1 入院あたりの合計回数		
43		1 回あたりの時間		
44	沐浴指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数		
45		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
46		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
47	調乳指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数		
48		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
49		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
50	育児技術に係る指導にかかる時間（延べ時間）			
51	退院指導にかかる時間			
52	上記以外に行っている指導の内容（自由記載）			
(5) 付帯サービス				
53	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無	
54		写真撮影	1.有 2.無	
55		足形	1.有 2.無	
56		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有 2.無	
57		その他（自由記載）		

複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。

入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。

個別指導及び集団指導を含みます。

産後授乳指導の時間の 1 回あたりの平均時間を記載ください。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

(6) 新生児関連

a.新生児の概要

回答欄

留意点等

58	出生時の体重		g	出生時の体重を記載してください。
59	在院日数（出生及び退院日を含める）		日	出生日から退院日までの日数を記載してください。

b.新生児へ提供した医療等

60	新生児の診察	小児科医による診察日数 （入院中に限る）		日	小児科医師により診察が行われた日数を記載してください。
61		産科医による診察日数 （入院中に限る）		日	
62	検査等	採血検査の項目	1.有 2.無		
63		黄疸検査	1.有 2.無		
64		出生直後血糖測定対象かどうか	1.対象 2.対象外		
65		SpO2モニター装着 （出生直後等）	1.有 2.無		
66		アプニアセンサー装着	1.有 2.無		
67		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無		
68		新生児聴覚検査	1.有 2.無		
69		その他新生児へ提供した検査等	（自由記載）		
70	治療等	保育器収容 （酸素投与のため）	1.有 2.無		
71		保育器収容（保温のため）	1.有 2.無		
72		光線療法	1.有 2.無		
73		ワクチン接種	1.有 2.無		
74		その他新生児へ提供した治療等	（自由記載）		
75	新生児への処置・ケア（臍処置、沐浴）	臍処置	1.有 2.無		
76		皮膚ケア	1.有 2.無		
77		ビタミンK2内服	1.有 2.無		
78		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）		回	
79		その他新生児へ提供した処置・ケア	（自由記載）		

(7) 費用

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書への記載内容を記載してください。

80	入院料		円
81	室料差額		円
82	分娩介助料		円
83	分娩料		円
84	新生児管理保育料		円
85	検査・薬剤料		円
86	処置・手当料		円
87	産科医療保障制度の掛金		円
88	その他		円
89	一部負担金等		円
90	産婦合計負担額		円
91	代理受取額		円

3. 患者票

3事例目

産婦の選択の方法：
①本調査票到着日を0日として、7日目（7日目が休日にあたる場合はその次の平日）以降に初めに入院された産婦を**1例目**として記載をお願いします。
②1例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**2例目**として記載をお願いいたします。
③2例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**3例目**として記載をお願いいたします。
患者票は前向き調査をお願いしています。
指定の年月日にあった入院については分娩が伴わない場合（前駆陣痛等の自費診療による入院であって、胎動減少等の保険診療を目的とした入院は除く）でもそのまま記載をお願いします。

(1) 産婦の概要

		回答欄		留意点等
1	年齢		歳	対象となる産婦の入院日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県		里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。 注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。 産婦の身長を記載してください。
3		市区町村		
4	身長		cm	産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重		kg	産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量		kg	入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	出産時の妊娠週数		週 日	出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	出産経験(いずれか1つ選択)		1.初産 2.経産	
9	在院日数 (入院日及び退院日を含める)		日	入院してから退院までの日数を記載してください。 ※入院日及び退院日も含めてください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの日数を記載してください。 ※保険診療、自費診療は関係なく、入院した日数を記載してください。
10	既往歴（自由記載）			
11	産科合併症（HDPやGDMなど） (自由記載)			
12	出生前の胎児異常の診断の有無		1.有 2.無	出生前に心奇形等の診断を受けている場合には有を選択してください。
13	社会的ハイスクへの該当		1.有 2.無	社会的ハイスクについては、貴施設の判断で記載ください。

(2) 分娩の概要

14	入院の経緯(いずれか1つ選択)	1.陣痛発来 2.前期破水 3.計画分娩 4.無痛分娩目的 5.その他（ ）		入院となった経緯を記載してください。
15	分娩時間	第1期	時間 分	分娩第1期の時間を記載してください。
16		第2期	時間 分	分娩第2期の時間を記載してください。
17		第3期	時間 分	分娩第3期の時間を記載してください。
18	入院から分娩第3期終了までの時間		時間 分	入院から分娩第3期終了までの時間を記載してください。
19	第3期終了から帰室までの時間		時間 分	第3期終了から、入院する病室へ移動するまでの時間を記載してください。

(3) 医療行為

a.分娩時

20	子宮頸管拡張	1.有 2.無		子宮頸管拡張を行った場合は有を選択してください。
21	上記の子宮頸管拡張を行う場合の使用薬剤等 (ラミナリア、ミニメトロ、プロウベス等)			複数使用している場合はその名称と使用した個数を記載してください。
22	上記の子宮頸管拡張に係った日数		日	子宮頸管拡張のみを行った日数を記載してください。
23	感染予防の抗菌薬内服	1.有 2.無		
24	感染予防の抗菌薬点滴	1.有 2.無		分娩の際に子宮内感染の予防目的で抗菌薬の点滴を行った場合は有を選択してください。（母体のGBS感染に対する抗菌薬投与は含めません。）
25	血管確保	1.有 2.無		血管確保を行った際には、有を選択してください。
26	陣痛促進	1.有 2.無		陣痛促進を行った際には有を選択してください。
27	陣痛誘発	1.有 2.無		陣痛誘発を行った際には有を選択してください。
28	陣痛促進・誘発時の使用薬剤名			上記の際に使用した薬剤を記載してください。（商品名）
29	会陰切開	1.有 2.無		会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。
30	会陰縫合	1.有 2.無		会陰縫合を行った際には有を選択してください。

			回答欄	留意点等
b.入院中				
31	退院診察	日程	産後()日目	
32		内診	1.有 2.無	
33		経膣超音波	1.有 2.無	
34		採血検査の項目		
35		尿検査	1.有 2.無	
(４) 入院中の助産ケア				
36	母子同室の有無		1.有 2.無	
37	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な 1 日あたりの回数		
38		1 入院あたりの合計回数		
39		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
40		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
41	個別の乳房・乳頭のケア（乳房マッサージ等）	平均的な 1 日あたりの回数		
42		1 入院あたりの合計回数		
43		1 回あたりの時間		
44	沐浴指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数		
45		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
46		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
47	調乳指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数		
48		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
49		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
50	育児技術に係る指導にかかる時間（延べ時間）			
51	退院指導にかかる時間			
52	上記以外に行っている指導の内容（自由記載）			
(５) 付帯サービス				
53	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無	
54		写真撮影	1.有 2.無	
55		足形	1.有 2.無	
56		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有 2.無	
57		その他（自由記載）		

複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。

入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。

個別指導及び集団指導を含みます。

産後授乳指導の時間の 1 回あたりの平均時間を記載ください。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
（例：〔集団指導の時間〕÷〔集団指導の対象人数〕）

(6) 新生児関連

a.新生児の概要

回答欄

留意点等

58	出生時の体重		g	出生時の体重を記載してください。
59	在院日数（出生及び退院日を含める）		日	出生日から退院日までの日数を記載してください。

b.新生児へ提供した医療等

60	新生児の診察	小児科医による診察日数 （入院中に限る）		日	小児科医師により診察が行われた日数を記載してください。
61		産科医による診察日数 （入院中に限る）		日	
62	検査等	採血検査の項目	1.有 2.無		
63		黄疸検査	1.有 2.無		
64		出生直後血糖測定対象かどうか	1.対象 2.対象外		
65		SpO2モニター装着 （出生直後等）	1.有 2.無		
66		アプニアセンサー装着	1.有 2.無		
67		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無		
68		新生児聴覚検査	1.有 2.無		
69		その他新生児へ提供した検査等	（自由記載）		
70	治療等	保育器収容 （酸素投与のため）	1.有 2.無		
71		保育器収容（保温のため）	1.有 2.無		
72		光線療法	1.有 2.無		
73		ワクチン接種	1.有 2.無		
74		その他新生児へ提供した治療等	（自由記載）		
75	新生児への処置・ケア（臍処置、沐浴）	臍処置	1.有 2.無		
76		皮膚ケア	1.有 2.無		
77		ビタミンK2内服	1.有 2.無		
78		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）		回	
79		その他新生児へ提供した処置・ケア	（自由記載）		

(7) 費用

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書への記載内容を記載してください。

80	入院料		円
81	室料差額		円
82	分娩介助料		円
83	分娩料		円
84	新生児管理保育料		円
85	検査・薬剤料		円
86	処置・手当料		円
87	産科医療保障制度の掛金		円
88	その他		円
89	一部負担金等		円
90	産婦合計負担額		円
91	代理受取額		円

タイムスタディ
(記載例)

記載方法：★分娩が複数日にわたる場合はお手数ですが、p15～p17を印刷いただき、記載いただけますと幸いです。

①入院、児娩出、分娩終了、帰室（分娩室やLDRから産婦が入院している部屋に入る時刻）については、該当する時間に●を記載してください。②無痛分娩のタイムスタディの場合には麻酔の導入を行った時刻を★、麻酔を使用していた期間を⇔で記載ください。

③「経過」には、分娩の進行や異常所見の出現等、産婦の経過において契機となる状態が出現した場合に記載をお願いいたします。④医師（産婦人科）、医師（麻酔科）、医師（小児科）、助産師、看護師、准看護師の項目は妊産婦に対面で接していた（診療・看護・助産ケア等していた）時間に⇔を記載ください。

⑤ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者の項目に関しては、産婦には接していないが、分娩監視装置のモニターを監視している時間を⇔で表し、監視している者を⇔の上に記載ください。

複数人いる場合は複数記載してください。

⑥分娩監視装置使用時間は妊婦に対して分娩監視装置を使用している時間を⇔で記載ください。⑦「実施したケア等の内容」の欄は、各時間の実施したケアについて該当するものをチェックしてください。該当するケア以外のものを実施した場合は、その内容を「その他」欄にご記入お願いいたします。

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院				●													●									
児娩出																	●									
分娩終了（分娩第3期終了）																	●									
帰室																			●							
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過										14:00 破水 羊混±							羊混 +、怒 責時遅 発一過 性徐脈 あり									
医師 (産婦人科)	A			⇔					⇔								⇔	⇔								
	B							⇔																		
	C								⇔								⇔	⇔								
	D																⇔	⇔								
	E																⇔	⇔								
医師 (麻酔科)	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 (小児科・新生児科)	A																⇔									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A			⇔	⇔		⇔	⇔	⇔		⇔		⇔				⇔	⇔								
	B			⇔	⇔		⇔	⇔	⇔		⇔		⇔				⇔	⇔								
	C							⇔				⇔					⇔	⇔								
	D									⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔								
	E										⇔	⇔					⇔	⇔								
	F																	⇔	⇔							
	G																		⇔							
看護師	A																⇔	⇔								
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A			医A						医A				医E												
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者				⇔	⇔		助B	⇔	⇔	医A	⇔	⇔	医E	⇔	⇔	助E	⇔									
分娩監視装置使用時間				⇔			⇔	⇔		⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔									
CTGのレベル分類				1		1		1		1		1		1		1	3									
実施した ケア等 の内容	内診			✓						✓				✓			✓									
	ドップラー聴取			✓						✓				✓			✓									
	点滴管理 ¹⁾				✓	✓			✓							✓	✓	✓	✓							
	バイタルサイン測定			✓			✓	✓			✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓							
	産痛緩和 ²⁾				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓									
	温電法 ³⁾															✓										
	足浴								✓																	
	シャワー浴														✓											
	入浴 ⁴⁾																									
	トイレ歩行				✓			✓							✓	✓				✓						
	食事介助					✓													✓							
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾													✓			✓									
	清拭・更衣																		✓							
	破水・出血の観察／バット交換			✓			✓							✓		✓	✓		✓	✓						
	その他 ⁶⁾																	輪状マッサージ								

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。

- 1) オキシトシン等の滴下管理を含む
- 2) 温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック
- 3) ホットバック等を使用した温電法を行った場合にチェック
- 4) 湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック
- 5) 分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック
- 6) アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩） **1事例目** **1日目**

[illegible]

※実施したケア内容について、該当する箇所をチェックをいれてください。

1) オキシトシン等の滴下管理を含む 2) 温罨法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3) ホットパック等を使用した温罨法を行った場合にチェック

4) 湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5) 分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6) アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

1事例目2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トッブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	その他 ⁶⁾																									

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

1事例目3日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	その他 ⁶⁾																									

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

2事例目

1日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

2事例目2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

2事例目

3日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

3事例目

1日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トッブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	その他 ⁶⁾																									

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

3事例目2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トッブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

3事例目3日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇒）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

4. 収益等（病院）

(1) 基本データ

① 直近の2事業年（度）（個人立以外の病院のみ記入してください。）

令和5年3月末までに終了した事業年（度）	令和	年	月	～	令和	年	月
令和6年3月末までに終了した事業年（度）	令和	年	月	～	令和	年	月

※個人立の場合は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となるため、記入の必要はありません。

② 貴院の活動状況（令和6年3月31日現在、該当する番号に○を付けてください。）

1.直近の2事業年（度）の間及び現在、活動している

2.その他（直近の2事業年（度）の途中に開設、現在は休止、廃止等）

※回答が「2」の場合は、ここでこれ以降の調査は終了となります。このまま本調査票をご返送ください。

③ 貴院の開設者が保有する施設の状況（令和6年3月31日現在、該当する番号に○を付けてください。）

1.調査対象病院のみ保有している

2.調査対象病院以外の施設（病院、診療所、介護保険施設等）も保有している

④ 病床の状況（許可病床数を記入してください。0の場合は0を記入してください。）

	一般病床	療養病床	精神科病床	結核病床	感染症病床	合 計
令和5年3月末までに終了した事業（度）の末日時点	床	床	床	床	床	床
（うち） 介護療養型医療施設分		床	床			床
令和6年3月末までに終了した事業（度）の末日時点	床	床	床	床	床	床
（うち） 介護療養型医療施設分		床	床			床

⑤ 消費税の経理方式（該当する番号に○を付けてください。）

1.税込

2.税抜

※次頁以降で記入していただく金額等は、ここで選択した経理方式に従って記入してください。

(2) 損益

※産婦人科部門の損益について、病院全体と分けて会計処理されている医療機関においては、（産婦人科部門）欄も併せて記載いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

- 直近の2事業年（度）それぞれの収益及び費用の額を記入してください。
○個人立病院は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
○法人全体で包括して経理を行っているような場合でも、調査対象となった病院分のみを推計して記入してください。
○数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 医業収益

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））						金額（令和6年3月末までの事業年（度））					
		億	百万	千	円			億	百万	千	円		
1 入院診療 収益	1-1.保険診療収益（患者負担含む）												
	1-2.公害等診療収益												
	1-3.その他の診療収益												
2 特別の療養環境収益													
3 外来診療 収益	3-1.保険診療収益（患者負担含む）												
	3-2.公害等診療収益												
	3-3.他の診療収益												
4 その他の医業収益													
医業収益合計													

(産婦人科部門)

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））						金額（令和6年3月末までの事業年（度））					
		億	百万	千	円			億	百万	千	円		
1 入院診療 収益	1-1.保険診療収益（患者負担含む）												
	1-2.公害等診療収益												
	1-3.その他の診療収益												
2 特別の療養環境収益													
3 外来診療 収益	3-1.保険診療収益（患者負担含む）												
	3-2.公害等診療収益												
	3-3.他の診療収益												
4 その他の医業収益													
医業収益合計													

② 介護収益

病院としての介護保険事業を実施の有無（該当する番号に○を付けてください。）

1.実施している

2.実施していない

※病院として介護保険事業を実施している場合（「1」を選択）、収益を下記の表に記入してください。

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））						金額（令和6年3月末までの事業年（度））					
		億	百万	千	円			億	百万	千	円		
1 介護収益合計													

③ 医業・介護費用
【病院全体】

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 材料費((a)~(c))の合計										
1-1.医薬品費a										
1-2.診療材料費・医療消耗器具備品費b										
1-2-1.（うち）特定保険医療材料費（※1）										
1-3.給食用材料費c										
2 給与費										
2-1.（うち）通勤手当										
2-2.（うち）法定福利費										
3 委託費										
3-1.（うち）給食委託費										
3-2.（うち）人材委託費										
3-2-1.（うち）紹介手数料										
4 設備関係費										
4-1.（うち）減価償却費										
4-1-1.（うち）建物減価償却費										
4-1-2.（うち）医療機器減価償却費										
4-2（うち）設備機器賃借料										
4-2-1.（うち）医療機器賃借料										
4-3.（うち）土地賃借料										
4-4.（うち）消費税課税対象費用（※1）（設備機器賃借料を除く）										
5 経費（水道光熱費、医業貸倒損失等）										
5-1.（うち）水道光熱費										
5-2.（うち）消費税課税対象費用（※1）（水道光熱費を除く）										
6 その他の医業・介護費用										
6-1.（うち）消費税課税対象費用（※1）										
6-2.（うち）控除対象外消費税等負担額（※2）										
7 医業・介護費用合計										

※1 特定保険医療材料費、消費税課税対象費用を区分して経理していない等、記入が困難な場合は、「－」を記入してください。

※2 経理方式が税抜の場合のみ記入してください。

【産婦人科部門】

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 材料費((a)~(c))の合計										
1-1.医薬品費a										
1-2.診療材料費・医療消耗器具備品費b										
1-2-1.（うち）特定保険医療材料費（※1）										
1-3.給食用材料費c										
2 給与費										
2-1.（うち）通勤手当										
2-2.（うち）法定福利費										
3 委託費										
3-1.（うち）給食委託費										
3-2.（うち）人材委託費										
3-2-1.（うち）紹介手数料										
4 設備関係費										
4-1.（うち）減価償却費										
4-1-1.（うち）建物減価償却費										
4-1-2.（うち）医療機器減価償却費										
4-2（うち）設備機器賃借料										
4-2-1.（うち）医療機器賃借料										
4-3.（うち）土地賃借料										
4-4.（うち）消費税課税対象費用（※1）（設備機器賃借料を除く）										
5 経費（水道光熱費、医業貸倒損失等）										
5-1.（うち）水道光熱費										
5-2.（うち）消費税課税対象費用（※1）（水道光熱費を除く）										
6 その他の医業・介護費用										
6-1.（うち）消費税課税対象費用（※1）										
6-2.（うち）控除対象外消費税等負担額（※2）										
7 医業・介護費用合計										

※1 特定保険医療材料費、消費税課税対象費用を区分して経理していない等、記入が困難な場合は、「－」を記入してください。

※2 経理方式が税抜の場合のみ記入してください。

④ 損益差額

【病院全体】

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ 損益差額（医業収益合計＋介護収益合計－医業・介護費用合計）										

【産婦人科部門】

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ 損益差額（医業収益合計＋介護収益合計－医業・介護費用合計）										

⑤ その他の収益・その他の費用

【病院全体】

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ その他の収益										
１-1.（うち）補助金・負担金等のうち人件費補助・運営費補助（新型コロナウイルス感染症関連及び看護職員等処遇改善事業補助金を除く）										
１-2.（うち）補助金・負担金等のうち設備費補助（新型コロナウイルス感染症関連を除く）										
１-3.（うち）新型コロナウイルス感染症関連の補助金（従業員向けの慰労金を除く）										
１-4.（うち）看護職員等処遇改善事業補助金										
２ その他の費用										

※長期前受金戻入による収益は「（うち）補助金・負担金等のうち設備費補助」の欄に含めて記入してください。

【産婦人科部門】

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ その他の収益										
１-1.（うち）補助金・負担金等のうち人件費補助・運営費補助（新型コロナウイルス感染症関連及び看護職員等処遇改善事業補助金を除く）										
１-2.（うち）補助金・負担金等のうち設備費補助（新型コロナウイルス感染症関連を除く）										
１-3.（うち）新型コロナウイルス感染症関連の補助金（従業員向けの慰労金を除く）										
１-4.（うち）看護職員等処遇改善事業補助金										
２ その他の費用										

※長期前受金戻入による収益は「（うち）補助金・負担金等のうち設備費補助」の欄に含めて記入してください。

⑥ 特別利益・特別損失

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ 特別利益										
２ 特別損失										

⑦ 総損益差額

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ 総損益差額（損益差額＋その他の収益－その他の費用＋特別利益－特別損失）										

⑧ 税金（法人税・住民税）

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ 税金（法人税・住民税）合計										

※個人立病院については記入の必要はありません。

⑨ 税引後の総損益差額

科 目	金額（令和５年３月末までの事業年（度））					金額（令和６年３月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
１ 税引後の総損益差額（総損益差額－税金）										

※個人立病院については記入の必要はありません。

(3) 給与

- 直近の2事業年（度）における、調査対象となった病院で直接業務に従事する**常勤職員**に対して支払った給与の状況について、職種別に記入してください。
個人立病院は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 各事業年（度）の「延べ人員（人月）」欄に記入する人月数は、各事業年（度）における月別給与支給人員の年（度）間合計です。例えば、2人の職員が在籍し、そのうちの1人が1年間（12ヶ月）従事しており、もう1人が半年間（6ヶ月）だけ従事していた場合には、「延べ従事人月」は18人月となります。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 令和5年3月末までの事業年（度）の常勤職員給料・賞与

常 勤 職 員 （令和5年3月末までの事業年（度））																										
職 種	延べ人員（人月）			給 料	億			百万			千			賞 与	億			百万			千			円		
			人月																							
1 病院長（個人立の開設者本人を除く）																										
2 医 師																										
2-1.産婦人科医師																										
2-2.小児科医師																										
2-3.麻酔科医師																										
3 歯科医師																										
4 薬剤師																										
5 助産師																										
6 看護職員（助産師除く）																										
7 看護補助職員																										
8 医療技術員																										
9 歯科衛生士																										
10 歯科技工士																										
11 事務職員（上記の職種に従事している者を除く）																										
12 その他の職員																										
13 役員（上記の職種に従事している者を除く）																										
14 合 計																										

② 令和6年3月末までの事業年（度）の常勤職員給料・賞与

常 勤 職 員 （令和6年3月末までの事業年（度））																				
職 種		延べ人員（人月）			給 料							賞 与								
		人	月		億		百万		千			円		億		百万		千		円
1 病院長（個人立の開設者本人を除く）																				
2 医 師																				
2-1.産婦人科医師																				
2-2.小児科医師																				
2-3.麻酔科医師																				
3 歯科医師																				
4 薬剤師																				
5 助産師																				
6 看護職員（助産師除く）																				
7 看護補助職員																				
8 医療技術員																				
9 歯科衛生士																				
10 歯科技工士																				
11 事務職員（上記の職種に従事している者を除く）																				
12 その他の職員																				
13 役員（上記の職種に従事している者を除く）																				
14 合 計																				

分娩手当がある場合は、1 分娩あたりの分娩手当の金額を記入ください。

円

(4) 資産・負債

- 直近の2事業年（度）の末日における資産及び負債の額を記入してください。個人立病院は、令和4年12月31日及び令和5年12月31日が直近の2事業年（度）の末日となります。
- 法人全体で包括して貸借対照表が作成されているような場合には、面積、病床数、従事者数の割合など、調査対象となった病院分の実態を最も適切に反映していると思われる係数で按分し、調査対象となった病院分の金額を記入してください。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 資 産 の 部

科 目	金額 （令和5年3月末までの事業年（度））				金額 （令和6年3月末までの事業年（度））			
	億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 流動資産								
2 固定資産								
3 繰延資産								
4 資 産 合 計								

② 負 債 の 部

科 目	金額 （令和5年3月末までの事業年（度））				金額 （令和6年3月末までの事業年（度））			
	億	百万	千	円	億	百万	千	円
5 流動負債								
6 固定負債								
6-1.（うち）長期借入金								
7 負 債 合 計								

(5) キャッシュフロー

① 「キャッシュ・フロー計算書」を作成している病院

- 「キャッシュ・フロー計算書」を作成している病院は記入してください。
- 直近の2事業年（度）それぞれのキャッシュ・フローの額を記入してください。
個人立病院は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 法人全体で包括してキャッシュ・フロー計算書が作成されているような場合には、収益額、面積、病床数、従事者数の割合など、調査対象となった病院分の実態を最も適切に反映していると思われる係数で按分し、調査対象となった病院分の金額を記入してください。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。金額がマイナスになる場合は「－」を付してください。

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
		億	百万		千		円			億	百万		千		円	
1 業務活動によるキャッシュ・フロー																
2 投資活動によるキャッシュ・フロー																
3 財務活動によるキャッシュ・フロー																
3-1.（うち）短期借入れによる収入																
3-2.（うち）長期借入れによる収入																
3-3.（うち）短期借入金の返済による支出																
3-4.（うち）長期借入金の返済による支出																
4 現金等の増加額（又は減少額）																
5 現金等の期首残高																
6 現金等の期末残高																

② 「キャッシュ・フロー計算書」を作成していない病院

- 「キャッシュ・フロー計算書」を作成していない病院は下記の項目のみ記入してください。
- 直近の2事業年（度）それぞれの金額を記入してください。
- 個人立病院については記入の必要はありません。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
		億	百万		千		円			億	百万		千		円	
1 短期借入れによる収入																
2 長期借入れによる収入																
3 短期借入金の返済による支出																
4 長期借入金の返済による支出																

(6) 設備投資額

- 直近の2事業年（度）中に新規に取得した資産にかかる取得価額を記入してください。
個人立病院は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 上記の金額のうち、直近の2事業年（度）中に新規にリース契約を締結した場合には、当該設備の取得価額（リース期間中のリース料総額）を「（うち）リース分」の欄に記入してください。ただし、固定資産に計上されているものに限りです。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 設備投資額

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
		億	百万		千		円			億	百万		千		円	
1 設備投資額（土地を含む）																
1-1.（うち）建物（建物附属設備を含み、土地を除く）																
1-2.（うち）医療機器																
1-2-1.（うち）リース分																
1-3.（うち）調剤用機器																
1-3-1.（うち）リース分																
1-4.（うち）医療情報システム用機器																
1-4-1.（うち）リース分																
2 設備投資額のうち消費税課税対象の投資額																

② 医療機器の価格（リース）

※複数ある場合は合計金額を記載ください。

科 目	リース費 金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
		億	百万		千		円			億	百万		千		円	
1 分娩台																
2 分娩室用超音波画像診断装置台																
3 集中監視システム機器																
4 分娩監視装置台																
5 保育器（開放式）（インファントウォーマー）																

③医療機器の価格（購入価格と購入時期）

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
		億	百万		千		円			億	百万		千		円	
1 分娩台																
2 分娩室用超音波画像診断装置台																
3 集中監視システム機器																
4 分娩監視装置台																
5 保育器（開放式）（インファントウォーマー）																

購入時期
※西暦

	年
	年
	年
	年
	年

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（A 票）

ID

パスワード

1. 分娩取扱施設の基本情報

令和6年9月1日時点

		回答欄	留意点等
1	施設名	ふりがな	
2		漢字	
3	施設所在地	郵便番号	貴施設の所在地をお書きください。
4		都道府県	
5		市区町村	
6		上記以下	
7	回答担当者氏名	ふりがな	ご回答いただいている担当の方のお名前、所属部署、電話番号、メールアドレスをお書きください。調査票に関してご連絡を差し上げることがあります。
8		漢字	
9	回答担当者所属部署		
10	回答担当者電話番号		
11	回答担当者メールアドレス		
12	設置主体（いずれか1つ選択）	1. 国立（国、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構） 2. 公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人） 3. 公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会） 4. 社会保険関係（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びの連合会、国民健康保険組合） 5. 医療法人（社会医療法人は含まない） 6. その他の法人（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人） 7. 個人	貴院の設置主体を選択してください。
13	周産期救急情報システムへの参加の有無（いずれか1つ選択）	1. 直接活用 2. 直接活用していないがコーディネーターを通して活用 3. システムが無い	貴施設の所在する都道府県の「周産期救急情報システム（周産期医療情報センターが運営する病床の空床状況や重症例や産科合併症以外の合併症による母体救急患者の受入れ可能状況等の情報収集、情報提供を行うシステム）」について、活用状況を選択してください。空床状況等の情報に直接アクセスして活用している場合は1を選択してください。情報システムに直接アクセスしていないが搬送コーディネーター等の調整者を通して活用している場合は2を選択してください。周産期救急情報システムは活用していない場合は3を選択してください。

2. 診療所票

令和6年9月1日時点

(1) 構造設備

		回答欄			留意点等
1	総病床数			床	妊産婦が同時に入院可能な最大病床数を記載してください。(分娩を伴わない入院(例:切迫早産、重症妊娠悪阻等)を含みます。)妊産婦が入院可能とは、助産師、看護師、産科医師等の配置がなされており、十分な産科診療を行う事ができることをいいます。
2	妊産婦が入院する部屋が全室個室の場合は「はい」を選択してください。	1.はい 2.いいえ			
3	部屋の構成とその室料差額について病床数とその入院料+室料差額の金額を記載してください。 病床数が多い順に記載してください。	個室(パターン1)		床	個室(特別室など含)、2床室、3~4床室、その他(5床室以上)に自費入院する際の、入院料+室料差額を記載してください。 注1:室料差額が入院料に包括されている場合で、各部屋毎に入院料が異なる場合には、入院料を記載してください。 注2:妊産婦の家族等が入院できる場合でも、妊産婦1名が対象となる場合は個室の欄に記載してください。
4		一日あたりの料金		円	
5		個室(パターン2)		床	
6		一日あたりの料金		円	
7		個室(パターン3)		床	
8		一日あたりの料金		円	
9		個室(パターン4)		床	
10		一日あたりの料金		円	
11		個室(パターン5)		床	
12		一日あたりの料金		円	
13		2床室(パターン1)		床	
14		一日あたりの料金		円	
15		2床室(パターン2)		床	
16		一日あたりの料金		円	
17		3床室(パターン1)		床	
18		一日あたりの料金		円	
19		3床室(パターン2)		床	
20		一日あたりの料金		円	
21		4床室(パターン1)		床	
22		一日あたりの料金		円	
23		4床室(パターン2)		床	
24		一日あたりの料金		円	
25		5床室(パターン1)		床	
26		一日あたりの料金		円	
27	5床室(パターン2)		床		
28	一日あたりの料金		円		
29	6床室(パターン1)		床		
30	一日あたりの料金		円		
31	6床室(パターン2)		床		
32	一日あたりの料金		円		
33	()床室※		床	※上記に当てはまらない場合は33に記載してください。例 (8)床室。 ※分娩棟・LDR棟について記載する場合は、その利用料を個室の欄に記載してください。	
34	一日あたりの料金		円		
35	分娩室数			室	貴施設で分娩室として使用している部屋数をお書きください。(LDR室・陣痛室は除きます。)
36	分娩台数			台	分娩を行う分娩台の数をお書きください。
37	LDR室数			室	陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室であるLDR(Labor Delivery Recovery)の室数を記載してください。(分娩室・陣痛室は除きます)

		回答欄	
38	陣痛室数		室
39	分娩室用超音波画像診断装置数		台
40	集中監視システム機器	1.有 2.無	
41	分娩監視装置閲覧モニターの設置場所をすべて記載してください。例) 医師当直室、ナースステーションなど		
42	分娩監視装置台数		台
43	保育器（開放式）（インファントウォーマー）		台
44	新生児室のベッド数		床
45	新生児の管理方法（いずれか1つ選択）	1.母子同室が多い 2.母子同室と新生児室管理併用 3.新生児室管理が多い	

留意点等

病室以外で分娩第一期を過ごす部屋（分娩室・LDR室除く）数をお書きください。

分娩室・LDR室・陣痛室のいずれかに分娩室専用の超音波診断装置を有している場合にはその台数を記載してください。
※外来や入院病棟においてある超音波診断装置を併用している場合は無を選択してください。
※壊れているなど、使用できない装置は計上しないでください。

分娩進行等の把握を目的とした集中監視システム機器を使用している場合は有を選択してください。

分娩の際や分娩以外の目的で入院している妊婦に対して使用可能な分娩監視装置の台数を記載してください。
※作動しない装置は数に計上しないでください。
※外来や救急外来などで使用している装置は数に含めないでください。

分娩の際に使用している新生児ウォーマーの台数を記載してください。
※壊れているなどの場合には数に計上しないでください。

新生児に対して、十分安全に管理可能な新生児室の最大ベッド数を記載してください。

(2) 分娩取扱施設の医療体制

医師数

46	常勤勤務の週あたりの勤務時間数			時間
47	産婦人科医師数	常勤医師数		人
48		非常勤医師の常勤換算		人
49	産婦人科医師数のうち分娩を取り扱う医師数	常勤医師数		人
50		非常勤医師の常勤換算		人
51	小児科医師数	常勤医師数		人
52		非常勤医師の常勤換算		人
53	麻酔科医師数	常勤医師数		人
54		非常勤医師の常勤換算		人

貴施設で定められている、常勤職員の最低勤務時間数を記載ください。

主に産婦人科診療に従事する常勤医師数（産科及び婦人科診療に従事する医師を含みます。）を記載してください。

主に産婦人科診療に従事する非常勤医師数を常勤換算で記載してください。（産科及び婦人科診療に従事する医師を含みます。）

産婦人科常勤医師数のうち、分娩を取り扱う常勤医師数を記載してください。

産婦人科非常勤医師数のうち、分娩を取り扱う非常勤医師数を記載してください。

主として小児（新生児含）の診療に従事している常勤医師数を記載してください。

主として小児（新生児含）の診療に従事する非常勤医師数を常勤換算で記載してください。

麻酔科診療に従事する常勤医師数を記載してください。主に産婦人科診療に従事する医師（産婦人科医師）は除いてください。

麻酔科診療に従事する非常勤医師数を常勤換算で記載してください。主に産婦人科診療に従事する医師（産婦人科医師）は除いてください。

夜間・休日の体制

		夜勤医師	宿直医師
55	平日夜間	産婦人科	
56		小児科（新生児科医含）	
57		麻酔科	
		日勤医師	日直医師
58	祝日休日などの休診日の日中	産婦人科	
59		小児科（新生児科医含）	
60		麻酔科	
		夜勤医師	宿直医師
61	祝日休日などの休診日の夜間	産婦人科	
62		小児科（新生児科医含）	
63		麻酔科	

※宿直医師、日直医師は宿日直許可を得て、宿直又は日直として勤務している医師を指します。
※日勤医師、夜勤医師は宿日直許可を得ず、勤務している医師を指します。
※整数値で回答してください。
※分娩の有無にかかわらず、通常の体制について回答してください。

回答欄			留意点等	
オンコールの人数				
64	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院内</u> に待機している人数	産婦人科医師		※整数値で入力してください。
65		小児科医師（新生児科医師含）		
66		麻酔科医師		
67		助産師		
68		看護師		
69		その他		
70	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけることができるように <u>院外</u> に待機している人数	産婦人科医師		
71		小児科医師（新生児科医師含）		
72		麻酔科医師		
73		助産師		
74		看護師		
75		その他		

職員数（常勤数、非常勤の常勤換算）				
76	薬剤師	常勤		薬剤師であり、主として薬剤師の業務を行っている常勤職員
77		非常勤（常勤換算）		薬剤師であり、主として薬剤師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
78	保健師	常勤		保健師であり、主として保健師の業務を行っている常勤職員
79		非常勤（常勤換算）		保健師であり、主として保健師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
80	助産師	常勤		助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
81		非常勤（常勤換算）		助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
82	看護師	常勤		看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
83		非常勤（常勤換算）		看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
84	准看護師	常勤		准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
85		非常勤（常勤換算）		准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
86	看護補助者	常勤		看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている常勤職員
87		非常勤（常勤換算）		看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
88	保育士	常勤		保育士であり、主として保育士の業務を行っている常勤職員
89		非常勤（常勤換算）		保育士であり、主として保育士の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
90	管理栄養士	常勤		管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する常勤職員
91		非常勤（常勤換算）		管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
92	栄養士	常勤		栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する常勤職員
93		非常勤（常勤換算）		栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
94	医師事務作業補助者	常勤		医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を担当する常勤職員
95		非常勤（常勤換算）		医師事務作業補助者であり、主として医師事務作業の補助業務を担当する非常勤職員の常勤換算
96	公認心理師	常勤		公認心理師であり、主として公認心理師の業務を担当する常勤職員
97		非常勤（常勤換算）		公認心理師であり、主として公認心理師の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
98	臨床心理士（公認心理師を除く）	常勤		臨床心理士であり、主として臨床心理士の業務を担当する常勤職員
99		非常勤（常勤換算）		臨床心理士であり、主として臨床心理士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算

回答欄				留意点等
100	精神保健福祉士	常勤		精神保健福祉士であり、主として精神保健福祉士の業務を担当する常勤職員
101		非常勤（常勤換算）		
102	（社会福祉士）医療ソーシャルワーカー	常勤		精神保健福祉士であり、主として精神保健福祉士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
103		非常勤（常勤換算）		
104	その他の職員	常勤		社会福祉士であり、主として社会福祉士の業務を担当する常勤職員
105		非常勤（常勤換算）		
				社会福祉士であり、主として社会福祉士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算

(3) 分娩取扱施設の実績（令和6年9月1日～30日の1ヶ月）				
106	全分娩件数（人工妊娠中絶は除く）			件
107	全分娩件数のうち、早産の経膈分娩件数 (37週未満)	a. 鉗子分娩		
108		b. 吸引分娩		
109		c. 上記以外		件
110	全分娩件数のうち、経膈分娩件数 (37週以降)	a. 鉗子分娩		件
111		b. 吸引分娩		件
112		c. 上記以外		件
113	全分娩件数のうち、早産の帝王切開術数 (37週未満)	a. 予定帝王切開術数		件
114		b. 緊急帝王切開術数		件
115	全分娩件数のうち、帝王切開術数(37週以降)	a. 予定帝王切開術数		件
116		b. 緊急帝王切開術数		件
117	全分娩件数のうち、無痛分娩件数（107～116の内数）	a. 硬膜外麻酔		件
118		b. 脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔		件
119		c. その他の麻酔		件
120	107～119に当てはまらない分娩			件
121	院内助産の有無		1.有 2.無	
122	全分娩件数のうち院内助産の分娩件数			件
123	出産目的で入院する妊産婦の入院日数として、最も多い入院日数（分娩日を0日として、退院までの日数を記載）	a. 経膈分娩（初産婦）		日
124		b. 経膈分娩（経産婦）		日
125		c. 帝王切開分娩		日

(4) その他			回答欄	留意点等	
126	出産に係る入院時に妊産婦に一律に提供している物品等 (自由記載)			分娩を伴う入院の際に追加料金なく提供している(入院料等に含まれている)物品等を記載してください。 例: 新生児用おむつ、産褥ナプキン等	
127	上記の妊産婦に一律に提供している物品等の合計金額		円		
128	無痛分娩	a.実施	1.有 2.無	円	
129		b.設定価格			
130	付帯サービスの種類や有無、価格	お祝い膳	1.有 2.無 3.妊産婦が選択	お祝い膳が標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
131		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ		
132		(前問で2を選択した場合) 設定価格		円	
133		写真撮影	1.有 2.無 3.妊産婦が選択		
134		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ	写真撮影が標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
135		(前問で2を選択した場合) 設定価格			
136		足形	1.有 2.無 3.妊産婦が選択	足形が標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
137		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ		
138		(前問で2を選択した場合) 設定価格		円	
139		エステ (※乳房マッサージは除く)	1.有 2.無 3.妊産婦が選択		
140		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ	エステが標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
141		(前問で2を選択した場合) 設定価格			
142	その他 (自由記載)		円		
143	胎盤の処理		円		
144	先天性代謝異常等検査	a.実施	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
145		b.設定価格			
146	新生児聴覚検査	a.実施	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
147		b.設定価格			円
148		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無		
149		d. (cで有の場合) 自治体の補助額			
150	ビタミンK2内服	a.実施	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
151		b.設定価格			円
152	新生児1か月健診	a.実施	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
153		b.設定価格			円
154		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無		
155		d. (cで有の場合) 自治体の補助額			円

3－1．外来概要

令和6年9月1日時点

(1) 外来体制

a.人員配置（常勤職員数＋常勤換算された非常勤職員数）

※病棟と独立して外来に人員配置している場合についてのみご回答ください。病棟に配置されている職員が外来業務を兼務している場合は、病棟票で回答いただいているため、ここでは対象外とします。

	回答欄
1 助産師	
2 看護師	
3 准看護師	
4 看護補助者	
5 医師事務作業補助者	
6 その他の職員	

留意点等
人
人
人
人
人
人

※ 1 常勤とは、貴施設で定められた勤務時間をすべて勤務する者をいいます。ただし、貴施設で定めた 1 週間の勤務時間が 32 時間未満の場合は、32 時間以上勤務している者を常勤として計上し、その他は非常勤としてください。
※ 2 非常勤とは、貴施設と雇用関係にあつて※ 1 の常勤でない職員としてください。貴院の 1 週間の所定労働時間を基本として、下記のように常勤換算して小数点第一位まで（小数点第二位を四捨五入）をご記入ください。
例 1：1 週間の通常の勤務時間が 40 時間の病院で、週 2 日（各日 3 時間）勤務の看護師が 1 人と、週 3 日（各日 5 時間）勤務の看護師が 2 人いる場合（所定の勤務時間数を超えて行われた時間外勤務は含みません）
非常勤看護師数 = {（2 日×3 時間×1 人）＋（3 日×5 時間×2 人）} ÷40 時間=0.9 人
なお、非常勤職員が月単位で管理をされている場合には、1 か月の所定労働時間を用いて、1 か月の勤務時間について常勤換算して計上してください。
例 2：1 週間の勤務を28時間としている場合、常勤勤務の看護師が 1 名、週 2 日（各日 4 時間）勤務の看護師が 2 名いる場合、看護師数 = {（2 8 時間×1 人）＋（2 日×4 時間×2）} ÷32時間＝1.4 人

(2) 外来の状況

1	一日当たりの平均妊婦健診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）	
2	1のうちの平均助産師外来受診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）	
3	一日当たりの平均産婦健診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）	
4	3のうちの平均助産師外来受診数 （令和6年9月1日～30日の1ヶ月平均）	

人	産婦（産褥婦）に対する健診を除きます。妊婦健診数のため、疾病等により保険診療として行ったものは除いてください。
人	産婦（産褥婦）に対する健診を除きます。
人	産婦（産褥婦）に対する健診数を記載ください。産婦健診数のため、疾病等により保険診療として行ったものは除いてください。
人	産婦（産褥婦）に対する健診数を記載ください。

※ 1から4の平均数は、9月1日～30日の総数を、外来実施日数で割った数を、小数点第一位（小数点第二位を四捨五入）で求めてください。
なお、半日の外来の日は0.5として数えてください。
水曜が休診、土曜が午後休診、日曜・祝日が休診の場合、分母は、1×15日＋0.5×4日＝17日（9月16日、23日を祝日としております。）

3－2．補助

(1) 妊婦健診

	回答欄
1	妊婦の初回受診(妊婦健診の対象とならない妊娠確認のための受診)に係る費用の平均額
2	妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数
3	妊婦の平均的な妊婦健診の費用の合計額
4	3のうち、自治体の補助を除いた、平均的な妊婦の窓口負担の合計額
5	3のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれない健診項目の費用の合計額

	留意点等
円	令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦の初回受診（妊婦健診の対象とならない妊娠確認のための受診）の費用（診察料を含む）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された4人について、それぞれ初回受診の費用が8000円、10000円、10000円、14000円だった場合、 $(8000 + 10000 + 10000 + 14000) / 4 = 10500$ 円
回	令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診として受診した平均的な回数を小数点1桁までお答えください。 例：分娩された4人について、それぞれ妊婦健診の回数が12回、13回、14回、15回だった場合、 $(12 + 13 + 14 + 15) / 4 = 13.5$ 回
円	令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診の費用（自治体で補助される費用も含みます）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された4人について、それぞれ妊婦健診の費用が10万円、11万円、12万円、13万円だった場合、 $(10 + 11 + 12 + 13) / 4 = 11.5$ 万円
円	3のうち、自治体の補助を除いた、窓口での妊婦への請求額の平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。
円	3のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれる項目を除いた健診項目の費用の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。

※妊婦健診の望ましい基準

【厚生労働省「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」に示されている項目】

- 1 .超音波検査（4回） 2 .血液型等の検査（ABO血液型、Rh血液型及び不規則抗体に係るもの） 3 .B型肝炎抗原検査
4 .C型肝炎抗体検査 5.HIV抗体検査 6 .梅毒血清反応検査 7 .風疹ウイルス抗体検査 8 .血糖検査 9 .血算検査
10 .HTLV-1抗体検査 11 .子宮頸がん検診 12 .性器クラミジア検査 13 .B群溶血性レンサ球菌検査

3－3．各健診等における内容・費用

(1) 各健診等

a. 妊婦健診において所在地自治体の補助に含まれない検査で、基礎疾患のない一般的な妊婦に対して実施している項目（保険診療を除く）

	項目	費用	回数
1		円	回
2		円	回
3		円	回
4		円	回
5		円	回

例) 超音波検査・血糖検査・血算検査（助成回数を超える分）、トキソプラズマ検査、サイトメガロウイルス検査、麻疹ウイルス抗体検査、NSTなど

b. 妊婦健診以外の妊婦を対象とした診察・ケア（保険診療を除く）

	項目	費用	1か月間の 外来人数
6		円	人
7		円	人
8		円	人

留意点

- ※ 1 令和6年9月の1か月間の人数
※ 2 胎児超音波外来、ハイリスク外来（多胎、合併症等）、出生前検査に関する外来、周産期麻酔外来など、通常の妊婦健診を行う外来以外の、妊産婦に係る専門的な外来の標準的な費用を記載してください。
※ 3 妊婦健診と同時に行っている場合には、妊婦健診分の費用を除く。
※ 4 妊婦の選択等により、費用が大きく差がある（概ね5,000円以上）場合は、選択数が多い2つを①、②として記載ください。 例 出生前検査に関する外来①、出生前検査に関する外来②

例) NIPTなどの出生前検査、4D超音波など

c. 産婦健診 ※行っていない場合は、空欄としてください。

		産婦健診費用①	自治体の 補助・助成の有無	(1.有の場合) 自治体の補助額② ※所在自治体との委託契約の内容 を基に回答ください	産婦への請求 (①～②)	検査項目 ※該当する番号を全てお書きくだ さい。 1.血圧 2.体重 3.尿検査 4.内診 5.超音波検査 6.採血 7.メンタルヘルスの評価	左記の選択肢にない検査項目
9	分娩後2週間頃	円	1.有 2.無	円	円		
10	分娩後4週間頃	円	1.有 2.無	円	円		
11	その他 (分娩後()週間頃)	円	1.有 2.無	円	円		

d. 産婦健診以外の産婦を対象とした診察・ケア（保険診療・産後ケアを除く）

	項目	費用	1ヶ月間の 外来人数
12		円	人
13		円	人
14		円	人

e. 産後ケア

15	産後ケアの実施の有無		1.有 2.無
16	産後ケアの実施が 有の場合	短期入所型（ショートステイ型）	1.有 2.無
17		通所型（デイサービス型）	1.有 2.無
18		居宅訪問型（アウトリーチ型）	1.有 2.無

	項目※行っていない場合は、空欄としてください。	費用	1ヶ月間の延べ利用者数*	
19	短期入所型（ショートステイ型） 1泊2日	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）、1泊2日利用した場合の費用（利用者の自己負担と自治体からの補助の合計）を記載してください。 ・延べ利用人数については、例えば3泊4日利用した場合は4人として計上してください。
20	通所型（デイサービス型） 1日	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。 ・利用者数については、市町村からの委託を受けて実施している分と市町村からの委託を受けて実施している分と、それ以外で実施している分を合わせて計上してください。 ・1日利用とは別に、半日利用の費用を設定している場合に記載ください。
21	半日	円	人	
22	居宅訪問型（アウトリーチ型） 1回	円	人	・費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。 ・利用者数については、市町村からの委託を受けて実施している分と市町村からの委託を受けて実施している分と、それ以外で実施している分を合わせて計上してください。

* 令和6年9月1日から令和6年9月30日の数値をご記入ください。

調査へのご協力ありがとうございました。現在、「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」において、妊娠・出産・産後に関する様々な支援等の更なる強化の方向性について議論が行われています。この議論に関して、ご意見があれば以下に記載をお願いします。

(自由記述欄)

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（B票）

1. 看護職（助産師、看護師、准看護師）の従事時間等

※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。
※「ケア」には、合併症のある産婦への投薬や異常分娩の対応等の診療の補助業務も含まれます。
※各事項に関する直接のケア以外の対応（記録や電話相談等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。
※病棟師長等、専ら管理業務に従事する看護職員は回答には含めないようにしてください。

ID

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いしたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。その場合、右の欄にチェックを御願います。	☐ 月曜日から日曜日の1週間で回答
---	--

回答欄				留意点等	
1	病棟（ユニット）における、産科の患者の入院割合（概算）	9月1日～30日の1か月の割合		割	9月1日～30日の1か月における、病棟（ユニット）の全入院患者数のうちの産科以外の患者（他科患者）の割合（0～10割）を概算で記載してください。
2	全看護職の総労働時間数	9月1日～30日の1か月の総労働時間数	aからIを足しあげた数値に一致		9月1日～30日の1か月あたりの、全看護職の総労働時間のトータルのべ時間を記載してください。例えば、看護職20名で1日8時間で20日間ずつ従事した場合は、20×8×20＝3200時間 また、この欄の数字は、aからIを足した数値となります。記載の際は必ず一致することを計算してご確認お願いいたします。
3	分娩期のケア	全看護職の分娩期のケアに従事した時間数	a	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の分娩期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
4		（うち）助産師が分娩期のケアに従事した時間数	（aのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の分娩期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
5	産褥入院中（新生児含む）のケア（授乳、育児等の保健指導を含む）	全看護職の産褥入院中（新生児含む）のケアに従事した時間数	b	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産褥入院中（新生児期含む）のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
6		（うち）助産師が産褥入院中（新生児含む）に従事した時間数	（bのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産褥入院中（新生児期含む）のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
7	入院中の妊婦のケア（妊婦健康診査や保健指導を含む）	全看護職の入院中の妊婦のケアに従事した時間数	c	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の入院中の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
8		（うち）助産師が入院中の妊婦のケアに従事した時間数	（cのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の入院中の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
9	外来の妊婦のケア（妊婦健康診査や保健指導を含む）	全看護職の外来の妊婦のケアに従事した時間数	d	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の外来の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
10		（うち）助産師が外来の妊婦のケアに従事した時間数	（dのうち）	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の外来の妊婦のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
11	産婦健康診査（産後1か月までの褥婦と新生児）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
12		9月1日～30日の1か月の実施件数			
13		全看護職の産婦健康診査に従事した時間数	e		
14		（うち）助産師が産婦健康診査に従事した時間数	（eのうち）		
15	妊婦やパートナーを対象とした妊娠期の集団指導（母親学級・両親学級、エクササイズ等）（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
16		9月1日～30日の1か月の実施件数			
17		全看護職の妊娠期の集団指導に従事した時間数	f		
18		（うち）助産師が妊娠期の集団指導に従事した時間数	（fのうち）		
19	妊婦への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
20		9月1日～30日の1か月の実施件数			
21		全看護職の妊婦への訪問指導に従事した時間数	g		
22		（うち）助産師が妊婦への訪問指導に従事した時間数	（gのうち）		
23	乳児家庭全戸訪問事業（※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
24		9月1日～30日の1か月の実施件数			
25		全看護職の乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	h		
26		（うち）助産師が乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	（hのうち）		
27	褥婦、新生児への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無	件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
28		9月1日～30日の1か月の実施件数			
29		全看護職の褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	i		
30		（うち）助産師が褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	（iのうち）		

			回答欄	留意点等	
31	産前・産後サポート事業 (※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの)	実施有無	1.有 2.無	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。	
32		9月1日～30日の1か月の実施件数			件
33		全看護職の産前・産後サポート事業に従事した時間数	j		時間
34		(うち) 助産師が産前・産後サポート事業に従事した時間数	(jのうち)		時間
35	産後ケア (※市町村からの委託や補助を受けて実施する産後ケア事業と、自費での産後ケアの双方を含む)	実施有無	1.有 2.無	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全看護職の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。 9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。	
36		9月1日～30日の1か月の実施件数			件
37		全看護職の産後ケアに従事した時間数	k		時間
38		(うち) 助産師が産後ケアに従事した時間数	(kのうち)		時間
39	その他	実施有無	1.有 2.無	その他の業務内容について自由に記載してください。 例) 他科患者の看護業務等 9月1日～30日の1か月の全看護職のその他の業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。	
40		その他の業務の内容 (自由記載)			
41		全看護職のその他の業務に従事した時間数	l		時間

2. 医師の従事時間等

※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。

※各事項に関する直接の診療以外（記録や電話連絡等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いしたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。その場合、右の欄にチェックを御願います。			☐ 月曜日から日曜日の1週間で回答		
			回答欄	留意点等	
1	分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数	aからdを足しあげた数値に一致	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数（実数）を記載してください。	
2		(うち) 産婦人科医師数	a		名
3		(うち) 小児科・新生児科医師数	b		名
4		(うち) 麻酔科医師数	c		名
5		(うち) 上記以外の診療科医師数	d		名
6	分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	9月1日～30日の1か月に分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	eからhを足しあげた数値に一致	9月1日～30日の1か月あたりの、全医師の分娩期の産婦の診療業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。	
7		(うち) 産婦人科医師	e		時間
8		(うち) 小児科・新生児科医師	f		時間
9		(うち) 麻酔科医師	g		時間
10		(うち) 上記以外の診療科医師	h		時間
11	産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師数	9月1日～30日の1か月に産褥期の褥婦の診療業務に従事した全医師数	iからlを足しあげた数値に一致	9月1日～30日の1か月に産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師数（実数）を記載してください。	
12		(うち) 産婦人科医師数	i		名
13		(うち) 小児科・新生児科医師数	j		名
14		(うち) 麻酔科医師数	k		名
15		(うち) 上記以外の診療科医師数	l		名
16	産褥入院中の褥婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	9月1日～30日の1か月に産褥期の褥婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数	mからpを足しあげた数値に一致	9月1日～30日の1か月あたりの、全医師の産褥期の褥婦の診療業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。	
17		(うち) 産婦人科医師	m		時間
18		(うち) 小児科・新生児科医師	n		時間
19		(うち) 麻酔科医師	o		時間
20		(うち) 上記以外の診療科医師	p		時間

3. 患者票

1事例目

産婦の選択の方法：
①本調査票到着日を0日として、7日目（7日目が休日にあたる場合はその次の平日）以降に初めて入院された産婦を**1事例目**として記載をお願いします。
② 1 例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**2事例目**として記載をお願いいたします。
③ 2 例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**3 事例目**として記載をお願いいたします。
患者票は前向き調査をお願いしています。
指定の年月日にあった入院については、分娩が伴わない場合（前駆陣痛等の自費診療による入院であって、胎動減少等の保険診療を目的とした入院は除く）でもそのまま記載をお願いします。

（1）産婦の概要

		回答欄	
1	年齢		歳
2	産婦の住所	都道府県	
3		市区町村	
4	身長		cm
5	非妊時体重		kg
6	妊娠中の体重増加量		kg
7	出産時の妊娠週数		週 日
8	出産経験(いずれか1つ選択)	1.初産 2.経産	
9	在院日数 (入院日及び退院日を含める)		日
10	既往歴（自由記載）		
11	産科合併症（HDPやGDMなど） (自由記載)		
12	出生前の胎児異常の診断の有無	1.有 2.無	
13	社会的ハイリスクへの該当	1.有 2.無	

留意点等

対象となる産婦の入院日における年齢を記載してください。

里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。

産婦の身長を記載してください。

産婦の妊娠前の体重を記載してください。

入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。

出産の時の妊娠週数を記載してください。

入院してから退院までの日数を記載してください。
※入院日及び退院日も含めてください。
※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの日数を記載してください。
※保険診療、自費診療は関係なく、入院した日数を記載してください。

出生前に心奇形等の診断を受けている場合には有を選択してください。

社会的ハイリスクについては、貴施設の判断で記載ください。

（2）分娩の概要

14	入院の経緯(いずれか1つ選択)		1.陣痛発来 2.前期破水 3.計画分娩 4.無痛分娩目的 5.その他（ ）
15	分娩時間	第 1 期	時間 分
16		第 2 期	時間 分
17		第 3 期	時間 分
18	入院から分娩第 3 期終了までの時間		時間 分
19	第 3 期終了から帰室までの時間		時間 分

入院となった経緯を記載してください。

分娩第 1 期の時間を記載してください。

分娩第 2 期の時間を記載してください。

分娩第 3 期の時間を記載してください。

入院から分娩第 3 期終了までの時間を記載してください。

第 3 期終了から、入院する病室へ移動するまでの時間を記載してください。

（3）医療行為

a.分娩時

20	子宮頸管拡張	1.有 2.無	
21	上記の子宮頸管拡張を行う場合の使用薬剤等 (ラミナリア、ミニトロ、プロウベス等)		
22	上記の子宮頸管拡張に係った日数		日
23	感染予防の抗菌薬内服	1.有 2.無	
24	感染予防の抗菌薬点滴	1.有 2.無	
25	血管確保	1.有 2.無	
26	陣痛促進	1.有 2.無	
27	陣痛誘発	1.有 2.無	
28	陣痛促進・誘発時の使用薬剤名		
29	会陰切開	1.有 2.無	
30	会陰縫合	1.有 2.無	

子宮頸管拡張を行った場合は有を選択してください。

複数使用している場合はその名称と使用した個数を記載してください。

子宮頸管拡張のみを行った日数を記載してください。

分娩の際に子宮内感染の予防目的で抗菌薬の点滴を行った場合は有を選択してください。（母体のGBS感染に対する抗菌薬投与は含めません。）

血管確保を行った際には、有を選択してください。

陣痛促進を行った際には有を選択してください。

陣痛誘発を行った際には有を選択してください。

上記の際に使用した薬剤を記載してください。（商品名）

会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。

会陰縫合を行った際には有を選択してください。

b.入院中			
31	退院診察	日程	産後()日目
32		内診	1.有 2.無
33		経膣超音波	1.有 2.無
34		採血検査の項目	
35		尿検査	1.有 2.無

留意点等

(4) 入院中の助産ケア

36	母子同室の有無		1.有 2.無
37	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な 1 日あたりの回数	
38		1 入院あたりの合計回数	
39		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
40		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
41	個別の乳房・乳頭のケア (乳房マッサージ等)	平均的な 1 日あたりの回数	
42		1 入院あたりの合計回数	
43		1 回あたりの時間	
44	沐浴指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数	
45		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
46		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
47	調乳指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数	
48		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
49		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
50	育児技術に係る指導にかかる時間 (延べ時間)		
51	退院指導にかかる時間		
52	上記以外に行っている指導の内容 (自由記載)		

複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。
入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。
個別指導及び集団指導を含みます。

産後授乳指導の時間の 1 回あたりの平均時間を記載ください。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

(5) 付帯サービス

53	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無
54		写真撮影	1.有 2.無
55		足形	1.有 2.無
56		エステ (※乳房マッサージは除く)	1.有 2.無
57		その他 (自由記載)	

(6) 新生児関連

a.新生児の概要

58

出生時の体重

59

在院日数（出生及び退院日を含める）

9

日

出生時の体重を記載してください。

出生日から退院日までの日数を記載してください。

b.新生児へ提供した医療等

60

新生児の診察

小児科医による診察日数（入院中に限る）

61

産科医による診察日数（入院中に限る）

62

検査等

採血検査の項目

1.有 2.無

63

黄疸検査

1.有 2.無

64

出生直後血糖測定対象かどうか

1.対象 2.対象外

65

SpO2モニター装着（出生直後等）

1.有 2.無

66

アプニアセンサー装着

1.有 2.無

67

先天性代謝異常等検査

1.有 2.無

68

新生児聴覚検査

1.有 2.無

69

その他新生児へ提供した検査等

(自由記載)

70

治療等

保育器収容（酸素投与のため）

1.有 2.無

71

保育器収容（保温のため）

1.有 2.無

72

光線療法

1.有 2.無

73

ワクチン接種

1.有 2.無

74

その他新生児へ提供した治療等

(自由記載)

75

新生児への処置・ケア（臍処置、沐浴）

臍処置

1.有 2.無

76

皮膚ケア

1.有 2.無

77

ビタミンK2内服

1.有 2.無

78

沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）

79

その他新生児へ提供した処置・ケア

(自由記載)

日

日

回

小児科医師により診察が行われた日数を記載してください。

産科医が新生児を診察した場合には、その日数を記載ください。

(7) 費用

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書への記載内容を記載してください。

80

入院料

81

室料差額

82

分娩介助料

83

分娩料

84

新生児管理保育料

85

検査・薬剤料

86

処置・手当料

87

産科医療保障制度の掛金

88

その他

89

一部負担金等

90

産婦合計負担額

91

代理受取額

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

3. 患者票

2事例目

産婦の選択の方法：
①本調査票到着日を0日として、7日目（7日目が休日にあたる場合はその次の平日）以降に初めて入院された産婦を**1例目**として記載をお願いします。
② 1 例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**2例目**として記載をお願いいたします。
③ 2 例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**3例目**として記載をお願いいたします。
患者票は前向き調査をお願いしています。
指定の年月日にあった入院については、分娩が伴わない場合（前駆陣痛等の自費診療による入院であって、胎動減少等の保険診療を目的とした入院は除く）でもそのまま記載をお願いします。

(1) 産婦の概要

		回答欄		留意点等
1	年齢		歳	対象となる産婦の入院日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県		里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。
3		市区町村		
4	身長		cm	産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重		kg	産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量		kg	入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	出産時の妊娠週数		週 日	出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	出産経験(いずれか1つ選択)		1.初産 2.経産	
9	在院日数 (入院日及び退院日を含める)		日	入院してから退院までの日数を記載してください。 ※入院日及び退院日も含めてください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの日数を記載してください。 ※保険診療、自費診療は関係なく、入院した日数を記載してください。
10	既往歴（自由記載）			
11	産科合併症（HDPやGDMなど） (自由記載)			
12	出生前の胎児異常の診断の有無		1.有 2.無	出生前に心奇形等の診断を受けている場合には有を選択してください。
13	社会的ハイリスクへの該当		1.有 2.無	社会的ハイリスクについては、貴施設の判断で記載ください。

(2) 分娩の概要

14	入院の経緯(いずれか1つ選択)		1.陣痛発来 2.前期破水 3.計画分娩 4.無痛分娩目的 5.その他（ ）	入院となった経緯を記載してください。
15	分娩時間	第1期	時間 分	分娩第1期の時間を記載してください。
16		第2期	時間 分	分娩第2期の時間を記載してください。
17		第3期	時間 分	分娩第3期の時間を記載してください。
18	入院から分娩第3期終了までの時間		時間 分	入院から分娩第3期終了までの時間を記載してください。
19	第3期終了から帰室までの時間		時間 分	第3期終了から、入院する病室へ移動するまでの時間を記載してください。

(3) 医療行為

a.分娩時

20	子宮頸管拡張	1.有 2.無	子宮頸管拡張を行った場合は有を選択してください。
21	上記の子宮頸管拡張を行う場合の使用薬剤等 (ラミナリア、ミニトロ、プロウベス等)		複数使用している場合はその名称と使用した個数を記載してください。
22	上記の子宮頸管拡張に係った日数	日	子宮頸管拡張のみを行った日数を記載してください。
23	感染予防の抗菌薬内服	1.有 2.無	
24	感染予防の抗菌薬点滴	1.有 2.無	分娩の際に子宮内感染の予防目的で抗菌薬の点滴を行った場合は有を選択してください。（母体のGBS感染に対する抗菌薬投与は含めません。）
25	血管確保	1.有 2.無	血管確保を行った際には、有を選択してください。
26	陣痛促進	1.有 2.無	陣痛促進を行った際には有を選択してください。
27	陣痛誘発	1.有 2.無	陣痛誘発を行った際には有を選択してください。
28	陣痛促進・誘発時の使用薬剤名		上記の際に使用した薬剤を記載してください。（商品名）
29	会陰切開	1.有 2.無	会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。
30	会陰縫合	1.有 2.無	会陰縫合を行った際には有を選択してください。

b.入院中			
31	退院診察	日程	産後()日目
32		内診	1.有 2.無
33		経膣超音波	1.有 2.無
34		採血検査の項目	
35		尿検査	1.有 2.無

留意点等

(4) 入院中の助産ケア

36	母子同室の有無		1.有 2.無
37	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な 1 日あたりの回数	
38		1 入院あたりの合計回数	
39		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
40		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
41	個別の乳房・乳頭のケア (乳房マッサージ等)	平均的な 1 日あたりの回数	
42		1 入院あたりの合計回数	
43		1 回あたりの時間	
44	沐浴指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数	
45		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
46		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
47	調乳指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数	
48		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
49		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
50	育児技術に係る指導にかかる時間 (延べ時間)		
51	退院指導にかかる時間		
52	上記以外に行っている指導の内容 (自由記載)		

複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。
入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。

個別指導及び集団指導を含みます。

産後授乳指導の時間の 1 回あたりの平均時間を記載ください。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

個別指導及び集団指導を含みます。

集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

(5) 付帯サービス

53	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無
54		写真撮影	1.有 2.無
55		足形	1.有 2.無
56		エステ (※乳房マッサージは除く)	1.有 2.無
57		その他 (自由記載)	

(6) 新生児関連

a.新生児の概要

58	出生時の体重		9日	出生時の体重を記載してください。
59	在院日数（出生及び退院日を含める）			出生日から退院日までの日数を記載してください。

b.新生児へ提供した医療等

60	新生児の診察	小児科医による診察日数（入院中に限る）		9日	小児科医師により診察が行われた日数を記載してください。 産科医が新生児を診察した場合には、その日数を記載ください。	
61		産科医による診察日数（入院中に限る）				9日
62	検査等	採血検査の項目	1.有 2.無	9日		
63		黄疸検査	1.有 2.無			
64		出生直後血糖測定対象かどうか	1.対象 2.対象外			
65		SpO2モニター装着（出生直後等）	1.有 2.無			
66		アプニアセンサー装着	1.有 2.無			
67		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無			
68		新生児聴覚検査	1.有 2.無			
69		その他新生児へ提供した検査等	(自由記載)			
70	治療等	保育器収容（酸素投与のため）	1.有 2.無	9日		
71		保育器収容（保温のため）	1.有 2.無			
72		光線療法	1.有 2.無			
73		ワクチン接種	1.有 2.無			
74		その他新生児へ提供した治療等	(自由記載)			
75	新生児への処置・ケア（臍処置、沐浴）	臍処置	1.有 2.無	9日		
76		皮膚ケア	1.有 2.無			
77		ビタミンK2内服	1.有 2.無			
78		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）				
79		その他新生児へ提供した処置・ケア	(自由記載)			

(7) 費用

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書への記載内容を記載してください。

80	入院料		円
81	室料差額		円
82	分娩介助料		円
83	分娩料		円
84	新生児管理保育料		円
85	検査・薬剤料		円
86	処置・手当料		円
87	産科医療保障制度の掛金		円
88	その他		円
89	一部負担金等		円
90	産婦合計負担額		円
91	代理受取額		円

3. 患者票

3事例目

産婦の選択の方法：
①本調査票到着日を0日として、7日目（7日目が休日にあたる場合はその次の平日）以降に初めに入院された産婦を**1例目**として記載をお願いします。
② 1 例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**2例目**として記載をお願いいたします。
③ 2 例目の分娩日（もしくは受け持ち終了）の翌日以降に入院された初めの産婦を**3例目**として記載をお願いいたします。
患者票は前向き調査をお願いしています。
指定の年月日にあった入院については、分娩が伴わない場合（前駆陣痛等の自費診療による入院であって、胎動減少等の保険診療を目的とした入院は除く）でもそのまま記載をお願いします。

(1) 産婦の概要

		回答欄		留意点等
1	年齢		歳	対象となる産婦の入院日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県		里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。
3		市区町村		
4	身長		cm	産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重		kg	産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量		kg	入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	出産時の妊娠週数		週 日	出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	出産経験(いずれか1つ選択)		1.初産 2.経産	
9	在院日数 (入院日及び退院日を含める)		日	入院してから退院までの日数を記載してください。 ※入院日及び退院日も含めてください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの日数を記載してください。 ※保険診療、自費診療は関係なく、入院した日数を記載してください。
10	既往歴（自由記載）			
11	産科合併症（HDPやGDMなど） (自由記載)			
12	出生前の胎児異常の診断の有無		1.有 2.無	出生前に心奇形等の診断を受けている場合には有を選択してください。
13	社会的ハイリスクへの該当		1.有 2.無	社会的ハイリスクについては、貴施設の判断で記載ください。

(2) 分娩の概要

14	入院の経緯(いずれか1つ選択)		1.陣痛発来 2.前期破水 3.計画分娩 4.無痛分娩目的 5.その他（ ）	入院となった経緯を記載してください。
15	分娩時間	第1期	時間 分	分娩第1期の時間を記載してください。
16		第2期	時間 分	分娩第2期の時間を記載してください。
17		第3期	時間 分	分娩第3期の時間を記載してください。
18	入院から分娩第3期終了までの時間		時間 分	入院から分娩第3期終了までの時間を記載してください。
19	第3期終了から帰室までの時間		時間 分	第3期終了から、入院する病室へ移動するまでの時間を記載してください。

(3) 医療行為

a.分娩時

20	子宮頸管拡張	1.有 2.無	子宮頸管拡張を行った場合は有を選択してください。
21	上記の子宮頸管拡張を行う場合の使用薬剤等 (ラミナリア、ミニトロ、プロウベス等)		複数使用している場合はその名称と使用した個数を記載してください。
22	上記の子宮頸管拡張に係った日数	日	子宮頸管拡張のみを行った日数を記載してください。
23	感染予防の抗菌薬内服	1.有 2.無	
24	感染予防の抗菌薬点滴	1.有 2.無	分娩の際に子宮内感染の予防目的で抗菌薬の点滴を行った場合は有を選択してください。（母体のGBS感染に対する抗菌薬投与は含めません。）
25	血管確保	1.有 2.無	血管確保を行った際には、有を選択してください。
26	陣痛促進	1.有 2.無	陣痛促進を行った際には有を選択してください。
27	陣痛誘発	1.有 2.無	陣痛誘発を行った際には有を選択してください。
28	陣痛促進・誘発時の使用薬剤名		上記の際に使用した薬剤を記載してください。（商品名）
29	会陰切開	1.有 2.無	会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。
30	会陰縫合	1.有 2.無	会陰縫合を行った際には有を選択してください。

b.入院中			
31	退院診察	日程	産後()日目
32		内診	1.有 2.無
33		経膣超音波	1.有 2.無
34		採血検査の項目	
35		尿検査	1.有 2.無

留意点等

(4) 入院中の助産ケア

36	母子同室の有無		1.有 2.無
37	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な 1 日あたりの回数	
38		1 入院あたりの合計回数	
39		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
40		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
41	個別の乳房・乳頭のケア (乳房マッサージ等)	平均的な 1 日あたりの回数	
42		1 入院あたりの合計回数	
43		1 回あたりの時間	
44	沐浴指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数	
45		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
46		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
47	調乳指導の回数とかかる時間	1 入院あたりの合計回数	
48		1 回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)	
49		1 回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)	
50	育児技術に係る指導にかかる時間 (延べ時間)		
51	退院指導にかかる時間		
52	上記以外に行っている指導の内容 (自由記載)		

複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。
入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。
個別指導及び集団指導を含みます。

産後授乳指導の時間の 1 回あたりの平均時間を記載ください。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
個別指導及び集団指導を含みます。
集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。集団指導の場合は、1 人あたりの指導時間に換算して計上ください。
(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])

(5) 付帯サービス

53	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無
54		写真撮影	1.有 2.無
55		足形	1.有 2.無
56		エステ (※乳房マッサージは除く)	1.有 2.無
57		その他 (自由記載)	

(6) 新生児関連

a. 新生児の概要

58	出生時の体重		9日	出生時の体重を記載してください。
59	在院日数（出生及び退院日を含める）			出生日から退院日までの日数を記載してください。

b. 新生児へ提供した医療等

60	新生児の診察	小児科医による診察日数（入院中に限る）		9日	小児科医師により診察が行われた日数を記載してください。 産科医が新生児を診察した場合には、その日数を記載ください。	
61		産科医による診察日数（入院中に限る）				9日
62	検査等	採血検査の項目	1.有 2.無	9日		
63		黄疸検査	1.有 2.無			
64		出生直後血糖測定対象かどうか	1.対象 2.対象外			
65		SpO2モニター装着（出生直後等）	1.有 2.無			
66		アプニアセンサー装着	1.有 2.無			
67		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無			
68		新生児聴覚検査	1.有 2.無			
69		その他新生児へ提供した検査等	(自由記載)			
70	治療等	保育器収容（酸素投与のため）	1.有 2.無	9日		
71		保育器収容（保温のため）	1.有 2.無			
72		光線療法	1.有 2.無			
73		ワクチン接種	1.有 2.無			
74		その他新生児へ提供した治療等	(自由記載)			
75	新生児への処置・ケア（臍処置、沐浴）	臍処置	1.有 2.無	9日		
76		皮膚ケア	1.有 2.無			
77		ビタミンK2内服	1.有 2.無			
78		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）				
79		その他新生児へ提供した処置・ケア	(自由記載)			

(7) 費用

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書への記載内容を記載してください。

80	入院料		円
81	室料差額		円
82	分娩介助料		円
83	分娩料		円
84	新生児管理保育料		円
85	検査・薬剤料		円
86	処置・手当料		円
87	産科医療保障制度の掛金		円
88	その他		円
89	一部負担金等		円
90	産婦合計負担額		円
91	代理受取額		円

記載方法：★分娩が複数日にわたる場合はお手数ですが、p15～p17を印刷いただき、記載いただけますと幸いです。

①入院、児娩出、分娩終了、帰室（分娩室やLDRから産婦が入院している部屋に入る時刻）については、該当する時間に●を記載してください。②無痛分娩のタイムスタディの場合には麻酔の導入を行った時刻を★、麻酔を使用していた期間を⇔で記載ください。

③「経過」には、分娩の進行や異常所見の出現等、産婦の経過において契機となる状態が出現した場合に記載をお願いいたします。④医師（産婦人科）、医師（麻酔科）、医師（小児科）、助産師、看護師、准看護師の項目は妊産婦に対面で接していた（診療・看護・助産ケア等していた）時間に⇔を記載ください。

⑤ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者の項目に関しては、産婦には接していないが、分娩監視装置のモニターを監視している時間を⇔で表し、監視している者を⇔の上に記載ください。

複数人いる場合は複数記載してください。

⑥分娩監視装置使用時間は妊婦に対して分娩監視装置を使用している時間を⇔で記載ください。⑦「実施したケア等の内容」の欄は、各時間の実施したケアについて該当するものをチェックしてください。該当するケア以外のものを実施した場合は、その内容を「その他」欄にご記入をお願いいたします。

タイムスタディ
(記載例)

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過											14:00 破水 羊水±															
医師 (産婦人科)	A			⇔																						
	B						⇔																			
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 (麻酔科)	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 (小児科・新生児科)	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A			⇔	⇔		⇔	⇔	⇔																	
	B				⇔	⇔			⇔																	
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
実施したケア等の内容	CTGのレベル分類																									
	内診	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☒	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☒	☐	☐	☒	☒	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☒	☒	☐	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	
その他 ⁶⁾																										
																							</			

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。

1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック

4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

1事例目1日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・ 新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	その他 ⁶⁾																									

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

1事例目2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は↔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・ 新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

1事例目 3日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	その他 ⁶⁾																									

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

2事例目1日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は↔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

2事例目2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

2事例目3日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・ 新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

3事例目

1日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は↔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・ 新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の点滴管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

3事例目2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・ 新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）

3事例目 3日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
無痛分娩（麻酔導入は★、麻酔期間は⇔）																										
帝王切開の場合は手術の時間を記入																										
経過																										
医師 （産婦人科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
医師 （麻酔科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
医師 （小児科・新生児科）	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
准看護師	A																									
	B																									
	C																									
その他	A																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
CTGのレベル分類																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トコブラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	破水・出血の観察／バット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。
1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
4）湯用にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

4. 収益等（診療所）
(1) 基本データ

① 直近の2事業年（度）（個人立以外の診療所のみ記入してください。）

令和5年3月末までに終了した事業年（度）	令和	年	月	～	令和	年	月
令和6年3月末までに終了した事業年（度）	令和	年	月	～	令和	年	月

※個人立の場合は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が「直近の2事業年（度）」となるため、記入の必要はありません。

② 貴院の活動状況（令和6年3月31日現在、該当する番号に○を付けてください。）

1.直近の2事業年（度）の間及び現在、活動している

2.その他（直近の2事業年（度）の途中に開設、現在は休止、廃止等）

※回答が「2」の場合は、ここでこれ以降の調査は終了となります。このまま本調査票をご返送ください。

③ 貴院の開設者が保有する施設の状況（令和6年3月31日現在、該当する番号に○を付けてください。）

1.調査対象診療所のみ保有している

2.調査対象診療所以外の施設（病院、診療所、介護保険施設等）も保有している

④ 主たる診療科目（令和6年3月31日現在、該当する番号に○を付けてください。）

01 内科

04 消化器内科(胃腸内科)

07 神経内科

10 皮膚科

13 感染症内科

16 心療内科

19 循環器外科(心臓・血管外科)

22 消化器外科(胃腸外科)

25 脳神経外科

28 美容外科

31 小児外科

34 婦人科

37 麻酔科

40 救急科

02 呼吸器内科

05 腎臓内科

08 糖尿病内科(代謝内科)

11 アレルギー科

14 小児科

17 外科

20 乳腺外科

23 泌尿器科

26 整形外科

29 眼科

32 産婦人科

35 リハビリテーション科

38 病理診断科

03 循環器内科

06 人工透析内科（人工透析外科）

09 血液内科

12 リウマチ科

15 精神科

18 呼吸器外科

21 気管食道外科

24 肛門外科

27 形成外科

30 耳鼻咽喉科

33 産科

36 放射線科

39 臨床検査科

⑤ 病床の状況（許可病床数を記入してください。無床の場合は0を記入してください。）

令和5年3月末までに終了した事業年（度）の末日時点		床
令和6年3月末までに終了した事業年（度）の末日時点		床

⑥ 消費税の経理方式（該当する番号に○を付けてください。）

1.税込

2.税抜

※次頁以降で記入していただく金額等は、ここで選択した経理方式に従って記入してください。

(2) 損益

- 直近の2事業年（度）それぞれの収益及び費用の額を記入してください。
- 個人立診療所は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 法人全体で包括して経理を行っているような場合でも、調査対象となった診療所分のみを推計して記入してください。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 医業収益

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））				金額（令和6年3月末までの事業年（度））			
		億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 入院診療収益	1-1.保険診療収益（患者負担含む）								
	1-2.公害等診療収益								
	1-3.その他の診療収益								
2 外来診療収益	2-1.保険診療収益（患者負担含む）								
	2-2.公害等診療収益								
	2-3.その他の診療収益								
3 その他の医業収益									
3-1.（うち）新型コロナウイルス感染症関連の補助金（従業員向けの慰労金を除く）									
4 医業収益合計									

② 介護収益

診療所として介護保険事業を実施している場合、収益を下記の表に記入してください。

診療所として介護保険事業を実施していない場合、右側のチェック欄“□”に“レ”を記入してください。

☐ 介護保険事業を実施していない

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））				金額（令和6年3月末までの事業年（度））			
		億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 介護収益合計									

③ 医業・介護費用

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））				金額（令和6年3月末までの事業年（度））			
		億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 給与費									
	1-1.（うち）通勤手当								
	1-2.（うち）法定福利費								
2 医薬品費									
3 診療材料費・医療消耗器具備品費									
3-1.（うち）特定保険医療材料費（※1）									
4 給食用材料費									
5 委託費									
	5-1.（うち）給食委託費								
	5-2.（うち）人材委託費								
	5-2-1.（うち）紹介手数料								
6 減価償却費									
	6-1.（うち）建物減価償却費								
	6-2.（うち）医療機器減価償却費								
7 その他の医業・介護費用									
7-1.（うち）土地賃借料									
	7-2-1.（うち）医療機器賃借料								
7-3.（うち）水道光熱費									
	7-4.（うち）消費税課税対象費用（※1） （設備機器賃借料及び水道光熱費を除く）								
7-5.（うち）控除対象外消費税等負担額（※2）									
8 医業・介護費用合計									

※1 特定保険医療材料費、消費税課税対象費用を区分して経理していない等、記入が困難な場合は、「－」を記入してください。

※2 経理方式が税抜の場合のみ記入してください。

④ 損益差額

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））				金額（令和6年3月末までの事業年（度））			
		億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 損益差額（医業収益合計＋介護収益合計－医業・介護費用合計）									

⑤ 税金（法人税・住民税）

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））				金額（令和6年3月末までの事業年（度））			
		億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 税金（法人税・住民税）合計									

※個人立診療所については記入の必要はありません。

⑥ 税引後の総損益差額

科 目		金額（令和5年3月末までの事業年（度））				金額（令和6年3月末までの事業年（度））			
		億	百万	千	円	億	百万	千	円
1 税引後の総損益差額（損益差額－税金）									

※個人立診療所については記入の必要はありません。

(3) 給与

- 直近の2事業年（度）における、調査対象となった診療所で直接業務に従事する常勤職員に対して支払った給与の状況について、職種別に記入してください。
個人立診療所は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 各事業年（度）の「延べ人員（人月）」欄に記入する人月数は、各事業年（度）における月別給与支給人員の年（度）間合計です。例えば、2人の職員が在籍し、そのうちの1人が1年間（12ヶ月）従事しており、もう1人が半年間（6ヶ月）だけ従事していた場合には、「延べ従事人月」は18人月となります。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 令和5年3月末までの事業年（度）の常勤職員給料・賞与

常 勤 職 員 （令和5年3月末までの事業年（度））												
職 種	延べ人員（人月）			給 料				賞 与				
	人月			億	百万	千	円	億	百万	千	円	
1 院 長（個人立の開設者本人を除く）												
2 医 師												
2-1.産婦人科医師												
2-2.小児科医師												
2-3.麻酔科医師												
3 歯科医師												
4 薬剤師												
5 助産師												
6 看護職員（助産師除く）												
7 看護補助職員												
8 医療技術員												
9 事務職員（上記の職種に従事している者を除く）												
10 その他の職員												
11 役員（上記の職種に従事している者を除く）												
12 合 計												

② 令和6年3月末までの事業年（度）の常勤職員給料・賞与

常 勤 職 員 （令和6年3月末までの事業年（度））												
職 種	延べ人員（人月）			給 料				賞 与				
	人月			億	百万	千	円	億	百万	千	円	
1 院 長（個人立の開設者本人を除く）												
2 医 師												
2-1.産婦人科医師												
2-2.小児科医師												
2-3.麻酔科医師												
3 歯科医師												
4 薬剤師												
5 助産師												
6 看護職員（助産師除く）												
7 看護補助職員												
8 医療技術員												
9 事務職員（上記の職種に従事している者を除く）												
10 その他の職員												
11 役員（上記の職種に従事している者を除く）												
12 合 計												

分婉手当がある場合は、1分婉あたりの分婉手当の金額を記入ください。

円

(4) 資産・負債

- 直近の2事業年（度）の末日における資産及び負債の額を記入してください。
個人立診療所は、令和4年12月31日及び令和5年12月31日が直近の2事業年（度）の末日となります。
 - 法人全体で包括して貸借対照表が作成されているような場合には、面積、従事者数の割合など、調査対象となった診療所分の実態を最も適切に反映していると思われる係数で按分し、調査対象となった診療所分の金額を記入してください。
 - 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。
- 個人立診療所であって、青色申告で「貸借対照表（資産負債調）」を税務署に提出していない場合、右側のチェック欄“□”に“レ”を記入してください。この場合、資産・負債の記入の必要はありません。

☐ 貸借対照表（資産負債調）を税務署に提出していない

①資産の部

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 流動資産										
2 固定資産										
3 繰延資産										
4 資 産 合 計										

②負債の部

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
5 流動負債										
6 固定負債										
6-1.（うち）長期借入金										
7 負 債 合 計										

(5) 設備投資額

- 直近の2事業年（度）中に新規に取得した資産にかかる取得価額を記入してください。
個人立診療所は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 上記の金額のうち、直近の2事業年（度）中に新規にリース契約を締結した場合には、当該設備の取得価額（リース期間中のリース料総額）を「（うち）リース分」の欄に記入してください。ただし、固定資産に計上されているものに限ります。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 設備投資額

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 設備投資額（土地を含む）										
1-1.（うち）建物（建物附属設備を含み、土地を除く）										
1-2.（うち）医療機器										
1-2-1.（うち）リース分										
1-3.（うち）調剤用機器										
1-3-1.（うち）リース分										
1-4.（うち）医療情報システム用機器										
1-4-1.（うち）リース分										
2 設備投資額のうち消費税課税対象の投資額										

②医療機器の価格（リース）

※複数ある場合は合計金額を記載ください。

リース費

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 分娩台										
2 分娩室用超音波画像診断装置										
3 集中監視システム機器										
4 分娩監視装置										
5 保育器（開放式）（インファントウォーマー）										

③医療機器の価格（購入価格と購入時期）

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 分娩台										
2 分娩室用超音波画像診断装置										
3 集中監視システム機器										
4 分娩監視装置										
5 保育器（開放式）（インファントウォーマー）										

購入時期
※西暦

年

年

年

年

年

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（A票）

ID

パスワード

調査を行った月

9月 ・ 10月 （いずれかに○）

9月に分娩を取り扱った場合は9月について、そうでない場合は10月について調査を実施してください。
10月に調査を実施する場合、調査票内の9月を10月に読み替える等のご対応をお願いいたします。
(例：①令和6年9月1日～令和6年9月30日の1か月 → 令和6年10月1日～令和6年10月31日の1か月
②令和5年9月1日～令和6年8月31日の1年 → 令和5年10月1日～令和6年9月30日の1年

1. 分娩取扱施設の基本情報

令和6年9月1日時点

		回答欄	留意点等
1	施設名	ふりがな	
2		漢字	
3	施設所在地	郵便番号	貴施設の所在地を記載してください。
4		都道府県	
5		市区町村	
6		上記以下	
7	回答担当者氏名	ふりがな	ご回答いただいている担当の方のお名前、所属部署、電話番号、メールアドレスを記載してください。 調査票に関してご連絡を差し上げることがあります。
8		漢字	
9	回答担当者職員（例：管理者、事務等）		
10	回答担当者電話番号		
11	回答担当者メールアドレス		
12	設置主体（いずれか1つ選択）	1.国立（国、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構） 2.公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人） 3.公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会） 4.社会保険関係（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びの連合会、国民健康保険組合） 5.医療法人（社会医療法人は含まない） 6.その他の法人（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人） 7.個人	
13	周産期救急情報システムの活用の有無（いずれか1つ選択）	1.直接活用 2.直接活用していないがコーディネーターを通して活用 3.嘱託医等を通して活用 4.活用は無い	貴施設の所在する都道府県の「周産期救急情報システム（周産期医療情報センターが運営する病床の空床状況や重症例や産科合併症以外の合併症による母体救急患者の受入れ可能状況等の情報収集、情報提供を行うシステム）」について、助産所の活用状況を選択してください。 空床状況等の情報に助産所が直接アクセスして活用している場合は1を選択してください。 情報システムに直接アクセスしていないが搬送コーディネーター等の調整者を通して活用している場合は2を選択してください。 嘱託医や嘱託医療機関を通して活用している場合は3を選択してください。 周産期救急情報システムは活用していない場合は4を選択してください。
14	分娩の取扱の実施状況	1.有 2.無	
15	有床、無床の別	1.有床 2.無床	

2. 助産所票

(1) 構造設備 (令和6年9月1日時点)

			回答欄	留意点等
1	入所定員			人 部屋 部屋 部屋 部屋
2	入所室	入所定員 1 名の入所室		
3		入所定員 2 名の入所室		
4		入所定員 3 名の入所室		
5		入所定員 4 名以上の入所室		
6	分娩室		1.有 2.無	
7	L 入所室と分娩室を分けている（入所室（居室）が9㎡以上あり）		1.はい 2.いいえ	no.6で分娩室「無」の場合に回答してください。
8	L 出張助産のみ取り扱っている		1.はい 2.いいえ	no.6で分娩室「無」の場合に回答してください。
9	新生児室		1.有 2.無	
10	新生児沐浴室 ※新生児室とは別に沐浴室がある場合は「有」を、新生児室の中に沐浴槽がある場合は「無」を選択、固定式の沐浴槽ではなくて移動式の沐浴槽を使用している場合も、沐浴室がある場合は「有」を選択。		1.有 2.無	
11	給食設備（専用のキッチン等）		1.有 2.無	
12	超音波装置			無い場合は、0と回答してください。
13	胎児超音波ドップラー			無い場合は、0と回答してください。
14	分娩監視装置台数			無い場合は、0と回答してください。
15	閉鎖式保育器（クベース）			無い場合は、0と回答してください。
16	開放式保育器（インファントウォーマー）			無い場合は、0と回答してください。

(2) 助産所の体制

① 配置されている職員数 (令和6年9月1日時点)

17	常勤勤務の過あたりの勤務時間数			時間	貴施設で決められている、常勤職員の最低勤務時間数を記載ください。
18	助産師	常勤		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている常勤職員
19		非常勤（常勤換算）		人	助産師であり、主として助産師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
20	看護師	常勤		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている常勤職員
21		非常勤（常勤換算）		人	看護師であり、主として看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
22	准看護師	常勤		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている常勤職員
23		非常勤（常勤換算）		人	准看護師であり、主として准看護師の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
24	看護補助者	常勤		人	看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている常勤職員
25		非常勤（常勤換算）		人	看護補助者であり、主として看護補助の業務を行っている非常勤職員の常勤換算
26	管理栄養士	常勤		人	管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する常勤職員
27		非常勤（常勤換算）		人	管理栄養士であり、主として管理栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
28	栄養士	常勤		人	栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する常勤職員
29		非常勤（常勤換算）		人	栄養士であり、主として栄養士の業務を担当する非常勤職員の常勤換算
30	その他の職員	常勤		人	
31		非常勤（常勤換算）		人	

② 安全管理、継続教育		回答欄	留意点等
32	院内感染防止対策のマニュアル等の作成	1.有 2.無	令和5年9月1日～令和6年8月31日の1年の実績 令和5年9月1日～令和6年8月31日の1年の実績 管理者以外がない場合は回答しなくてかまいません。 助産所内の助産師が該当する研修を、令和5年9月1日～令和6年8月31日の1年に受講していれば有と回答してください。
33	BCP（業務継続計画）の作成	1.有 2.無	
34	医療安全管理のための指針の整備	1.有 2.無	
35	医療事故やインシデント等の報告体制の整備	1.有 2.無	
36	医療安全管理に関する研修受講（管理者）	1.有 2.無	
37	医療安全管理に関する研修受講（管理者以外）	1.有 2.無	
38	「助産師のコア・コンピテンシー」に関する研修受講 ※ 4 つの助産実践能力に関連する研修を受講している場合は「有」を選択してください。	1.有 2.無	
39	栄養管理手順（標準的な栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価、栄養管理計画、退院時を含む定期的な評価等）の作成	1.有 2.無	
40	厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた、適切な意思決定支援に関する指針の整備	1.有 2.無	
41	身体的拘束を最小化するための取組	1.有 2.無	

③ 通常の勤務体制				
42	産婦・褥婦の入所者が <u>いない</u> 場合の平均的な人員配置（日勤帯）（常勤換算）	a. 助産師		人
43		b. 看護師		人
44		c. その他の職員		人
45	産婦・褥婦の入所者が <u>いない</u> 場合の平均的な人員配置（夜勤帯）（常勤換算）	a. 助産師		人
46		b. 看護師		人
47		c. その他の職員		人
48	産婦・褥婦の入所者が <u>1名</u> の場合の平均的な人員配置（日勤帯）（常勤換算）※分娩日を除く	a. 助産師		人
49		b. 看護師		人
50		c. その他の職員		人
51	産婦・褥婦の入所者が <u>1名</u> の場合の平均的な人員配置（夜勤帯）（常勤換算）※分娩日を除く	a. 助産師		人
52		b. 看護師		人
53		c. その他の職員		人
54	産婦・褥婦の入所者が <u>2名以上</u> の場合の平均的な人員配置（日勤帯）（常勤換算）※分娩日を除く	a. 2名以上入所することはない	1.はい 2.いいえ	
55		b. 助産師		人
56		c. 看護師		人
57		d. その他の職員		人
58	産婦・褥婦の入所者が <u>2名以上</u> の場合の平均的な人員配置（夜勤帯）（常勤換算）※分娩日を除く	a. 2名以上入所することはない	1.はい 2.いいえ	
59		b. 助産師		人
60		c. 看護師		人
61		d. その他の職員		人

産婦・褥婦の入所者には、産後ケア事業等の入所者は含みません。

④ 分娩時の体制（助産師のみ）

回答欄

留意点等

62	分娩時の体制	1.自院の助産師で複数人体制を確保している 2.自院の助産師と他助産所の助産師による複数人体制を確保している 3.自院の助産師と他医療機関の助産師による複数人体制を確保している 4.助産師が一人で対応している 5.その他()
63	上記設問62において、2又は3の場合の他施設の助産師への支払い方法	1.産婦 1 名毎に委託契約している 2.時給 3.日給 4.月給 5.その他()

⑤ オンコールの人数

64	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけことができるように待機している人数（助産所内待機）	助産師		人	※整数値で回答してください。
65		看護師		人	
66	夜勤帯及び休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆けつけことができるように待機している人数（助産所外待機）	助産師		人	
67		看護師		人	

⑥ 嘱託医療機関等との連携体制

68	嘱託医数		人
69	嘱託医療機関数		施設
70	連携医療機関数		施設
71	嘱託医・嘱託医療機関、連携医療機関との出産予定妊婦に関する定期的な情報共有（オンライン可）	1.有 2.無	連携医療機関は、嘱託医や嘱託医療機関として契約はしていないものの連携している医療機関のことで、診療科は問いません。
72	嘱託医・嘱託医療機関等、連携医療機関が開催する事例検討会・勉強会・研修会等への参加	1.有 2.無	

（3）分娩取扱等の実績（令和5年9月1日～令和6年8月31日の1年）

① 分娩取扱等の実績

73	全分娩件数		件
74	分娩件数（初産婦／経産婦別）	a. 初産婦	件
75		b. 経産婦	件
76	分娩件数（分娩場所別）	a. 自産産所内での分娩	件
77		b. オープンシステムによる病院、診療所、他助産所での分娩	件
78		c. 自宅等への出張分娩	件
79		d. その他	件
80	母体搬送件数（分娩期）	a. 分娩第 1 期中の搬送	件
81		b. 分娩第 2 期中の搬送	件
82		c. 分娩第 3 期中の搬送	件
83		d. 分娩第 4 期中の搬送	件
84	搬送件数（産褥期）		件
85	新生児搬送件数		件
86	9 月 1 か月間の 1 日平均入所者数（新生児は含まない）		人
87	9 月 1 日時点における新生児数（入院中の児に限る）		人

② 他助産所等における分娩のサポート実績

88	他助産所等の入所者の分娩のサポート件数		件
----	---------------------	--	---

		回答欄	留意点等		
(4) その他のサービス（分娩と産褥入院にかかるもの）					
89	付帯サービスの種類や有無、価格	お祝い膳	1.有 2.無 3.妊産婦が選択	お祝い膳が標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
90		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ		
91		（前問で 2 を選択した場合）設定価格			円
92		写真撮影	1.有 2.無 3.妊産婦が選択	写真撮影が標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
93		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ		
94		（前問で 2 を選択した場合）設定価格			円
95		足形	1.有 2.無 3.妊産婦が選択	足形が標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
96		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ		
97		（前問で 2 を選択した場合）設定価格			円
98		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有 2.無 3.妊産婦が選択	エステが標準で提供される場合は有を選択してください。妊婦が要否を選択できる場合には「妊婦が選択」を選択してください。	
99		入院料等の他の料金に含まれている	1.はい 2.いいえ		
100		（前問で 2 を選択した場合）設定価格			円
101	その他（自由記載）			円	
102	胎盤の処理			円	
(5) その他のサービス（母子保健事業）					
103	先天性代謝異常等検査	a.実施	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
104		b.設定価格			円
105	新生児聴覚検査	a.実施	1.有 2.無	レンタル機器による自施設での実施を含みます。実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
106		b.設定価格			円
107		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無	複数の自治体と内容の異なる契約を結んでいる場合、所在自治体との契約の内容を回答してください。	
108		d.（cで有の場合）自治体の補助額			円
109	ビタミンK2内服	a.実施	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
110		b.設定価格			円
111	新生児1か月健診	a.実施	1.有 2.無	入院中の費用に加えて、退院時に持ち帰り用に処方する場合は、その分の費用も含めてください。	
112		b.設定価格			円
113		c.自治体の補助の有無	1.有 2.無	自施設で実施せず他施設に紹介している場合は「無」を選択してください。	
114		d.（cで有の場合）自治体の補助額			円
115	産後ケア事業（短期入所型（ショートステイ型））	a.実施	1.有 2.無	費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）、1泊2日利用した場合の費用（利用者の自己負担と自治体からの補助の合計）を記載してください。	
116		b.費用（1泊2日）			円
117		c.1ヶ月間の延べ利用者数			人
118	産後ケア事業（通所型（デイサービス型））	a.実施	1.有 2.無	費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。	
119		b.費用（1日利用）			円
120		c.1か月間の延べ利用者数（1日利用）			人
121		d.費用（半日利用）			円
122		e.1か月間の延べ利用者数（半日利用）			人
123	産後ケア事業（居宅訪問型（アウトリーチ型））	a.実施	1.有 2.無	費用については、市町村からの委託を受けて実施する産後ケア事業のうち利用が一番多い市町村について（市町村からの委託を受けていない場合は平均的な費用について）記載してください。	
124		b.費用（1回）			円
125		c.1か月間の延べ利用者数			人

（６）助産所における助産師の従事時間等

※従事時間数は概算での記載でかまいません。複数の業務に従事している場合は主として従事した業務に時間を計上してください。

※各項目に関する直接のケア以外の対応（記録や電話相談等）に要する時間は、各項目の従事時間に計上してください。

※市町村からの委託を受けて実施する場合とは、助産所が委託を受けて事業を行っている場合についての時間を計上してください。

以下の項目については、原則として記載のとおり、1ヶ月間での集計を御願いしたいと思いますが、1ヶ月間での集計が困難である場合は、「9月1日～30日の1ヶ月の」とあるところを「調査票到着日以降の初回の月曜日から日曜日の1週間」と読み替えてご回答ください。その場合、右の欄にチェックを御願いしま	☐ 月曜日から日曜日の1週間で回答
--	--

回答欄			留意点等		
1	全助産師の総労働時間数	9月1日～30日の1か月の総労働時間数	aからkを足しあげた数値に一致	時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全助産師の総労働時間のトータルのべ時間を記載してください。例えば、助産師3名で1日7時間で5日間ずつ従事した場合は、3×7×5＝105時間 また、この欄の数字は、aからkを足した数値となります。記載の際は必ず一致することを計算してご確認お願いいたします。
2	分娩期のケア	全助産師の分娩期のケアに従事した時間数	a	時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全助産師の分娩期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
3	産褥入院中（新生児含む）のケア（授乳、育児等の保健指導を含む）	全助産師の産褥入院中（新生児含む）のケアに従事した時間数	b	時間	9月1日～30日の1か月あたりの、全助産師の産褥入院中（新生児期含む）のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
4	妊娠期のケア（妊婦健診審査や保健指導を含む）	実施有無	1.有 2.無		
5		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
6		全助産師の妊娠期のケアに従事した時間数	c	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の妊娠期のケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
7	産婦健康診査（産後1か月までの褥婦と新生児）	実施有無	1.有 2.無		
8		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
9		全助産師の産婦健診に従事した時間数	d	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の産婦健康診査に従事したのべ時間を積算して記載してください。
10	妊婦やパートナーを対象とした妊娠期の集団指導（母親学級・両親学級、エクササイズ等）（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無		
11		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
12		全助産師の妊娠期の集団指導に従事した時間数	e	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の妊娠期の集団指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
13	妊婦への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無		
14		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月あたりの実施のべ件数を記載してください。
15		全助産師の妊婦への訪問指導に従事した時間数	f	時間	9月1日～30日の1か月あたりの全助産師の妊婦への訪問指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
16	乳児家庭全戸訪問事業（※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの）	実施有無	1.有 2.無		
17		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月の実施のべ件数を記載してください。
18		全助産師の乳児家庭全戸訪問事業に従事した時間数	g	時間	9月1日～30日の1か月の全助産師の乳児家庭全戸訪問事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。
19	褥婦、新生児への訪問指導（※市町村からの委託や補助を受けて実施する場合も含む）	実施有無	1.有 2.無		
20		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月の実施のべ件数を記載してください。
21		全助産師の褥婦、新生児への訪問指導に従事した時間数	h	時間	9月1日～30日の1か月の全助産師の褥婦、新生児への訪問指導に従事したのべ時間を積算して記載してください。
22	産前・産後サポート事業（※市町村からの委託や補助を受けて実施するもの）	実施有無	1.有 2.無		
23		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月の実施のべ件数を記載してください。
24		全助産師の産前・産後サポート事業に従事した時間数	i	時間	9月1日～30日の1か月の全助産師の産前・産後サポート事業に従事したのべ時間を積算して記載してください。
25	産後ケア（※市町村からの委託や補助を受けて実施する産後ケア事業と、自費での産後ケアの双方を含む）	実施有無	1.有 2.無		
26		9月1日～30日の1か月の実施件数		件	9月1日～30日の1か月の実施のべ人数（ショートステイ1泊2日は2件と計上する）を記載してください。
27		全助産師の産後ケアに従事した時間数	j	時間	9月1日～30日の1か月の全助産師の産後ケアに従事したのべ時間を積算して記載してください。
28	その他	実施有無	1.有 2.無		
29		その他の業務の内容（自由記載）			その他の業務内容について自由に記載してください。 例）事務作業、母乳外来、学生指導 等
30		全助産師のその他の業務に従事した時間数	k	時間	9月1日～30日の1か月の全助産師のその他の業務に従事したのべ時間を積算して記載してください。
31	訪問看護ステーションの併設	併設有無	1.有 2.無		

3. 産婦個票（正常分娩）

1事例目

産婦の選択方法：
調査月において、月末までに入所した全産婦について前向き調査をお願いいたします。
出張による自宅等での分娩介助や、他病院等でのオープンシステムによる分娩介助も回答に含んでください。
分娩途中で搬送となった産婦も1例として受け持ち終了までの情報で判明している部分のみ記載をお願いいたします。4事例以上入所した場合は、個票とタイムスタディをコピーして記載ください。

			回答欄			留意点等
(1) 産婦の概要						
1	年齢				歳	対象となる産婦の分娩日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県				里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。 注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。
3		市区町村				
4	身長				cm	産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重				kg	産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量				kg	入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	分娩時の妊娠週数			週 日		出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	分娩経験(いずれか1つ選択)		1.初産 2.経産			初産もしくは経産を選択してください。
9	分娩開始前入院時間数				時間	前期破水などで分娩開始前に助産所へ入院した場合の時間数を記載してください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの時間数を記載してください。

(2) 搬送の有無						
10	搬送	搬送の有無	1.有 2.無			
11		搬送となった時期	1.分娩期（母体搬送） 2.産褥入院中 3.新生児（入院中）			
12		（搬送した場合）理由				
13		（搬送した場合）搬送先	1.嘱託医 2.嘱託医療機関 3.連携医療機関 4.その他の医療機関			
14		（搬送した場合）搬送までのサマリー				

(3) 分娩の概要						
15	分娩場所		1.助産所 2.産婦自宅（実家等を含む） 3.他助産所（オープンシステム） 4.病院（オープンシステム） 5.診療所（オープンシステム）			有床助産所での分娩介助は1、出張による自宅での分娩介助は2、オープンシステムでの分娩介助は場所によって3～5を選択してください。
16	入院（出張の場合は訪問）の経緯（陣痛発来、前期破水など） (いずれか1つ選択)		1.陣痛発来 2.前期破水 3.その他 ()			分娩を含む入院の場合に、入院となった経緯を記載してください。
17	分娩時間	第1期	時間 分		分娩第1期の時間を記載してください。	
18		第2期	時間 分		分娩第2期の時間を記載してください。	
19		第3期	時間 分		分娩第3期の時間を記載してください。	
20	入院から分娩第3期終了までの時間		時間 分		入院から分娩第3期終了までの時間を記載してください。	
21	第3期終了から帰宅までの時間		時間 分		第3期終了から、分娩室から入所室（居室）へ移動するまでの時間を記載してください。なお、分娩室と入所室（居室）が同一の場合は、第3期終了から助産師が分娩時ケアを終了するまでの時間、出張助産の場合は、第3期終了から助産師が分娩時ケアから離れ帰宅するまでの時間を記載してください。	
22	分娩第1期～4期までの出血量					ml
23	会陰裂傷		1.有 2.無			会陰裂傷があった場合は有を選択して下さい。
24	分娩時の特記事項（例：回旋異常、微弱陣痛等）		(自由記載)			分娩時の特記事項について自由に記載してください。

(4) 分娩・入院中の処置等（臨時応急の処置を含む）

a.分娩時

25	血管確保	1.有	2.無
26	輸液投与	1.有	2.無
27	子宮収縮薬投与	1.有	2.無
28	抗菌薬投与	1.有	2.無
29	会陰切開	1.有	2.無
30	会陰縫合	1.有	2.無

b.產褥入院

31	退院前の評価	日程	産後()日目
32		内診	1.有 2.無
33		経膈超音波・経腹超音波	1.有 2.無
34	産褥入院日数		

日

留意点等

包括指示に基づき血管確保を行った際には、有を選択してください。
包括指示に基づき輸液投与を行った際には、有を選択してください。
包括指示に基づき子宮収縮薬投与を行った際には、有を選択してください。
包括指示に基づき抗菌薬投与を行った際は、有を選択してください。
会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。
会陰縫合を行った際には有を選択してください。

（５）入院中の助産ケア

35	母子同室の有無		1.有	2.無
36	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な1日あたりの回数		
37		1入院あたりの合計回数		
38		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
39		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
40	個別の乳房・乳頭のケア（乳房マッサージ等）	平均的な1日あたりの回数		
41		1入院あたりの合計回数		
42		1回あたりの時間		
43	沐浴指導の回数とかかる時間	1入院あたりの合計回数		
44		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
45		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
46	調乳指導の回数とかかる時間	1入院あたりの合計回数		
47		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
48		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
49	育児技術に係る指導にかかる時間（延べ時間）			
50	退院指導にかかる時間（延べ時間）			
51	上記36～50以外に行っている指導の内容（自由記載）			

..

1

1

1

I

刀

9

分

分

1

11

1

1

分

分

1

(6) 付帯サービス

52	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有	2.無
53		写真撮影	1.有	2.無
54		足形	1.有	2.無
55		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有	2.無
56		その他（自由記載）		

(7) 新生児関連

a.新生児の概要

57	出生時の体重	
58	在院日数（出生日を0日として、退院日を記載）	

留意点等

出生時の体重を記載してください。

9日

b.新生児へ提供した処置・ケア等

59	新生児の観察	助産師による観察日数 （入院中に限る）	
60	新生児への処置・ケア	採血（足底からの採血を含む）	1.対象 2.対象外
61		ミルタ黄疸計測定	1.有 2.無
62		出生直後血糖測定	1.対象 2.対象外
63		SpO2モニター装着 （出生直後等）	1.有 2.無
64		アプニアセンサー装着	1.有 2.無
65		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無
66		新生児聴覚検査	1.有 2.無
67		保温（保育器収容を含む）	1.有 2.無
68		臍処置	1.有 2.無
69		皮膚ケア	1.有 2.無
70		ビタミンK2内服	1.有 2.無
71		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）	
72	その他新生児へ提供した 処置・ケア（自由記載）		

日

回

(8) 費用

以下の項目の費用内訳を記載してください。出産育児一時金の直接支払制度を利用した場合は、専用請求書への記載内容を記載してください。

73	入院料	
74	室料差額	
75	分娩料	
76	新生児管理保育料	
77	検査・薬剤料	
78	処置・手当料	
79	産科医療補償制度の掛金	
80	その他	
81	妊婦合計負担額	
82	備考	

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

3. 產婦個票（正常分娩）

2事例目

産婦の選択方法：

調査月において、月末までに入所した全産婦について前向き調査をお願いいたします。

出張による自宅等での分娩介助や、他病院等でのオープンシステムによる分娩介助も回答に含んでください。

分娩途中で搬送となった産婦も1例として受け持ち終了までの情報で判明している部分のみ記載をお願いいたします。4事例以上入所した場合は、個票とタイムスタディをコピーして記載ください。

(1)産婦の概要

1	年齢			歳
2	産婦の住所	都道府県		
3		市区町村		
4	身長			cm
5	非妊時体重			kg
6	妊娠中の体重増加量			kg
7	分娩時の妊娠週数		週日	
8	分娩経験(いずれか1つ選択)		1.初産2.経産	
9	分娩開始前入院時間数			時間

(2)搬送の有無

10	搬送	搬送の有無	1.有2.無
11		搬送となった時期	1.分娩期（母体搬送） 3.新生児（入院中） 2.産褥入院中
12		（搬送した場合）理由	
13		（搬送した場合）搬送先	1.嘱託医 3.連携医療機関 2.嘱託医療機関 4.その他の医療機関
14		（搬送した場合）搬送までのサマリー	

(3)分娩の概要

15	分娩場所	1.助産所2.産婦自宅（実家等を含む） 3.他助産所（オープンシステム） 4.病院（オープンシステム） 5.診療所（オープンシステム）	
16	入院（出張の場合は訪問）の経緯（陣痛発来、前期破水など） （いずれか1つ選択）	1.陣痛発来2.前期破水 3.その他 （ ）	
17	分娩時間	第1期	時間分
18		第2期	時間分
19		第3期	時間分
20	入院から分娩第3期終了までの時間		時間分
21	第3期終了から帰室までの時間		時間分
22	分娩第1期～4期までの出血量		ml
23	会陰裂傷	1.有2.無	
24	分娩時の特記事項（例：回旋異常、微弱陣痛等）	（自由記載）	

留意点等

対象となる産婦の分娩日における年齢を記載してください。
里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。 注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。
産婦の身長を記載してください。
産婦の妊娠前の体重を記載してください。
入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
出産の時の妊娠週数を記載してください。
初産もしくは経産を選択してください。
前期破水などで分娩開始前に助産所に入院した場合の時間数を記載してください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの時間数を記載してください。
複数回答可。
搬送となった理由を記載してください。
搬送先の医療機関を教えてください。
母体搬送した場合、搬送までの経過を簡潔に記載してください。
有床助産所での分娩介助は1、出張による自宅での分娩介助は2、オープンシステムでの分娩介助は場所によって3～5を選択してください。
分娩を含む入院の場合に、入院となった経緯を記載してください。
分娩第1期の時間を記載してください。
分娩第2期の時間を記載してください。
分娩第3期の時間を記載してください。
入院から分娩第3期終了までの時間を記載してください。
第3期終了から、分娩室から入所室（居室）へ移動するまでの時間を記載してください。なお、分娩室と入所室（居室）が同一の場合は、第3期終了から助産師が分娩時ケアを終了するまでの時間、出張助産の場合は、第3期終了から助産師が分娩時ケアから離れ帰宅するまでの時間を記載してください。
会陰裂傷があった場合は有を選択して下さい。
分娩時の特記事項について自由に記載してください。

(4) 分娩・入院中の処置等 (臨時応急の処置を含む)			回答欄	留意点等
a.分娩時				
25	血管確保	1.有 2.無		包括指示に基づき血管確保を行った際には、有を選択してください。
26	輸液投与	1.有 2.無		包括指示に基づき輸液投与を行った際には、有を選択してください。
27	子宮収縮薬投与	1.有 2.無		包括指示に基づき子宮収縮薬投与を行った際には、有を選択してください。
28	抗菌薬投与	1.有 2.無		包括指示に基づき抗菌薬投与を行った際は、有を選択してください。
29	会陰切開	1.有 2.無		会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。
30	会陰縫合	1.有 2.無		会陰縫合を行った際には有を選択してください。
b.産褥入院				
31	退院前の評価	日程	産後()日目	退院前の子宮・腔・会陰の回復などの評価を行った日にちを記載してください。例：産後4日目
32		内診	1.有 2.無	退院前の評価のために内診を行う場合は有を選択してください。
33		経膣超音波・経腹超音波	1.有 2.無	退院前の評価のために経膣超音波・経腹超音波を行う場合は有を選択してください。
34	産褥入院日数			産褥入院の日数を記載してください (分娩日は含めない。例えば分娩後5日目で退院した場合は、5日)
(5) 入院中の助産ケア				
35	母子同室の有無	1.有 2.無		複数の助産ケアの項目を一体的に提供した場合は、主たる助産ケアの項目に計上してください。
36	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な1日あたりの回数		入院期間中に母子同室がある場合は有を選択してください。
37		1入院あたりの合計回数		個別指導及び集団指導を含みます。
38		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		産後授乳指導の時間の1回あたりの平均時間を記載ください。 集団指導の場合は、1人あたりの指導時間に換算して計上ください。(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
39		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
40	個別の乳房・乳頭のケア (乳房マッサージ等)	平均的な1日あたりの回数		
41		1入院あたりの合計回数		
42		1回あたりの時間		個別指導及び集団指導を含みます。 集団指導の場合は、1人あたりの指導時間に換算して計上ください。(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
43	沐浴指導の回数とかかる時間	1入院あたりの合計回数		
44		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
45		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
46	調乳指導の回数とかかる時間	1入院あたりの合計回数		個別指導及び集団指導を含みます。
47		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		集団指導の場合は、1人あたりの指導時間に換算して計上ください。(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
48		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
49	育児技術に係る指導にかかる時間 (延べ時間)			抱っこ、おむつ・衣類交換、児の健康状態の見方等の育児技術に関する指導を行った合計時間を記載ください。個別指導及び集団指導を含みます。集団指導の場合は、1人あたりの指導時間に換算して計上ください。(例：[集団指導の時間] ÷ [集団指導の対象人数])
50	退院指導にかかる時間 (延べ時間)			
51	上記36～50以外に行っている指導の内容 (自由記載)			
(6) 付帯サービス				
52	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有 2.無	
53		写真撮影	1.有 2.無	
54		足形	1.有 2.無	
55		エステ (※乳房マッサージは除く)	1.有 2.無	
56		その他 (自由記載)		

(7) 新生児関連

a.新生児の概要

57	出生時の体重	
58	在院日数（出生日を0日として、退院日を記載）	

留意点等

出生時の体重を記載してください。

9日

b.新生児へ提供した処置・ケア等

59	新生児の観察	助産師による観察日数 （入院中に限る）	
60	新生児への処置・ケア	採血（足底からの採血を含む）	1.対象 2.対象外
61		ミルタ黄疸計測定	1.有 2.無
62		出生直後血糖測定	1.対象 2.対象外
63		SpO2モニター装着 （出生直後等）	1.有 2.無
64		アプニアセンサー装着	1.有 2.無
65		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無
66		新生児聴覚検査	1.有 2.無
67		保温（保育器収容を含む）	1.有 2.無
68		臍処置	1.有 2.無
69		皮膚ケア	1.有 2.無
70		ビタミンK2内服	1.有 2.無
71		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）	
72	その他新生児へ提供した 処置・ケア（自由記載）		

日

回

(8) 費用

以下の項目の費用内訳を記載してください。出産育児一時金の直接支払制度を利用した場合は、専用請求書への記載内容を記載してください。

73	入院料	
74	室料差額	
75	分娩料	
76	新生児管理保育料	
77	検査・薬剤料	
78	処置・手当料	
79	産科医療補償制度の掛金	
80	その他	
81	妊婦合計負担額	
82	備考	

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

3. 產婦個票（正常分娩）

3事例目

産婦の選択方法：

調査月において、月末までに入所した全産婦について前向き調査をお願いいたします。

出張による自宅等での分娩介助や、他病院等でのオープンシステムによる分娩介助も回答に含んでください。

分娩途中で搬送となった産婦も1例として受け持ち終了までの情報で判明している部分のみ記載をお願いいたします。4事例以上入所した場合は、個票とタイムスタディをコピーして記載ください。

(1) 産婦の概要

1	年齢			歳	対象となる産婦の分娩日における年齢を記載してください。
2	産婦の住所	都道府県			里帰りした先の住所ではなく、産婦の居住場所の住所を記載してください。 注：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の場合は、その先の区まで記載してください。
3		市区町村			
4	身長			cm	産婦の身長を記載してください。
5	非妊時体重			kg	産婦の妊娠前の体重を記載してください。
6	妊娠中の体重増加量			kg	入院後計測を行わなかった場合は、直近の妊婦健診での体重を元に記載してください。
7	分娩時の妊娠週数			週 日	出産の時の妊娠週数を記載してください。
8	分娩経験(いずれか1つ選択)		1.初産 2.経産		初産もしくは経産を選択してください。
9	分娩開始前入院時間数			時間	前期破水などで分娩開始前に助産所へ入院した場合の時間数を記載してください。 ※例えば前駆陣痛などで一旦退院した場合は、再度入院した日からの時間数を記載してください。

(2) 搬送の有無

10	搬送	搬送の有無	1.有 2.無	複数回答可。 搬送となった理由を記載してください。 搬送先の医療機関を教えてください。 母体搬送した場合、搬送までの経過を簡潔に記載してください。
11		搬送となった時期	1.分娩期（母体搬送） 2.産褥入院中 3.新生児（入院中）	
12		（搬送した場合）理由		
13		（搬送した場合）搬送先	1.嘱託医 2.嘱託医療機関 3.連携医療機関 4.その他の医療機関	
14		（搬送した場合）搬送までのサマリー		

(3) 分娩の概要

15	分娩場所		1.助産所 2.産婦自宅（実家等を含む） 3.他助産所（オープンシステム） 4.病院（オープンシステム） 5.診療所（オープンシステム）
16	入院（出張の場合は訪問）の経緯（陣痛発来、前期破水など） （いずれか1つ選択）		1.陣痛発来 2.前期破水 3.その他 （ ）
17	分娩時間	第1期	時間 分
18		第2期	時間 分
19		第3期	時間 分
20	入院から分娩第3期終了までの時間		時間 分
21	第3期終了から帰室までの時間		時間 分
22	分娩第1期～4期までの出血量		ml
23	会陰裂傷		1.有 2.無
24	分娩時の特記事項（例：回旋異常、微弱陣痛等）		（自由記載）

有床助産所での分娩介助は1、出張による自宅での分娩介助は2、オープンシステムでの分娩介助は場所によって3～5を選択してください。

分娩を含む入院の場合に、入院となった経緯を記載してください。

分娩第1期の時間を記載してください。

分娩第2期の時間を記載してください。

分娩第3期の時間を記載してください。

入院から分娩第3期終了までの時間を記載してください。

第3期終了から、分娩室から入所室（居室）へ移動するまでの時間を記載してください。なお、分娩室と入所室（居室）が同一の場合は、第3期終了から助産師が分娩時ケアを終了するまでの時間、出張助産の場合は、第3期終了から助産師が分娩時ケアから離れ帰宅するまでの時間を記載してください。

会陰裂傷があった場合は有を選択して下さい。

分娩時の特記事項について自由に記載してください。

(4) 分娩・入院中の処置等（臨時応急の処置を含む）

a.分娩時

25	血管確保	1.有	2.無
26	輸液投与	1.有	2.無
27	子宮収縮薬投与	1.有	2.無
28	抗菌薬投与	1.有	2.無
29	会陰切開	1.有	2.無
30	会陰縫合	1.有	2.無

b.產褥入院

31	退院前の評価	日程	産後()日目
32		内診	1.有 2.無
33		経膈超音波・経腹超音波	1.有 2.無
34	産褥入院日数		

日

留意点等

包括指示に基づき血管確保を行った際には、有を選択してください。
包括指示に基づき輸液投与を行った際には、有を選択してください。
包括指示に基づき子宮収縮薬投与を行った際には、有を選択してください。
包括指示に基づき抗菌薬投与を行った際には、有を選択してください。
会陰切開を行った場合は有を選択して下さい。
会陰縫合を行った際には有を選択してください。

（５）入院中の助産ケア

35	母子同室の有無		1.有	2.無
36	授乳指導の回数とかかる時間	平均的な1日あたりの回数		
37		1入院あたりの合計回数		
38		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
39		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
40	個別の乳房・乳頭のケア（乳房マッサージ等）	平均的な1日あたりの回数		
41		1入院あたりの合計回数		
42		1回あたりの時間		
43	沐浴指導の回数とかかる時間	1入院あたりの合計回数		
44		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
45		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
46	調乳指導の回数とかかる時間	1入院あたりの合計回数		
47		1回あたりの平均的な時間 (個別指導の場合)		
48		1回あたりの平均的な時間 (集団指導の場合)		
49	育児技術に係る指導にかかる時間（延べ時間）			
50	退院指導にかかる時間（延べ時間）			
51	上記36～50以外に行っている指導の内容（自由記載）			

1

11

1

1

1

1

力

四

分

分

1

18

1

1

分

分

1

(6) 付帯サービス

52	付帯サービスの種類と実施の有無	お祝い膳	1.有	2.無
53		写真撮影	1.有	2.無
54		足形	1.有	2.無
55		エステ（※乳房マッサージは除く）	1.有	2.無
56		その他（自由記載）		

(7) 新生児関連

a.新生児の概要

57	出生時の体重	
58	在院日数（出生日を0日として、退院日を記載）	

留意点等

出生時の体重を記載してください。

9日

b.新生児へ提供した処置・ケア等

59	新生児の観察	助産師による観察日数 （入院中に限る）	
60	新生児への処置・ケア	採血（足底からの採血を含む）	1.対象 2.対象外
61		ミルタ黄疸計測定	1.有 2.無
62		出生直後血糖測定	1.対象 2.対象外
63		SpO2モニター装着 （出生直後等）	1.有 2.無
64		アプニアセンサー装着	1.有 2.無
65		先天性代謝異常等検査	1.有 2.無
66		新生児聴覚検査	1.有 2.無
67		保温（保育器収容を含む）	1.有 2.無
68		臍処置	1.有 2.無
69		皮膚ケア	1.有 2.無
70		ビタミンK2内服	1.有 2.無
71		沐浴・ドライケア（清拭）の回数（入院中に限る）	
72	その他新生児へ提供した 処置・ケア（自由記載）		

日

回

(8) 費用

以下の項目の費用内訳を記載してください。出産育児一時金の直接支払制度を利用した場合は、専用請求書への記載内容を記載してください。

73	入院料	
74	室料差額	
75	分娩料	
76	新生児管理保育料	
77	検査・薬剤料	
78	処置・手当料	
79	産科医療補償制度の掛金	
80	その他	
81	妊婦合計負担額	
82	備考	

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

記載方法：★分娩が複数日にわたる場合はお手数ですが、p17～p18を印刷いただき、記載いただけますと幸いです。

タイムスタディ
(記載例)

- ①「入院、児娩出、分娩終了、帰室（分娩室やLDRから産婦が入院している部屋に入る時刻）」については、該当する時間に●を記載してください。
- ②「経過」には、分娩の進行や異常所見の出現等、産婦の経過において契機となる状態が出現した場合に記載をお願いいたします。
- ③「助産師」「看護師」の項目（アルファベット）は、各アルファベット1つにつき1名の割り当てをお願いいたします。その助産師、看護師が産婦に対面で接していた（看護・助産ケア等していた）時間に⇄を記載ください。
- ④「産婦のそば以外での分娩監視装置監視者」に関しては、産婦には接していないが分娩監視装置のモニターを監視している時間を⇄で表し、監視している者を⇄の上に記載ください。複数人いる場合は複数記載してください。
- ⑤分娩監視装置使用時間は産婦に対して分娩監視装置を使用している時間を⇄で記載ください。
- ⑥「実施したケア等の内容」の欄は、各時間の実施したケアについて該当するものをチェックしてください。該当するケア以外のものを実施した場合は、その内容を「その他」欄にご記入をお願いいたします。

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院				●																						
児娩出																	●									
分娩終了（分娩第3期終了）																	●									
帰室																			●							
経過																トイレ 後早発 一過性 徐脈あり		怒責感＋								
助産師	A							⇄		⇄																
	B				⇄	⇄	⇄																			
	C								⇄			⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄									
	D												⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄							
	E																									
	F																									
	G																									
看護師	A																⇄	⇄								
	B																									
産婦のそば以外での分娩監視装置監視者					⇄	⇄	助 A	⇄		⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄								
分娩監視装置使用時間					⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄							
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☐	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☒	☒	☒	☐	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	
	その他 ⁶⁾																									

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。

1）オキシトシン等の滴下管理を含む

2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック

3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック

4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック

5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック

6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分婉） **1事例目** **1日目**

[illegible]

※実施したケア内容について、該当する箇所をチェックをいれてください。

1) オキシトシン等の滴下管理を含む 2) 温罨法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3) ホットパック等を使用した温罨法を行った場合にチェック

4) 湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5) 分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6) アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）1事例目 2日目

		6	7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		1		2		3		4		5		6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
入院																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

※実施したケア内容について、該当する箇所をチェックをいれてください。

- 1）オキシトシン等の滴下管理を含む
- 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック
- 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
- 4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック
- 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック
- 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩） 2事例目 1日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
経過																										
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
看護師	G																									
	A																									
B																										
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	破水・出血の観察／パット交換	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
その他 ⁶⁾																										

※実施したケア内容について、該当する箇所をチェックをいれてください。

1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック

4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）2事例目 2日目

		6	7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		1		2		3		4		5		6		
入院																																																			
児娩出																																																			
分娩終了（分娩第3期終了）																																																			
帰室																																																			
経過																																																			
助産師	A																																																		
	B																																																		
	C																																																		
	D																																																		
	E																																																		
	F																																																		
	G																																																		
看護師	A																																																		
	B																																																		
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																																																			
分娩監視装置使用時間																																																			
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐																									

※実施したケア内容について、該当する箇所をチェックをいれてください。

- 1）オキシトシン等の滴下管理を含む
- 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック
- 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック
- 4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック
- 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック
- 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩） **3事例目 1日目**

[illegible]

※実施したケア内容について、該当する箇所にチェックをいれてください。

1) オキシトシン等の滴下管理を含む 2) 温罨法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3) ホットパック等を使用した温罨法を行った場合にチェック

4) 湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5) 分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6) アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

タイムスタディ（分娩）3事例目 2日目

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6
入院																										
児娩出																										
分娩終了（分娩第3期終了）																										
帰室																										
経過																										
助産師	A																									
	B																									
	C																									
	D																									
	E																									
	F																									
看護師	G																									
	A																									
	B																									
ベッドサイド以外での分娩監視装置監視者																										
分娩監視装置使用時間																										
実施したケア等の内容	内診	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	ドップラー聴取	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	点滴管理 ¹⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	バイタルサイン測定	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	産痛緩和 ²⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	温電法 ³⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	足浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	シャワー浴	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	入浴 ⁴⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	トイレ歩行	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	食事介助	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	体位交換・歩行のサポート ⁵⁾	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
	清拭・更衣	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		

※実施したケア内容について、該当する箇所をチェックをいれてください。

1）オキシトシン等の滴下管理を含む 2）温電法、足浴、シャワー浴、入浴といったここに掲載されているケア以外の方法（マッサージ等）での産痛緩和を実施した場合にチェック 3）ホットパック等を使用した温電法を行った場合にチェック

4）湯舟にお湯をためて入浴した場合にチェック 5）分娩の進行を促進する等を目的として、産婦の体位を調整する、歩行に付き添うなどした場合にチェック 6）アロマや酸素投与などのその他の処置やケアを自由記載で記載してください

4. 外来概要

令和6年9月1日時点

(1) 妊婦健診

回答欄

留意点等

1	助産所における妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数		回	令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診として受診した平均的な回数を小数点1桁までお答えください。 例：分娩された4人について、それぞれ妊婦健診の回数が8回、9回、10回、11回だった場合、（8+9+10+11）/4=9.5回
2	助産所における妊婦の平均的な妊婦健診の費用の合計額		円	令和6年9月に分娩された妊婦（多胎は除いてください。また、セミオープンシステムや里帰りなどで途中から貴施設で妊婦健診を受診された方は除いてください。）について、妊婦健診の費用（自治体で補助される費用も含みます）の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。 例：分娩された4人について、それぞれ妊婦健診の費用が6万円、7万円、8万円、9万円だった場合、（6+7+8+9）/4=7.5万円
3	2のうち、自治体の補助を除いた、平均的な妊婦の窓口負担の合計額		円	2のうち、自治体の補助を除いた、窓口での妊婦への請求額の平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。
4	2のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれない健診項目の費用の合計額		円	2のうち、妊婦健診の望ましい基準に含まれる項目を除いた健診項目（追加の超音波検査やNSTなど）の費用の一人当たり平均額をお答えください（小数点以下は四捨五入してください）。

※妊婦健診の望ましい基準

【厚生労働省「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」に示されている項目】

1.超音波検査（4回） 2.血液型等の検査（ABO血液型、Rh血液型及び不規則抗体に係るもの） 3.B型肝炎抗原検査 4.C型肝炎抗体検査 5.HIV抗体検査 6.梅毒血清反応検査 7.風疹ウイルス抗体検査 8.血糖検査 9.血算検査 10.HTLV-1抗体検査 11.子宮頸がん検診 12.性器クラミジア検査 13.B群溶血性レンサ球菌検査

(2) 妊婦健診において所在地自治体の補助に含まれない検査で、基礎疾患のない一般的な妊婦に対して実施している項目（保険診療を除く）

	項目	費用	回数
5		円	回
6		円	回
7		円	回
8		円	回
9		円	回

例）超音波検査（助成回数を超える分）、NSTなど

(3) 産婦健診 ※行っていない場合は、空欄としてください。

※所在自治体との委託契約の内容を基に回答ください

		産婦健診費用①	自治体の補助・助成の有無	(1.有の場合) 自治体の補助額※②	産婦への請求 (①-②)
10	分娩後2週間頃	円	1.有 2.無	円	円
11	分娩後4週間頃	円	1.有 2.無	円	円
12	その他（分娩後()週間頃）	円	1.有 2.無	円	円

(4) 産婦健診以外の産婦を対象とした診察・ケア（産後ケア※を除く）

※ここでの産後ケアは自治体委託と自費の産後ケア両方を指します。

	項目	費用	1ヶ月間の外来人数
13		円	人
14		円	人
15		円	人

調査へのご協力ありがとうございました。現在、「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」において、妊娠・出産・産後に関する様々な支援等の更なる強化の方向性について議論が行われています。この議論に関して、ご意見があれば以下に記載をお願いします。

(自由記述欄)

分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 調査票（B票）
収益等（助産所）

ID

1. 基本データ

① 直近の2事業年（度）

（個人立以外の助産所のみ記入してください。）

令和5年3月末までに終了した事業年（度）

令和 年 月 ～ 令和 年 月

令和6年3月末までに終了した事業年（度）

令和 年 月 ～ 令和 年 月

※個人立の場合は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が「直近の2事業年（度）」となるため、記入の必要はありません。

② 貴助産所の活動状況

（令和6年3月31日現在、該当する番号を○付けてください。）

- 1 直近の2事業年（度）の間及び現在、活動している
- 2 その他（直近の2事業年（度）の途中に開設、現在は休止、廃止等）

※回答が「2」の場合は、ここでこれ以降の調査は終了となります。このまま本調査票をご返送ください。

③ 貴助産所の開設者が保有する施設の状況

（令和6年3月31日現在、該当する番号を○付けてください。）

- 1 調査対象助産所のみ保有している
- 2 調査対象助産所以外の施設（病院、診療所等）も保有している

④ 消費税の経理方式

（令和6年3月31日現在、該当する番号を○付けてください。）

- 1 税込
- 2 税抜

※次頁以降で記入していただく金額等は、ここで選択した経理方式に従って記入してください。

2. 損益

○直近の2事業年（度）それぞれの収益及び費用の額を記入してください。

○個人立助産所は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。

○法人全体で包括して経理を行っているような場合でも、調査対象となった助産所分のみを推計して記入してください。

○数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 収益

（助産所全体）

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 出産の収益										
2 妊婦健診等の健診の収益										
3 その他の収益										
4 収益合計										

② 費用

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 給与費										
1-1.（うち）通勤手当										
1-2.（うち）法定福利費										
2 医薬品費										
3 診療材料費・医療消耗器具備品費										
4 給食用材料費										
5 委託費										
5-1.（うち）給食委託費										
5-2.（うち）人材委託費										
6 減価償却費										
6-1.（うち）建物減価償却費										
6-2.（うち）医療機器減価償却費										
7 その他の費用										
7-1.（うち）土地賃借料										
7-2.（うち）設備機器賃借料										
7-2-1.（うち）医療機器賃借料										
7-3.（うち）水道光熱費										
7-4.（うち）控除対象外消費税等負担額（※1）										
8 費用合計										

※1 経理方式が税抜の場合のみ記入してください。

③ 損益差額

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 損益差額（収益合計－費用合計）										

④ 税金（法人税・住民税）

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））					金額（令和6年3月末までの事業年（度））				
	億	百万	千	円		億	百万	千	円	
1 税金（法人税・住民税）合計										

※個人立助産所については記入の必要はありません。

⑤ 税引後の総損益差額

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
	億		百万		千		円		億		百万		千		円	
1 税引後の総損益差額（損益差額－税金）																

※個人立助産所については記入の必要はありません。

3. 給与

- 直近の2事業年（度）における、調査対象となった助産所で直接業務に従事する**常勤職員**に対して支払った給与の状況について、職種別に記入してください。
個人立助産所は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 各事業年（度）の「延べ人員（人月）」欄に記入する人月数は、各事業年（度）における月別給与支給人員の年（度）間合計です。例えば、2人の職員が在籍し、そのうちの1人が1年間（12ヶ月）従事しており、もう1人が半年間（6ヶ月）だけ従事していた場合には、「延べ従事人月」は18人月となります。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

① 令和5年3月末までの事業年（度）の常勤職員給料・賞与

常 勤 職 員（令和5年3月末までの事業年（度））																
職 種	延べ人員（人月）				給 料	賞 与										
	人月					億 百万 千 円				億 百万 千 円						
1 管理者（個人立の開設者本人を除く）																
2 助産師																
3 看護職員（助産師除く）																
4 看護補助職員																
5 事務職員（上記の職種に従事している者を除く）																
6 その他の職員																
7 役員（上記の職種に従事している者を除く）																
8 合 計																

② 令和6年3月末までの事業年（度）の常勤職員給料・賞与

常 勤 職 員（令和6年3月末までの事業年（度））																
職 種	延べ人員（人月）				給 料	賞 与										
	人月					億 百万 千 円										
1 管理者（個人立の開設者本人を除く）																
2 助産師																
3 看護職員（助産師除く）																
4 看護補助職員																
5 事務職員（上記の職種に従事している者を除く）																
6 その他の職員																
7 役員（上記の職種に従事している者を除く）																
8 合 計																

分婉手当がある場合は、1分婉あたりの分婉手当の金額を記入ください。

円

4. 資産・負債

- 直近の2事業年（度）の末日における資産及び負債の額を記入してください。個人立助産所は、令和4年12月31日及び令和5年12月31日が直近の2事業年（度）の末日となります。
- 法人全体で包括して貸借対照表が作成されているような場合には、面積、従事者数の割合など、調査対象となった助産所分の実態を最も適切に反映していると思われる係数で按分し、調査対象となった助産所分の金額を記入してください。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

個人立助産所における青色申告「貸借対照表（資産負債調）」の税務署への提出状況。

※提出していない場合、資産・負債の記入の必要はありません。

1.提出している

2.提出していない

①資 産 の 部

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
	億		百万		千		円		億		百万		千		円	
1 流動資産																
2 固定資産																
3 繰延資産																
4 資 産 合 計																

②負 債 の 部

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
	億		百万		千		円		億		百万		千		円	
5 流動負債																
6 固定負債																
6-1（うち）長期借入金																
7 負 債 合 計																

5. 設備投資額

- 直近の2事業年（度）中に新規に取得した資産にかかる取得価額を記入してください。個人立助産所は、令和4年1月1日から令和4年12月31日まで及び令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間が直近の2事業年（度）となります。
- 上記の金額のうち、直近の2事業年（度）中に新規にリース契約を締結した場合には、当該設備の取得価額（リース期間中のリース料総額）を「（うち）リース分」の欄に記入してください。ただし、固定資産に計上されているものに限りませう。
- 数字を記入する欄が0の場合は「0」を必ず記入してください。

科 目	金額（令和5年3月末までの事業年（度））								金額（令和6年3月末までの事業年（度））							
	億		百万		千		円		億		百万		千		円	
1 設備投資額（土地を含む）																
1-1.（うち）建物（建物附属設備を含み、土地を除く）																
1-2.（うち）医療機器																
1-2-1.（うち）リース分																
1-3.（うち）医療情報システム用機器																
1-3-1.（うち）リース分																
2 設備投資額のうち消費税課税対象の投資額																

第8回妊娠・出産・産後における妊産婦等の 支援策等に関する検討会

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
(政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業))

分娩取扱施設を対象とした 「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の 把握のための調査研究」について

2025年3月19日 (水) (15:00～17:00)



研究代表者 野口晴子 (早稲田大学 政治経済学術院)

研究分担者 片岡弥恵子 (聖路加国際大学 大学院看護学研究科)

研究の背景・目的・体制

➤ 研究の背景

- ✓ 「こども未来戦略方針」（令和5年6月13日閣議決定）→出産等の経済的負担の軽減を目的として、令和5年4月からの出産育児一時金の大幅な引上げを行い、出産費用の見える化について令和6年度からの実施に向けて具体化を進め、その上で、これらの効果等の検証を行い、令和8年度を目途に出産費用（正常分娩）の保険適用の導入等の検討を行う。
- ✓ 正常分娩は自費診療であり、病院・診療所・助産所の全施設を対象として費用構造を明らかにした大規模調査は存在しない。

➤ 研究の目的

- ✓ 正常分娩を取り扱う医療機関等を対象に、出産等の費用構造等の実態を把握すること
 - 2024年度に実施されたパイロット調査を基にして検討を行った調査方法と調査項目により、全国の分娩取扱施設を対象とした調査を実施。
 - 調査結果に基づき、記述統計量と回帰分析を用いた統計的検証を実施。

➤ 研究体制

研究班構成メンバー		所属
野口 晴子	研究代表者	早稲田大学 政治経済学術院 教授
片岡 弥恵子	研究分担者	聖路加国際大学 大学院看護学研究科 教授
増澤 祐子	研究分担者	聖路加国際大学 大学院看護学研究科 准教授
亀井 良政	研究協力者	公益社団法人日本産科婦人科学会 常務理事
田倉 智之	研究協力者	日本大学医学部社会医学系医療管理学分野
宮崎 亮一郎	研究協力者	公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事

研究概要

□ 対象：全国の分娩取扱施設

□ 目的：施設の構造や実績・患者の実態・費用構造等を調査

□ 方法：郵送とオンライン（Excelシート）の併用調査

□ 調査種別と対象数：

✓ 悉皆調査（病院：911件；診療所：936件；助産所：326件）

✓ サンプル調査（1/2（約50%）を抽出：病院：499件；診療所：469件）

※調査時点で「分娩取扱無し」と回答した施設は除外

□ 調査票：5種類 → A票は悉皆調査用；B票はサンプル調査用

✓ 病院票 A票

✓ 病院票 B票 → 特定機能病院（82）に対しては，サンプル調査も悉皆で実施

✓ 診療所票 A票

✓ 診療所票 B票

✓ 助産所票 A・B票 → 助産所に対しては全て悉皆で実施

調査実施

□ 悉皆調査（A票）

✓ 調査期間

9月の1か月間→※助産所は分娩数が少ないため9月又は10月のいずれかの1か月間

✓ 調査内容

- ・ 施設情報（構造設備・医療体制・分娩件数・付帯サービスの種類や価格等）
- ・ 病棟情報（→病院のみ，病棟構成・配置職員数等）
- ・ 外来情報

□ サンプル調査（B票）

✓ 調査期間

9月の1か月間→※助産所は分娩数が少ないため9月又は10月のいずれかの1か月間

✓ 調査内容

業務時間情報；患者情報（各施設3例）；経営実態等

✓ 調査対象

分娩件数・設置主体・機能・地域別（総務省の地域コード）で層化し、抽出率1/2（約50%）で病院・診療所を無作為抽出．

✓ サンプリング数の根拠

2023年度に実施したパイロット調査の有効回答率（約30%）を基に，1,000例程度の患者票を得ることを想定（※各施設3例として約333施設からの回答が必要）．

調査票の回収状況

施設	調査票	対象数	回収	回収率
病院	A票	911	341	37.4%
	B票 ¹⁾	500	145	29.0%
	患者個票（施設） ²⁾	500	124	24.8%
	患者個票（事例） ³⁾	1,500	308	20.5%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		254	
診療所	A票	936	465	49.7%
	B票 ¹⁾	469	196	41.8%
	患者個票（施設） ²⁾	469	174	37.1%
	患者個票（事例） ³⁾	1,407	477	33.9%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		408	
助産所	A票	326	206	63.2%
	B票 ¹⁾	326	161	49.4%
	患者個票（施設） ²⁾	326	150	46.0%
	患者個票（事例） ³⁾	978	287	29.3%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		246	
計	A票	2,173	1,012	46.6%
	B票 ¹⁾	1,295	502	38.8%
	患者個票（施設） ²⁾	1,295	448	34.6%
	患者個票（事例） ³⁾	3,885	1,072	27.6%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		908	

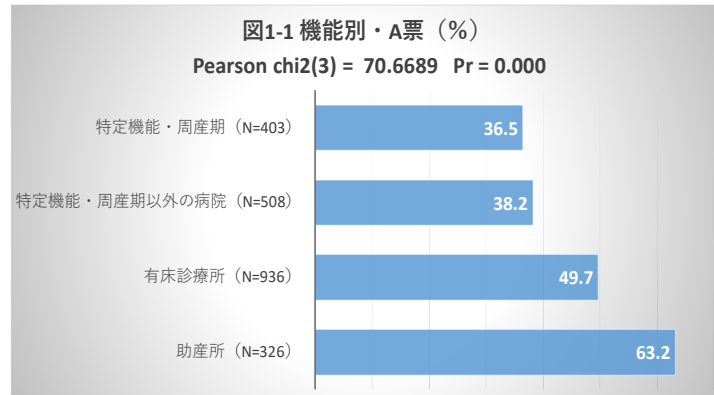
1) B票の対象施設には、1機関につき3事例の患者個票（タイムスタディ含む）を依頼した。

2) B票に回答した施設のうち、患者個票に回答のあった施設数

3) 患者個票に回答のあった事例数

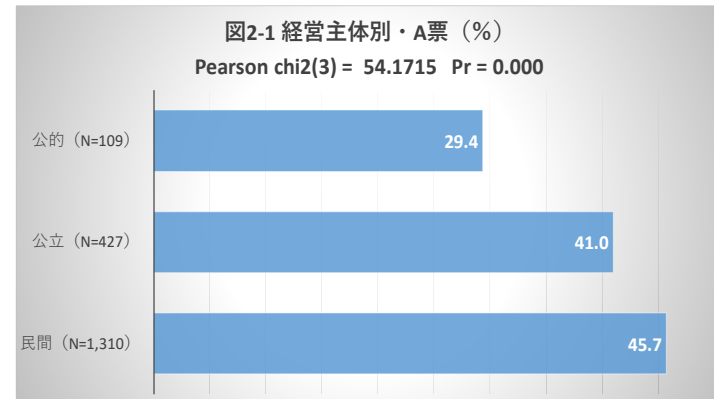
4) 患者個票の回答のあった事例のうち、タイムスタディに回答のあった事例数

施設属性別・有効回答数（率）（1）：悉皆調査（A票）



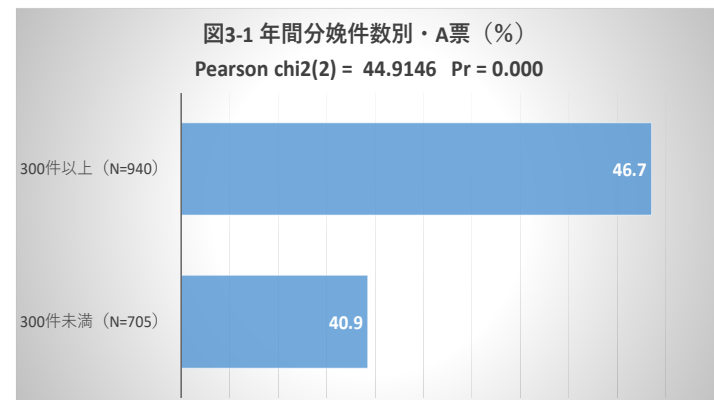
✓ 機能別

助産所が最も高く326施設中206施設（63.2%），次いで有床診療所が936施設中465施設（49.7%），低迷したのが病院で，特定機能・周産期が403施設中147施設（36.5%），特定機能・周産期以外の病院が508施設中194施設（38.2%）．カイ二乗検定 ($\chi^2 = 70.6689$ ($p = 0.000$)) から，1%未満の水準で，機能別の有効回答率の違いは統計的に有意（図1-1参照）．



✓ 経営主体別（助産所を除く）

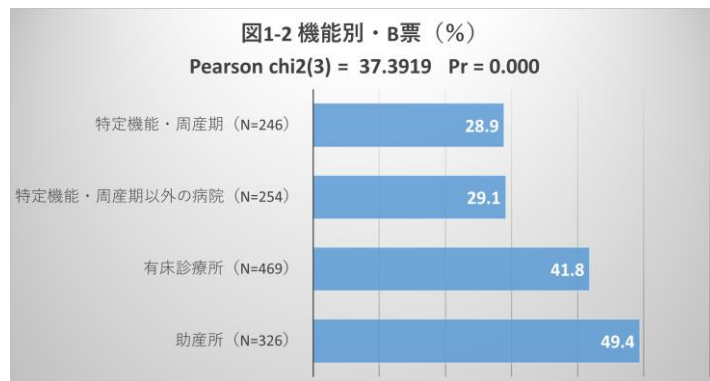
民間が1,310施設中599施設（45.7%）と最も高く，公立が427施設中175施設（41%），公的が109施設中32施設（29.4%）．カイ二乗検定 ($\chi^2 = 54.1715$ ($p = 0.000$)) から，1%未満の水準で，経営主体別の有効回答率の違いは統計的に有意（図2-1参照）．



✓ 年間分娩件数別（助産所を除く）

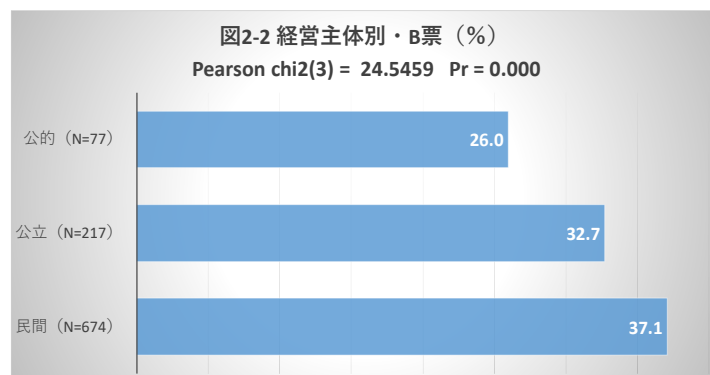
300件以上の施設が940施設中439施設（46.7%），300件未満の施設が705施設中288施設（40.9%）と低い傾向．カイ二乗検定 ($\chi^2 = 44.9146$ ($p = 0.000$)) で，分娩規模別の有効回答率の違いは統計的には有意（図3-1参照）．

施設属性別・有効回答数（率）（2）：サンプル調査（B票）



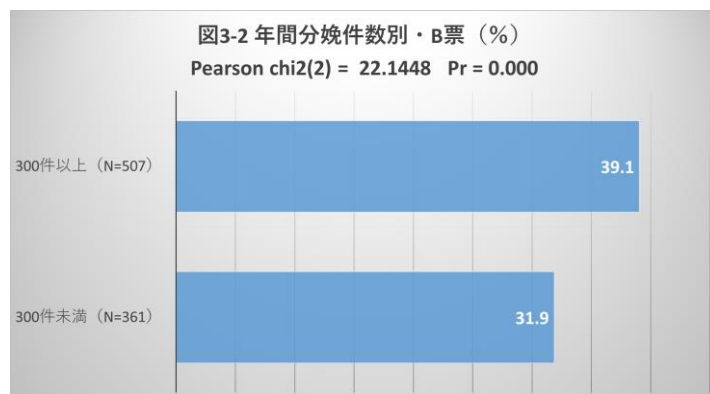
✓ 機能別

助産所が最も高く326施設中123施設（49.4%），次いで有床診療所が469施設中196施設（41.8%），低迷したのが病院で，特定機能・周産期が246施設中71施設（28.9%），特定機能・周産期以外の病院が254施設中74施設（19.1%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 37.3919$ ($p = 0.000$)) から，1%未満の水準で，機能別の有効回答率の違いは統計的に有意（図1-2参照）。



✓ 経営主体別（助産所を除く）

民間が674施設中250施設（37.1%）と最も高く，公立が217施設中71施設（32.7%），公的が77施設中20施設（26%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 24.5459$ ($p = 0.000$)) から，1%未満の水準で，経営主体別の有効回答率の違いは統計的に有意（図2-2参照）。



✓ 年間分娩件数別（助産所を除く）

300件以上の施設が507施設中198施設（39.1%），300件未満の施設が361施設中115施設（31.9%）と低い傾向。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 22.1448$ ($p = 0.000$)) で，分娩規模別の有効回答率の違いは統計的には有意（図3-2参照）。

都道府県別・有効回答数（率）（1）：悉皆調査（A票）

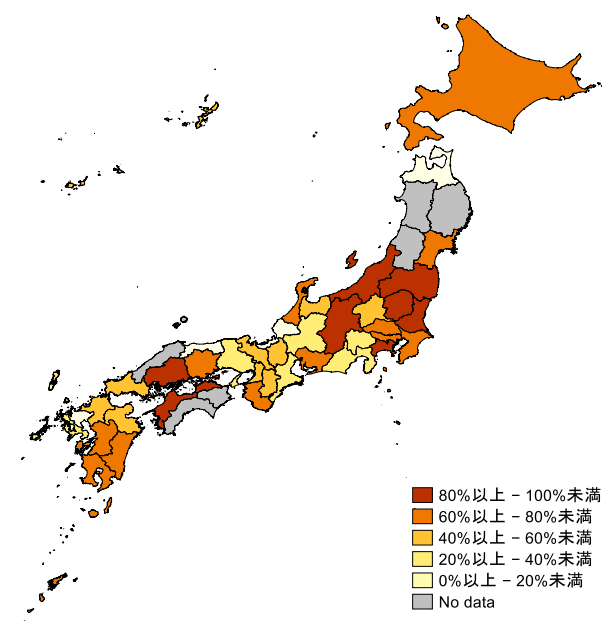
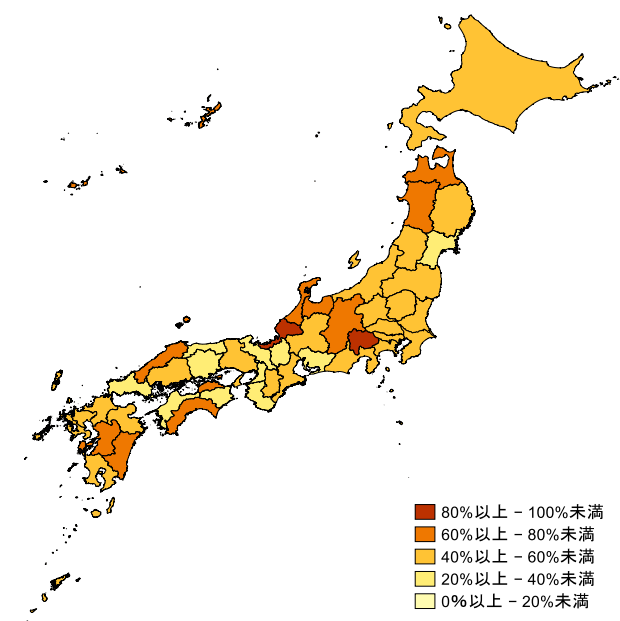
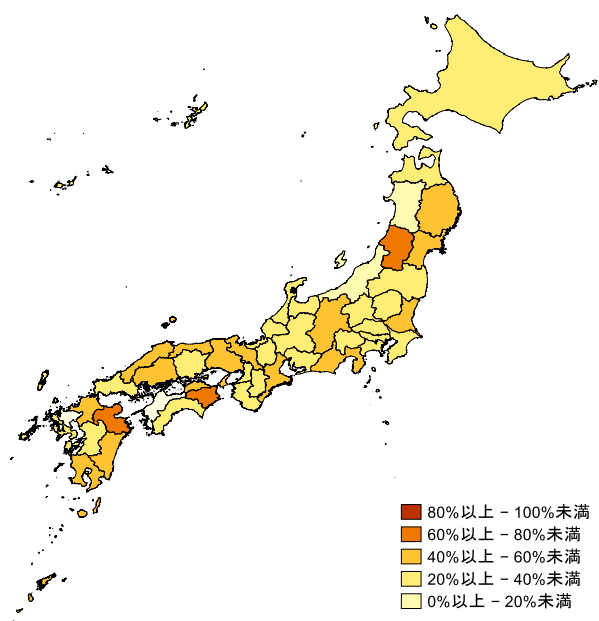


図4-1 都道府県別・有効回答率の分布
(病院)

図5-1 都道府県別・有効回答率の分布
(診療所)

図6-1 都道府県別・有効回答率の分布
(助産所)

都道府県別・有効回答数（率）（2）：サンプル調査（B票）

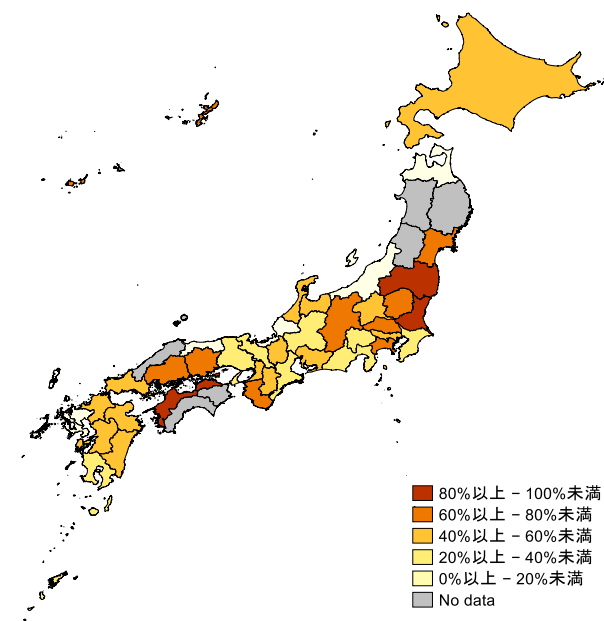
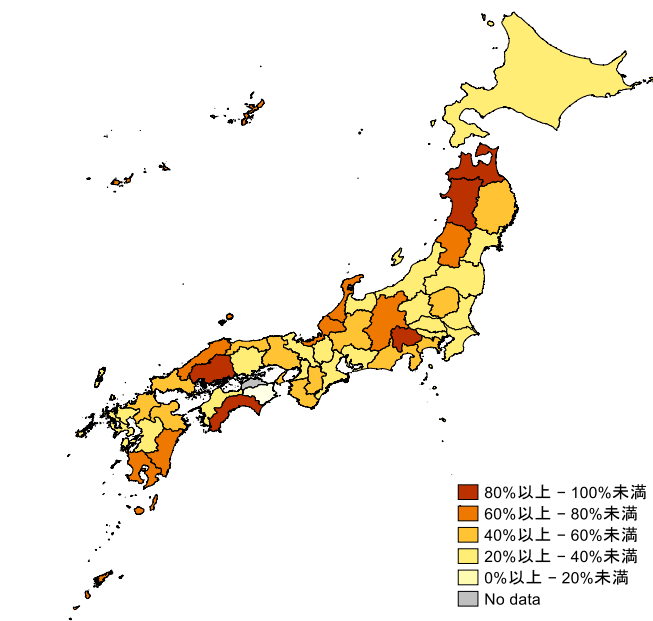
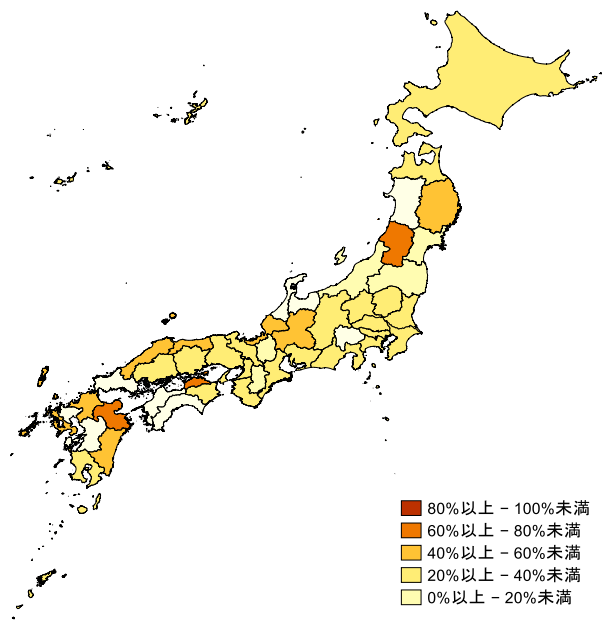


図4-2 都道府県別・有効回答率の分布
(病院)

図5-2 都道府県別・有効回答率の分布
(診療所)

図6-2 都道府県別・有効回答率の分布
(助産所)

有効回答数（率）に対する要因分析（分布の違い）（１）：悉皆調査（A票）

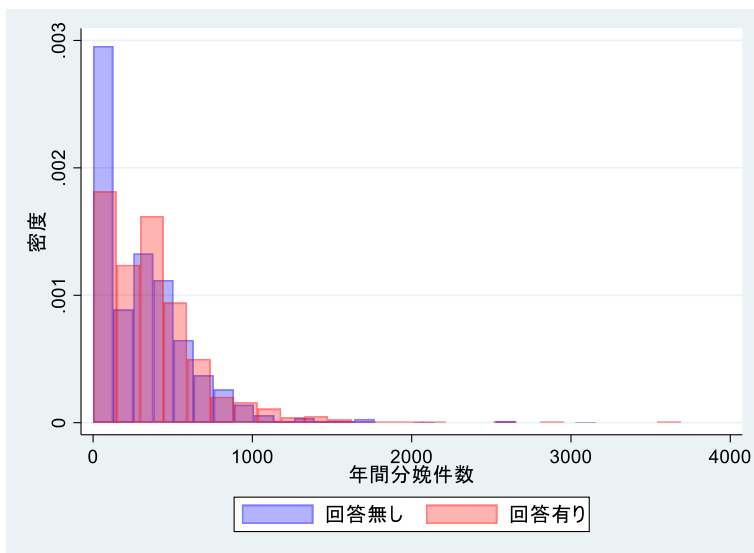


図7-1 回答の有無別・年間の分娩件数の分布
t検定=-3.7741***

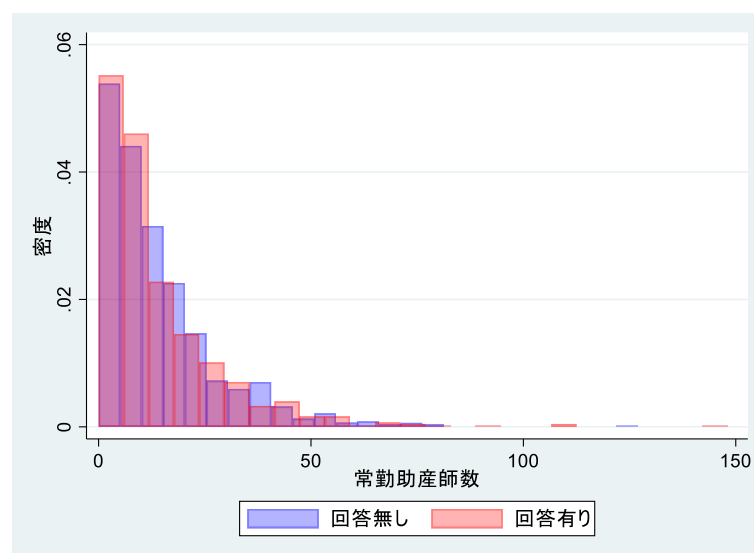


図8-1 回答の有無別・常勤助産師数の分布
t検定= 0.4846

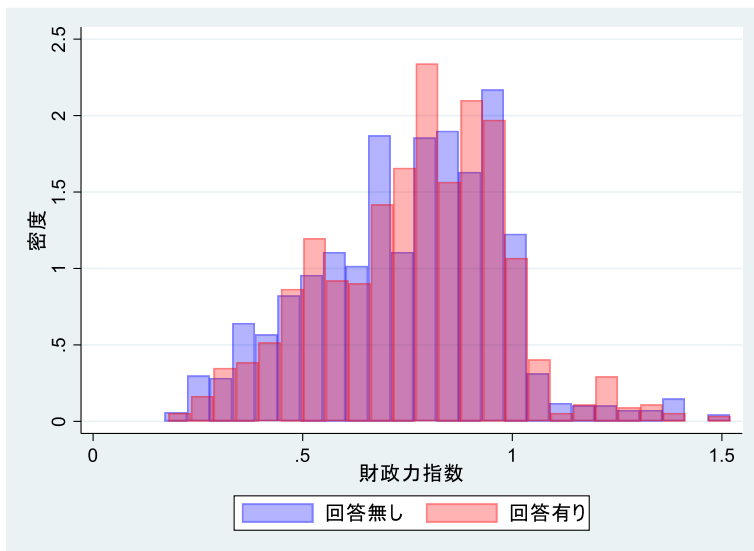


図9-1 回答の有無別・財政力指数の分布
t検定=-1.8464**

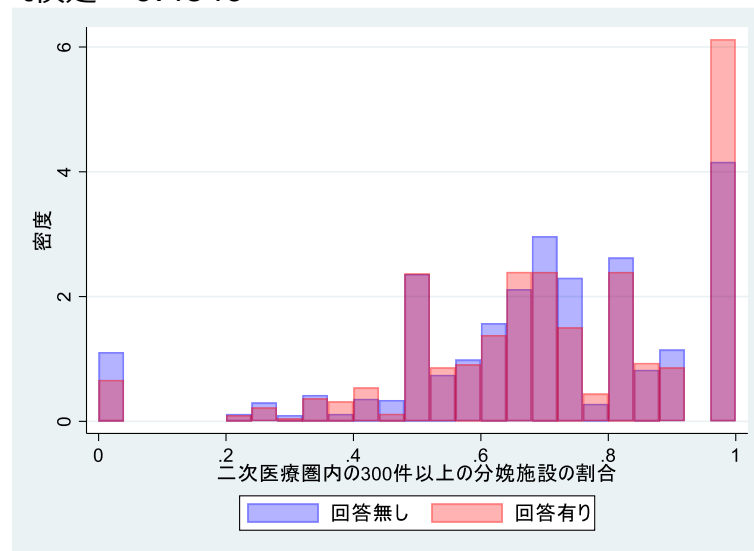


図10-1 回答の有無別・二次医療圏内の300件以上の分娩施設の割合の分布
t検定= -3.3818***

注) ***, **, *はそれぞれ, 1%, 5%, 10%水準で、回答の有無別での各変数の差が統計的に有意であることを示す

有効回答数（率）に対する要因分析（分布の違い）（2）：サンプル調査（B票）

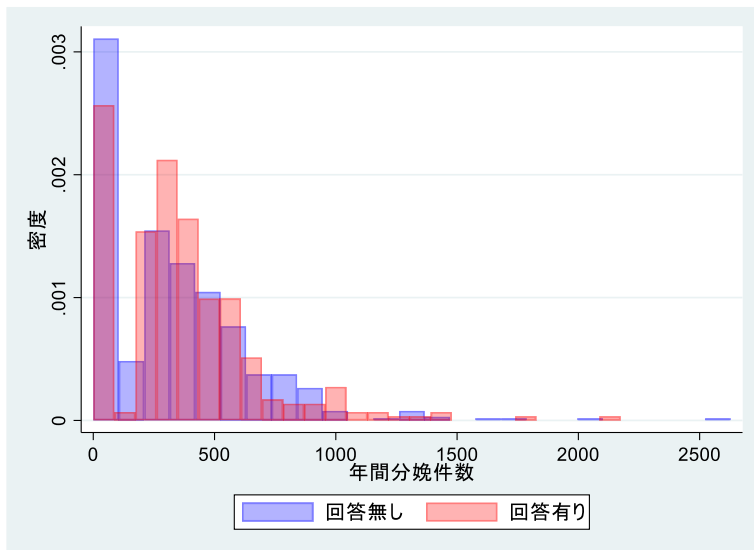


図7-2 回答の有無別・年間の分娩件数の分布
t検定=-1.8080**

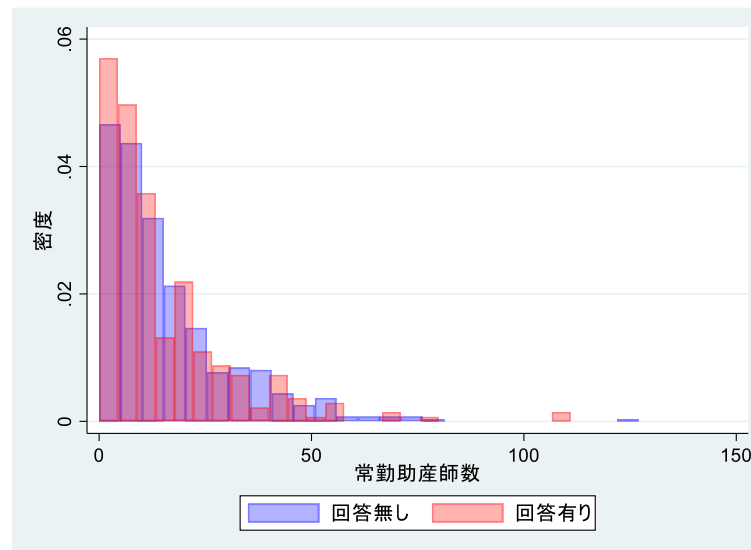


図8-2 回答の有無別・常勤助産師数の分布
t検定=-0.8263

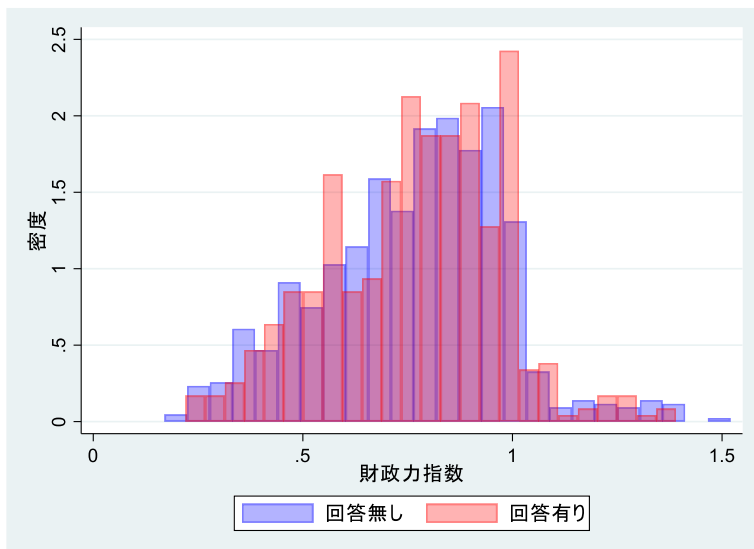


図9-2 回答の有無別・財政力指数の分布
t検定=-0.6251

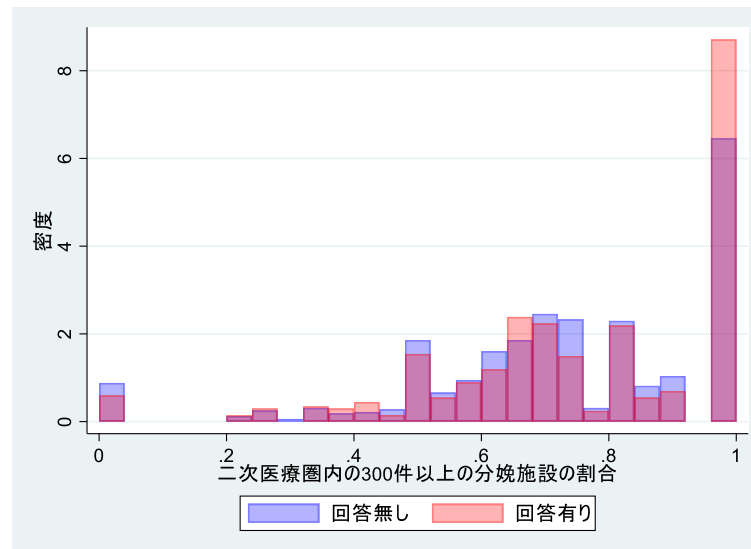


図10-2 回答の有無別・二次医療圏内の300件以上の分娩施設の割合の分布
t検定=-6.0432***

注) ***, **, *はそれぞれ, 1%, 5%, 10%水準で、回答の有無別での各変数の差が統計的に有意であることを示す

有効回答数（率）に対する要因分析（１）：悉皆調査（A票）

表1-1: 回答率に対する要因分析（助産所を除く）

－ Probit回帰, 及び, Logistic回帰

	Probit dF/dx	Logistic odds ratio
特定機能以外の病院	0.147 *** (0.049)	1.818 *** (0.383)
有床診療所	0.283 *** (0.064)	3.255 *** (0.939)
公的医療機関	0.175 *** (0.060)	(2.071) *** (0.532)
民間医療機関	0.089 (0.063)	(1.462) (0.403)
年間の分娩件数	0.037 *** (0.008)	1.164 *** (0.040)
病棟病床数	-0.0005 * (0.0003)	0.998 * (0.001)
常勤看護師数	0.001 * (0.0003)	1.003 * (0.001)
常勤助産師数	0.003 ** (0.001)	1.012 ** (0.006)
合計特殊出生率	0.097 (0.104)	1.476 (0.635)
財政力指数(対数値)	0.101 * (0.057)	1.500 * (0.354)
1人当たり診療費(対数値)	-0.158 (0.190)	0.519 (0.410)
人口10万対病院数	0.006 (0.005)	1.025 (0.022)
人口10万対診療所数	0.001 * (0.0004)	1.003 * (0.002)
分娩件数が300件以上の施設の割合	-0.077 (0.076)	0.715 (0.226)
観測値数	1643	1643
Wald chi2(60)	146.040	142.440
Prob>chi2	0.000	0.000
Pseudo R2	0.064	0.063
Log pseudolikelihood	-1054.459	-1054.798

表1-2 回答率に対する要因分析（助産所を含む）

－ Probit回帰, 及び, Logistic回帰

	Probit dF/dx	Logistic odds ratio
特定機能以外の病院	0.018 (0.035)	1.076 (0.154)
有床診療所	0.130 *** (0.031)	1.700 *** (0.216)
助産所	0.249 *** (0.041)	2.799 *** (0.505)
合計特殊出生率	0.027 (0.089)	1.109 (0.403)
財政力指数(対数値)	0.107 ** (0.047)	1.551 ** (0.295)
1人当たり診療費(対数値)	0.010 (0.162)	1.039 (0.695)
人口10万対病院数	0.0019 (0.004)	1.008 (0.018)
人口10万対診療所数	0.0003 (0.000)	1.001 (0.001)
分娩件数が300件以上の施設の割合	-0.010 (0.066)	0.946 (0.255)
観測値数	2249	2249
Wald chi2(55)	111.550	111.070
Prob>chi2	0.000	0.000
Pseudo R2	0.036	0.036
Log pseudolikelihood	-1491.950	-1492.078

出典：「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究」，及び，厚生労働省『令和5年度病床機能報告』

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/open_data_00008.html)

(閲覧日：2025年1月31日)に基づき，筆者推定。

注1)全ての回帰分析について，都道府県の固定効果による調整済み。Probit回帰は，施設によってクラスタリングされており，()内の標準誤差はrobust。

注2) ***, **, *はそれぞれ，1%，5%，10%水準で統計的に有意であることを示す。

有効回答数（率）に対する要因分析（２）：サンプル調査（Ｂ票）

表2-1: 回答率に対する要因分析（助産所を除く）

－Probit回帰, 及び, Logistic回帰		
	Probit dF/dx	Logistic odds ratio
特定機能以外の病院	0.055 (0.040)	1.425 (0.385)
有床診療所	0.157 *** (0.051)	2.941 *** (1.089)
公的医療機関	0.029 (0.045)	1.195 (0.369)
民間医療機関	0.008 (0.045)	1.040 (0.346)
年間の分娩件数	0.019 *** (0.006)	1.146 *** (0.052)
病棟病床数	-0.0001 (0.0002)	0.999 (0.0014)
常勤看護師数	0.000 (0.0002)	1.003 (0.0017)
常勤助産師数	0.001 (0.001)	1.004 (0.007)
合計特殊出生率	-0.001 (0.080)	0.962 (0.524)
財政力指数(対数値)	0.010 (0.044)	1.090 (0.339)
1人当たり診療費(対数値)	-0.113 (0.139)	0.524 (0.527)
人口10万対病院数	-0.00005 (0.004)	1.000 (0.028)
人口10万対診療所数	0.0000002 (0.0003)	1.000 (0.0021)
分娩件数が300件以上の施設の割合	-0.069 (0.057)	0.602 (0.243)
観測値数	1643	1643
Wald chi2(60)	84.680	85.130
Prob>chi2	0.020	0.018
Pseudo R2	0.054	0.054
Log pseudolikelihood	-750.328	-750.218

表2-2 回答率に対する要因分析（助産所を含む）

－Probit回帰, 及び, Logistic回帰		
	Probit dF/dx	Logistic odds ratio
特定機能以外の病院	-0.038 (0.028)	0.768 (0.144)
有床診療所	0.032 (0.026)	1.208 (0.192)
助産所	0.312 *** (0.045)	4.671 *** (0.991)
合計特殊出生率	-0.050 (0.076)	0.721 (0.332)
財政力指数(対数値)	0.048 (0.039)	1.366 (0.326)
1人当たり診療費(対数値)	-0.020 (0.132)	0.972 (0.801)
人口10万対病院数	-0.0008 (0.004)	0.996 (0.023)
人口10万対診療所数	-0.0001 (0.0003)	1.000 (0.002)
分娩件数が300件以上の施設の割合	-0.046 (0.054)	0.722 (0.248)
観測値数	2249	2249
Wald chi2(55)	175.660	184.130
Prob>chi2	0.000	0.000
Pseudo R2	0.077	0.077
Log pseudolikelihood	-1102.499	-1102.021

出典：「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究」、及び、厚生労働省『令和5年度病床機能報告』

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/open_data_00008.html)
(閲覧日：2025年1月31日)に基づき、筆者推定。

注1)全ての回帰分析について、都道府県の固定効果による調整済み。Probit回帰は、施設によってクラスタリングされており、()内の標準誤差はrobust。

注2) ***, **, *はそれぞれ、1%、5%、10%水準で統計的に有意であることを示す。

有効回答数（率）に対する要因分析（まとめ）

➤ 悉皆調査（A票）

- ✓ 特定機能病院、総合・地域周産期母子医療センターと比べ、有床診療所、それ以外の病院の順で回答率が高く、公立医療機関に比べると公的医療機関が高い傾向にあったが、民間医療機関との統計的有意差は観察されない（表1-1参照）。助産所を含むと、助産所、有床診療所、それ以外の病院の順で回答率が高い（表1-2参照）。尚、この結果は、Probit/Logisticモデル間でも頑健。
- ✓ 年間分娩件数が多い施設ほど回答率が高い傾向にあり、この結果は記述統計量と整合的であり、Probit/Logisticモデル間でも頑健（表1-1参照）。
- ✓ 常勤の看護師・助産師数が多い施設ほど回答率が高い傾向にある一方で、病棟病床数が多いと回答率が低い傾向にある。但し、統計的有意水準は5-10%と高くない（表1-1参照）。
- ✓ 施設が所在する市区町村の財政力指数が高いほど回答率が高い傾向にあり、この結果は、助産所を除外する場合と含む場合とで整合的（表1-1 & 表1-2参照）。

➤ サンプル調査（B票）

- ✓ 施設の機能別の回答率、及び、年間分娩件数については、概ね悉皆調査と同様の結果であり、頑健である（表2-1～表3-2）。他方で、市区町村の属性については、全く統計的に有意な結果は観察されない（表2-1～表3-2）。



◆ 解析時に、地域間での有効回答率のばらつき、機能や年間分娩件数等有効回答率に統計的に有意な影響を及ぼす要因について、留意する必要性。

ご清聴
ありがとうございました



第9回妊娠・出産・産後における妊産婦等の 支援策等に関する検討会

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
(政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業))

分娩取扱施設を対象とした 「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の 把握のための調査研究」について

2025年4月16日 (水) (14:00~16:00)



研究代表者 野口晴子

(早稲田大学 政治経済学術院)

本日の報告

1. 研究の概要
2. 分娩取扱施設の概要
3. 病棟（ユニット）における医療提供体制等
4. 患者（産婦）票の結果について
5. 妊婦健診と産後ケア
6. 分娩取扱施設の収益等
7. まとめ（全体）

1. 研究の概要

研究の背景・目的・体制

令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会（改）

資料3

➤ 研究の背景

- ✓ 「こども未来戦略方針」（令和5年6月13日閣議決定）→出産等の経済的負担の軽減を目的として、令和5年4月からの出産育児一時金の大幅な引上げを行い、出産費用の見える化について令和6年度からの実施に向けて具体化を進め、その上で、これらの効果等の検証を行い、令和8年度を目途に出産費用（正常分娩）の保険適用の導入等の検討を行う。
- ✓ 正常分娩は自費診療であり、病院・診療所・助産所の全施設を対象として費用構造を明らかにした大規模調査は存在しない。

➤ 研究の目的

- ✓ 正常分娩を取り扱う医療機関等を対象に、出産等の費用構造等の実態を把握すること
 - 2024年度に実施されたパイロット調査を基にして検討を行った調査方法と調査項目により、全国の分娩取扱施設を対象とした調査を実施。
 - 調査結果に基づき、記述統計量と回帰分析を用いた統計的検証を実施。

➤ 研究体制

研究班構成メンバー		所属
野口 晴子	研究代表者	早稲田大学 政治経済学術院 教授
片岡 弥恵子	研究分担者	聖路加国際大学 大学院看護学研究科 教授
増澤 祐子	研究分担者	聖路加国際大学 大学院看護学研究科 准教授 (令和7年4月より新潟県立看護大学 准教授)
亀井 良政	研究協力者	公益社団法人日本産科婦人科学会 常務理事
田倉 智之	研究協力者	日本大学医学部社会医学系医療管理学分野
宮崎 亮一郎	研究協力者	公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事

研究概要

令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

資料3

- 対象：全国の分娩取扱施設
- 目的：施設の構造や実績・患者の実態・費用構造等を調査
- 方法：郵送とオンライン（Excelシート）の併用調査
- 調査種別と対象数：
 - ✓ 悉皆調査（病院：911件；診療所：936件；助産所：326件）
 - ✓ サンプル調査（1/2（約50%）を抽出：病院：499件；診療所：469件）
※調査時点で「分娩取扱無し」と回答した施設は除外
- 調査票：5種類 → A票は悉皆調査用；B票はサンプル調査用
 - ✓ 病院票 A票
 - ✓ 病院票 B票 → 特定機能病院（82）に対しては，サンプル調査も悉皆で実施
 - ✓ 診療所票 A票
 - ✓ 診療所票 B票
 - ✓ 助産所票 A・B票 → 助産所に対しては全て悉皆で実施

調査実施

令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

資料3

□ 悉皆調査（A票）

✓ 調査期間

9月の1か月間→※助産所は分娩数が少ないため9月又は10月のいずれかの1か月間

✓ 調査内容

- ・ 施設情報（構造設備・医療体制・分娩件数・付帯サービスの種類や価格等）
- ・ 病棟情報（→病院のみ，病棟構成・配置職員数等）
- ・ 外来情報

□ サンプル調査（B票）

✓ 調査期間

9月の1か月間→※助産所は分娩数が少ないため9月又は10月のいずれかの1か月間

✓ 調査内容

業務時間情報；患者情報（各施設3例）；経営実態等

✓ 調査対象

分娩件数・設置主体・機能・地域別（総務省の地域コード）で層化し、抽出率1/2（約50%）で病院・診療所を無作為抽出．

✓ サンプル数の根拠

2023年度に実施したパイロット調査の有効回答率（約30%）を基に，1,000例程度の患者票を得ることを想定（※各施設3例として約333施設からの回答が必要）．

調査票の回収状況

令和7年3月19日

資料3

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

施設	調査票	対象数	回収	回収率
病院	A票	911	341	37.4%
	B票 ¹⁾	500	145	29.0%
	患者個票（施設） ²⁾	500	124	24.8%
	患者個票（事例） ³⁾	1,500	308	20.5%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		254	
診療所	A票	936	465	49.7%
	B票 ¹⁾	469	196	41.8%
	患者個票（施設） ²⁾	469	174	37.1%
	患者個票（事例） ³⁾	1,407	477	33.9%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		408	
助産所	A票	326	206	63.2%
	B票 ¹⁾	326	161	49.4%
	患者個票（施設） ²⁾	326	150	46.0%
	患者個票（事例） ³⁾	978	287	29.3%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		246	
計	A票	2,173	1,012	46.6%
	B票 ¹⁾	1,295	502	38.8%
	患者個票（施設） ²⁾	1,295	448	34.6%
	患者個票（事例） ³⁾	3,885	1,072	27.6%
	タイムスタディ（事例） ⁴⁾		908	

1) B票の対象施設には、1機関につき3事例の患者個票（タイムスタディ含む）を依頼した。

2) B票に回答した施設のうち、患者個票に回答のあった施設数

3) 患者個票に回答のあった事例数

4) 患者個票の回答のあった事例のうち、タイムスタディに回答のあった事例数

施設属性別・有効回答数（率）（1）：悉皆調査（A票）

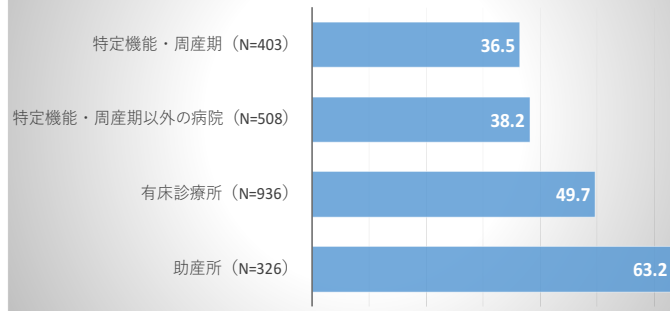
令和7年3月19日

第8回妊娠・出産・産後における
妊産婦等の支援策等に関する検討会

資料3

図1-1 機能別・A票（%）

Pearson $\chi^2(3) = 70.6689$ Pr = 0.000

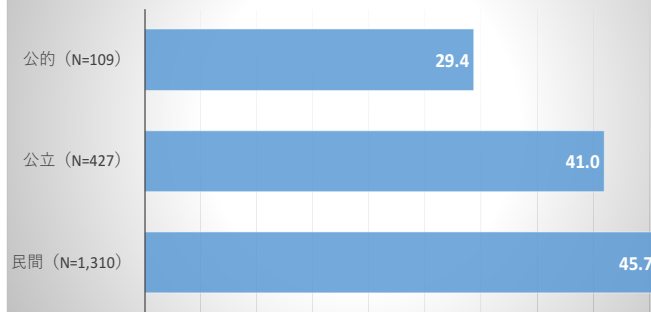


✓ 機能別

助産所が最も高く326施設中206施設（63.2%），次いで有床診療所が936施設中465施設（49.7%），低迷したのが病院で，特定機能・周産期が403施設中147施設（36.5%），特定機能・周産期以外の病院が508施設中194施設（38.2%）。カイ二乗検定 ($\chi^2 = 70.6689$ ($p = 0.000$)) から，1%未満の水準で，機能別の有効回答率の違いは統計的に有意（図1-1参照）。

図2-1 経営主体別・A票（%）

Pearson $\chi^2(3) = 54.1715$ Pr = 0.000

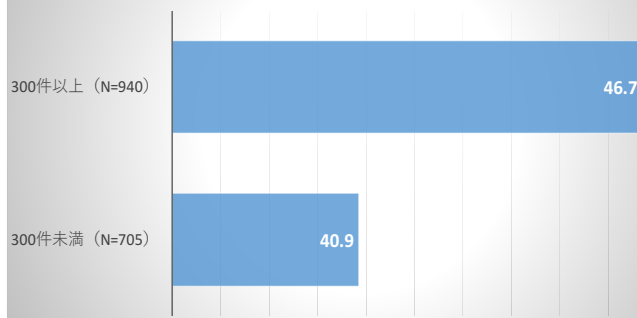


✓ 経営主体別（助産所を除く）

民間が1,310施設中599施設（45.7%）と最も高く，公立が427施設中175施設（41%），公的が109施設中32施設（29.4%）。カイ二乗検定 ($\chi^2 = 54.1715$ ($p = 0.000$)) から，1%未満の水準で，経営主体別の有効回答率の違いは統計的に有意（図2-1参照）。

図3-1 年間分娩件数別・A票（%）

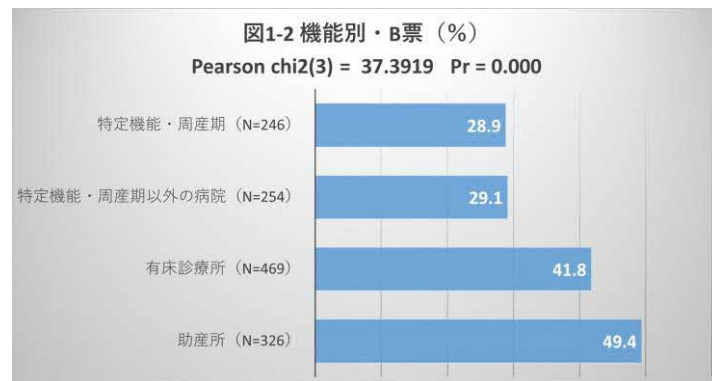
Pearson $\chi^2(2) = 44.9146$ Pr = 0.000



✓ 年間分娩件数別（助産所を除く）

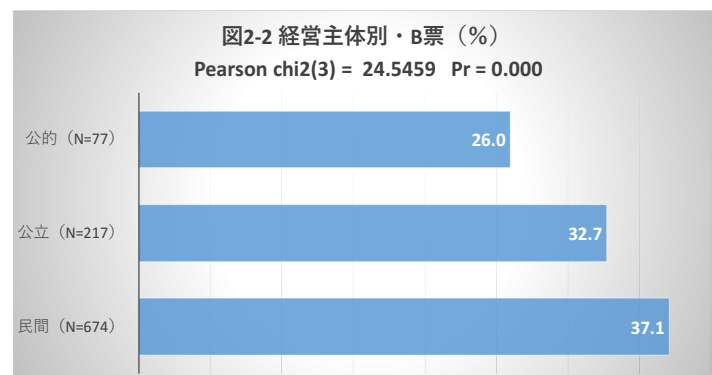
300件以上の施設が940施設中439施設（46.7%），300件未満の施設が705施設中288施設（40.9%）と低い傾向。カイ二乗検定 ($\chi^2 = 44.9146$ ($p = 0.000$)) で，分娩規模別の有効回答率の違いは統計的には有意（図3-1参照）。

施設属性別・有効回答数（率）（2）：サンプル調査（B票）



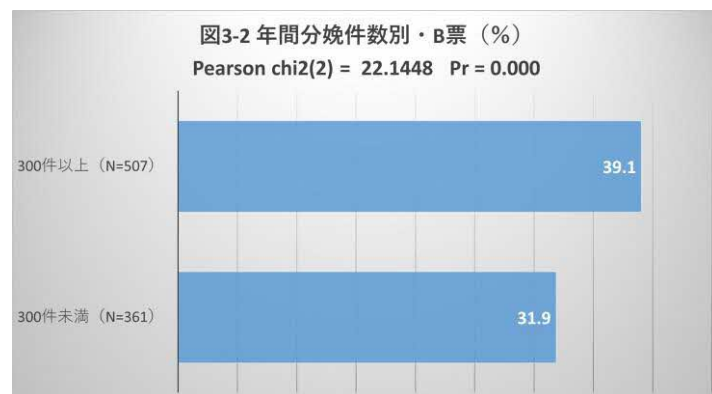
✓ 機能別

助産所が最も高く326施設中123施設（49.4%）、次いで有床診療所が469施設中196施設（41.8%）、低迷したのが病院で、特定機能・周産期が246施設中71施設（28.9%）、特定機能・周産期以外の病院が254施設中74施設（19.1%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 37.3919$ ($p = 0.000$)) から、1%未満の水準で、機能別の有効回答率の違いは統計的に有意（図1-2参照）。



✓ 経営主体別（助産所を除く）

民間が674施設中250施設（37.1%）と最も高く、公立が217施設中71施設（32.7%）、公的が77施設中20施設（26%）。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 24.5459$ ($p = 0.000$)) から、1%未満の水準で、経営主体別の有効回答率の違いは統計的に有意（図2-2参照）。



✓ 年間分娩件数別（助産所を除く）

300件以上の施設が507施設中198施設（39.1%）、300件未満の施設が361施設中115施設（31.9%）と低い傾向。カイ二乗検定（ $\chi^2 = 22.1448$ ($p = 0.000$)) で、分娩規模別の有効回答率の違いは統計的には有意（図3-2参照）。

都道府県別・有効回答数（率）（1）：悉皆調査（A票）

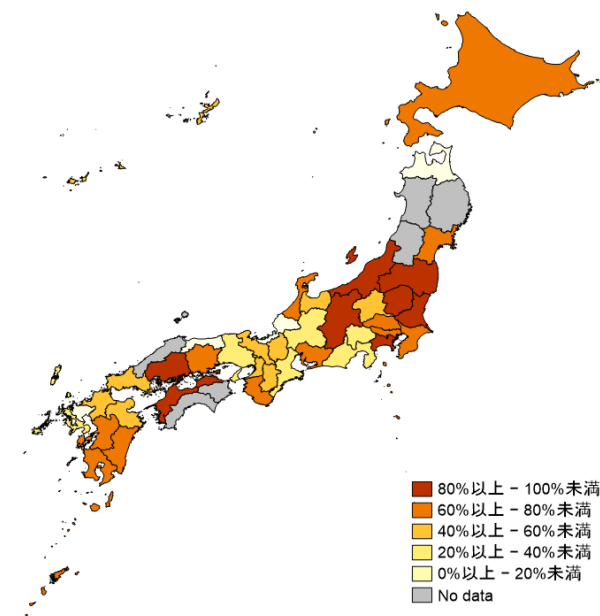
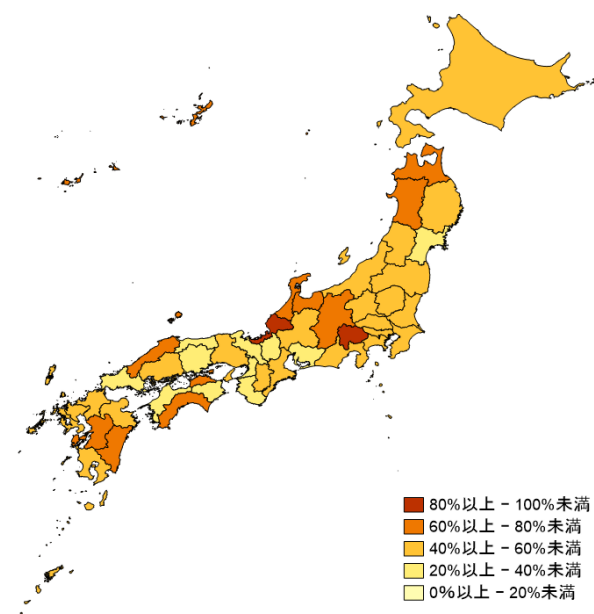
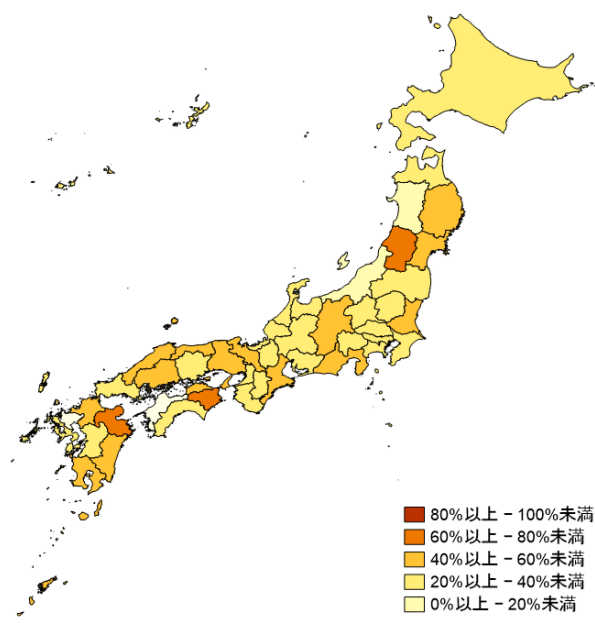


図4-1 都道府県別・有効回答率の分布
(病院)

図5-1 都道府県別・有効回答率の分布
(診療所)

図6-1 都道府県別・有効回答率の分布
(助産所)

都道府県別・有効回答数（率）（2）：サンプル調査（B票）

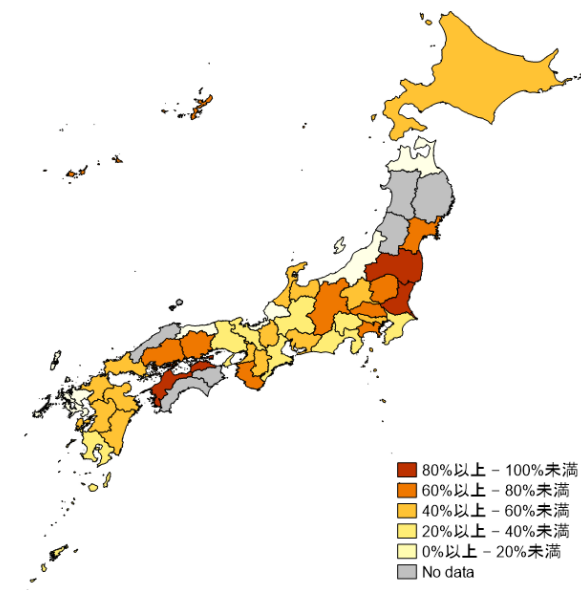
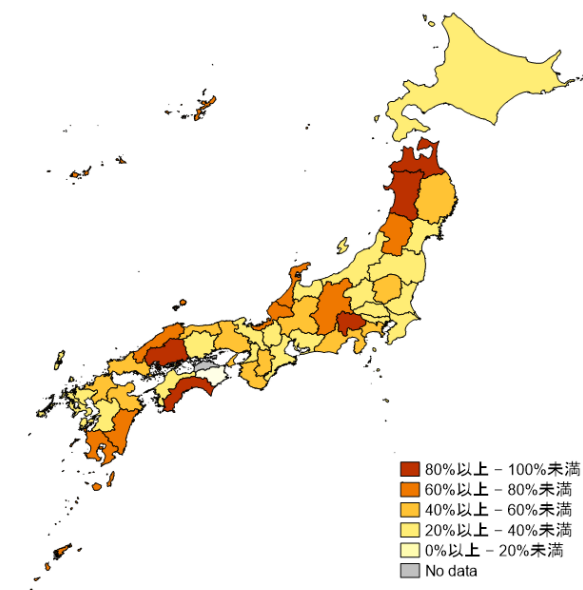
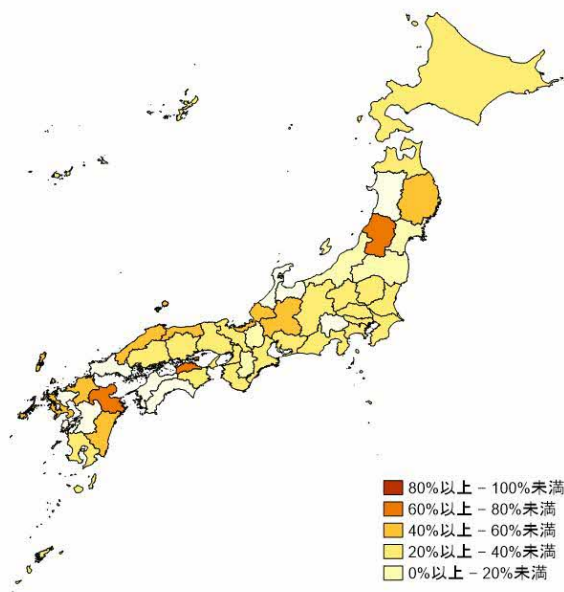


図4-2 都道府県別・有効回答率の分布
(病院)

図5-2 都道府県別・有効回答率の分布
(診療所)

図6-2 都道府県別・有効回答率の分布
(助産所)

本報告における留意事項

- 本報告の分析に用いたデータは、外れ値や誤答と思われるものが含まれているため、**速報値による報告**であることに留意いただきたい。また、令和7年度に研究班により精査を行う予定である。
- 尚、**修正や調整が可能と判断したデータ**については、研究班により統計的な処理を施した。調整内容については、**当該スライドに明記**している。
- 以上の理由により、群間での違いに対する統計的な検定は殆ど行っておらず、**群間での統計的な有意差についても、データの精査後に研究班にて行う予定**である。

2. 分娩取扱施設の概要

2 - 1. 施設区分別

構造設備

- 「分娩室数」、「分娩台数」等の設備は、総合・地域周産期母子医療センターが最も多く、続いてそれ以外の病院であった。
- 「集中監視システム機器」は、それ以外の病院で98%、総合・地域周産期母子医療センターで80%、診療所では69%が設置していた。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180			それ以外の病院 N=148			診療所 N=465			助産所 N=204		
	n	Mean (SD)	最小最大	n	Mean (SD)	最小最大	n	Mean (SD)	最小最大	n	Mean (SD)	最小最大
分娩室数	169	2.1 (1.5)	0 9	147	1.6 (1.2)	0 5	425	1.4 (1.6)	0 19	191	1.3 (0.5)	1 2
分娩台数	170	3.0 (1.6)	0 13	148	2.7 (1.1)	0 6	444	2.0 (0.8)	0 6	—	—	
LDR室数	169	1.5 (2.0)	0 14	146	1.3 (1.5)	0 6	418	0.9 (1.2)	0 8	—	—	
陣痛室数	169	1.5 (1.4)	0 9	147	1.5 (1.4)	0 9	432	1.2 (1.2)	0 13	—	—	
超音波画像診断装置（分娩室用）台数	167	1.3 (1.1)	0 7	148	1.1 (1.6)	0 17	434	1.1 (0.9)	0 6	199	0.9 (0.5)	0 2
分娩監視装置台数	165	11.1 (6.8)	1 41	146	7.5 (3.8)	1 23	451	5.2 (2.4)	1 15	199	1.3 (0.7)	0 4
保育器（開放式）インファントウォーマー台数	167	5.2 (5.2)	0 40	147	3.7 (2.1)	1 16	456	2.0 (1.2)	0 15	199	0.1 (0.4)	0 2

	総合・地域周産期母子医療センター		それ以外の病院		診療所		助産所	
	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)
集中監視システム機器								
あり		134 (80.2)		143 (97.9)		308 (68.8)	—	—
なし	167	33 (19.8)	146	3 (2.1)	448	140 (31.3)	—	—

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

職員数

- 総合・地域周産期母子医療センターでは職員数が多く配置されており、「産婦人科医師数」は平均約11名、「小児科医師数」約15名、「麻酔科医師数」約11名、「助産師数」約36名であった。
- 「産婦人科医師数」の平均は、それ以外の病院で約6名、診療所で約3名であった。「小児科医師数」の平均は、それ以外の病院で約14名（うち非常勤の常勤換算10名）であった。「助産師数」の平均は、それ以外の病院で約21名、診療所約9名であった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180				それ以外の病院 N=148				診療所 N=465				助産所 N=204			
	n	Mean(SD)	最小	最大	n	Mean(SD)	最小	最大	n	Mean(SD)	最小	最大	n	Mean(SD)	最小	最大
産婦人科医師数																
常勤	178	9.7(7.0)	0	36	148	5.1(3.2)	1	24	457	1.8(1.1)	0	10	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	167	1.5(2.5)	0	14.1	140	1.3(1.8)	0	15.0	408	1.3(1.9)	0	18.0	—	—	—	—
小児科医師数（新生児科医含）																
常勤	176	12.4(12.6)	0	76	146	3.6(6.9)	0	78	395	0.1(0.4)	0	3	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	166	2.3(4.5)	0	23.0	134	10.0(106.1)	0	1229.0	400	0.3(0.6)	0	4.0	—	—	—	—
麻酔科医師数																
常勤	172	9.0(9.1)	0	44	144	3.7(4.5)	0	28	396	0.1(0.4)	0	3	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	163	2.2(3.9)	0	21.4	139	0.8(1.2)	0	5.4	385	0.1(0.6)	0	8.0	—	—	—	—
助産師数																
常勤	175	33.9(27.5)	0	195	144	18.5(11.2)	0	51	455	6.4(4.6)	0	29	199	1.4(1.2)	0	10
非常勤の常勤換算	174	1.9(3.1)	0	29.6	139	2.6(5.7)	0	61.0	437	2.4(2.3)	0	14.0	186	2.2(2.8)	0	22
保健師数																
常勤	168	3.2(11.9)	0	108	135	2.1(7.4)	0	50	380	0(0.3)	0	3	—	—	—	—
非常勤の常勤換算	167	0.2(0.6)	0	3.8	134	0.1(0.5)	0	4.6	372	0(0.1)	0	1.0	—	—	—	—
看護師数																
常勤	174	492.5(298.3)	4	1499	145	232.6(223.8)	1	1110	451	3.8(3.0)	0	17	176	0(0.2)	0	2
非常勤の常勤換算	174	25.2(25.5)	0	205.0	143	14.3(15.1)	0	75.9	417	1.2(1.5)	0	9.0	176	0.1(0.4)	0	2
准看護師数																
常勤	169	1.8(2.7)	0	11	142	3.0(4.4)	0	29	435	2.3(2.3)	0	12	175	0(0)	0	0
非常勤の常勤換算	169	1.2(2.0)	0	14.2	141	1.2(2.0)	0	16.1	409	0.6(1.0)	0	8.1	173	0.0(0.1)	0	1

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 産婦人科医師数、小児科医師数、助産師数、看護師数等の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

夜勤帯・休日のオンコールの人数

- 「夜勤帯・休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆け付けることができるように待機している人数（院内）」については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院と診療所が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターで最も多かった。
- 「院外」での待機については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は同数であり、「麻酔科医師」は総合・地域周産期母子医療センターで多かった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180				それ以外の病院 N=148				診療所 N=465			
	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大
院内												
産婦人科医師	163	0.4 (1.0)	0	11	134	0.6 (3.6)	0	42	410	0.6 (0.6)	0	2
小児科医師	158	0.3 (0.5)	0	3	133	0.1 (0.3)	0	1	365	0.0 (0.2)	0	1
麻酔科医師	156	0.2 (0.6)	0	3	131	0.1 (0.3)	0	1	369	0.1 (0.2)	0	2
その他	140	0.5 (3.0)	0	23	126	0.1 (0.5)	0	4	352	0.1 (0.3)	0	4
院外												
産婦人科医師	171	1.0 (0.8)	0	5	143	1.3 (1.7)	0	19	416	0.9 (0.7)	0	3
小児科医師	165	1.1 (2.7)	0	33	141	1.1 (4.8)	0	54	368	0.1 (0.3)	0	2
麻酔科医師	162	0.8 (0.8)	0	5	138	0.6 (0.6)	0	5	370	0.1 (0.3)	0	1
その他	139	1.1 (3.8)	0	23	126	0.4 (1.7)	0	15	346	0.2 (0.6)	0	5

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 産婦人科医師数、小児科医師数、麻酔科医師数等の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。その他には、助産師、看護師等が含まれる。

分娩件数等

- 1か月間の「分娩数」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターは43件、それ以外の病院36件、診療所36件であった。助産所の1年間の平均は、13件であった。正期産の「帝王切開」は、予定および緊急とも、総合・地域周産期母子医療センターが最も多かった。
- 1か月間の「無痛分娩（硬膜外麻酔）数」の平均は、それ以外の病院が最も多く、次に診療所、総合・地域周産期母子医療センターの順であった。
- 「出産目的で入院する妊産婦の最も多くみられる入院日数」は、帝王切開分娩で平均7日程度、経膈分娩で初産婦5～6日程度、経産婦5日程度であり、施設種別で大きな差はなかった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180				それ以外の病院 N=148				診療所 N=465				助産所 N=204			
	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大	n	Mean (SD)	最小	最大
全分娩数	168	43.04 (42.91)	0	340	143	35.61 (29.67)	0	135	442	35.83 (63.52)	0	832	196	12.72 (13.68)	0	85
全分娩件数のうち、早産の経膈分娩件数																
鉗子分娩	159	0.03 (0.19)	0	2	129	0.00 (0.00)	0	0	379	0.01 (0.13)	0	2	—	—	—	—
吸引分娩	161	0.11 (0.40)	0	3	130	0.08 (0.56)	0	6	379	0.07 (0.43)	0	7	—	—	—	—
上記以外	162	2.52 (4.66)	0	42	134	0.58 (0.94)	0	4	393	0.44 (1.01)	0	12	—	—	—	—
全分娩件数のうち、経膈分娩件数（37週以降）																
鉗子分娩	160	0.96 (6.21)	0	72	129	0.53 (1.75)	0	13	396	0.88 (4.15)	0	48	—	—	—	—
吸引分娩	162	2.65 (4.90)	0	35	135	3.76 (4.93)	0	27	419	4.22 (12.73)	0	236	—	—	—	—
上記以外	164	20.93 (24.61)	0	191	138	21.64 (21.15)	0	98	409	19.27 (26.62)	0	371	—	—	—	—
全分娩件数のうち、早産の帝王切開術数																
予定帝王切開術数	162	0.69 (1.35)	0	9	129	0.09 (0.35)	0	3	389	0.08 (0.64)	0	10	—	—	—	—
緊急帝王切開術数	162	2.78 (3.45)	0	23	131	0.37 (0.97)	0	8	391	0.16 (0.67)	0	8	—	—	—	—
全分娩件数のうち、帝王切開術数（37週以降）																
予定帝王切開術数	163	7.45 (6.28)	0	46	139	3.99 (3.40)	0	16	432	3.36 (5.99)	0	102	—	—	—	—
緊急帝王切開術数	163	4.23 (5.14)	0	46	136	3.51 (5.56)	0	56	424	1.86 (3.87)	0	68	—	—	—	—
全分娩件数のうち、無痛分娩件数																
硬膜外麻酔	161	3.90 (12.92)	0	98	134	6.25 (12.67)	0	86	409	6.00 (30.96)	0	601	—	—	—	—
脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔	161	0.91 (3.69)	0	24	130	0.16 (0.98)	0	9	380	0.52 (4.49)	0	63	—	—	—	—
その他の麻酔	160	0.16 (1.03)	0	11	130	0.07 (0.59)	0	6	371	0.36 (2.80)	0	40	—	—	—	—
上記に当てはまらない分娩																
	147	0.51 (1.99)	0	14	120	0.63 (3.58)	0	30	355	1.11 (4.44)	0	35	—	—	—	—
全分娩数のうち院内助産の分娩数																
	153	2.97 (10.33)	0	84	114	2.37 (8.64)	0	53	355	1.66 (8.68)	0	127	—	—	—	—
出産目的で入院する妊産婦の最も多い入院日数																
経膈分娩（初産婦）	162	6.10 (2.76)	0	34	137	5.70 (1.29)	0	10	446	5.30 (0.96)	0	9	—	—	—	—
経膈分娩（経産婦）	162	5.50 (2.46)	0	31	137	5.32 (1.22)	0	10	446	4.89 (0.85)	0	8	—	—	—	—
帝王切開分娩	163	7.64 (2.50)	0	22	135	7.79 (1.88)	0	16	426	7.37 (1.92)	0	13	—	—	—	—

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。分娩数、入院日数等の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。
※ 分娩件数は、助産所のみ1年間（令和5年9月1日～令和6年8月31日もしくは令和5年10月1日～令和6年9月30日）の分娩件数、それ以外は1か月間（令和6年9月1日～9月30日）の分娩件数を示す。

提供されているサービスと料金

- 「お祝い膳」は、総合・地域周産期母子医療センターで79%、それ以外の病院で84%、診療所で76%の施設で提供されていた。一方、助産所では31%であった。「お祝い膳」の料金は、80%以上の施設で入院料等に含まれていた。入院料等に含まれていない施設での「お祝い膳」の設定価格は、平均1,000～2,000円程度であった。
- 「写真撮影」を提供しているのは、総合・地域周産期母子医療センターは19%、それ以外の病院50%、診療所57%、助産所の45%であった。提供している施設の60%以上の施設で、入院料等に含まれていた。含まれていない施設での平均設定価格は、診療所3,083円、それ以外の病院4,508円、助産所5,083円であった。
- 「足形」は、助産所で最も多く提供され（62%）、続いて診療所（56%）であった。提供している施設の70%以上が入院料等の料金に含まれていた。
- 「エステ」は、診療所で50%、助産所で33%、それ以外の病院で24%、総合・地域周産期母子医療センターで7%の施設で提供されていた。どの施設種別でも70%以上が入院料等に含まれていた。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180		それ以外の病院 N=148		診療所 N=465		助産所 N=204	
	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)
お祝い膳								
あり		136 (78.6)		124 (84.4)		346 (75.5)		59 (30.7)
なし	173	27 (15.6)	147	15 (10.2)	458	103 (22.5)	192	128 (66.7)
妊産婦が選択		10 (5.8)		8 (5.4)		9 (2.0)		5 (2.6)
入院料等の他の料金に含まれる		121 (87.1)		113 (87.6)		307 (88.2)		58 (90.6)
含まれない	139	18 (12.9)	129	16 (12.4)	348	41 (11.8)	64	6 (9.4)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	14	1,172円	13	1,099円	30	2,462円	4	2,000円
写真撮影								
あり		32 (18.5)		73 (50.3)		259 (56.7)		89 (45.2)
なし	173	117 (67.6)	145	60 (41.4)	457	136 (29.8)	197	80 (40.6)
妊産婦が選択		24 (13.9)		12 (8.3)		62 (13.6)		28 (14.2)
入院料等の他の料金に含まれる		38 (69.1)		61 (71.8)		229 (72.9)		76 (66.7)
含まれない	55	17 (30.9)	85	24 (28.2)	314	85 (27.1)	114	38 (33.3)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	12	420円	14	4,508円	62	3,083円	24	5,083円
足形								
あり		50 (28.9)		61 (42.7)		257 (56.4)		120 (61.5)
なし	173	117 (67.6)	143	79 (55.2)	456	190 (41.7)	195	61 (31.3)
妊産婦が選択		6 (3.5)		3 (2.1)		9 (2.0)		14 (7.2)
入院料等の他の料金に含まれる		42 (77.8)		49 (80.3)		208 (80.9)		97 (72.9)
含まれない	54	12 (22.2)	61	12 (19.7)	257	49 (19.1)	133	36 (27.1)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	10	888円	6	0円	33	212円	22	261円
エステ（乳房マッサージは除く）								
あり		12 (6.9)		35 (24.0)		225 (49.5)		63 (32.5)
なし	173	155 (89.6)	146	106 (72.6)	455	191 (42.0)	194	112 (57.7)
妊産婦が選択		6 (3.5)		5 (3.4)		39 (8.6)		19 (9.8)
入院料等の他の料金に含まれる		12 (75.0)		31 (77.5)		201 (78.5)		63 (75.9)
含まれない	16	4 (25.0)	40	9 (22.5)	256	55 (21.5)	83	20 (24.1)
入院料等の他の料金に含まれない場合の平均設定価格	2	1,000円	8	1,969円	50	2,779円	15	3,200円

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 入院料等の他の料金に含まれる/含まれないは、「あり」「妊婦が選択」の場合に回答された。

無痛分娩や検査等と料金

- 「無痛分娩」は、総合・地域周産期母子医療センター42%、それ以外の病院48%、診療所44%で実施されていた。「無痛分娩」の平均設定価格は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は約12万円、診療所は約9万円であった。
- 「先天性代謝異常等検査」および「ビタミンK2」投与は、どの施設種別でも90%以上が実施していた。
- 「新生児聴覚検査」は、総合・地域周産期母子医療センター、それ以外の病院、診療所では、99%以上が実施しており、90%以上の施設が自治体からの補助を受けていた。助産所での実施は47%であった。
- 「新生児1か月健診」は、総合・地域周産期母子医療センター、それ以外の病院、診療所では、94%以上が実施されていた。「自治体からの補助」があったのは60%台であった。

	総合・地域周産期母子医療センター N=180		それ以外の病院 N=148		診療所 N=465		助産所 N=204	
	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)	N	n (%)
無痛分娩								
実施あり	176	73 (41.5)	145	69 (47.6)	454	200 (44.1)	—	—
実施なし		103 (58.5)		76 (52.4)		254 (55.9)	—	—
無痛分娩平均設定価格	75	115,340円	67	123,804円	207	85,897円	—	—
先天性代謝異常等検査								
実施あり	173	161 (93.1)	144	139 (96.5)	452	432 (95.6)	199	192 (96.5)
実施なし		12 (6.9)		5 (3.5)		20 (4.4)		7 (3.5)
先天性代謝異常等検査平均設定価格	148	5,047円	122	4,359円	352	4,535円	163	3,690円
新生児聴覚検査								
実施あり	174	174 (100)	146	145 (99.3)	452	448 (99.1)	201	94 (46.8)
実施なし		0 (0)		1 (0.7)		4 (0.9)		107 (53.2)
自治体の補助の有	169	157 (92.9)	139	127 (91.4)	445	411 (92.4)	150	120 (80.0)
自治体の補助の無		12 (7.1)		12 (8.6)		34 (7.6)		30 (20.0)
自治体の平均補助額	151	4,161円	120	3,988円	376	4,171円	92	4,299円
新生児聴覚検査平均設定価格	165	6,284円	136	6,140円	419	5,600円	95	5,919円
ビタミンK2								
実施あり	170	162 (95.3)	142	139 (97.9)	453	451 (99.6)	200	197 (98.5)
実施なし		8 (4.7)		3 (2.1)		2 (0.4)		3 (1.5)
ビタミンK2平均設定価格	143	601円	124	746円	384	1,021円	157	1,249円
新生児1か月健診								
実施あり	172	169 (98.3)	145	141 (97.2)	452	424 (93.8)	201	159 (78.3)
実施なし		3 (1.7)		4 (2.8)		28 (6.2)		42 (20.9)
自治体の補助の有	166	114 (68.7)	136	82 (60.3)	427	258 (60.4)	178	87 (48.9)
自治体の補助の無		52 (31.3)		54 (39.7)		169 (39.6)		91 (51.1)
自治体の平均補助額	104	4,955円	76	5,243円	238	4,943円	75	4,493円
新生児1か月健診平均設定価格	149	4,550円	131	4,465円	391	4,282円	151	4,720円

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

2. 分娩取扱施設の概要

2 - 2. 助産所

助産所の基本情報・入所室概要

- 本調査の対象となった助産所は204件。すべて分娩取扱があり、「入所施設を有する助産所」が78%、「入所施設を有さない助産所」が22%であった。
- 「入所施設を有する助産所」（N=158）の入所定員は、平均3名であった。
- 「入所施設を有する助産所」では、入所定員1名の入所室（個室）は平均2.6室あり、2名の入所室は平均0.5室、3名の入所室0.2室であった。

N = 204

	n	(%)
分娩の取扱の実施状況		
あり	204	(100)
なし	0	(0)
入所施設の有無		
あり	158	(77.5)
なし	44	(21.6)
未回答	2	(1.0)

N=158

	有効回答数	Mean	(SD)	最小	最大
入所定員					
	156	3.0	(1.7)	1	9
入所室					
入所室／入所定員 1 名の入所室	145	2.6	(1.5)	0	7
入所室／入所定員 2 名の入所室	91	0.5	(1.0)	0	4
入所室／入所定員 3 名の入所室	82	0.2	(0.6)	0	3
入所室／入所定員 4 名以上の入所室	76	0	(0.0)	0	0

※ 入所施設を有する助産所（n=158）による回答である。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

施設・設備等、職員数

- 88%の助産所には「分娩室」があり、設置していないと回答した助産所は、「入所室」と「分娩室」を分けていなかった。58%が「新生児沐浴室」を設置していた。「給食設備」は80%が設置していた。
- 助産所における「助産師数」の平均は、常勤1.4名、非常勤2.2名であった。

N = 158		
	n	(%)
分娩室		
あり	139	(88.0)
なし	17	(10.8)
未回答	2	(1.3)
入所室と分娩室を分けている (n=17)		
いる	0	(0.0)
いない	17	(100.0)
未回答	0	(0.0)
新生児室		
あり	17	(10.8)
なし	139	(88.0)
未回答	2	(1.2)
新生児沐浴室		
あり	91	(57.6)
なし	65	(41.1)
未回答	2	(1.3)
給食設備		
あり	127	(80.4)
なし	30	(19.0)
未回答	1	(0.6)

※ 入所施設を有する助産所 (n=158) による回答である。

N = 204					
	有効回答数	mean	SD	最小	最大
常勤勤務の週あたりの勤務時間数					
	167	41.2	(39.4)	0	414
助産師					
常勤	199	1.4	(1.2)	0	10
非常勤 (常勤換算)	186	2.2	(2.8)	0	22
看護師					
常勤	176	0.0	(0.2)	0	2
非常勤 (常勤換算)	176	0.1	(0.4)	0	2
准看護師					
常勤	175	0.0	(0.0)	0	0
非常勤 (常勤換算)	173	0.0	(0.1)	0	1
看護補助者					
常勤	175	0.0	(0.1)	0	1
非常勤 (常勤換算)	177	0.1	(0.5)	0	4
管理栄養士					
常勤	173	0.0	(0.1)	0	1
非常勤 (常勤換算)	173	0.1	(0.3)	0	2
栄養士					
常勤	175	0.0	(0.1)	0	1
非常勤 (常勤換算)	174	0.1	(0.3)	0	3
その他の職員					
常勤	177	0.2	(0.7)	0	6
非常勤 (常勤換算)	181	1.2	(2.8)	0	32

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。人数の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

勤務体制

- 助産所において入所者が1名の場合、助産師は平均1.5名が勤務しており、最も少ない助産所では1名であった。夜勤帯でも、助産師は平均1.1名の勤務となっていた。

N = 158

	n	(%)	Mean	(SD)	最小	最大
入所者がいない場合（日勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=158)	—	—	1.4	(0.78)	0	5.0
看護師 (n=133)	—	—	0.1	(0.55)	0	6.0
その他 (n=139)	—	—	0.5	(0.96)	0	7.0
入所者がいない場合（夜勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=155)	—	—	0.7	(0.58)	0	3.4
看護師 (n=132)	—	—	0.0	(0.00)	0	0.0
その他 (n=134)	—	—	0.1	(0.22)	0	1.0
入所者が1名の場合（日勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=157)	—	—	1.5	(0.75)	1	5.0
看護師 (n=132)	—	—	0.0	(0.20)	0	1.16
その他 (n=143)	—	—	0.8	(0.96)	0	7.0
入所者が1名の場合（夜勤帯／常勤換算）						
助産師 (n=157)	—	—	1.1	(0.39)	0	3.4
看護師 (n=132)	—	—	0.0	(0.09)	0	1.0
その他 (n=134)	—	—	0.2	(0.58)	0	5.0
入所者が2名以上の場合（日勤帯／常勤換算）						
2名以上入所することはない (n=157)						
はい	38	(24.1)	—	—	—	—
いいえ	119	(75.3)	—	—	—	—
助産師 (n=129)	—	—	1.8	(0.84)	0	5.0
看護師 (n=108)	—	—	0.1	(0.25)	0	1.0
その他 (n=121)	—	—	0.9	(1.03)	0	7.0
入所者が2名以上の場合（夜勤帯／常勤換算）						
2名以上入所することはない (n=157)						
はい	40	(25.3)	—	—	—	—
いいえ	117	(74.1)	—	—	—	—
助産師 (n=128)	—	—	1.2	(0.49)	0.0	3.4
看護師 (n=107)	—	—	0.0	(0.19)	0.0	1.0
その他 (n=113)	—	—	0.2	(0.63)	0.0	5.0

※ 入所施設を有する助産所（n = 158）による回答である。

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。人数の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

分娩時の体制

- 分娩時の体制として、「自院の助産師で複数人体制としている」のが**44%**、「自院と他院の助産師にて複数人体制としている」のが**48%**であり、「助産師が一人に対応している」という助産所はなかった。
- 他施設の助産師への支払い方法で最も多かったのは、「産婦 1 名毎に依頼し支払い」が**35%**であり、続いて「時給」（7%）、「日給」（4%）、「月給」（1%）であった。

N = 204

	n	(%)
分娩時の体制（n=202）		
自院の助産師で複数人体制を確保している	89	(43.6)
自院の助産師と他助産所の助産師による複数人体制を確保している※	98	(48.0)
自院の助産師と他医療機関の助産師による複数人体制を確保している※	10	(4.9)
助産師が一人に対応している	0	(0)
その他	5	(2.5)
※の場合においての他施設の助産師への支払い方法（n = 106）		
産婦 1 名毎に依頼し支払い	72	(35.3)
時給	15	(7.4)
日給	8	(3.9)
月給	2	(1.0)
その他	9	(4.4)

嘱託医師・嘱託医療機関等との連携体制

- すべての助産所は、「嘱託医師あるいは嘱託医療機関」があった（未回答2施設除く）。
- 「嘱託医師数」、「嘱託医療機関数」とも平均は1.5件であり、「連携医療機関数」は平均1.7件であった。
- 「嘱託医師・嘱託医療機関、連携医療機関との出産予定妊婦に関する定期的な情報共有」は、84%の助産所が行っていた。「事例検討会・勉強会・研修会等」には、58%の助産所が参加していた。

N = 204

		n	(%)	Mean	(SD)	最小	最大
嘱託医師あるいは嘱託医療機関							
	あり	202	(99.0)	—	—	—	—
	なし	0	(0.0)	—	—	—	—
	未回答	2	(1.0)	—	—	—	—
嘱託医師数 (n=193)		—	—	1.5	(1.35)	0	14
嘱託医療機関数 (n=200)		—	—	1.5	(1.04)	0	10
連携医療機関数 (n=189)		—	—	1.7	(1.91)	0	20
嘱託医師・嘱託医療機関、連携医療機関との出産予定妊婦に関する定期的な情報共有							
	あり	171	(83.8)	—	—	—	—
	なし	30	(14.7)	—	—	—	—
	未回答	3	(1.5)	—	—	—	—
嘱託医師・嘱託医療機関等、連携医療機関が開催する事例検討会・勉強会・研修会等への参加							
	あり	118	(57.8)	—	—	—	—
	なし	82	(40.2)	—	—	—	—
	未回答	4	(2.0)	—	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

分娩件数等

- 助産所における1年間の「分娩件数」の平均は13件。「初産婦」3件、「経産婦」10件で「経産婦」の方が多い。
- 分娩場所別では、「自助産所内での分娩」が最も多く平均11.7件、続いて「自宅等への出張分娩」が1.4件、「オープンシステムによる分娩」は0.6件であった。
- 「母体搬送」の平均件数は、分娩第1期中は0.7件、第2期中は0.1件、第3期0.1件、第4期0.2件であった。

N = 204

	Mean	(SD)	最小	最大
全分娩件数 (n=196)	12.7	(13.7)	0	85
初産婦 (n=189)	2.86	(3.8)	0	20
経産婦 (n=192)	10.16	(10.5)	0	69
分娩件数 (分娩場所別)				
自助産所内での分娩 (n=184)	11.7	(14.0)	0	85
オープンシステムによる病院、診療所、他助産所での分娩 (n=168)	0.55	(3.8)	0	48
自宅等への出張分娩 (n=186)	1.38	(2.5)	0	15
その他 (n=160)	0.05	(0.4)	0	4
母体搬送件数 (分娩期)				
分娩第1期中の搬送 (n=188)	0.68	(1.3)	0	8
分娩第2期中の搬送 (n=178)	0.11	(0.4)	0	3
分娩第3期中の搬送 (n=177)	0.07	(0.3)	0	1
分娩第4期中の搬送 (n=179)	0.16	(0.5)	0	3
搬送件数 (産褥期) (n=190)	0.06	(0.3)	0	2
新生児搬送件数 (n=188)	0.32	(0.7)	0	4
1か月間の1日平均入所者数 (n=173)	1.08	(3.6)	0	30
9月1日時点における新生児数 (n=174)	0.68	(2.6)	0	30
他助産所等の入所者の分娩のサポート件数 (n=197)	2.11	(4.7)	0	25

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。人数の最小値、最大値等は誤入力があると推測される。

2. 分娩取扱施設の概要 まとめ

- 「夜勤帯・休日に、分娩において緊急事態が生じた際に、駆け付けることができるように待機している人数（院内）」については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院と診療所が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターで最も多かった。「院外」での待機については、「産婦人科医師」の平均人数は、それ以外の病院が最も多かった。「小児科医師」は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は同数であり、「麻酔科医師」は総合・地域周産期母子医療センターで多かった。
- 1か月間の「全分娩数」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターは43件、それ以外の病院36件、診療所36件であった。
- 「無痛分娩」は、総合・地域周産期母子医療センター42%、それ以外の病院48%、診療所44%で実施されていた。「無痛分娩」の平均設定価格は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は約12万円、診療所は約9万円であった。
- 「出産目的で入院する妊産婦の最も多くみられる入院日数」は、帝王切開分娩で平均7日程度、経膣分娩で初産婦5～6日程度、経産婦5日程度であり、施設種別で大きな差はなかった。
- 「祝い膳」は、総合・地域周産期母子医療センターで79%、それ以外の病院で84%、診療所で76%、助産所で31%で提供されていた。料金は、80%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。
- 「写真撮影」を提供しているのは、総合・地域周産期母子医療センターは19%、それ以外の病院50%、診療所57%、助産所の45%であった。提供している施設の60%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。
- 「エステ」は、診療所で50%、助産所で33%、それ以外の病院で24%、総合・地域周産期母子医療センターで7%で提供されていた。料金は、70%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。

（助産所）

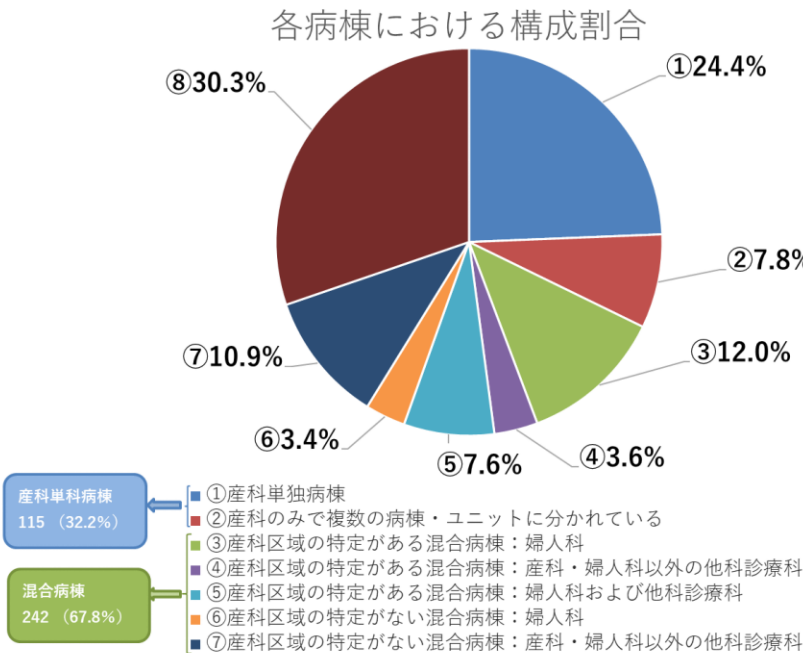
- 本調査の対象となった助産所は204件。すべて分娩取扱があり、「入所施設を有する助産所」が78%、「入所施設を有さない助産所」が22%であった。「入所施設を有する助産所」の入所定員は、平均3名であった。
- 助産所における1年間の分娩取扱件数の平均は13件。「初産婦」3件、「経産婦」10件で「経産婦」の方が多い。
- 分娩場所別では、「自助産所内での分娩」が最も多く平均11.7件、続いて「自宅等への出張分娩」が1.4件、「オープンシステムによる分娩」は0.6件であった。「母体搬送」件数は、分娩第1期中は平均0.7件、第2期中は平均0.1件、第3期0.1件、第4期0.2件であった。
- 分娩時の体制として、「自院の助産師で複数人体制としている」のが44%、「自院と他院の助産師にて複数人体制としている」のが48%であり、「助産師が一人に対応している」という助産所はなかった。

3. 病棟（ユニット）における医療提供体制

基本情報：病棟（ユニット）票

- 「病棟（ユニット）票」は病院を対象として調査を実施し、325件（総合・周産期母子医療センター142件、それ以外の病院183件）からの回答があり、1施設あたりの「病棟・ユニット数」の平均は1.1、「1病棟・ユニット当たりの病床数」の平均は30床であった。
- 病棟構成全般をみると、「混合病棟」が68%と多く、なかでも「婦人科および他科診療科での混合病棟」が38%となっていた。

	回答施設数	回答病棟・ユニット数 (計)	1病院当たり平均回答病棟・ユニット数	各施設における1病棟・ユニット当たりの病床数
総合・地域周産期母子医療センター	142	181	1.3	28.3
それ以外の病院	183	186	1.0	31.2
計	325	367	1.1	29.8



		総合・地域周産期母子医療センター	それ以外の病院	計※注1
産科単科病棟（計）	件数	86	29	115
	割合※注2	49.1%	15.9%	32.2%
	産科単独病棟	件数	29	87
	割合※注2	33.1%	15.9%	24.4%
産科のみで複数の病棟・ユニットに分かれている	件数	28	—	28
	割合※注2	16.0%	—	7.8%
混合病棟（計）	件数	89	153	242
	割合※注2	50.9%	84.1%	67.8%
	産科区域の特定がある混合病棟	件数	49	83
	割合※注2	19.4%	26.9%	23.2%
婦人科	件数	14	29	43
	割合※注2	8.0%	15.9%	12.0%
産科・婦人科以外の他科診療科	件数	5	8	13
	割合※注2	2.9%	4.4%	3.6%
婦人科および他科診療科	件数	15	12	27
	割合※注2	8.6%	6.6%	7.6%
産科区域の特定がない混合病棟	件数	55	104	159
	割合※注2	31.4%	57.1%	44.5%
婦人科	件数	4	8	12
	割合※注2	2.3%	4.4%	3.4%
産科・婦人科以外の他科診療科	件数	10	29	39
	割合※注2	5.7%	15.9%	10.9%
婦人科および他科診療科	件数	41	67	108
	割合※注2	23.4%	36.8%	30.3%
計※注1	件数	175	182	357
	割合※注2	100.0%	100.0%	100.0%

※注1 χ^2 検定の結果 (Pearson $\chi^2(3) = 54.9283$ $Pr = 0.000$) から総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院での病棟構成の差は統計的に有意

※注2 各病棟種別内での分娩施設の割合

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

病床数と入院料＋室料差額

- 「全室個室」の割合は、総合・地域周産母子医療センターで19%、それ以外の病院で25%だった。
- 「1日当たりの室料差額料金」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターが43,233円で、25,107円のそれ以外の病院よりも高い傾向にあり、かつ、個室と2床室との差も若干大きい。

※注 1		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
全室個室	標本数	174	177	351
	件数	33	44	77
	割合	19.0%	24.9%	21.9%
個室				
	病床数（床）	標本数	163	171
		平均値	5.6	6.2
		標準偏差	4.2	5.1
	1日当たりの料金 （円）	標本数	152	164
		平均値	43,233	25,107
		標準偏差	58,639	21,534
2床室				
	病床数	標本数	32	50
		平均値	4.5	4.8
		標準偏差	5.0	3.9
	1日当たりの料金 （円）	標本数	28	38
		平均値	37,515	22,003
		標準偏差	42,138	19,725
入院患者のべ数 （令和6年9月1日～9月30日）	標本数	153	147	300
	平均値	534.8	405.9	471.6
	標準偏差	372.0	329.5	357.1

※注 1 病床数が99%パーセンタイル以上を外れ値として処理

病棟（ユニット）に配置されている職員数

- 常勤の助産師・看護師については、総合・地域周産期母子医療センターの方が、それ以外の病院に比べ人数が多い一方で、非常勤職員及び准看護師・看護補助者・保育士については両群で差はなかった。

			総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
助産師					
常勤		標本数	177	179	356
		平均値	25.4	14.3	19.8
		標準偏差	12.7	9.0	12.3
非常勤（常勤換算）		標本数	165	173	338
		平均値	1.0	1.6	1.3
		標準偏差	1.7	2.8	2.4
看護師					
常勤		標本数	171	179	350
		平均値	75.2	37.3	55.8
		標準偏差	168.0	95.0	136.8
非常勤（常勤換算）		標本数	163	167	330
		平均値	1.5	1.5	1.5
		標準偏差	3.8	4.7	4.3
准看護師					
常勤		標本数	162	171	333
		平均値	0.3	0.8	0.5
		標準偏差	2.1	1.5	1.9
非常勤（常勤換算）		標本数	161	162	323
		平均値	0.1	0.1	0.1
		標準偏差	0.5	0.4	0.5
看護補助者					
常勤		標本数	164	172	336
		平均値	4.4	4.0	4.2
		標準偏差	11.3	8.4	9.9
非常勤（常勤換算）		標本数	165	167	332
		平均値	4.1	1.9	3.0
		標準偏差	10.6	4.0	8.1
保育士					
常勤		標本数	160	160	320
		平均値	0.3	0.2	0.2
		標準偏差	1.1	0.7	0.9
非常勤（常勤換算）		標本数	157	159	316
		平均値	0.1	0.05	0.1
		標準偏差	0.4	0.3	0.3

分娩期・産褥期の医師数、医師の対応時間

- 「分娩期、産褥入院中の医師数、医師の対応時間」について、総合・地域周産期母子医療センターがそれ以外の病院と比べ、人数・時間ともに数は大きかったが、標準偏差からばらつきも大きい。
- 「産婦人科医師」については、診療業務に従事した医師数、医師の対応時間ともに、「産褥入院中」に比べて「分娩期」の方が多かった。
- 「小児科・新生児科医師」については、医師の対応時間が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。

※注 1		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 113 標準偏差 117	18 50 48	47 89 101
(うち) 産婦人科医師	標本数	26	17	43
	平均値	69	32	55
	標準偏差	73	24	61
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	26	17	43
	平均値	24	9	18
	標準偏差	23	14	21
(うち) 麻酔科医師	標本数	26	16	42
	平均値	29	11	22
	標準偏差	30	15	27
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	24	16	40
	平均値	4	1	3
	標準偏差	12	3	9
分娩期の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 446 標準偏差 809	18 288 483	47 385 701
(うち) 産婦人科医師	標本数	22	14	36
	平均値	505	328	436
	標準偏差	857	518	740
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	22	13	35
	平均値	18	13	17
	標準偏差	19	31	24
(うち) 麻酔科医師	標本数	21	13	34
	平均値	62	28	49
	標準偏差	76	57	71
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	21	13	34
	平均値	5	3	4
	標準偏差	22	10	18

※注 1		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計
産褥入院中の産婦の診療業務に従事した全医師数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 76 標準偏差 89	18 31 40	47 59 77
(うち) 産婦人科医師	標本数	25	14	39
	平均値	54	23	43
	標準偏差	59	16	50
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	25	13	38
	平均値	23	9	18
	標準偏差	37	16	32
(うち) 麻酔科医師	標本数	24	13	37
	平均値	8	8	8
	標準偏差	13	17	14
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	23	13	36
	平均値	3	0	2
	標準偏差	5	1	4
産褥入院中の産婦の診療業務に従事した全医師の対応時間数 (令和 6 年 9 月 1 日～9 月 3 0 日)		標本数 29 平均値 234 標準偏差 521	18 120 212	47 190 430
(うち) 産婦人科医師	標本数	22	13	35
	平均値	163	140	155
	標準偏差	276	212	251
(うち) 小児科・新生児科医師	標本数	22	12	34
	平均値	138	20	96
	標準偏差	546	60	441
(うち) 麻酔科医師	標本数	21	12	33
	平均値	4	7	5
	標準偏差	7	18	12
(うち) 上記以外の診療科医師	標本数	21	12	33
	平均値	3	0.3	2
	標準偏差	8	1	6

※注 1 1週間のデータを記録した施設について、1カ月間の概算を算出するため4倍とした

産科の患者の入院割合、看護職の従事時間等

- 「病棟における産科患者の入院割合」は総合・地域周産期母子医療センターで60%、それ以外の病院で47%だった。
- 「看護職」は、総合・地域周産期母子医療センターの方が、それ以外の病院と比べ、労働時間数が長い、標準偏差からばらつきも大きかった。
- 「看護職」については、ケアに従事した時間数が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。

※注 1			総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	計	
病棟（ユニット）における産科の患者の入院割合 （令和6年9月1日～9月30日）			標本数	76	63	139
			平均値	60.4%	47.0%	54.3%
			標準偏差	39.1%	34.1%	37.4%
全看護職の総労働時間数 （令和6年9月1日～9月30日）			標本数	93	72	165
			平均値	2,244	1,103	1,746
			標準偏差	6,496	3,290	5,355
分娩期のケア						
	全看護職の分娩期のケアに従事した時間数		標本数	33	14	47
			平均値	1,486	868	1,302
			標準偏差	4,724	994	3,986
	（うち）助産師が分娩期の ケアに従事した時間数	標本数	30	14	44	
		平均値	629	731	662	
		標準偏差	777	797	776	
産褥入院中（新生児含む）のケア（授乳、育児等の保健指導を含む）						
	全看護職の産褥入院中（新生児含む）のケアに従事した時間数		標本数	32	15	47
			平均値	1,622	1,968	1,732
			標準偏差	1,791	2,461	2,008
	（うち）助産師が産褥入院中（新生児含む）に従事した時間数	標本数	29	15	44	
		平均値	1,543	1,481	1,522	
		標準偏差	1,507	2,276	1,779	
産婦健康診査（産後1か月までの褥婦と新生児）実施有			標本数	81	64	145
			件数	62	59	121
			割合	76.5%	92.2%	83.4%

※ 注 1 1週間のデータを記録した施設について、1カ月間の概算を算出するため4倍とした
※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

3. 病棟（ユニット）における医療提供体制 まとめ

- 「病棟（ユニット）票」は病院を対象として調査を実施し、325件（総合・周産期母子医療センター142件、それ以外の病院183件）からの回答があり、1施設あたりの「病棟・ユニット数」は約1.1、「1病棟・ユニット当たりの病床数」は約30床であった。
- 病棟構成全般をみると、「混合病棟」が68%と多く、なかでも「婦人科および他科診療科での混合病棟」が38%であった。
- 「病棟における産科患者の入院割合」は総合・地域周産期母子医療センターで60%、それ以外の病院で47%であった。
- 「全室個室」の割合は、総合・地域周産母子医療センターで19%、それ以外の病院で25%だった。
- 「1日当たりの室料差額料金」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターが43,233円で、25,107円のそれ以外の病院よりも高い。
- 「産婦人科医師」については、診療業務に従事した医師数、医師の対応時間ともに、「産褥入院中」に比べて「分娩期」の方が多かった。「小児科・新生児科医師」については、医師の対応時間が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。
- 「看護職」については、ケアに従事した時間数が、「分娩期」に比べて「産褥入院中」の方が長かった。

4. 患者（産婦）票の結果について

分娩の状況

- 「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」が81%であった。
- 「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。
- 「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。

		帝王切開	無痛分娩	その他の分娩	計※注 1
総合・地域周産期母子医療センター	件数	18	14	99	131
	割合※注 2	13.7%	10.7%	75.6%	100.0%
	割合※注 3	34.6%	18.7%	18.7%	19.9%
それ以外の病院	件数	7	9	107	123
	割合※注 2	5.7%	7.3%	87.0%	100.0%
	割合※注 3	13.5%	12.0%	20.2%	18.7%
診療所	件数	27	52	324	403
	割合※注 2	6.7%	12.9%	80.4%	100.0%
	割合※注 3	51.9%	69.3%	61.1%	61.3%
計※注 1	件数	52	75	530	657
	割合※注 2	7.9%	11.4%	80.7%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※助産所では帝王切開・無痛分娩の実施はないためこの表の算出から除外した。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(4) = 10.8246$ Pr = 0.029）から医療施設間での帝王切開・無痛分娩・その他群での割合の差は統計的に有意

※注 2 各分娩施設内での分娩状況の割合

※注 3 各分娩状況内の分娩施設の割合

分娩状況の割合（分娩経験別）

- 「帝王切開」の割合は、経産婦（7.5%）よりも初産婦（8.3%）がやや高いが、「無痛分娩」の割合は、経産婦（11.9%）と初産婦（11%）とでほぼ差がない。

		帝王切開	無痛分娩	その他の分娩	計※注 1
初産婦	件数	28	37	271	336
	割合※注 2	8.3%	11.0%	80.7%	100.0%
	割合※注 3	53.9%	49.3%	51.3%	51.3%
経産婦	件数	24	38	257	319
	割合※注 2	7.5%	11.9%	80.6%	100.0%
	割合※注 3	46.2%	50.7%	48.7%	48.7%
計※注 1	件数	52	75	528	655
	割合※注 2	7.9%	11.5%	80.6%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※助産所では帝王切開・無痛分娩の実施はないためこの表の算出から除外した。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(2) = 0.2512$ Pr = 0.882）から医療施設間での帝王切開・無痛分娩・その他群での割合の差は統計的に有意

※注 2 各出産経験内での分娩施設の割合

※注 3 各分娩状況内での出産経験の割合

分娩施設の割合（分娩経験別）

- 分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、「初産婦」より「経産婦」の割合が高い。
- 助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高い。
- 分娩経験の有無にかかわらず、45%が診療所で出産している。

		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	診療所	助産所	計 ※注 1
初産婦	件数	74	67	195	64	400
	割合※注 2	18.5%	16.8%	48.8%	16.0%	100.0%
	割合※注 3	56.5%	54.5%	48.6%	26.5%	44.6%
経産婦	件数	57	56	206	178	497
	割合※注 2	11.5%	11.3%	41.5%	35.8%	100.0%
	割合※注 3	43.5%	45.5%	51.4%	73.6%	55.4%
計※注 1	件数	131	123	401	242	897
	割合※注 2	14.6%	13.7%	44.7%	27.0%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(3) = 47.2573$ Pr = 0.000）から出産経験有無別の出産施設の割合の差は統計的に有意である

※注 2 各出産経験内での分娩施設の割合

※注 3 各分娩施設内の出産経験の割合

同一都道府県内の分娩施設での出産の割合（都道府県別・分娩経験別）

- 分娩経験によらず、ほぼ80%以上の分娩が「産婦の住所がある都道府県」内で完結している。

産婦の住所 (都道府県)	初産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	経産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	出産 経験 不詳	計	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
北海道	9	8	89%	10	10	100%	0	19	18	95%
青森県	3	3	100%	3	2	67%	0	6	5	83%
岩手県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
宮城県	5	3	60%	5	5	100%	0	10	8	80%
秋田県	1	1	100%	2	2	100%	0	3	3	100%
山形県	4	4	100%	4	4	100%	0	8	8	100%
福島県	6	6	100%	7	6	86%	0	13	12	92%
茨城県	12	11	92%	6	6	100%	0	18	17	94%
栃木県	8	8	100%	10	10	100%	0	18	18	100%
群馬県	5	5	100%	2	2	100%	0	7	7	100%
埼玉県	23	17	74%	18	17	94%	0	41	34	83%
千葉県	11	9	82%	9	6	67%	1	21	15	75%
東京都	29	23	79%	36	30	83%	1	66	53	82%
神奈川県	19	16	84%	28	26	93%	0	47	42	89%
新潟県	3	3	100%	5	5	100%	0	8	8	100%
富山県	3	3	100%	3	3	100%	0	6	6	100%
石川県	9	8	89%	5	5	100%	0	14	13	93%
福井県	9	8	89%	0	0	—	0	9	8	89%
山梨県	6	6	100%	6	6	100%	0	12	12	100%
長野県	9	9	100%	21	20	95%	1	31	29	97%
岐阜県	7	5	71%	6	6	100%	0	13	11	85%
静岡県	6	6	100%	13	12	92%	0	19	18	95%
愛知県	17	14	82%	35	34	97%	0	52	48	92%

産婦の住所 (都道府県)	初産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	経産婦	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	出産 経験 不詳	計	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
三重県	5	3	60%	4	4	100%	0	9	7	78%
滋賀県	5	5	100%	6	5	83%	0	11	10	91%
京都府	5	5	100%	8	7	88%	0	13	12	92%
大阪府	24	21	88%	35	31	89%	1	60	52	88%
兵庫県	20	15	75%	16	16	100%	0	36	31	86%
奈良県	3	3	100%	9	8	89%	0	12	11	92%
和歌山県	3	2	67%	4	4	100%	0	7	6	86%
鳥取県	4	4	100%	4	4	100%	0	8	8	100%
島根県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
岡山県	8	7	88%	12	12	100%	0	20	19	95%
広島県	5	4	80%	15	15	100%	0	20	19	95%
山口県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
徳島県	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
香川県	6	6	100%	4	4	100%	0	10	10	100%
愛媛県	2	2	100%	5	5	100%	0	7	7	100%
高知県	0	0	—	1	1	100%	0	1	1	100%
福岡県	16	13	81%	25	24	96%	0	41	37	90%
佐賀県	6	6	100%	5	3	60%	0	11	9	82%
長崎県	4	3	75%	7	6	86%	0	11	9	82%
熊本県	0	0	—	2	2	100%	0	2	2	100%
大分県	5	4	80%	9	9	100%	0	14	13	93%
宮崎県	4	3	75%	11	10	91%	0	15	13	87%
鹿児島県	5	3	60%	13	12	92%	0	18	15	83%
沖縄県	8	6	75%	13	12	92%	0	21	18	86%
都道府県不詳	54	—	—	37	—	—	3	94	—	—
計	399	294	74%	497	429	86%	7	903	723	81%

※注 1 産婦の住所（都道府県）不詳を分母から除外。
※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

同一都道府県内の分娩施設での出産の割合（都道府県別・分娩状況別）

- 分娩の状況によらず、ほぼ80%以上の分娩が「産婦の住所がある都道府県」内で完結している。

産婦の住所 (都道府県)	帝王 切開	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産		無痛 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産		その 他の 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	
		※注 1			※注 1			※注 1	
北海道	1	1	100%	3	3	100%	15	14	93%
青森県	2	2	100%	0	0	—	4	3	75%
岩手県	1	1	100%	0	0	—	6	6	100%
宮城県	1	0	0%	2	2	100%	7	6	86%
秋田県	0	0	—	0	0	—	3	3	100%
山形県	0	0	—	2	2	100%	6	6	100%
福島県	0	0	—	1	1	100%	12	11	92%
茨城県	2	2	100%	0	0	—	16	15	94%
栃木県	1	1	100%	0	0	—	17	17	100%
群馬県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
埼玉県	3	3	100%	4	4	100%	34	27	79%
千葉県	0	0	—	1	1	100%	20	15	75%
東京都	1	1	100%	8	8	100%	57	45	79%
神奈川県	2	2	100%	12	11	92%	33	29	88%
新潟県	1	1	100%	0	0	—	7	7	100%
富山県	0	0	—	1	1	100%	5	5	100%
石川県	1	0	0%	1	1	100%	12	12	100%
福井県	2	2	100%	0	0	—	7	6	86%
山梨県	1	1	100%	0	0	—	11	11	100%
長野県	0	0	—	0	0	—	31	30	97%
岐阜県	0	0	—	0	0	—	13	11	85%
静岡県	1	1	100%	0	0	—	18	17	94%
愛知県	2	2	100%	4	3	75%	46	43	93%

産婦の住所 (都道府県)	帝王 切開	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産		無痛 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産		その 他の 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	
		※注 1			※注 1			※注 1	
三重県	0	0	—	1	0	0%	8	7	88%
滋賀県	1	1	100%	0	0	—	10	9	90%
京都府	0	0	—	3	3	100%	10	9	90%
大阪府	3	3	100%	5	4	80%	52	46	88%
兵庫県	2	2	100%	2	2	100%	32	27	84%
奈良県	0	0	—	0	0	—	12	11	92%
和歌山県	1	0	0%	0	0	—	6	6	100%
鳥取県	2	2	100%	0	0	—	6	6	100%
島根県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
岡山県	0	0	—	1	1	100%	19	18	95%
広島県	2	2	100%	1	1	100%	17	16	94%
山口県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
徳島県	0	0	—	0	0	—	0	0	—
香川県	0	0	—	0	0	—	10	10	100%
愛媛県	1	1	100%	0	0	—	6	6	100%
高知県	0	0	—	0	0	—	1	1	100%
福岡県	4	4	100%	5	5	100%	32	28	88%
佐賀県	1	1	100%	2	0	0%	8	8	100%
長崎県	0	0	—	0	0	—	11	9	82%
熊本県	0	0	—	0	0	—	2	2	100%
大分県	0	0	—	0	0	—	14	13	93%
宮崎県	0	0	—	2	1	50%	13	12	92%
鹿児島県	2	2	100%	4	4	100%	12	9	75%
沖縄県	0	0	—	2	1	50%	19	17	89%
都道府県不詳	11	—	—	8	—	—	75	—	—
計	52	38	73%	75	59	79%	776	630	81%

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

※注 1 産婦の住所（都道府県）不詳を分母から除外。

産婦の年齢等（分娩状況別・分娩経験別）

- 「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短い。
- 「初産婦」は「経産婦」と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
年齢	標本数	27	24	51	37	38	75	330	435	770	394	497	896
	平均値	31.7	33.0	32.3	31.2	33.2	32.2	29.3	32.6	31.2	29.6	32.6	31.3
	標準偏差	5.3	3.0	4.4	4.8	4.2	4.6	4.8	4.9	5.1	4.9	4.7	5.0
身長	標本数	28	24	37	37	38	75	332	430	767	397	492	894
	平均値	156.4	158.1	157.2	159.8	160.0	159.9	158.3	158.4	158.3	158.3	158.5	158.4
	標準偏差	7.9	6.4	7.2	5.4	5.8	5.6	5.4	5.6	5.5	5.6	5.7	5.6
非妊時体重	標本数	27	22	49	37	38	75	331	431	767	395	491	891
	平均値	56.3	54.5	55.5	54.0	55.6	54.8	54.0	54.0	54.0	54.2	54.1	54.2
	標準偏差	10.2	7.9	9.2	9.2	10.7	9.9	10.4	8.6	9.4	10.3	8.8	9.5
出産時の妊娠週数	標本数	28	24	52	37	38	75	334	433	772	399	495	899
	平均値	39.7	38.2	39.0	39.3	38.9	39.1	39.6	39.4	39.5	39.5	39.3	39.4
	標準偏差	1.2	1.2	1.4	1.1	1.0	1.1	1.2	2.1	1.8	1.2	2.1	1.7
母親の在院日数	標本数	28	24	52	37	38	75	322	395	721	387	457	848
	平均値	9.3	8.4	8.9	7.0	5.9	6.4	6.3	5.5	5.8	6.5	5.6	6.1
	標準偏差	2.7	1.5	2.2	1.3	0.8	1.2	1.6	2.6	2.3	1.9	2.6	2.3
社会的ハイリスクへの該当有(%)	標本数	0	0	0	37	38	75	334	435	776	399	497	904
	件数	0	0	0	4	1	5	24	12	36	28	13	41
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	2.6%	6.5%	7.2%	2.8%	4.6%	7.0%	2.6%	4.5%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

産婦の年齢等（分娩施設別・分娩経験別）

- 総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「非妊時体重」が重く、「妊娠週数」が短く、「在院日数」が長い。
- 分娩施設によらず、「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦が高い。
- 総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高い。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
年齢	標本数	73	56	130	66	56	122	194	206	402	61	178	242
	平均値	31.3	33.8	32.4	30.1	31.7	30.8	29.0	32.0	30.6	29.1	33.3	32.2
	標準偏差	5.6	4.2	5.1	5.1	4.8	5.0	4.4	4.5	4.7	4.8	5.0	5.2
身長	標本数	74	57	131	67	56	123	195	205	402	61	174	238
	平均値	158.3	159.0	158.6	157.6	157.5	157.6	158.5	158.6	158.5	158.2	158.4	158.4
	標準偏差	5.8	5.7	5.7	6.1	5.4	5.8	5.4	5.9	5.7	5.7	5.5	5.5
非妊時体重	標本数	73	57	130	65	53	118	195	205	402	62	176	241
	平均値	56.2	55.2	55.8	54.2	55.8	54.9	53.4	54.8	54.2	54.3	52.4	53.0
	標準偏差	12.0	9.8	11.1	8.2	10.9	9.5	7.9	8.7	8.3	15.4	7.5	10.1
出産時の妊娠週数	標本数	74	56	130	67	56	123	195	206	403	63	177	243
	平均値	39.2	38.6	39.0	39.5	39.1	39.3	39.6	39.3	39.4	39.8	39.5	39.6
	標準偏差	1.5	1.7	1.6	1.2	0.9	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	3.0	2.6
母親の在院日数	標本数	74	57	131	67	56	123	191	205	398	55	139	196
	平均値	7.7	6.7	7.2	7.1	6.3	6.7	6.6	6.1	6.3	4.3	4.4	4.4
	標準偏差	2.3	1.5	2.0	1.4	1.0	1.3	1.3	2.8	2.2	1.3	2.5	2.2
社会的ハイリスク への該当有(%)	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	—	—	—
	件数	13	2	15	5	3	8	10	8	18	—	—	—
	割合	17.6%	3.5%	11.5%	7.5%	5.4%	6.5%	5.1%	3.9%	4.5%	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 助産所票には「社会的ハイリスクへの該当の有無」についての質問項目無し

入院経路、分娩時間（分娩状況別・分娩経験別）

- その他の分娩の主な入院経路で最も多かったのは「陣痛発来」で約67%、無痛分娩では「無痛分娩目的」が約35%と最も高く、帝王切開では、いずれにも区分されない「その他の入院経路」が約半数を示していた。
- 「入院から分娩第3期終了までの時間」は、無痛分娩のほうがその他の分娩より長かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計			
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	
主な入院経路（1つのみ選択）															
	陣痛発来	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	3	4	7	15	7	22	193	311	508	211	322	537	
		割合	12.0%	21.1%	15.9%	40.5%	18.9%	29.7%	58.8%	72.3%	66.5%	54.1%	66.3%	60.9%	
	前期破水	標本数	25	－	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	7	－	7	10	2	12	79	61	141	96	63	160	
		割合	28.0%	－	15.9%	27.0%	5.4%	16.2%	24.1%	14.2%	18.5%	24.6%	13.0%	18.1%	
	計画分娩	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	4	1	5	2	7	9	38	45	84	44	53	98	
		割合	16.0%	5.3%	11.4%	5.4%	18.9%	12.2%	11.6%	10.5%	11.0%	11.3%	10.9%	11.1%	
	無痛分娩目的	標本数	25	－	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	1	－	1	8	18	26	1	1	2	10	19	29	
		割合	4.0%	－	2.3%	21.6%	48.6%	35.1%	0.3%	0.2%	0.3%	2.6%	3.9%	3.3%	
	その他	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	486	882	
		件数	10	14	24	2	3	5	17	12	29	29	29	58	
		割合	40.0%	73.7%	54.5%	5.4%	8.1%	6.8%	5.2%	2.8%	3.8%	7.4%	6.0%	6.6%	
	分娩時間（分）														
		第1期	標本数	－	－	－	35	38	73	323	421	749	365	461	831
			平均値	－	－	－	625.6	254.2	432.3	629.0	303.8	443.6	624.8	298.8	441.6
標準偏差			－	－	－	464.8	152.0	385.8	470.5	214.9	384.0	467.3	210.8	383.2	
第2期		標本数	－	－	－	34	38	72	322	419	746	361	459	825	
		平均値	－	－	－	118.4	38.0	75.9	69.8	23.8	43.6	74.2	24.9	46.4	
		標準偏差	－	－	－	100.0	40.4	84.5	104.9	75.5	92.0	104.9	73.2	91.6	
第3期		標本数	－	－	－	34	38	72	324	428	758	368	473	847	
		平均値	－	－	－	6.3	6.1	6.2	10.9	9.7	10.2	10.3	9.5	9.8	
		標準偏差	－	－	－	4.4	4.6	4.5	27.0	21.7	24.1	25.5	20.9	22.9	
入院から分娩第3期終了までの時間 （分）		標本数	－	－	－	34	37	71	320	426	751	367	469	841	
		平均値	－	－	－	1471.4	759.0	1100.1	852.8	420.8	603.6	951.7	449.3	667.2	
		標準偏差	－	－	－	1142.2	631.3	973.9	815.9	449.7	666.6	939.9	478.8	758.8	
第3期終了から帰室までの時間 （分）	標本数	－	－	－	34	38	72	315	407	726	362	452	818		
	平均値	－	－	－	164.1	197.6	181.8	161.3	160.1	160.4	161.2	161.8	161.3		
	標準偏差	－	－	－	85.6	102.1	95.5	149.8	112.4	129.6	145.9	111.8	127.7		

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

入院経路、分娩時間（分娩施設別（病院・診療所）・分娩経験別）

- 分娩施設別にみると、施設にかかわらず、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。
- 総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、初産婦より経産婦の方が「計画分娩」の割合が高い。
- 初産婦の「分娩時間」の平均値について、分娩第1期はそれ以外の病院（640分）、診療所（605分）、総合・地域周産期母子医療センター（587分）の順に長いですが、分娩第2期は総合・地域周産期母子医療センター（119分）、診療所（65分）、それ以外の病院（47分）の順に長くなっている。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）											
陣痛発来	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	30	17	47	30	33	63	99	117	217	
	割合	42.3%	32.1%	37.9%	46.2%	58.9%	52.1%	51.3%	57.9%	54.7%	
前期破水	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	24	12	36	21	5	26	43	30	73	
	割合	33.8%	22.6%	29.0%	32.3%	8.9%	21.5%	22.3%	14.9%	18.4%	
計画分娩	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	11	13	24	6	12	18	26	24	51	
	割合	15.5%	24.5%	19.4%	9.2%	21.4%	14.9%	13.5%	11.9%	12.8%	
無痛分娩目的	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	2	5	7	2	2	4	6	12	18	
	割合	2.8%	9.4%	5.6%	3.1%	3.6%	3.3%	3.1%	5.9%	4.5%	
その他	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397	
	件数	4	6	10	6	4	10	19	19	38	
	割合	5.6%	11.3%	8.1%	9.2%	7.1%	8.3%	9.8%	9.4%	9.6%	
分娩時間（分）											
第1期	標本数	62	48	—	66	52	—	179	195	—	
	平均値	586.8	239.1	—	640.4	305.2	—	604.8	298.7	—	
	標準偏差	445.1	145.2	—	525.1	246.9	—	437.2	217.9	—	
第2期	標本数	61	48	—	65	52	—	178	195	—	
	平均値	118.7	22.23	—	46.7	19.3	—	64.6	17.7	—	
	標準偏差	196.0	27.68	—	47.9	25.1	—	68.0	23.1	—	
第3期	標本数	63	51	—	65	53	—	181	197	—	
	平均値	11.37	8.8	—	8.6	9.7	—	7.0	5.6	—	
	標準偏差	31.30	16.8	—	23.2	23.6	—	22.1	5.5	—	
入院から分娩第3期終了までの時間（分）		標本数	67	50	—	63	51	—	179	196	—
		平均値	1133.2	693.1	—	920.9	545.7	—	973.5	488.0	—
		標準偏差	1330.9	834.3	—	825.0	546.1	—	880.8	456.3	—
第3期終了から帰室までの時間（分）		標本数	64	48	—	59	51	—	182	194	—
		平均値	176.0	167.1	—	161.2	167.2	—	142.5	147.4	—
		標準偏差	120.0	95.9	—	104.2	101.4	—	106.4	85.5	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

入院経路、分娩時間、搬送の状況（助産所・分娩経験別）

- 助産所では、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。
- 助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高かった。

			助産所		
			初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）					
	陣痛発来	標本数	61	175	240
		件数	52	155	210
		割合	85.2%	88.6%	87.5%
	前期破水	標本数	61	175	240
		件数	8	16	25
		割合	13.1%	9.1%	10.4%
分娩時間（分）					
	第1期	標本数	58	166	227
		平均値	709.2	314.2	413.8
		標準偏差	510.5	204.7	356.1
	第2期	標本数	57	164	224
		平均値	87.8	36.0	49.1
		標準偏差	94.1	117.4	113.2
	第3期	標本数	59	172	235
		平均値	20.8	14.0	15.6
		標準偏差	28.1	29.6	29.1
入院から分娩第3期終了までの時間（分）		標本数	58	172	233
		平均値	707.9	305.8	404.1
		標準偏差	596.7	246.5	404.3
第3期終了から帰室までの時間（分）		標本数	57	159	218
		平均値	204.3	175.9	182.7
		標準偏差	264.4	142.4	181.7

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

			助産所		
			初産婦	経産婦	計
搬送の状況					
	搬送あり（複数選択）	標本数	64	178	247
		件数	9	12	21
		割合	14.1%	6.7%	8.5%
	分娩期（母体搬送）	標本数	10	13	23
		件数	7	6	13
		割合	70.0%	46.2%	56.5%
	産褥入院中	標本数	9	12	21
		件数	1	2	3
		割合	11.1%	16.7%	14.3%
	新生児（入院中）	標本数	9	13	22
		件数	2	5	7
		割合	22.2%	38.5%	31.8%
	搬送先（1つのみ選択）				
	嘱託医	標本数	9	－	21
		件数	1	－	1
割合		11.1%	－	4.8%	
嘱託医療機関	標本数	10	12	22	
	件数	6	5	11	
	割合	60.0%	41.7%	50.0%	
連携医療機関	標本数	9	12	21	
	件数	1	4	5	
	割合	11.1%	33.3%	23.8%	
その他の医療機関	標本数	9	13	22	
	件数	2	4	6	
	割合	22.2%	30.8%	27.3%	

分娩時医療行為（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 帝王切開・無痛分娩の方がその他の分娩に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬点滴」「血管確保」「陣痛誘発」の実施割合が高かった。
- 分娩施設にかかわらず、初産婦の方が経産婦に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬内服」「感染予防の抗菌薬点滴」「陣痛促進」「会陰切開」「会陰縫合」の実施割合が高かった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
子宮頸管拡張	件数	8	1	9	9	18	27	47	34	82	64	53	118
	割合	28.6%	4.2%	17.3%	24.3%	47.4%	36.0%	14.0%	7.8%	10.6%	16.0%	10.7%	13.1%
感染予防の抗菌薬内服	件数	6	1	7	11	11	22	76	57	133	93	69	162
	割合	21.4%	4.2%	13.5%	29.7%	28.9%	29.3%	22.7%	13.1%	17.1%	23.3%	13.9%	17.9%
感染予防の抗菌薬点滴	件数	19	16	35	15	4	19	75	50	125	109	70	179
	割合	67.9%	66.7%	67.3%	40.5%	10.5%	25.3%	22.4%	11.5%	16.1%	27.3%	14.1%	19.8%
血管確保	件数	28	21	49	36	38	74	287	301	591	351	360	714
	割合	100.0%	87.5%	94.2%	97.3%	100.0%	98.7%	85.7%	69.2%	76.1%	87.8%	72.4%	79.0%
陣痛促進	件数	7	2	9	22	15	37	96	67	163	125	84	209
	割合	25.0%	8.3%	17.3%	59.5%	39.5%	49.3%	28.7%	15.4%	21.0%	31.3%	16.9%	23.1%
陣痛誘発	件数	10	1	11	17	26	43	73	65	139	100	92	193
	割合	35.7%	4.2%	21.2%	45.9%	68.4%	57.3%	21.8%	14.9%	17.9%	25.0%	18.5%	21.3%
会陰切開	件数	3	—	3	26	18	44	206	70	276	235	88	323
	割合	10.7%	—	5.8%	70.3%	47.4%	58.7%	61.5%	16.1%	35.5%	58.8%	17.7%	35.7%
会陰縫合	件数	3	—	3	33	31	64	264	218	483	300	249	550
	割合	10.7%	—	5.8%	89.2%	81.6%	85.3%	78.8%	50.1%	62.2%	75.0%	50.1%	60.8%

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
子宮頸管拡張	件数	18	13	31	12	6	18	34	34	69	—	—	—
	割合	24.3%	22.8%	23.7%	17.9%	10.7%	14.6%	17.4%	16.5%	17.1%	—	—	—
感染予防の抗菌薬内服	件数	14	4	18	16	9	25	63	56	119	—	—	—
	割合	18.9%	7.0%	13.7%	23.9%	16.1%	20.3%	32.3%	27.2%	29.5%	—	—	—
感染予防の抗菌薬点滴	件数	24	15	39	26	8	34	59	47	106	—	—	—
	割合	32.4%	26.3%	29.8%	38.8%	14.3%	27.6%	30.3%	22.8%	26.3%	—	—	—
血管確保	件数	71	53	124	67	52	119	190	203	395	23	52	76
	割合	95.9%	93.0%	94.7%	100.0%	92.9%	96.7%	97.4%	98.5%	98.0%	35.9%	29.2%	30.9%
陣痛促進	件数	21	8	29	20	10	30	84	66	150	—	—	—
	割合	28.4%	14.0%	22.1%	29.9%	17.9%	24.4%	43.1%	32.0%	37.2%	—	—	—
陣痛誘発	件数	22	19	41	17	18	35	61	55	117	—	—	—
	割合	29.7%	33.3%	31.3%	25.4%	32.1%	28.5%	31.3%	26.7%	29.0%	—	—	—
会陰切開	件数	45	17	62	53	19	72	137	50	187	—	2	2
	割合	60.8%	29.8%	47.3%	79.1%	33.9%	58.5%	70.3%	24.3%	46.4%	—	1.1%	0.8%
会陰縫合	件数	57	39	96	56	44	100	171	148	320	16	18	34
	割合	77.0%	68.4%	73.3%	83.6%	78.6%	81.3%	87.7%	71.8%	79.4%	25.0%	10.1%	13.8%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経腔分娩等が該当する。

入院中の助産ケア（分娩状況別・分娩経験別）

- 入院中の助産ケアの実施回数や指導時間は、経産婦に比べて初産婦の方が多い。
- 「母子同室」については、分娩経験の有無にかかわらず、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順に実施割合が高い。
- 「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。
- 「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。
- 「育児技術指導」の延べ時間は、初産婦で平均257分、経産婦で平均218分であり、「退院指導」の時間は、初産婦で平均45分、経産婦で平均42分であった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
母子同室	標本数	28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
	件数	24	19	43	32	34	66	241	228	470	297	281	579
	割合	85.7%	79.2%	82.7%	86.5%	89.5%	88.0%	71.9%	52.4%	60.5%	74.3%	56.5%	64.0%
授乳指導(平均的な1日あたりの回数)	標本数	28	21	49	37	37	74	322	414	743	387	472	866
	平均値	4.5	4.5	4.5	3.8	4.2	4.0	5.2	4.2	4.7	5.1	4.2	4.6
	標準偏差	2.4	2.2	2.3	2.4	1.9	2.1	4.2	2.8	3.5	3.9	2.7	3.3
授乳指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	28	21	49	37	37	74	319	412	737	384	470	860
	平均値	26.4	19.4	23.4	16.8	15.4	16.1	22.0	17.4	19.4	21.8	17.3	19.4
	標準偏差	16.8	11.7	15.1	12.9	8.6	10.9	13.5	13.8	13.8	13.8	13.4	13.7
沐浴指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	28	21	49	37	36	73	326	417	750	391	474	872
	平均値	1.6	1.2	1.4	1.2	0.9	1.0	1.7	1.5	1.6	1.7	1.5	1.6
	標準偏差	1.2	0.6	1.0	0.6	0.5	0.6	1.4	1.5	1.5	1.3	1.5	1.4
育児技術指導(延べ時間：分)	標本数	27	21	48	37	33	70	312	398	716	376	452	834
	平均値	271.5	226.4	251.8	160.2	183.5	171.2	267.1	220.6	240.6	256.9	218.1	235.4
	標準偏差	361.2	215.6	304.1	162.7	332.0	255.1	383.6	935.1	741.7	367.0	883.0	695.1
退院指導時間(分)	標本数	28	21	49	37	37	74	323	415	744	388	473	867
	平均値	41.8	38.1	40.2	41.5	35.7	38.6	46.2	42.3	44.2	45.4	41.6	43.5
	標準偏差	35.8	18.0	29.3	23.3	18.4	21.0	53.0	31.2	42.2	49.8	29.9	40.2

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

入院中の助産ケア（分娩施設別・分娩経験別）

- 「授乳指導」については、総合・地域周産期母子医療センターやそれ以外の病院での実施回数が多く、「育児技術指導」時間も長い傾向にある。
- 「沐浴指導」は、助産所での実施回数が多く、「退院指導」の時間も長い傾向にある。
- 「授乳指導」の平均的な1日あたりの実施回数は、総合・地域周産期母子医療センターで平均5.3回、それ以外の病院で平均5.0回、診療所で平均4.2回、助産所で平均4.7回であった。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所 ※注 1		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
母子同室	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	—	—	—
	件数	60	45	105	59	49	108	178	187	366	—	—	—
	割合	81.1%	78.9%	80.2%	88.1%	87.5%	87.8%	91.3%	90.8%	90.8%	—	—	—
授乳指導(平均的な1日あたりの回数)	標本数	73	48	121	63	54	117	193	201	396	58	169	232
	平均値	5.7	4.6	5.3	5.2	4.7	5.0	4.4	4.0	4.2	6.2	4.2	4.7
	標準偏差	2.8	2.8	2.8	7.3	2.5	5.6	2.3	2.2	2.2	4.0	3.2	3.5
授乳指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	72	48	120	62	54	116	193	200	395	57	168	229
	平均値	27.6	22.0	25.3	19.8	20.7	20.2	18.9	15.6	17.3	26.4	16.9	19.4
	標準偏差	15.7	15.1	15.6	10.9	13.9	12.3	11.1	10.4	10.9	18.3	15.3	16.5
沐浴指導(1入院あたりの合計回数)	標本数	74	49	123	65	55	120	195	200	397	57	170	232
	平均値	1.5	1.0	1.3	1.6	1.2	1.4	1.5	1.2	1.4	2.6	2.0	2.2
	標準偏差	1.0	0.5	0.9	1.4	0.5	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.7
育児技術指導(延べ時間：分)	標本数	73	46	119	56	48	104	190	192	384	57	166	227
	平均値	245.4	263.3	252.3	314.8	239.1	279.9	212.3	231.0	221.2	363.2	184.7	230.4
	標準偏差	316.0	407.0	352.4	536.5	380.1	470.1	260.3	1302.0	937.5	490.2	283.5	352.9
退院指導時間(分)	標本数	73	50	123	65	54	119	193	203	398	57	166	227
	平均値	40.9	39.7	40.4	41.2	43.6	42.3	39.0	32.7	35.8	77.8	52.5	59.4
	標準偏差	18.0	19.0	18.3	17.1	18.7	17.8	21.3	16.4	19.2	116.6	42.4	69.6

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 注 1 助産所票には母子同室の質問項目無し

新生児の概要（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 新生児の「出生時の体重」は、全般的に「経産婦」の方が「初産婦」よりも重く、「在院日数」は、「初産婦」の方が「経産婦」よりも長い。他方で、標準偏差をみると、両者とも、「経産婦」の方が「初産婦」よりもばらつきが大きい。
- 新生児の「出生時の体重」は、その他の分娩＞無痛分娩＞帝王切開の順で重い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
出生時の体重	標本数	28	24	52	37	38	75	332	433	771	397	495	897
	平均値	3,054	2,920	2,992	3,018	3,067	3,043	3,023	3,121	3,079	3,024	3,107	3,071
	標準偏差	338.3	338.7	341.8	357.3	280.5	319.5	357.5	365.5	365.0	355.4	360.6	360.6
在院日数（出生及び退院日を含める）	標本数	26	24	50	37	38	75	329	429	765	392	491	890
	平均値	8.4	8.2	8.3	5.8	5.3	5.5	5.9	5.4	5.6	6.0	5.5	5.7
	標準偏差	2.8	3.9	3.3	0.9	0.6	0.8	1.7	2.6	2.2	1.8	2.6	2.3

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
出生時の体重	標本数	74	56	130	67	56	123	195	206	403	61	177	242
	平均値	3,022	3,070	3,043	2,996	3,088	3,038	3,031	3,084	3,059	3,037	3,150	3,125
	標準偏差	398.1	441.0	416.2	360.3	293.5	333.5	342.0	338.4	340.0	344.5	375.3	370.8
在院日数（出生及び退院日を含める）	標本数	72	56	128	67	56	123	193	204	399	60	175	240
	平均値	7.1	7.9	7.4	6.8	6.3	6.5	5.9	5.5	5.7	4.3	4.5	4.4
	標準偏差	2.7	5.2	4.0	1.8	1.9	1.8	1.0	1.0	1.0	1.3	2.3	2.1

※ 本調査の実施期間は1か月であったが、助産所の在院日数で1件30日を大きく上回る日数があったため外れ値として除外。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膣分娩等が該当する。

新生児へ提供した医療等（分娩状況別・分娩経験別）

- 新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順が多い。「産科医」では、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順が多い。
- 検査等について、「アプニアセンサー装着」は全体の47%に実施され、「新生児聴覚検査」は全体の87%に実施されていた。
- 無痛分娩・その他の分娩に比べ、帝王切開で出生直後に「血糖測定対象かどうか」「SpO2モニター装着」の割合が高い。
- 治療については、帝王切開・その他の分娩と比べ、無痛分娩で「光線療法」の割合が高い。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
診療	小児科医による診療日数 (入院中に限る) ※注 1	標本数	26	22	48	33	37	70	253	230	485	312	289	603
		平均値	2.2	2.7	2.4	1.8	1.5	1.7	2.0	1.8	1.9	2.0	1.9	1.9
		標準偏差	2.5	5.4	4.1	2.3	1.6	1.9	2.6	3.5	3.0	2.5	3.5	3.0
	産科医による診療日数 (入院中に限る) ※注 1	標本数	27	22	49	35	38	73	265	244	511	327	304	633
		平均値	2.2	2.2	2.2	2.3	1.7	2.0	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8
		標準偏差	2.3	2.3	2.3	2.3	1.5	1.9	2.1	1.8	2.0	2.1	1.8	2.0
	助産師による観察日数 ※注 2	標本数	—	—	—	—	—	—	58	167	230	58	167	231
		平均値	—	—	—	—	—	—	4.8	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8
		標準偏差	—	—	—	—	—	—	1.3	1.7	1.6	1.3	1.7	1.6
検査等	採血検査の項目 ※注 3	標本数	28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
		件数	17	8	25	22	24	46	185	282	473	224	314	544
		割合	60.7%	33.3%	48.1%	59.5%	63.2%	61.3%	55.2%	64.8%	60.9%	56.0%	63.2%	60.2%
	黄疸検査 ※注 4	件数	27	22	49	35	37	72	328	418	752	390	477	873
		割合	96.4%	91.7%	94.2%	94.6%	97.4%	96.0%	97.9%	96.1%	96.8%	97.5%	96.0%	96.6%
	出生直後血糖測定対象かどうか	件数	8	12	20	12	13	25	87	91	180	107	116	225
		割合	28.6%	50.0%	38.5%	32.4%	34.2%	33.3%	26.0%	20.9%	23.2%	26.8%	23.3%	24.9%
	SpO2モニター装着（出生直後等）	件数	27	20	47	31	34	65	276	323	605	334	377	717
		割合	96.4%	83.3%	90.4%	83.8%	89.5%	86.7%	82.4%	74.3%	77.9%	83.5%	75.9%	79.3%
	アプニアセンサー装着	件数	19	12	31	22	23	45	187	164	352	228	199	428
		割合	67.9%	50.0%	59.6%	59.5%	60.5%	60.0%	55.8%	37.7%	45.3%	57.0%	40.0%	47.3%
	先天性代謝異常等検査	件数	28	23	51	36	38	74	321	421	749	385	482	874
		割合	100.0%	95.8%	98.1%	97.3%	100.0%	98.7%	95.8%	96.8%	96.4%	96.3%	97.0%	96.7%
	新生児聴覚検査	件数	28	23	51	37	38	75	306	352	662	371	413	788
		割合	100.0%	95.8%	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	91.3%	80.9%	85.2%	92.8%	83.1%	87.2%
治療等	保育器収容（酸素投与のため）	件数	5	6	11	2	3	5	23	15	39	30	24	55
		割合	17.9%	25.0%	21.2%	5.4%	7.9%	6.7%	6.9%	3.4%	5.0%	7.5%	4.8%	6.1%
	保育器収容（保温のため）	件数	13	11	24	37	5	11	40	37	77	59	53	112
		割合	46.4%	45.8%	46.2%	16.2%	13.2%	14.7%	11.9%	8.5%	9.9%	14.8%	10.7%	12.4%
	保温（保育器収容を含む） ※注 2	件数	—	—	—	—	—	—	45	123	172	45	123	172
		割合	—	—	—	—	—	—	13.4%	28.3%	22.1%	11.3%	24.7%	19.0%
	光線療法 ※注 1	件数	1	1	2	4	3	7	38	21	60	43	25	69
		割合	3.6%	4.2%	3.8%	10.8%	7.9%	9.3%	11.3%	4.8%	7.7%	10.8%	5.0%	7.6%
新生児への処置・ケア	臍処置	件数	27	21	48	32	28	60	319	400	726	378	449	834
		割合	96.4%	87.5%	92.3%	86.5%	73.7%	80.0%	95.2%	92.0%	93.4%	94.5%	90.3%	92.3%
	皮膚ケア	件数	23	19	42	27	24	51	253	336	595	303	379	688
		割合	82.1%	79.2%	80.8%	73.0%	63.2%	68.0%	75.5%	77.2%	76.6%	75.8%	76.3%	76.1%
	ビタミンK2内服	件数	27	21	48	35	38	73	327	424	758	389	483	879
		割合	96.4%	87.5%	92.3%	94.6%	100.0%	97.3%	97.6%	97.5%	97.6%	97.3%	97.2%	97.2%
	沐浴・ドライケア（清拭）の回数 (入院中に限る)	標本数	25	22	47	36	36	72	309	409	724	370	467	843
		平均値	6.4	7.0	6.7	4.1	4.3	4.2	4.8	4.3	4.5	4.8	4.4	4.6
		標準偏差	3.8	4.5	4.1	2.0	1.3	1.7	1.8	2.6	2.3	2.1	2.7	2.4

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

※ 患者票の出産経験（初産・経産）に係る情報に欠損があるため、初産婦と経産婦の件数の合計が総計の件数と一致しない場合がある。

※ 注 1 病院・診療所のみ

※ 注 2 助産所のみ

※ 注 3 助産所の場合は、「採血（足底からの採血を含む）」

※ 注 4 助産所の場合は、「ミノルタ黄疸計測定」

新生児へ提供した医療等（分娩施設別・分娩経験別）

- 新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では総合・地域周産期母子医療センター＞診療所＞それ以外の病院の順が多い。「産科医」では、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院＞診療所の順が多い。
- 検査等について、「アプニアセンサー装着」はそれ以外の病院72％、総合・地域周産期母子医療センター67％、診療所50％、助産所19％の順で割合が高い。
- 治療については、それ以外の病院・診療所に比べ、総合・地域周産期母子医療センターで「光線療法」の割合が高い。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
診療	小児科医による診療日数 （入院中に限る）※注1	標本数	74	56	130	64	50	114	174	183	359	—	—	—
		平均値	3.8	4.7	4.2	3.0	3.0	3.0	0.9	0.7	0.8	—	—	—
		標準偏差	3.2	6.2	4.7	2.8	2.8	2.8	1.3	1.1	1.2	—	—	—
	産科医による診療日数 （入院中に限る）※注1	標本数	74	54	128	66	50	116	187	200	389	—	—	—
		平均値	0.9	0.7	0.8	1.2	1.4	1.3	2.4	2.2	2.3	—	—	—
		標準偏差	1.6	1.0	1.4	2.3	1.9	2.2	2.0	1.8	1.9	—	—	—
	助産師による観察日数 ※注2	標本数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	167	231
		平均値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	4.9	4.8
		標準偏差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.7	1.6
検査等	採血検査の項目 ※注3	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
		件数	49	32	81	32	32	64	101	115	218	42	135	181
		割合	66.2%	56.1%	61.8%	47.8%	57.1%	52.0%	51.8%	55.8%	54.1%	65.6%	75.8%	73.3%
	黄疸検査 ※注4	件数	72	54	126	65	53	118	193	198	393	60	172	236
		割合	97.3%	94.7%	96.2%	97.0%	94.6%	95.9%	99.0%	96.1%	97.5%	93.8%	96.6%	95.5%
	出生直後血糖測定対象かどうか	件数	30	21	51	16	11	27	51	50	101	10	34	46
		割合	40.5%	36.8%	38.9%	23.9%	19.6%	22.0%	26.2%	24.3%	25.1%	15.6%	19.1%	18.6%
	SpO2モニター装着（出生直後等）	件数	68	48	116	62	52	114	161	165	328	43	112	159
		割合	91.9%	84.2%	88.5%	92.5%	92.9%	92.7%	82.6%	80.1%	81.4%	67.2%	62.9%	64.4%
	アプニアセンサー装着	件数	56	32	88	51	38	89	107	95	203	14	34	48
		割合	75.7%	56.1%	67.2%	76.1%	67.9%	72.4%	54.9%	46.1%	50.4%	21.9%	19.1%	19.4%
	先天性代謝異常等検査	件数	73	55	128	66	56	122	192	203	397	54	168	227
		割合	98.6%	96.5%	97.7%	98.5%	100.0%	99.2%	98.5%	98.5%	98.5%	84.4%	94.4%	91.9%
	新生児聴覚検査	件数	74	55	129	67	56	123	193	202	397	37	100	139
		割合	100.0%	96.5%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	98.1%	98.5%	57.8%	56.2%	56.3%
治療等	保育器収容（酸素投与のため）	件数	11	9	20	5	3	8	14	12	27	—	—	—
		割合	14.9%	15.8%	15.3%	7.5%	5.4%	6.5%	7.2%	5.8%	6.7%	—	—	—
	保育器収容（保温のため）	件数	21	12	33	7	9	16	31	32	63	—	—	—
		割合	28.4%	21.1%	25.2%	10.4%	16.1%	13.0%	15.9%	15.5%	15.6%	—	—	—
	保温（保育器収容を含む）※注2	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	123	172
		割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.3%	69.1%	69.6%
新生児への処置・ケア	光線療法※注1	件数	12	5	17	8	4	12	23	16	40	—	—	—
		割合	16.2%	8.8%	13.0%	11.9%	7.1%	9.8%	11.8%	7.8%	9.9%	—	—	—
	臍処置	件数	70	45	115	66	53	119	186	187	375	56	164	225
		割合	94.6%	78.9%	87.8%	98.5%	94.6%	96.7%	95.4%	90.8%	93.1%	87.5%	92.1%	91.1%
	皮膚ケア	件数	56	38	94	56	47	103	145	139	285	46	155	206
		割合	75.7%	66.7%	71.8%	83.6%	83.9%	83.7%	74.4%	67.5%	70.7%	71.9%	87.1%	83.4%
	ビタミンK2内服	件数	70	53	123	66	56	122	194	204	403	59	170	234
		割合	94.6%	93.0%	93.9%	98.5%	100.0%	99.2%	99.5%	99.0%	99.3%	92.2%	95.5%	94.7%
	沐浴・ドライケア（清拭）の回数 （入院中に限る）	標本数	68	54	122	62	53	115	182	192	375	58	168	231
		平均値	4.8	6.2	5.5	5.7	5.3	5.5	4.8	4.3	4.5	3.9	3.7	3.8
		標準偏差	3.3	5.9	4.6	2.0	1.9	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.9	1.8

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 患者票の出産経験（初産・経産）に係る情報に欠損があるため、初産婦と経産婦の件数の合計が総計の件数と一致しない場合がある。

※ 注1 病院・診療所のみ

※ 注2 助産所のみ

※ 注3 助産所の場合は、「採血（足底からの採血を含む）」

※ 注4 助産所の場合は、「ミノルタ黄疸計測定」

提供したサービス等（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高い。
- 「お祝い膳」の提供は、助産所が最も割合が低い。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
お祝い膳	件数	21	17	38	31	27	58	234	257	496	286	301	592
	割合	75.0%	70.8%	73.1%	83.8%	71.1%	77.3%	69.9%	59.1%	63.8%	71.5%	60.6%	65.5%
写真撮影	件数	18	12	30	20	21	41	201	294	500	239	327	571
	割合	64.3%	50.0%	57.7%	54.1%	55.3%	54.7%	60.0%	67.6%	64.4%	59.8%	65.8%	63.2%
足形	件数	11	9	20	14	18	32	167	243	416	192	270	468
	割合	39.3%	37.5%	38.5%	37.8%	47.4%	42.7%	49.9%	55.9%	53.5%	48.0%	54.3%	51.8%
エステ	件数	11	5	16	18	21	39	104	157	266	133	183	321
	割合	39.3%	20.8%	30.8%	48.6%	55.3%	52.0%	31.0%	36.1%	34.2%	33.3%	36.8%	35.5%

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
お祝い膳	件数	63	39	102	54	44	98	148	170	319	21	48	73
	割合	85.1%	68.4%	77.9%	80.6%	78.6%	79.7%	75.9%	82.5%	79.2%	32.8%	27.0%	29.6%
写真撮影	件数	15	15	30	34	33	67	155	168	325	35	111	149
	割合	20.3%	26.3%	22.9%	50.7%	58.9%	54.5%	79.5%	81.6%	80.6%	54.7%	62.4%	60.3%
足形	件数	20	9	29	32	28	60	104	123	228	36	110	151
	割合	27.0%	15.8%	22.1%	47.8%	50.0%	48.8%	53.3%	59.7%	56.6%	56.3%	61.8%	61.1%
エステ	件数	4	－	4	14	15	29	101	110	211	14	58	77
	割合	5.4%	－	3.1%	20.9%	26.8%	23.6%	51.8%	53.4%	52.4%	21.9%	32.6%	31.2%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

費用（分娩状況別・分娩経験別）

（出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容）

- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。
- 「室料差額」「分娩介助料」「処置・手当料」を除き、「経産婦」と比べ、「初産婦」の方が高い。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が476,365円に対して、「初産婦」は523,711円。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
入院料	標本数	5	2	7	30	31	61	283	374	662	318	407	730
	平均値	184,400	84,000	155,714	134,720	105,845	120,046	126,401	118,161	121,520	128,097	117,055	121,725
	標準偏差	201,059	21,213	171,537	67,783	69,870	69,810	63,943	84,288	76,063	68,003	83,096	76,815
室料差額	標本数	10	17	27	18	20	38	119	91	212	147	128	277
	平均値	89,300	55,142	67,793	49,699	100,780	76,584	37,304	37,389	37,359	42,359	49,651	45,706
	標準偏差	87,810	42,901	63,908	47,899	259,458	190,502	23,916	25,132	24,348	37,190	106,180	77,043
分娩介助料	標本数	20	22	42	15	12	27	81	47	128	116	81	197
	平均値	255,708	221,923	238,011	276,793	358,208	312,978	252,447	249,910	251,516	256,158	258,353	257,060
	標準偏差	77,124	88,438	83,989	103,637	83,621	102,183	72,552	88,662	78,515	77,572	97,145	85,928
分娩料	標本数	2	1	3	24	22	46	221	363	590	247	386	639
	平均値	262,000	233,000	252,333	332,573	310,686	322,105	286,706	288,111	287,151	290,962	289,255	289,504
	標準偏差	25,456	.	24,583	105,982	73,632	91,615	80,575	73,331	76,455	83,970	73,401	77,966
新生児管理保育料	標本数	17	18	35	33	34	67	275	379	660	325	431	762
	平均値	94,033	73,724	83,588	70,565	70,056	70,307	57,722	54,138	55,548	60,925	56,212	58,134
	標準偏差	37,544	38,137	38,686	28,521	71,432	54,275	23,924	23,209	23,513	26,640	30,893	29,150
検査・薬剤料	標本数	13	12	25	29	30	59	260	293	558	302	335	642
	平均値	28,518	13,873	21,488	36,786	16,157	26,297	17,209	15,631	16,283	19,576	15,615	17,406
	標準偏差	33,071	13,306	26,149	33,725	12,485	27,115	16,107	15,392	15,711	20,236	15,054	17,767
処置・手当料	標本数	7	11	18	25	24	49	227	302	534	259	337	601
	平均値	20,400	26,753	24,282	68,747	54,619	61,827	25,883	32,935	29,930	29,872	34,277	32,361
	標準偏差	25,336	36,139	31,701	54,694	68,037	61,357	20,434	28,816	25,714	28,668	33,654	31,546
産科医療補償制度の掛金	標本数	21	23	44	37	34	71	304	403	713	362	460	828
	平均値	12,571	12,174	12,364	12,000	12,353	12,169	12,056	11,991	12,019	12,080	12,027	12,050
	標準偏差	2,619	834	1,894	0	2,058	1,424	674	547	603	881	781	824
その他	標本数	20	22	42	37	34	71	297	388	691	354	444	804
	平均値	26,854	47,108	37,463	125,061	75,326	101,244	34,953	32,989	33,797	43,913	36,930	39,945
	標準偏差	25,933	60,127	47,625	159,743	60,137	124,316	34,295	29,157	31,399	66,325	36,268	51,723
一部負担金等	標本数	19	22	41	19	21	40	110	78	189	148	121	270
	平均値	101,443	81,032	90,490	61,540	67,163	64,492	30,591	17,981	25,227	43,660	37,980	40,954
	標準偏差	64,796	62,924	63,830	114,510	147,375	131,142	38,448	23,047	33,414	61,778	73,502	67,155
産婦合計負担額	標本数	20	22	42	37	34	71	295	390	690	352	446	803
	平均値	592,841	437,170	511,299	639,012	564,517	603,338	504,562	470,891	485,636	523,711	476,365	497,385
	標準偏差	224,004	227,430	236,512	229,040	225,014	228,589	170,660	175,715	173,662	185,670	184,070	185,614
代理受取額	標本数	19	23	42	31	30	61	224	226	452	274	279	555
	平均値	458,358	429,861	442,752	499,411	511,590	505,401	491,242	487,923	488,626	489,886	485,681	486,998
	標準偏差	58,146	96,025	81,475	3,278	71,390	50,064	28,671	46,999	44,034	31,250	58,168	50,290

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

費用（分娩施設別・分娩経験別）

（出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容）

- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高かった。
- 「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については、診療所が高い傾向。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
入院料	標本数	44	38	82	53	40	93	165	175	342	56	154	213
	平均値	208,295	197,013	203,066	162,650	153,980	158,921	103,368	90,145	96,339	105,246	118,314	114,930
	標準偏差	64,410	77,418	70,514	71,022	71,710	71,060	54,223	38,571	47,190	34,809	105,340	91,459
室料差額	標本数	33	25	58	31	22	53	81	80	163	2	1	3
	平均値	61,361	48,848	55,967	38,990	45,773	41,806	36,489	51,277	43,781	18,800	25,000	20,867
	標準偏差	55,618	23,327	44,775	21,675	27,455	24,225	30,126	133,206	95,709	8,768	-	7,159
分娩介助料 ※注 1	標本数	32	24	56	30	14	44	54	43	97	-	-	-
	平均値	243,651	251,550	247,037	225,051	170,436	207,674	280,850	290,774	285,249	-	-	-
	標準偏差	78,822	96,642	86,157	61,266	81,855	72,244	78,137	84,308	80,653	-	-	-
分娩料	標本数	31	25	56	31	35	66	127	153	282	58	173	235
	平均値	266,346	215,484	243,639	236,552	248,578	242,929	312,147	308,843	309,375	286,814	290,822	289,668
	標準偏差	105,638	71,019	94,545	73,786	90,638	82,744	77,814	68,455	74,267	73,142	64,181	66,000
新生児管理保育料	標本数	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	平均値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
	標準偏差	34,518	73,762	54,905	24,494	31,329	27,770	25,685	26,632	26,275	17,026	16,915	16,839
検査・薬剤料	標本数	45	37	82	50	39	89	164	158	324	43	101	147
	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,534	22,158	20,152	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
処置・手当料	標本数	31	23	54	33	33	66	140	128	270	55	153	211
	平均値	19,102	12,114	16,126	27,402	21,688	24,545	30,268	36,538	33,135	36,418	38,433	37,972
	標準偏差	18,276	12,340	16,261	31,392	25,111	28,352	32,638	47,479	40,354	17,338	18,303	17,954
産科医療補償制度の掛金	標本数	61	47	108	61	49	110	182	194	378	58	170	232
	平均値	12,377	12,340	12,361	12,067	12,010	12,042	12,003	11,960	11,981	12,026	12,021	12,022
	標準偏差	2,067	1,833	1,960	525	71	393	37	781	560	112	100	102
その他	標本数	61	48	109	59	49	108	180	191	373	54	156	214
	平均値	35,716	34,272	35,080	48,169	31,696	40,695	46,644	38,536	42,369	39,420	37,426	37,819
	標準偏差	50,434	35,405	44,263	125,742	37,783	96,327	49,101	39,758	44,579	28,827	31,388	30,544
一部負担金等 ※注 1	標本数	32	23	55	31	15	46	85	83	169	-	-	-
	平均値	76,869	53,118	66,937	36,792	46,958	40,107	33,663	32,163	32,729	-	-	-
	標準偏差	73,957	63,379	70,116	40,144	51,357	43,797	59,549	79,150	69,554	-	-	-
産婦合計負担額	標本数	63	46	109	58	49	107	176	188	366	55	163	221
	平均値	569,095	493,892	537,358	513,162	492,175	503,551	532,257	495,356	513,405	455,500	444,761	448,154
	標準偏差	165,715	210,063	188,529	162,997	132,969	149,677	189,849	181,818	185,924	200,500	189,285	190,601
代理受取額 ※注 1	標本数	56	47	103	51	45	96	167	187	356	-	-	-
	平均値	473,394	465,181	469,646	480,498	470,004	475,579	498,284	494,606	495,097	-	-	-
	標準偏差	45,629	109,166	80,709	46,916	53,854	50,294	7,964	34,321	34,783	-	-	-

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 注 1 助産所票には質問項目無し

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出30分前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経腔分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出30分前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.1人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。
- その他の分娩で「医師」・「看護師」・「准看護師」の最小値に「0」があるのは、助産所が含まれるためである。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後30分														
産婦人科医	平均値		1.818	1.706	1.756	1.412	1.294	1.348	1.018	0.626	0.788	1.111	0.721	0.888
	標準偏差		0.588	0.588	0.582	0.609	0.579	0.590	0.725	0.639	0.698	0.738	0.686	0.730
	最小値		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
麻酔科医	平均値		0.318	0.588	0.439	0.147	0.265	0.217	0.025	0.003	0.012	0.057	0.046	0.052
	標準偏差		0.716	0.618	0.673	0.359	0.448	0.415	0.216	0.051	0.144	0.300	0.221	0.259
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	2	3	1	1	1	3	1	3	3	2	3
小児科新生児科医	平均値		0.227	0.176	0.195	0.029	0.118	0.072	0.065	0.021	0.040	0.072	0.035	0.051
	標準偏差		0.685	0.393	0.558	0.171	0.327	0.261	0.247	0.143	0.196	0.292	0.183	0.237
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	3
助産師	平均値		2.136	1.706	1.927	1.794	2.000	1.928	2.047	2.081	2.061	2.027	2.060	2.042
	標準偏差		1.167	1.105	1.127	0.946	0.921	0.960	1.029	0.945	0.974	1.031	0.951	0.981
	最小値		1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	最大値		5	5	5	4	4	4	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値		1.136	1.059	1.049	0.294	0.265	0.275	0.513	0.327	0.404	0.532	0.351	0.426
	標準偏差		1.246	1.249	1.224	0.629	0.511	0.566	0.740	0.632	0.683	0.789	0.671	0.726
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	4
准看護師	平均値		0.091	0.235	0.146	0.118	0.147	0.130	0.032	0.071	0.058	0.045	0.083	0.069
	標準偏差		0.426	0.562	0.478	0.327	0.436	0.380	0.197	0.286	0.263	0.235	0.316	0.291
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		2	2	2	1	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値		—	0.118	0.049	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.022
	標準偏差		—	0.332	0.218	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.146
	最小値		—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経腔分娩等が該当する。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出1時間前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出1時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.1人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。
- 「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。
- 「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後1時間														
産婦人科医	平均値		1.818	1.706	1.756	1.412	1.324	1.362	1.047	0.628	0.802	1.135	0.725	0.901
	標準偏差		0.588	0.588	0.582	0.609	0.589	0.593	0.767	0.642	0.722	0.770	0.691	0.749
	最小値		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
麻酔科医	平均値		0.364	0.588	0.463	0.176	0.265	0.232	0.025	0.003	0.012	0.063	0.046	0.055
	標準偏差		0.902	0.618	0.778	0.387	0.448	0.425	0.216	0.051	0.144	0.337	0.221	0.278
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	1	1	1	3	1	3	4	2	4
小児科新生児科医	平均値		0.227	0.176	0.195	0.029	0.118	0.072	0.076	0.021	0.044	0.081	0.035	0.055
	標準偏差		0.685	0.393	0.558	0.171	0.327	0.261	0.279	0.143	0.213	0.314	0.183	0.249
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	1	3	1	1	1	2	1	2	3	1	3
助産師	平均値		2.318	1.824	2.073	1.912	2.059	2.014	2.123	2.157	2.135	2.114	2.136	2.121
	標準偏差		1.211	1.015	1.127	0.965	0.952	0.978	1.046	0.962	0.991	1.049	0.963	0.997
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		5	5	5	4	4	4	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値		1.136	1.235	1.122	0.324	0.265	0.290	0.527	0.359	0.429	0.547	0.386	0.453
	標準偏差		1.246	1.251	1.229	0.638	0.511	0.571	0.754	0.664	0.707	0.800	0.705	0.749
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	4
准看護師	平均値		0.091	0.235	0.146	0.118	0.147	0.130	0.036	0.076	0.062	0.048	0.088	0.073
	標準偏差		0.426	0.562	0.478	0.327	0.436	0.380	0.205	0.302	0.276	0.241	0.329	0.300
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		2	2	2	1	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値		—	0.118	0.073	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.023
	標準偏差		—	0.332	0.264	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.150
	最小値		—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膈分娩等が該当する。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出2時間前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」については、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後2時間														
産婦人科医	平均値		1.909	1.706	1.805	1.441	1.529	1.478	1.072	0.644	0.821	1.165	0.755	0.930
	標準偏差		0.684	0.588	0.641	0.613	0.615	0.609	0.809	0.671	0.756	0.814	0.730	0.788
	最小値		1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	3	3	3	3	3	5	4	5	5	4	5
麻酔科医	平均値		0.364	0.588	0.463	0.235	0.294	0.275	0.025	0.003	0.012	0.069	0.048	0.059
	標準偏差		0.902	0.618	0.778	0.431	0.462	0.450	0.216	0.051	0.144	0.345	0.226	0.284
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	1	1	1	3	1	3	4	2	4
小児科新生児科医	平均値		0.227	0.176	0.195	0.029	0.147	0.087	0.083	0.021	0.047	0.087	0.037	0.059
	標準偏差		0.685	0.393	0.558	0.171	0.359	0.284	0.289	0.143	0.219	0.322	0.189	0.256
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		3	1	3	1	1	1	2	1	2	3	1	3
助産師	平均値		2.636	2.059	2.390	2.235	2.500	2.391	2.289	2.272	2.271	2.306	2.282	2.288
	標準偏差		1.255	0.966	1.181	1.103	1.285	1.203	1.072	0.985	1.015	1.088	1.011	1.041
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値		1.273	1.294	1.220	0.412	0.294	0.348	0.552	0.374	0.448	0.586	0.404	0.480
	標準偏差		1.279	1.312	1.275	0.701	0.524	0.614	0.781	0.682	0.729	0.834	0.727	0.777
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	4	4	2	2	2	4	3	4	4	4	4
准看護師	平均値		0.091	0.235	0.146	0.147	0.147	0.145	0.043	0.079	0.067	0.057	0.090	0.078
	標準偏差		0.426	0.562	0.478	0.436	0.436	0.430	0.221	0.306	0.283	0.268	0.332	0.312
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値		—	0.118	0.073	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.023
	標準偏差		—	0.332	0.264	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.150
	最小値		—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経膣分娩等が該当する。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出30分前後、分娩施設・分娩経験別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」については、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後30分													
産婦人科医	平均値	1.672	1.468	1.571	1.386	1.163	1.279	1.155	1.122	1.135	—	—	—
	標準偏差	0.746	0.687	0.720	0.726	0.433	0.615	0.380	0.362	0.368	—	—	—
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—
	最大値	4	4	4	4	3	4	3	3	3	—	—	—
麻酔科医	平均値	0.164	0.213	0.176	0.123	0.070	0.106	0.006	0.041	0.027	—	—	—
	標準偏差	0.480	0.463	0.463	0.466	0.258	0.392	0.080	0.198	0.162	—	—	—
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	3	2	3	3	1	3	1	1	1	—	—	—
小児科新生児科医	平均値	0.209	0.128	0.168	0.140	0.093	0.115	0.013	0.029	0.024	—	—	—
	標準偏差	0.509	0.337	0.438	0.350	0.294	0.321	0.113	0.168	0.153	—	—	—
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	3	1	3	1	1	1	1	1	1	—	—	—
助産師	平均値	2.313	2.064	2.193	1.947	1.767	1.875	1.723	1.698	1.709	2.630	2.497	2.522
	標準偏差	1.144	1.131	1.130	0.953	0.895	0.910	0.943	0.925	0.936	0.853	0.739	0.763
	最小値	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
	最大値	7	7	7	5	4	5	5	6	6	6	5	6
看護師	平均値	0.239	0.234	0.227	0.421	0.605	0.510	0.871	0.645	0.748	0.037	0.023	0.026
	標準偏差	0.740	0.598	0.669	0.706	0.791	0.750	0.812	0.807	0.812	0.272	0.152	0.185
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2
准看護師	平均値	—	—	—	0.053	0.023	0.038	0.077	0.203	0.150	—	—	—
	標準偏差	—	—	—	0.294	0.152	0.238	0.291	0.471	0.413	—	—	—
	最小値	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	—	—	—	2	1	2	2	3	3	—	—	—
その他	平均値	—	0.021	0.017	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	—	—	—
	標準偏差	—	0.146	0.129	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	—	—	—
	最小値	—	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値	—	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出1時間前後、分娩施設・分娩経験別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後1時間														
産婦人科医	平均値		1.701	1.468	1.588	1.456	1.163	1.317	1.168	1.134	1.147	－	－	－
	標準偏差		0.779	0.687	0.741	0.803	0.433	0.672	0.392	0.374	0.379	－	－	－
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	－	－
	最大値		4	4	4	4	3	4	3	3	3	－	－	－
麻酔科医	平均値		0.194	0.213	0.193	0.123	0.070	0.106	0.006	0.041	0.027	－	－	－
	標準偏差		0.584	0.463	0.525	0.466	0.258	0.392	0.080	0.198	0.162	－	－	－
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		4	2	4	3	1	3	1	1	1	－	－	－
小児科新生児科医	平均値		0.254	0.128	0.193	0.140	0.093	0.115	0.013	0.029	0.024	－	－	－
	標準偏差		0.560	0.337	0.474	0.350	0.294	0.321	0.113	0.168	0.153	－	－	－
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		3	1	3	1	1	1	1	1	1	－	－	－
助産師	平均値		2.448	2.170	2.311	2.018	1.860	1.952	1.826	1.767	1.793	2.630	2.567	2.574
	標準偏差		1.171	1.167	1.163	1.044	0.889	0.959	0.954	0.951	0.955	0.853	0.736	0.760
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		7	7	7	5	4	5	5	6	6	6	5	6
看護師	平均値		0.254	0.255	0.244	0.439	0.674	0.548	0.890	0.709	0.793	0.037	0.023	0.026
	標準偏差		0.746	0.642	0.688	0.708	0.808	0.762	0.826	0.836	0.834	0.272	0.152	0.185
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2
准看護師	平均値		－	－	－	0.053	0.023	0.038	0.084	0.215	0.159	－	－	－
	標準偏差		－	－	－	0.294	0.152	0.238	0.301	0.490	0.427	－	－	－
	最小値		－	－	－	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		－	－	－	2	1	2	2	3	3	－	－	－
その他	平均値		－	0.021	0.025	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	－	－	－
	標準偏差		－	0.146	0.157	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	－	－	－
	最小値		－	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－
	最大値		－	1	1	1	1	1	1	1	1	－	－	－

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出2時間前後、分娩施設・分娩経験婦別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

			総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数			67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後2時間														
産婦人科医	平均値		1.836	1.574	1.706	1.456	1.233	1.346	1.174	1.163	1.165	—	—	—
	標準偏差		0.881	0.715	0.817	0.803	0.480	0.679	0.397	0.415	0.403	—	—	—
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—
	最大値		5	4	5	4	3	4	3	3	3	—	—	—
麻酔科医	平均値		0.194	0.213	0.193	0.140	0.070	0.115	0.013	0.047	0.033	—	—	—
	標準偏差		0.584	0.463	0.525	0.480	0.258	0.402	0.113	0.211	0.179	—	—	—
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		4	2	4	3	1	3	1	1	1	—	—	—
小児科新生児科医	平均値		0.269	0.128	0.202	0.140	0.093	0.115	0.019	0.035	0.030	—	—	—
	標準偏差		0.566	0.337	0.480	0.350	0.294	0.321	0.138	0.184	0.171	—	—	—
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		3	1	3	1	1	1	1	1	1	—	—	—
助産師	平均値		2.657	2.447	2.546	2.281	2.093	2.221	2.026	1.977	1.994	2.704	2.591	2.609
	標準偏差		1.225	1.176	1.191	1.013	0.971	0.995	1.038	1.108	1.075	0.882	0.741	0.773
	最小値		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値		7	7	7	5	5	5	5	6	6	6	5	6
看護師	平均値		0.269	0.255	0.252	0.474	0.698	0.577	0.955	0.750	0.844	0.037	0.023	0.026
	標準偏差		0.750	0.642	0.692	0.734	0.832	0.784	0.863	0.859	0.864	0.272	0.152	0.185
	最小値		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値		4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2
准看護師	平均値		—	—	—	0.053	0.023	0.038	0.103	0.221	0.171	—	—	—
	標準偏差		—	—	—	0.294	0.152	0.238	0.345	0.493	0.443	—	—	—
	最小値		—	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		—	—	—	2	1	2	2	3	3	—	—	—
その他	平均値		—	0.021	0.025	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	—	—	—
	標準偏差		—	0.146	0.157	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	—	—	—
	最小値		—	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	最大値		—	1	1	1	1	1	1	1	1	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

4. 患者（産婦）票の結果について まとめ

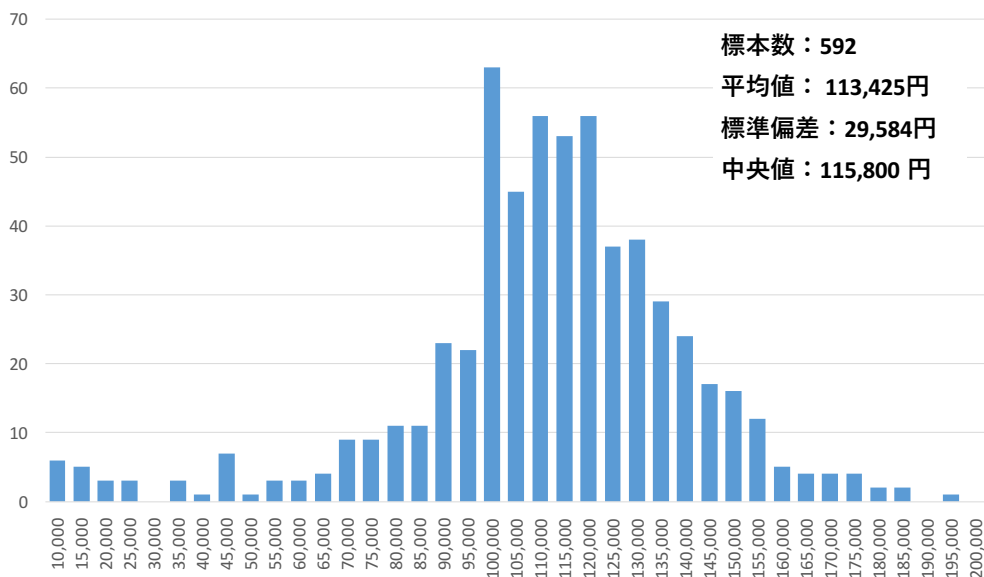
- 「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」が81%であった。
- 「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。
- 「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。
- 分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、「初産婦」より「経産婦」の割合が高い。助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高い。
- 分娩経験や分娩の状況によらず、ほぼ80%以上の分娩が住所のある都道府県内で完結している。
- 「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短い。
- 「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦で高く、とりわけ総合・地域周産期母子医療センターで該当割合が高い。
- 助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高い。
- 入院中の助産ケアについて、「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。
- 「育児技術指導」の延べ時間（平均）は初産婦で257分、経産婦で218分であり、「退院指導」の時間は初産婦で45分、経産婦で42分であった。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高い。「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。
- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が476,365円に対して、「初産婦」は523,711円。
- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高かった。「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については診療所が高い傾向。
- 正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人であった。

5. 妊婦健診と産後ケア

平均的な妊婦健診と望ましい基準に含まれない健診項目の費用 (病院+診療所)

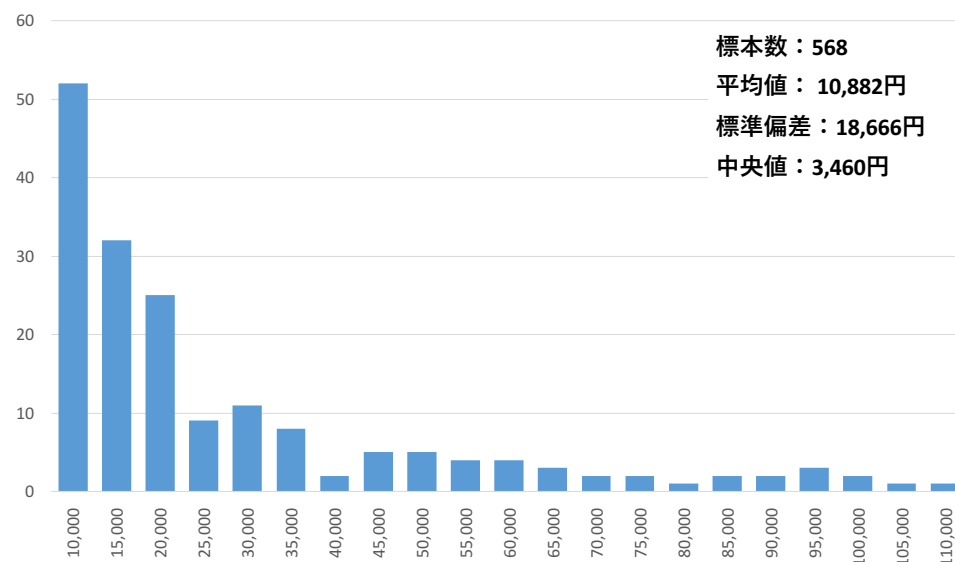
- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は113,425円（中央値115,800円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は10,882円（中央値3,460円）。平均的な健診費用が正規分布に近いのに対し、基準外は実施していない施設が多く、右裾が長い分布となっている。
- 尚、妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約13.4回で、中央値も13.4。

平均的な妊婦健診の費用（病院+診療所）



※注1 平均的な妊婦健診の費用については、明らかに1回当たりの健診費用と思われる外れ値と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり

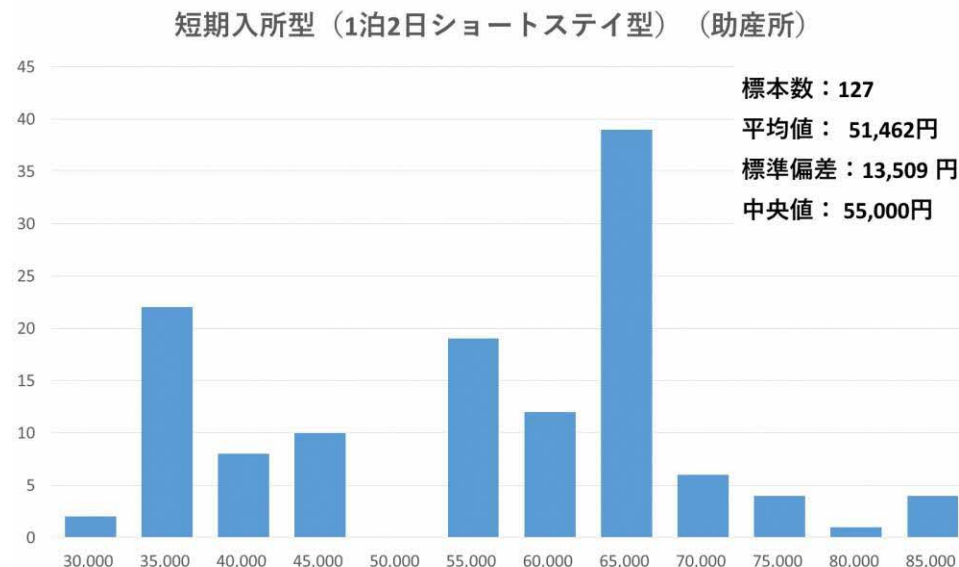
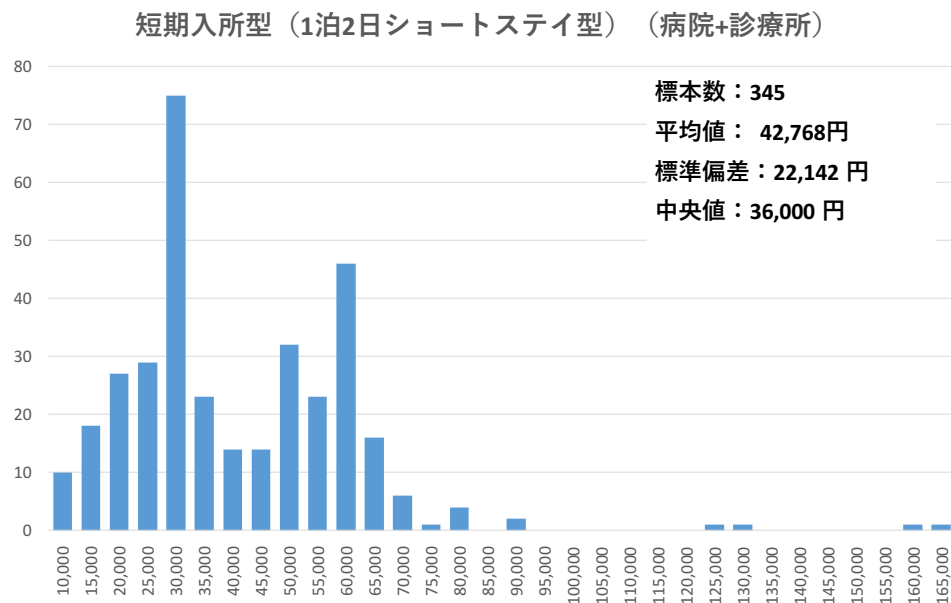
望ましい基準に含まれない健診項目の費用（病院+診療所）



※注2 望ましい基準に含まれない健診項目は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」（平成27年厚生労働省告示第226号）に含まれない項目としている。尚、上位1%の外れ値を除外。

産後ケア事業の費用（病院+診療所と助産所）

- 短期入所型（1泊2日ショートステイ型）（病院+診療所）の費用の平均値は42,768円（中央値36,000円）に対し、助産所の費用の平均値は51,462円（中央値55,000円）。
- 尚、病院+診療所での1ヶ月間の延べ利用者数の平均は約7.5人（中央値3人）、助産所では約8.2人（中央値2人）。



※注1 下位5%と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり

※注2 下位5%と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり

第1 妊婦健康診査の実施時期及び回数等

1 市町村は、次のイからハまでに掲げる妊娠週数の区分に応じ、それぞれイからハまでに掲げる頻度で妊婦に対する健康診査（以下「妊婦健康診査」という。）を行い、妊婦一人につき、出産までに14回程度行うものとする。

イ 妊娠初期から妊娠23週まで おおむね4週間に1回

ロ 妊娠24週から妊娠35週まで おおむね2週間に1回

ハ 妊娠36週から出産まで おおむね1週間に1回

2 市町村は、妊婦一人につき14回程度の妊婦健康診査の実施に要する費用を負担するものとする。

第2 妊婦健康診査の内容等

1 市町村は、各回の妊婦健康診査においては、次に掲げる事項について実施するものとする。

イ 問診、診察等 妊娠週数に応じた問診、診察等により、健康状態を把握するものとする。

ロ 検査 子宮底長、腹囲、血圧、浮腫、尿（糖及び蛋白）、体重等の検査を行うものとする。なお、初回の妊婦健康診査においては、身長を検査を行うものとする。

ハ 保健指導 妊娠中の食事や生活上の注意事項等について具体的な指導を行うとともに、妊婦の精神的な健康の保持に留意し、妊娠、出産及び育児に対する不安や悩みの解消が図られるようにするものとする。

2 市町村は、1に掲げるもののほか、必要に応じた医学的検査を妊娠期間中の適切な時期に実施するものとする。医学的検査については、次の表の左欄に掲げる検査の項目の区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる妊娠週数及び回数を目安として行うものとする。

検査の項目	妊娠週数及び回数の目安
血液型等の検査（ABO血液型、Rh血液型及び不規則抗体に係るもの）	妊娠初期に1回
B型肝炎抗原検査	
C型肝炎抗体検査	
HIV抗体検査	
梅毒血清反応検査	
風疹ウイルス抗体検査	
血糖検査	妊娠初期に1回及び妊娠24週から妊娠35週までの間に1回
血算検査	妊娠初期に1回、妊娠24週から妊娠35週までの間に1回及び妊娠36週から出産までの間に1回
HTLV-1抗体検査	妊娠初期から妊娠30週までの間に1回
子宮頸がん検診（細胞診）	妊娠初期に1回
超音波検査	妊娠初期から妊娠23週までの間に2回、妊娠24週から妊娠35週までの間に1回及び妊娠36週から出産までの間に1回
性器クラミジア検査	妊娠初期から妊娠30週までの間に1回
B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査	妊娠33週から妊娠37週までの間に1回

第3 市町村の責務

1 市町村は、妊婦健康診査の受診の重要性について、妊婦等に対する周知・広報に努めるものとする。

2 市町村は、里帰り先等において妊婦健康診査を受診する妊婦の経済的負担の軽減を図るため、妊婦の居住地以外の病院、診療所又は助産所と事前に契約を行う等の配慮をするよう努めるものとする。

3 市町村は、妊婦健康診査を実施する医療機関等と連携体制を構築し、養育支援を必要とする妊婦に対し、適切な支援を提供するよう努めるものとする。

4 市町村は、原則として、妊婦健康診査を実施する医療機関等に対して、妊婦健康診査の結果等の提供を求めるよう努めるものとする。

5. 妊婦健診と産後ケア まとめ

- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は113,425円（中央値115,800円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は10,882円（中央値3,460円）。
- 平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約13.4回で、中央値も13.4回。
- 産後ケア事業の短期入所型（1泊2日ショートステイ型）の費用の平均値は、病院+診療所で42,768円、助産所で51,462円。
- 病院+診療所における産後ケアでの1ヶ月間の延べ利用者数の平均は約7.5人、助産所では約8.2人。

6. 分娩取扱施設の収益等

年度別の損益率の状況①（病院）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

損益率※注1		R 4 年度	R 5 年度	回答施設数	平均病床数	平均分娩件数※注3
回答のあった病院全体		▲5.4%	▲6.9%	74	448	36.8
	（再掲）総合・地域周産期母子医療センター	▲5.9%	▲6.9%	39	541	41.2
	（再掲）それ以外の病院	▲8.1%	▲6.5%	35	321	31.8
	うち、産婦人科部門※注2	12.7%	12.2%	16	543	57.1
	（再掲）総合・地域周産期母子医療センター	21.1%	20.1%	8	737	58.9
	（再掲）それ以外の病院	▲0.7%	▲0.1%	8	253	55.3

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

※ 注2 病院の調査において、産婦人科部門の損益について、病院全体と分けて会計処理されている医療機関においては、産婦人科部門について別に回答いただいたものを集計した。

※ 注3 令和6年9月1日～30日の1か月間での平均分娩件数

（参考）

損益率※注3	R 3 年度	R 4 年度	回答施設数	平均病床数
第24回医療経済実態調査（一般病院）	▲5.5%	▲6.7%	703	172

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

年度別の損益率の状況②（一般診療所・助産所）

一般診療所

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

損益率 ^{※注1}	R 4 年度	R 5 年度	回答施設数
医療法人	6.3%	3.6%	43
個人	5.8%	13.1%	8

助産所

損益率 ^{※注1}	R 4 年度	R 5 年度	今回調査の 回答施設数
個人	15.5%	11.7%	14
個人以外 ^{※注2}	3.0%	▲3.6%	4

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 個人立の一般診療所については、損益差額の計算上、開設者（院長等）の報酬に相当する部分が、費用に計上されていないこと等から、医療法人よりも、「損益率」が数値上高くあらわれている。

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

※ 注2 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

（参考）

損益率 ^{※注1}	R 3 年度	R 4 年度	回答施設数
第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり、全体）	6.4%	4.7%	115
（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	4.7%	2.7 %	31

※ 注1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

各収益・費用項目の伸び率①（病院①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）									金額の伸び率（R3→R4年度）	
	回答のあった病院全体			総合・地域周産期母子医療センター			それ以外の病院			（参考） 第24回医療経済実態調査 一般病院、全体）	
		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に占め る比率※注1		
医業収益	2.7%	▲1.2%	99.9%	2.2%	▲2.4%	99.9%	3.7%	0.8%	99.8%	2.1%	99.8%
入院診療収益	2.8%	▲1.0%	66.0%	2.3%	▲2.8%	65.9%	4.2%	1.9%	66.0%	2.2%	66.8%
保険診療収益	2.8%	▲1.9%	65.2%	2.2%	▲2.9%	65.2%	4.3%	0.9%	65.0%	2.5%	65.3%
公害等診療収益	▲6.5%	▲43.5%	0.3%	▲0.3%	▲43.5%	0.3%	▲33.1%	0.0%	0.1%	▲5.3%	0.5%
その他の診療収益	7.5%	2.9%	0.5%	13.8%	1.0%	0.4%	1.7%	3.2%	0.9%	▲7.4%	0.9%
特別の療養環境収益	11.0%	4.2%	1.0%	7.5%	4.7%	1.0%	19.3%	0.9%	1.0%	▲6.1%	0.8%
外来診療収益	4.2%	0.7%	30.6%	4.7%	2.5%	31.0%	3.1%	▲1.5%	29.9%	2.8%	28.3%
保険診療収益	4.3%	1.1%	30.3%	4.7%	3.0%	30.7%	3.4%	▲2.4%	29.5%	3.0%	27.4%
公害等診療収益	2.2%	44.2%	0.1%	7.4%	44.2%	0.1%	▲8.6%	0.0%	0.1%	2.9%	0.3%
その他の診療収益	▲10.5%	▲0.4%	0.2%	▲4.7%	▲1.9%	0.2%	▲17.9%	0.1%	0.3%	▲7.5%	0.6%
その他の医業収益	▲18.6%	▲21.9%	2.3%	▲25.8%	▲32.0%	2.0%	▲5.1%	▲1.7%	3.0%	▲2.8%	3.9%
介護収益	3.8%	0.0%	0.1%	3.8%	0.0%	0.1%	3.7%	0.0%	0.2%	▲14.6%	0.2%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率②（病院②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

費用項目	金額の伸び率（R４→R５年度）									金額の伸び率（R３→R４年度）	
	回答のあった病院全体									（参考） 第24回医療経済実態調査（一般病院、全体）	
				総合・地域周産期母子医療センター			それ以外の病院				
		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に 占める比 率※注１		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に 占める比 率※注１		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医業・介護 収益に 占める比 率※注１		
医業・介護費用	4.1%	▲0.5%	106.9%	5.0%	▲1.2%	107.0%	2.1%	0.3%	106.5%	3.2%	106.7%
給与費	1.4%	1.0%	48.6%	2.0%	1.4%	46.7%	0.2%	0.6%	52.7%	1.9%	56.9%
医薬品費	8.2%	6.8%	21.0%	8.2%	5.8%	22.6%	7.9%	10.1%	17.2%	5.6%	13.1%
給食用材料費	5.1%	6.6%	0.5%	5.2%	12.4%	0.4%	5.0%	4.7%	0.6%	1.8%	0.7%
診療材料費・医療消耗器具備品費	5.0%	3.3%	12.3%	4.9%	3.7%	12.7%	5.4%	2.7%	11.4%	2.7%	9.7%
委託費	3.2%	▲1.7%	7.4%	3.0%	▲2.3%	7.2%	3.8%	▲1.3%	7.7%	2.7%	7.5%
（再掲）給食委託費	▲0.4%	▲6.2%	0.7%	2.8%	▲12.5%	0.7%	▲8.3%	0.2%	0.6%	2.2%	1.2%
（再掲）人材委託費	5.4%	3.0%	1.5%	5.2%	2.8%	1.4%	6.0%	3.7%	1.6%	6.4%	1.3%
（再掲）紹介手数料	43.0%	0.0%	0.0%	25.6%	0.0%	0.0%	65.6%	0.0%	0.0%	20.1%	0.1%
減価償却費	0.5%	▲1.9%	6.9%	0.6%	▲1.3%	6.9%	0.2%	▲3.9%	7.0%	2.8%	5.8%
（再掲）建物減価償却費	▲3.9%	0.7%	2.2%	▲4.1%	▲0.6%	2.3%	▲3.3%	3.1%	2.0%	4.0%	1.9%
（再掲）医療機器減価償却費	1.4%	▲1.5%	3.0%	4.5%	3.1%	3.0%	▲5.3%	▲9.7%	2.8%	4.5%	2.0%
設備関係費	2.0%	▲1.6%	9.9%	1.3%	0.4%	9.8%	3.5%	▲4.2%	10.3%	2.7%	4.2%
（再掲）設備機器賃借料	5.8%	▲6.5%	0.9%	6.5%	4.1%	0.9%	4.0%	▲10.0%	0.8%	▲0.7%	1.1%
（再掲）医療機器賃借料	4.5%	▲12.4%	0.6%	4.7%	5.4%	0.6%	3.9%	▲18.6%	0.5%	0.0%	0.7%
経費	17.7%	▲21.7%	5.6%	30.7%	▲40.8%	5.9%	▲7.3%	▲2.0%	5.0%	11.9%	6.3%
（再掲）水道光熱費	▲12.0%	▲12.8%	1.9%	▲11.2%	▲13.9%	2.0%	▲14.1%	▲10.6%	1.8%	32.2%	2.3%
その他の医業費用	2.8%	34.0%	1.6%	4.0%	2.5%	1.7%	0.1%	▲1.3%	1.6%	4.7%	2.4%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率③（一般診療所①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）		金額の伸び率（R3→R4年度）			
	回答のあった診療所（医療法人）		（参考） 第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり）			
		（参考） 医業・介護収益に 占める比率 ※注1		（参考） 医業・介護収益に 占める比率 ※注2	（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	（参考） 医業・介護収益に 占める比率 ※注2
医業収益	▲2.0%	99.6%	▲0.2%	95.7%	▲2.5%	100.0%
入院診療収益	▲1.5%	58.8%	0.2%	33.7%	▲1.3%	57.1%
保険診療収益	▲1.7%	20.4%	0.7%	22.1%	▲3.0%	14.0%
公害等診療収益	0.0%	0.0%	▲8.4%	0.1%	▲100.0%	0.0%
その他の診療収益	▲1.4%	38.1%	▲0.6%	11.5%	▲0.7%	43.1%
外来診療収益	▲2.7%	33.6%	0.7%	57.6%	1.6%	38.0%
保険診療収益	0.1%	21.7%	0.8%	50.9%	4.6%	20.0%
公害等診療収益	0.0%	0.0%	▲8.2%	0.2%	66.7%	0.0%
その他の診療収益	▲7.4%	11.7%	0.9%	6.5%	▲1.5%	18.0%
その他の医業収益	▲2.8%	7.2%	▲9.9%	5.5%	▲35.2%	5.1%
介護収益	▲8.0%	0.4%	▲1.1%	4.3%	—	0.0%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率④（一般診療所②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

費用項目	金額の伸び率（R4→R5年度）		金額の伸び率（R3→R4年度）			
	回答のあった診療所（医療法人）		（参考） 第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり）			
		（参考） 医業・介護収益に占める比率※注1		（参考） 医業・介護収益に占める比率※注2	（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	（参考） 医業・介護収益に占める比率※注2
医業・介護費用	0.9%	96.4%	1.7%	95.3%	▲0.4%	97.3%
給与費	2.0%	57.6%	3.2%	48.7%	5.6%	55.4%
医薬品費	3.4%	6.7%	▲1.5%	11.0%	5.3%	6.7%
材料費	0.0%	0.0%	3.0%	6.4%	▲1.0%	3.1%
給食用材料費	1.6%	3.7%	▲0.8%	0.8%	▲4.2%	1.4%
委託費	3.0%	5.8%	6.9%	6.0%	10.0%	6.7%
（再掲）給食委託費	13.9%	1.3%	7.3%	1.6%	11.2%	2.4%
（再掲）人材委託費	▲9.0%	0.4%	12.1%	1.0%	100.8%	0.8%
（再掲）紹介手数料	▲37.5%	0.1%	4.4%	0.1%	▲49.7%	0.0%
減価償却費	0.2%	4.6%	▲3.9%	3.5%	5.6%	3.3%
（再掲）建物減価償却費	2.3%	1.6%	▲0.3%	0.9%	0.3%	0.8%
（再掲）医療機器減価償却費	▲8.5%	0.9%	▲4.3%	1.1%	4.8%	0.9%
その他の医業・介護費用	▲3.9%	18.0%	▲1.1%	18.9%	▲17.3%	20.8%
（再掲）設備機器賃借料	3.5%	1.1%	1.3%	1.3%	2.3%	1.2%
（再掲）医療機器賃借料	1.0%	0.7%	▲3.5%	0.9%	0.1%	0.9%
（再掲）水道光熱費	5.5%	1.7%	17.6%	1.9%	18.4%	1.5%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医業・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医業・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

各収益・費用項目の伸び率⑤（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目		金額の伸び率（R4→R5年度）			
		個人		個人以外※注2	
			（参考） 収益に占める 比率※注1		（参考） 収益に占める 比率※注1
収益合計		▲2.7%	100.0%	▲2.8%	100.0%
	出産の収益	▲1.9%	61.4%	▲4.1%	45.5%
	妊婦健診等の健診の収益	5.1%	8.5%	▲2.5%	11.2%
	その他の収益	▲6.3%	30.0%	▲1.6%	43.4%

費用項目		金額の伸び率（R4→R5年度）			
		個人		個人以外※注2	
			（参考） 収益に占める 比率※注1		（参考） 収益に占める 比率※注1
医業・介護費用		1.7%	88.3%	3.8%	103.6%
	給与費	1.3%	41.1%	6.3%	59.6%
	医薬品費	34.7%	0.5%	▲28.6%	0.5%
	給食用材料費	▲8.8%	2.7%	▲13.5%	1.1%
	材料費	▲10.3%	4.9%	▲7.8%	7.2%
	委託費	44.7%	5.8%	7.8%	2.8%
	（再掲）給食委託費	21.3%	0.5%	0.0%	0.0%
	（再掲）人材委託費	52.8%	4.9%	19.3%	2.1%
	減価償却費	▲2.3%	7.8%	45.7%	3.4%
	（再掲）建物減価償却費	5.3%	4.9%	29.3%	2.4%
	（再掲）医療機器減価償却費	2.0%	1.2%	128.7%	0.4%
	その他の医業・介護費用	0.0%	25.5%	0.0%	29.0%
	（再掲）設備機器賃借料	▲20.5%	0.7%	▲27.8%	0.7%
	（再掲）医療機器賃借料	▲29.6%	0.4%	▲27.8%	0.7%
	（再掲）水道光熱費	▲6.4%	2.2%	▲3.2%	3.0%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 収益に占める比率は、令和5年度の数値。
※ 注2 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

職種別給与の平均と中央値、伸び率①（病院①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	回答のあった病院全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	65	20,749,510	20,579,140	20,855,230	20,614,000	0.5%
医師	74	15,618,850	14,474,910	15,741,970	14,843,990	0.8%
産婦人科医師	65	16,176,280	16,777,240	16,218,170	15,937,420	0.3%
小児科医師	61	14,597,890	15,315,940	14,826,040	15,692,730	1.6%
麻酔科医師	54	14,750,070	15,379,460	15,133,860	15,268,290	2.6%
歯科医師	43	12,407,290	12,643,740	12,281,150	12,789,640	▲1.0%
薬剤師	71	7,472,293	5,828,920	7,418,553	5,948,071	▲0.7%
助産師	70	6,072,989	5,644,170	6,177,764	5,776,781	1.7%
看護職員	73	6,234,536	5,566,804	6,912,037	5,637,998	10.9%
看護補助職員	47	4,068,473	3,228,391	4,042,137	3,329,272	▲0.6%
医療技術員	69	8,415,458	5,671,359	8,332,027	5,675,461	▲1.0%
歯科衛生士	39	4,495,757	4,463,927	4,608,163	4,649,258	2.5%
歯科技工士	18	6,289,383	6,051,407	6,120,862	6,292,096	▲2.7%

	回答 施設数	総合・地域周産期母子医療センター				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	32	19,020,370	18,669,760	19,203,800	18,649,930	1.0%
医師	35	15,010,000	13,959,120	15,131,560	14,634,800	0.8%
産婦人科医師	32	14,366,270	14,760,160	14,303,900	14,537,090	▲0.4%
小児科医師	31	13,923,600	15,204,230	13,923,920	15,188,490	0.0%
麻酔科医師	32	13,519,360	14,404,940	13,667,000	14,427,100	1.1%
歯科医師	24	11,434,070	10,314,070	11,234,990	10,204,040	▲1.7%
薬剤師	33	6,011,868	5,826,234	6,058,197	5,866,564	0.8%
助産師	30	6,620,836	5,687,087	6,765,292	5,867,949	2.2%
看護職員	34	5,666,518	5,576,578	5,789,460	5,699,924	2.2%
看護補助職員	19	3,369,121	3,079,252	3,272,165	3,108,317	▲2.9%
医療技術員	34	8,789,787	5,689,442	8,611,568	5,850,760	▲2.0%
歯科衛生士	26	4,684,326	4,517,557	4,822,448	4,866,014	2.9%
歯科技工士	16	6,168,524	6,051,407	5,990,434	6,292,096	▲2.9%

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

職種別給与の平均と中央値、伸び率②（病院②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	それ以外の病院				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	33	22,426,260	21,736,900	22,458,100	21,636,160	0.1%
医師	39	16,165,250	15,785,890	16,277,930	15,383,550	0.7%
産婦人科医師	33	17,931,440	17,607,390	18,079,260	17,322,820	0.8%
小児科医師	30	15,294,660	15,557,670	15,812,730	16,026,030	3.4%
麻酔科医師	22	16,540,190	16,779,210	17,273,040	16,464,970	4.4%
歯科医師	19	13,636,620	12,998,840	13,641,150	14,038,490	0.0%
薬剤師	38	8,740,557	5,905,986	8,574,856	6,031,570	▲1.9%
助産師	40	5,662,104	5,548,332	5,719,207	5,506,954	1.0%
看護職員	39	6,729,730	5,566,804	7,870,334	5,600,098	16.9%
看護補助職員	28	4,543,033	3,374,944	4,588,568	3,338,579	1.0%
医療技術員	35	8,051,823	5,527,762	8,060,251	5,519,323	0.1%
歯科衛生士	13	4,118,618	4,384,746	4,179,594	4,149,066	1.5%
歯科技工士	2	7,256,251	7,256,251	7,164,286	7,164,286	▲1.3%

	回答 施設数	(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般病院全体)				
		R 3 年度		R 4 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	605	26,208,673	23,359,348	26,334,663	23,778,440	0.5%
医師	609	14,619,456	16,889,246	14,610,739	16,748,784	▲0.1%
歯科医師	124	12,587,192	12,637,429	12,491,733	12,025,456	▲0.8%
薬剤師	605	5,625,692	5,668,371	5,688,862	5,657,393	1.1%
看護職員	627	5,127,639	4,909,081	5,209,279	4,975,673	1.6%
看護補助職員	549	3,187,598	3,099,619	3,244,894	3,138,072	1.8%
医療技術員	609	4,657,816	4,462,923	4,675,624	4,496,132	0.4%
歯科衛生士	157	3,759,497	3,656,860	3,778,665	3,668,069	0.5%
歯科技工士	17	5,050,562	4,704,000	4,909,517	4,439,325	▲2.8%

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

職種別給与の平均と中央値、伸び率③（一般診療所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	回答のあった診療所全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	68	36,121,330	33,940,000	33,962,280	31,735,000	▲6.0%
医師	54	25,903,460	15,543,890	23,621,370	14,200,000	▲8.8%
産婦人科医師	54	23,733,230	18,850,630	24,044,530	16,928,760	1.3%
小児科医師	14	23,408,430	10,554,200	21,344,610	6,637,500	▲8.8%
麻酔科医師	5	18,101,780	7,260,000	10,609,920	6,000,000	▲41.4%
薬剤師	4	5,539,325	4,995,150	5,570,325	5,048,150	0.6%
助産師	77	6,901,160	5,157,783	7,206,525	5,205,775	4.4%
看護職員	77	9,188,326	4,546,462	9,137,582	4,497,461	▲0.6%
看護補助職員	51	5,249,070	2,711,750	4,428,884	2,730,500	▲15.6%
医療技術員	22	3,959,305	4,094,924	4,012,151	4,081,288	1.3%

	回答 施設数	医療法人				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	64	36,529,220	34,725,000	34,582,340	32,580,000	▲5.3%
医師	44	28,765,430	16,900,000	26,222,290	15,227,610	▲8.8%
産婦人科医師	44	24,690,920	18,612,780	25,446,140	16,928,760	3.1%
小児科医師	12	26,669,610	12,930,150	24,312,910	9,129,200	▲8.8%
麻酔科医師	5	18,101,780	7,260,000	10,609,920	6,000,000	▲41.4%
薬剤師	3	5,857,767	5,406,300	5,875,767	5,442,300	0.3%
助産師	62	7,423,518	5,273,470	7,773,486	5,330,472	4.7%
看護職員	64	10,162,960	4,524,156	10,108,230	4,525,618	▲0.5%
看護補助職員	46	5,463,929	2,702,229	4,586,631	2,729,616	▲16.1%
医療技術員	20	3,900,943	4,080,648	4,030,608	4,081,288	3.3%

	回答 施設数	(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般診療所、医療法人)				
		R 3 年度		R 4 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	1014	25,915,156	21,600,000	26,529,548	21,600,000	2.4%
医師	365	10,940,874	10,500,000	11,180,508	11,600,000	2.2%
薬剤師	31	7,797,038	5,708,450	7,416,328	5,992,800	▲4.9%
看護職員	872	4,012,040	3,836,950	4,092,131	3,887,538	2.0%
看護補助職員	180	2,547,336	2,673,775	2,605,794	2,682,001	2.3%
医療技術員	285	4,088,232	4,020,609	4,211,087	4,107,151	3.0%

※ 本調査の項目について、給与が上位99パーセンタイルを超える、もしくは、下位1パーセント以下を外れ値として除外

職種別給与の平均と中央値、伸び率④（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答施設数	回答のあった助産所全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	15	4,302,448	4,800,000	4,208,539	4,219,350	▲2.2%
助産師	48	3,150,478	2,500,000	3,173,848	2,579,622	0.7%
看護職員	4	964,200	885,070	943,976	721,573	▲2.1%
看護補助職員	4	1,366,997	1,348,500	2,095,403	1,488,473	53.3%

	回答施設数	個人				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	3	4,610,501	4,800,000	4,506,531	4,800,000	▲2.3%
助産師	33	2,689,389	1,397,484	2,725,024	1,704,433	1.3%
看護職員	4	964,200	885,070	943,976	721,573	▲2.1%
看護補助職員	4	1,366,997	1,348,500	2,095,403	1,488,473	53.3%

	回答施設数	個人以外※1				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	12	4,225,435	4,615,000	4,134,041	4,034,675	▲2.2%
助産師	15	4,164,874	3,680,000	4,161,261	3,533,333	▲0.1%
看護職員	—	—	—	—	—	
看護補助職員	—	—	—	—	—	

※ 常勤勤務者数について、「人・月」を「人」で回答した助産所については12倍することで「人・月」に換算の上、給与を算出した。

※ 注1 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療系協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

年度別の資産・負債の状況①（病院）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	今回調査						(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般病院)	
	R 4 年度			R 5 年度			R 3 年度	R 4 年度
	回答のあった病院全体			回答のあった病院全体				
		総合・地域 周産期母子 医療セン ター	それ以外の 病院		総合・地域 周産期母子 医療セン ター	それ以外の 病院		
流動資産	8,472,798	10,919,832	5,593,935	8,341,490	10,413,983	5,903,264	1,703,514	1,778,404
固定資産	15,294,655	20,118,598	9,619,427	15,176,233	19,968,088	9,538,756	3,093,195	3,134,728
繰延資産	109,607	66,347	160,501	57,668	60,874	53,897	22,441	23,882
資産合計	23,877,060	31,104,778	15,373,862	23,575,392	30,442,944	15,495,917	4,819,150	4,937,014
流動負債	3,748,013	5,308,976	1,911,584	3,959,571	5,679,599	1,936,008	841,669	832,276
固定負債	10,710,495	14,022,526	6,813,987	10,207,606	13,415,679	6,433,402	2,179,129	2,167,468
（うち）長期借入金	6,529,807	8,247,352	4,559,683	6,239,824	7,731,987	4,528,224	1,294,649	1,255,522
負債合計	14,458,507	19,331,502	8,725,572	14,167,176	19,095,278	8,369,410	3,020,798	2,999,743
資本合計	9,418,552	11,773,275	6,648,291	9,408,215	11,347,667	7,126,507	1,798,352	1,937,271
施設数	74	40	34	74	40	34	664	
平均病床数	473	634	284	476	632	285	174	173

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

年度別の資産・負債の状況②（一般診療所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	今回調査				（参考）第24回医療経済実態調査　一般診療所（入院診療収益あり、全体）	
	R 4 年度		R 5 年度		R 3 年度	R 4 年度
	回答のあった診療所全体		回答のあった診療所全体			
		医療法人		医療法人		
流動資産	231,861	244,249	231,366	242,508	268,332	267,163
固定資産	285,630	285,536	287,630	288,552	301,098	307,457
繰延資産	4,377	4,828	5,007	5,142	3,264	3,080
資産合計	522,078	534,612	522,591	534,260	572,694	577,700
流動負債	53,723	57,675	58,303	63,483	91,898	93,795
固定負債	133,181	116,580	129,852	110,715	106,053	95,378
（うち）長期借入金	104,310	91,206	94,979	78,017	97,920	85,080
負債合計	187,261	174,255	188,521	174,209	197,951	189,173
資本合計	334,817	360,357	334,070	360,051	374,743	388,527
施設数	112	94	112	94	124	

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

年度別の資産・負債の状況③（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	R 4 年度			R 5 年度		
	回答のあった助産所全体			回答のあった助産所全体		
		個人	個人以外 ※注1		個人	個人以外 ※注1
流動資産	14,478	12,671	20,874	13,502	11,623	20,150
固定資産	26,979	23,430	39,538	26,687	23,277	38,755
繰延資産	390	500	0	336	431	0
資産合計	43,323	38,494	60,412	41,754	36,907	58,906
流動負債	10,444	11,412	7,020	10,965	12,092	6,976
固定負債	9,762	7,559	17,557	9,176	7,180	16,238
（うち）長期借入金	9,222	7,744	14,453	8,130	6,748	13,019
負債合計	22,223	21,557	24,577	21,635	21,188	23,214
資本合計	21,101	16,937	35,835	20,119	15,718	35,692
施設数	59	46	13	59	46	13

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

6. 分娩取扱施設の収益等 まとめ

- 年度別の「損益率」の状況について、回答のあった「病院」（74施設、平均病床数448）では、令和4年度が▲5.4%、令和5年度が▲6.9%であった。うち、「総合・地域周産期母子医療センター」（39施設、平均病床数541）では、令和4年度が▲5.9%、令和5年度が▲6.9%であり、「それ以外の病院」（35施設、平均病床数321）では、令和4年度が▲8.1%、令和5年度が▲6.5%であった。また、「診療所」（医療法人、43施設）では、令和4年度が6.3%、令和5年度が3.6%であった。
- 「助産所」の年度別の「損益率」は、個人（14施設）が、令和4年度が15.5%、令和5年度が11.7%であり、個人以外（4施設）が、令和4年度が3.0%、令和5年度が▲3.6%であった。
- 令和5年度の「職種別（産婦人科医師）の給与」の平均値について、回答のあった病院全体（回答65施設）で16,218,170円、総合・地域周産期母子医療センター（回答32施設）で14,303,900円、それ以外の病院（回答33施設）で18,079,260円、診療所（医療法人、回答44施設）で25,446,140円であった。
- 令和5年度の「助産所における給与」の平均値について、回答のあった助産所全体で、管理者（回答15施設）で4,208,539円、助産師（48施設）で3,173,848円であった。

7. まとめ（全体）

- 本報告の分析に用いたデータは、外れ値や誤答と思われるものが含まれているため、速報値による報告であることに留意いただきたい。尚、修正や調整が可能と判断したデータについては、研究班により統計的な処理を施した。調整内容については、当該スライドに明記している。
- 本調査では、2073施設の分娩取扱施設（病院、診療所、助産所）に調査票を送付し、1072施設（回収率は46.6%）に回答協力いただいた。
- 1か月間の「全分娩数」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターは43件、それ以外の病院36件、診療所36件であった。助産所における1年間の分娩取扱件数の平均は13件。
- 「無痛分娩」は、総合・地域周産期母子医療センター42%、それ以外の病院48%、診療所44%で。「無痛分娩」の平均設定価格は、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院は約12万円、診療所は約9万円であった。
- 「お祝い膳」は、総合・地域周産期母子医療センターで79%、それ以外の病院で84%、診療所で76%、助産所で31%で提供。料金は、80%以上の施設で料金が個別に明示されず、入院料等に含まれていた。
- 病院では混合病棟が68%であり、「病棟における産科患者の入院割合」は総合・地域周産期母子医療センターで60%、それ以外の病院で47%であった。
- 「1日当たりの室料差額料金」の平均は、総合・地域周産期母子医療センターが43,233円で、25,107円のそれ以外の病院よりも高い。
- 「帝王切開」は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。「無痛分娩」は総合・地域周産期母子医療センター11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%だった。
- 入院中の助産ケアについて、「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。「育児技術指導」の延べ時間（平均）は初産婦で257分、経産婦で218分であり、「退院指導」の時間は初産婦で45.4分、経産婦で41.6分であった。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」より「経産婦」の方が割合が高く、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。
- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。
- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高い。「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については診療所が高い傾向。
- 正常な経陰分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人。
- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は113,425円（中央値115,800円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目の費用は10,882円（中央値3,460円）。
- 年度別の損益率の状況について、回答のあった病院（74施設）では、令和4年度が▲5.4%、令和5年度が▲6.9%であった。うち、総合・地域周産期母子医療センター（39施設）では、令和4年度が▲5.9%、令和5年度が▲6.9%であり、それ以外の病院（35施設）では、令和4年度が▲8.1%、令和5年度が▲6.5%であった。また、診療所（医療法人、43施設）では、令和4年度が6.3%、令和5年度が3.6%であった。
- 今後は、外れ値や誤答と思われるものへの対処を含むデータの精査を行い、より精緻な分析を行う予定である。また、分娩取扱時に提供される診療や助産等の実態をより精緻にまとめるために、他計式前向き調査によるタイムスタディ実施する予定である。

医療保険制度における出産に対する支援の強化について

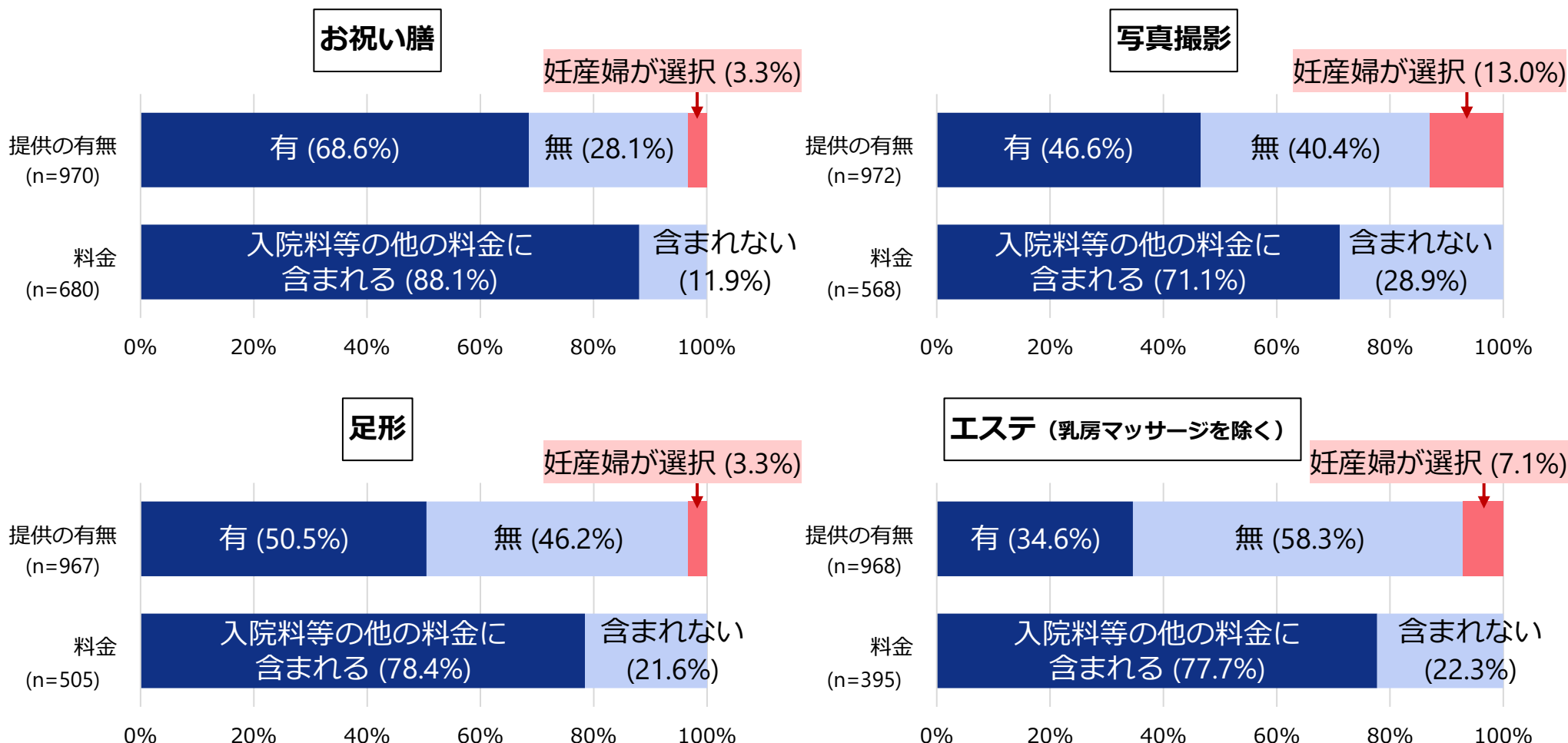
厚生労働省 保険局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

分娩取扱施設におけるサービスの提供状況

- 分娩取扱施設のうち、例えば、「お祝い膳」の有無を妊産婦が選択できる施設は回答施設の3.3%であり、また88.1%の施設で料金が入院料等の他の料金に含まれていた。

※標準で提供される場合は「有」、標準で提供されない場合は「無」、妊産婦が可否を選択できる場合は「妊産婦が選択」を選択



出典：令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））

「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究」（速報値）（研究代表者 野口晴子）を元に保険局保険課で作成

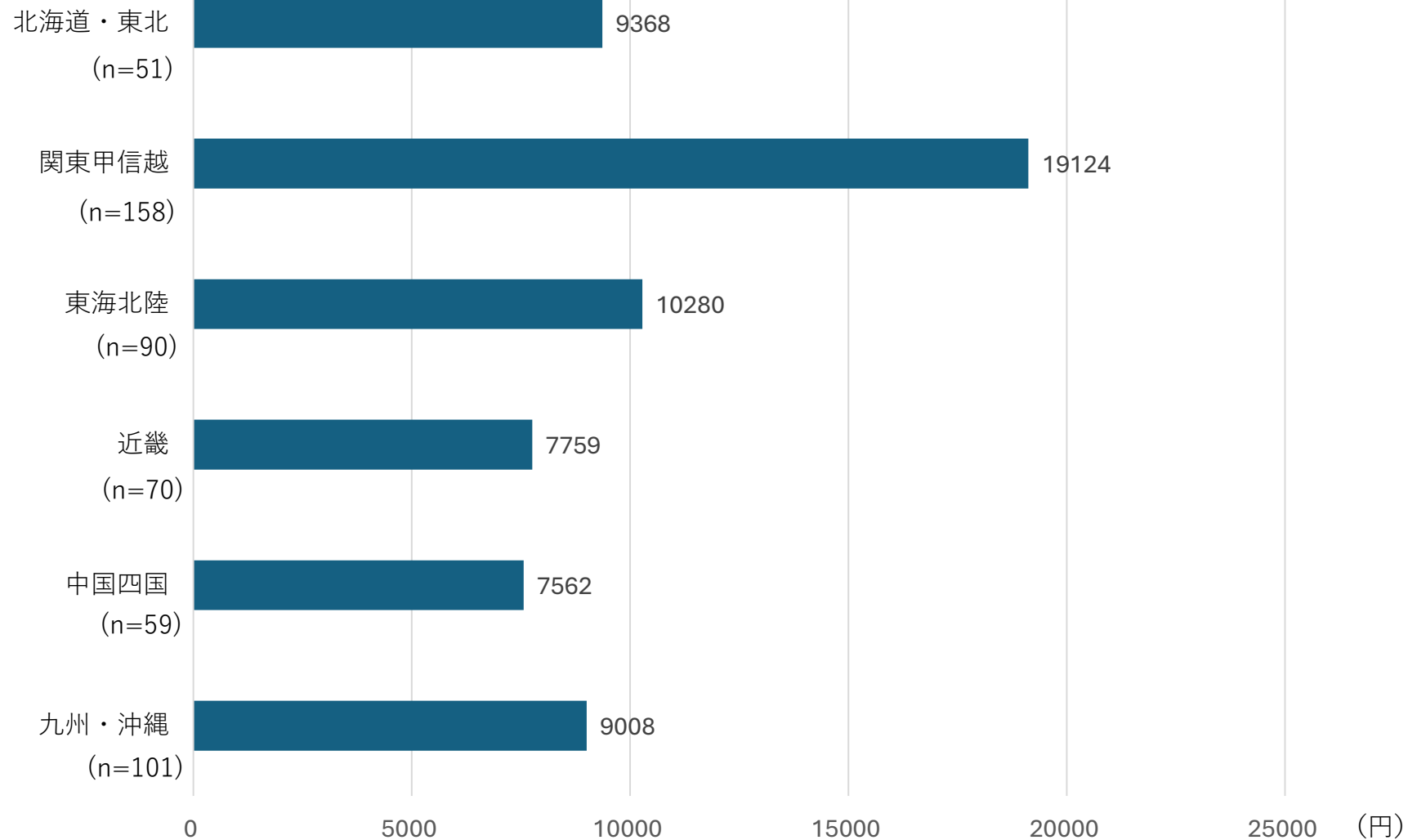
※提供の有無・料金の集計とともに、回答のなかった施設（無回答の施設）は集計から除外している。

妊産婦目線での切れ目のない支援体制の構築 ～妊婦健診に係る経済的負担の軽減と見える化に向けた取組について～

こども家庭庁成育局母子保健課

医療機関における地方別の妊婦健康診査の 「望ましい基準」内の自己負担額（平均額）について

(n=529)

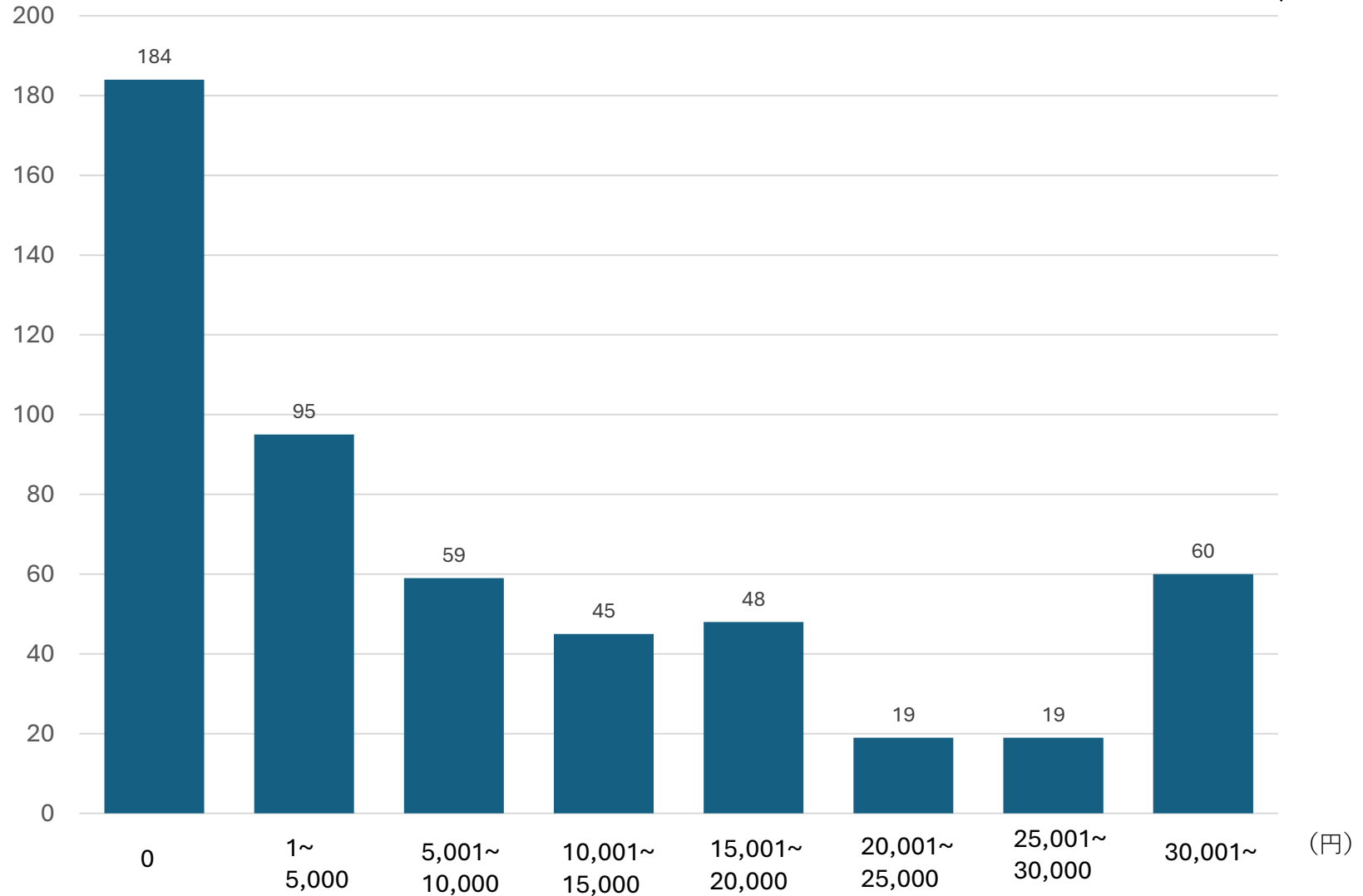


地域に含まれる都道府県：北海道・東北（北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東甲信越（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野）、東海北陸（富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重）、近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）、中国四国（鳥取、島根、岡山、山口、広島、徳島、香川、愛媛、高知）、九州沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

- ・厚生労働行政推進調査事業補助金「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究（令和6～7年度）」（研究代表者：野口晴子）提供データより母子保健課作成。
- ・妊婦健診に係る費用負担の状況を適切に比較するため、データに欠測がある医療機関等を除外して集計した。
- ・間接的に算出した「望ましい基準」内の自己負担額が負の値をとった場合は0円として、地方別の平均額を計算した。

医療機関における妊婦健康診査の 「望ましい基準」内の自己負担額について

(n=529)



・厚生労働行政推進調査事業補助金「分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究（令和6～7年度）」（研究代表者：野口晴子）提供データより母子保健課作成。
・妊婦健診に係る費用負担の状況を適切に比較するため、データに欠測がある医療機関等を除外して集計した。
・間接的に算出した「望ましい基準」内の自己負担額が負の値をとった場合は0円としている。

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					